

取扱説明書

パケットインターカムシステム

N-8000 シリーズ

ご注意

本書は2009年10月以降に発売された製品、およびそれ以降に追加・変更された機能・仕様には 対応しておりません。

このたびは、TOAパケットインターカムシステムをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。 正しくご使用いただくために、必ずこの取扱説明書をお読みになり、末長くご愛用くださいますようお願い申し上 げます。

TOA株式会社

目 次

安全上のご注意(N-8000EX/8010EX/8000MIに適用)	14
取扱説明書の構成	
第1章 システム概要	
概 要	
特 長	
使用上のご注意 	
システム仕様	
システム構成	
システム構成例	
交換機	
周辺機器	
IP 端末 ······	
端末	
その他	
機器概要	
交換機	
周辺機器	
IP 端末 ···································	
端末	
その他	
交換機のラック組み込み例	
128 回線交換機のシステム	
192 回線交換機のシステム	
102 回線交換機のシステム	1 J 1-9
1280 回線交換機のシステム	
各部の名称とはたらき	
IP インターカム交換機 N-8000EX	
[前面]	
[後面]	
II I イチ ガム文(狭城 NFOUTUEA 「前面]	
L时间」 「然去」	
[1友][1]	

マルチイ	ンターフェースユニット N-8000MI	
[前面]		1-13
[後面]		1-13
IP 多機能	マスター端末 N-8500MS	
[上面]		1-14
[後面]		1-15
[底面]		1-16
IP標準マ	·スター端末 N-8510MS	
[上面]		1-17
[後面]		1-18
[底面]		1-19
IP標準マ	['] スター端末 N-8515MS	
[上面]		1-20
[後而]		1-21
「底面」		1-22
ロドア提		
	J⊼ N-6340D3	1 00
[別四]		1 23
[则四]		1 23
[1変画]		1 00
	フ た 一 地 ナ № 2020000	1-23
多機能マ	スター端木 N-8000MS	
		1-24
[後面]		1-25
[低面]		1-26
標準マス	ター端末 N-8010MS	
[上面]		1-27
[後面]		1-28
[底面]		1-28
ハンズフ	リー専用標準マスター端末 N-8011MS	
[上面]		1-29
[後面]		1-30
[底面]		1-30
工場用マ	スター端末 N-8020MS	
[上面]		1-31
[後面]		1-32
[底面]		1-32
ハンズフ	リー専用埋込型マスター端末 N-8031MS	
[前面]		1-33
[後面]		1-33
ドア端末	N-8050DS	
[前面]		1-34
[後面]		1-34

システムの機能一覧表

基本の機能	
IPマスター端末の機能	
マルチインターフェースユニットの機能	

ページング(呼び出し放送)機能の概要

ページング呼び出しの形態
拡声ページング(N-8000EX/8000MI使用時のみ)1-39
ステーションページング
ページング呼び出しの機能
系統ページング
選択ページング
一斉ページング
ステーションページングの受信モード
通話優先モード
ページング優先モード
ページング応答
自動応答
系統番号指定応答
緊急メッセージ放送機能の概要
緊急メッセージの録音
登録されているメッセージの確認
緊急メッセージ放送の起動
緊急メッセージ放送の起動方法 ·······1-43
緊急メッセージ放送起動の条件 ·······1-44
緊急メッセージ放送の放送先 ······· 1-44
緊急メッセージ放送の終了 ·······1-44
緊急メッセージ放送の優先度
接点連動制御

マルチインターフェースの機能の概要

外部入力ページング	····· 1-46
拡声ページング	1-46
タイライン	1-46
PBX インターフェース (SS-SR 方式)	····· 1-47
BGM ·····	····· 1-47
接点入出力機能	
外部機器制御	1-48
リモートダイヤル	1-48
接点ブリッジ機能(外部接点連動)	1-48
ページングビジー入力	1-49
システム診断	1-49

第2章 機能と操作のしかた

基本的な使いかた	
マスター端末から呼び出す	
ドア端末から呼び出す	
呼び出しを受ける	
マスター端末の場合	
ドア端末の場合	
端末スピーカー音量の設定	
通話機能と操作のしかた	
2者通話	
ハンズフリー通話	
ハンドセット通話	
PTT 通話 ······	
呼び出し	
個別呼び出し	
マスター呼び出し	
リダイヤル	2-7
リコール	
音声呼び出し	
グループ呼び出し	
着信選択	
自動着信 ····································	
連続呼び出し	
短縮ダイヤル	
オートダイヤル(N-8000MS/8500MSのみ)	
ワンタッチダイヤル	
保留	
マイクオフ	
一時保留	
転 送	
自動転送	
話中転送	
不応答転送	
不在転送	
代理応答	
緊急割り込み	
時間制限	
限定局呼び出し	2-23

ページング機能と操作のしかた

ページング呼び出し	
系統ページング	2-24
選択ページング	2-25
一斉ページング	2-26
ページングの優先度	2-26
外部入力ページング(N-8000MI 使用時のみ)	2-27
ページング応答	
自動応答	2-28
系統番号指定応答	2-29

その他の機能と操作のしかた

スキャンモニター	2-30
PBX 接続(N-8000MI 使用時のみ)	
PBX の内線を呼び出す	2-31
PBX の内線から呼び出しを受ける	2-32
PBX の内線からページング呼び出しを受ける	2-32
タイライン接続(N-8000MI 使用時のみ)	
他のインターカムシステムの端末を呼び出す	2-33
他のインターカムシステムの端末から呼び出しを受ける	2-33
他のインターカムシステムヘページング呼び出しをする	2-34
他のインターカムシステムからページング呼び出しを受ける	2-34
BGM(N-8000MI 使用時のみ)	2-35
外部機器制御(N-8000MI 使用時のみ)	2-37
発呼局表示/ CCTV 連動(N-8000MI 使用時のみ)	2-38
ドアリモート(N-8050DS/8540DS/8000MI 使用時のみ)	2-39
呼び出し・通話連動接点出力(N-8050DS/8540DS 使用時のみ)	····· 2-40
緊急メッセージ放送(IPマスター端末使用時のみ)	
緊急メッセージ放送のしかた	2-41
緊急メッセージ放送の優先度	2-42
接点連動制御	2-42
登録されているメッセージの確認	2-42
リモートダイヤル(N-8000MI使用時のみ)	2-43
接点ブリッジ(N-8000MI使用時のみ)	2-44
ページングビジー入力(N-8000MI 使用時のみ)	2-44
システム診断(N-8000MI使用時のみ)	
回線状態診断	2-45
ネットワーク状態診断	2-45
マスメー hh木(の床IF一見衣	2-46

第3章 設置・配線

交換機の設置のしかた

キャビネットラックに取り付けるとき	
設置スペース	
機器取り付け時のご注意	
交換機 N-8000EX/8010EX の取り付けかた ······	
卓上に置くとき	
壁に取り付けるとき	

マルチインターフェースユニットの設置

キャビネットラックに取り付けるとき	
設置スペース	3-5
機器取り付け時のご注意	3-5
マルチインターフェースユニットN-8000MIの取り付けかた	3-6
卓上に置くとき	3-6
壁に取り付けるとき	3-7

端末の設置のしかた

壁掛けで使用するとき	
N-8000MS/8010MS/8500MS/8510MS/8515MSの場合	3-8
N-8020MSの場合	3-8
壁への取り付けかた	
N-8000MS/8010MS/8020MS/8500MS/8510MS/8515MSの場合	3-9
N-8011MSの場合	3-11
卓上に置くとき	
N-8000MS/8010MS/8020MS/8500MS/8510MS/8515MSの場合	3-13
N-8011MSの場合	3-14
雷エボックスを伸田して辟に押め込むとき	• • •
電上ホックファを使用して重に埋め込むこと N-8031MSの場合	3-15
N-8050DS/8540DSの場合	
零中ギックフを使用して時に取り付けるとき	010
路山ホックスを使用して壁に取り内りるとさ	
N-0031MS 09場日	
N-8050DS/8540DS 00場合	3-18
配線のしかた	
····································	3-19
を読の概要	3-20
逆すの接続	0 20
	3-21
「「「「「「」」」) 「「」」)」) 「「」」)」 「」」) 「」」) 「」」	י <u>ב-</u> ר ככי בייייי
	3-22
アロックビージー 加 J 43 & O 型型山 J 3m J 43 & O 型 3m J 43 & O 2010 O 3m J 43 & O	2 24
N 9021MSと力型フィッチの接続	0-24
	3-25

N-8050DSと外部リレーの接続
マルチインターフェースユニットの接続
接続の概要
PBX の OD トランクと接続するとき
インターカムのタイラインユニットと接続するとき
IP 端末の接続
N-8500MSの接続
N-8510MSの接続
N-8515MSの接続
N-8540DSの接続
線材の選定
心線径と通達距離の関係
コネクターの結線
圧接コネクターの結線
ターミナルプラグの結線
端子盤 E-7000TB の結線

第4章 システム設定の前に

システム設定の項目と初期値

システム全般
交換機
ネットワーク設定
サンプリング周波数補正
機能設定
マルチインターフェースユニット
ネットワーク設定
サンプリング周波数補正
機能設定
音声入出力
接点入力
接点出力
IP 端末
ネットワーク設定
機能設定 1
機能設定 2
短縮ダイヤル
スキャンモニター
緊急メッセージ
端末
機能設定
短縮ダイヤル
スキャンモニター

ページング	4-12
グループ	4-12

システムの電源を入れる

電源を入れるときのご注意		4-13
電源の入れかた		4-13
設定の手順		4-13
パソコンでのネットワー	・ク設定	4-14

第5章 ソフトウェアによるシステム設定

N-8000 ソフトウェアの概要

N-8000 ソフトウェアとは	
機器検出(ネットワーク設定)機能 ····································	5-2
システム設定機能	5-2
パソコンのネットワークの設定について	5-2
設定内容更新時のご注意	5-2

ソフトウェアをインストールする

システムの条件	5-3
セットアップガイドを起動する	5-3
N-8000 ソフトウェアをインストールする	5-5
N-8000 ソフトウェアをアンインストールする	5-6
緊急メッセージ放送用の標準メッセージをインストールする	
インストールのしかた	5-7
アンインストールのしかた	5-8
フォルダーの構成	5-9
バージョンアップ情報	5-9

N-8000 ソフトウェアを起動する ------5-10

機器検出(ネットワーク設定)機能

画面の説明	12
メニュー	
ファイル	13
検出	13
ヘルプ	13
ボタン	14
機器を検出する	14
機器の設定内容を変更する	15

IP アドレスを自動で割り当てる	5-15
サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを設定する	5-16
システム設定機能	
画面の説明	5-18
メニュー	
ファイル	5-19
設定	5-19
ヘルプ	5-19
システム全般の設定をする	
機器を登録する	5-20
端末番号と端末種別を設定する	5-23
ネットワーク通信の登録	5-25
マルチキャスト通信の登録	5-26
交換機の設定をする	
ネットワークの設定	5-27
サンプリング周波数補正の設定	5-31
機能の設定	5-32
マルチインターフェースユニットの設定をする	
ネットワークの設定	5-35
サンプリング周波数補正の設定	5-39
機能の設定	5-40
音声入出力の設定	5-42
接点入力の設定	5-44
接点出力の設定	5-46
IP端末の設定をする	
ネットワークの設定	5-47
機能の設定	5-51
短縮ダイヤルの設定	5-56
スキャンモニターの設定(IP マスター端末のみ)	5-57
緊急メッセージの設定(IP マスター端末のみ)	5-58
交換機に接続する端末の設定をする	
機能の設定	5-59
短縮ダイヤルの設定	5-62
スキャンモニターの設定	5-63
ページング系統を設定する	5-64
グループの設定をする	
限定局呼び出しグループの設定をする	5-65
代理応答グループの設定をする	5-67
殳定が終わったら	
設定内容をファイルに保存する	5-69
設定内容をアップロードする	

設定内容をダウンロードする	5-69
設定内容を印刷する	5-70
緊急メッセージの設定をする	
設定画面を表示させる ····································	5-71
メニュー	
ファイル	5-72
編集	5-72
ヘルプ	5-72
オリジナルメッセージを作成・試聴する	
画面の説明	5-73
新しいメッセージを作成する	5-74
作成済みメッセージを削除する	5-74
作成済みメッセージの名称を変更する	5-75
WAVE形式のファイルからメッセージを作成する	5-75
オリジナルメッセージから WAVE 形式のファイルを作成する	5-76
メッセージを試聴する	5-76
音量を調節する	5-77
IPマスター端末にメッセージを登録する	
画面の説明	5-78
サイレン音を試聴する	5-79
IP マスター端末にサイレン音を転送する	5-79
メッセージを試聴する	5-79
パソコンから IP マスター端末にメッセージを登録する	5-80
パフロードを亦再する	
	- 04
システムバスリートを変更する	5-81
端末保守パスワードを変更する	5-82
シュニノ哇却を設定する	E 01
ノスノム時刻を設定する	J-04
第6章 ブラウザーによるシステム認定	
第0草 ノブリリーによるノスノム設定	
ブラウザーでの設定について	·· 6-2
メニュー項目	·· 6-2
メニュー画面を表示させる	• 6-3
ネットワーク設定	· 6-5
体田状能の表示	
区内1/282/22/22 N 9000EV/9010EVの提合	
N-8000LA/8010LA の場合	0-7
	0-9

N-8500MS/8510MS/8515MSの場合	;-11 ;-12
回線状態の表示(交換機のみ)	6-14
ネットワーク状態の表示	6-16
動作ログ	6-18
ストリームログ	5-20
システム管理 6 システム名とパスワードを変更する 6 設定ファイルをアップロードする 6 設定ファイルをダウンロードする 6 ファームウェアを更新する 6	;-23 ;-25 ;-26 ;-27 ;-28
時刻を設定する 時刻取得ボタンを使用する方法)-29
	-23

第7章 多機能端末のメニュー画面操作 (N-8000MS/8500MSのみ)

メニュー画面の操作に使用するキー	7-2
メニュー項目	7-2
回線状態をモニターする	7-3
ログファイルを更新する	7-4
音量の設定を確認する(N-8500MSのみ)	7-4
システムを設定する	
保守画面に入る ····································	7-5
ネットワークを設定する	7-6
端末番号を設定する	7-7
システム時刻を設定する	7-8
機器を再起動する	7-9

第8章 付 録

ネットワークの豆知識	
IP ネットワークとアドレス	

ネットワークアドレスポート変換(NAPT、IPマスカレード)と	
N-8000 ソフトウェア	8-3
ユニキャストとマルチキャストの違い	8-4
ネットワーク経由でのページング先の制限	8-4
機器検出とブロードキャストドメイン	8-5
サンプリング周波数補正機能(N-8000EX/8010EX/8000MIのみ)	······ 8-5
故障かな?と思ったら	

仕 様

IPインターカム交換機 N-8000EX
IPインターカム交換機 N-8010EX
マルチインターフェースユニット N-8000MI
IP多機能マスター端末 N-8500MS
IP標準マスター端末 N-8510MS
IP標準マスター端末 N-8515MS
IPドア端末 N-8540DS
多機能マスター端末 N-8000MS ··································
標準マスター端末 N-8010MS
ハンズフリー専用標準マスター端末 N-8011MS8-18
工場用マスター端末 N-8020MS
ハンズフリー専用埋込型マスター端末 N-8031MS8-20
ドア端末 N-8050DS
壁掛卓上金具 YC-2808-22
壁掛卓上金具 YC-2908-22
露出ボックス YS-13A8-22
端子盤 E-7000TB
オプションハンドセット RS-191
ACアダプター AD-1210P

安全上のご注意 (N-8000EX/8010EX/8000MI に適用)

- ※ 以下の安全上のご注意は、交換機 N-8000EX/8010EX およびマルチインターフェースユニット N-8000MI に適用します。システムに使用する他の機器については、それぞれの機器に付属の取扱説明書に記載され ている安全上のご注意をお読みください。
- ●ご使用の前に、この欄を必ずお読みになり正しくお使いください。
- ●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- ●お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保存してください。

表示について

ここでは、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止す るために、いろいろな表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

図記号について





誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定 される内容を示しています。

設置・据付をするとき

水にぬらさない

本機に水が入ったりしないよう、また、ぬらさないようにご注意ください。 禁止 火災・感電の原因となります。 指定外の電源電圧で使用しない 表示された電源電圧を超えた電圧で使用しないでください。 禁止 火災・感電の原因となります。 電源コードを傷つけない 電源コードを傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたりしないでください。 また、コードの上に重いものをのせないでください。 禁止 火災・感電の原因となります。 不安定な場所に置かない ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。 禁止 落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。 設置場所の強度を確認する 取付金具類を含む全重量に十分耐えられる強度のある所に取り付けてください。 強 制 十分な強度がないと落下して、けがの原因となります。





倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

禁止

取扱説明書の構成

このページ以降は、以下の内容で1~8章の構成となっています。 お客様の目的により、必要な章をお読みください。



第1章

システム概要

この章では、パケットインターカムシステムN-8000シリーズの機器 構成(交換機、マルチインターフェースユニット、IP端末のシステ ム構成、端末の種類)と各機器の機能について、概略を説明します。

概要

パケットオーディオ技術*1を採用したパケットインターカムシステム(IPネットワーク対応型インターカム システム)です。

IPインターカム交換機(1台当たり16台の端末が接続可)、マルチインターフェースユニット、IP端末をネットワーク(LANまたはWAN*²)に接続して、端末間の相互通話やページング(呼び出し)放送、定時放送、 BGM放送などの構内や広域での情報通信に最適なシステムを構築することができます。交換機、マルチイン ターフェースユニット、IP端末は合計で最大80台まで組み合わせることができます。交換機80台を使用する と、最大1280台の端末を含むシステムまで対応できます。端末間の通話は、エコーキャンセラー*³により、 ハンズフリーでの同時通話(双方がハンドセットを使わない通話)を実現しています。

また、マルチインターフェースユニットを使用すると、接点入出力制御で接点ブリッジを実現できます。

- *1 ネットワーク上での音声伝送に関する技術
- *2 インターネット経由で接続する場合は、固定のグローバルIPアドレスを割り当てる必要があります。
- *3 端末の内部スピーカーからの音声がマイクに入ることによって発生するハウリングやエコーを防止する回路

特 長

- 交換機、マルチインターフェースユニット、IP端末をネットワークで接続すれば分散設置もできます。
- ●既存のローカルネットワーク(LAN)または広域ネットワーク(WAN)を利用して接続できます。また、 光ファイバーのネットワークにも簡単に接続でき、距離の制限がありません。
- 専用のN-8000ソフトウェアを使ってパソコンからシステムの集中管理ができます。
- ●パソコンからブラウザーを使用してメンテナンス(動作ログや回線状態の確認など)することができます。
- 交換機には次の2種類があります。
 N-8000EX:内部4リンク*4、外部8リンク*4、拡声ページング出力あり
 N-8010EX:内部1リンク*4、外部2リンク*4、拡声ページング出力なし
- ●マルチインターフェースユニットを使用すると、EXES-2000、EXES-6000、EXES-7000のインターカム交 換機とタイライン接続したり、PBX交換機とOD接続することができます。
- ●マルチインターフェースユニットの接点入出力制御を使って、ドアリモートやCCTVとの連動ができます。
- IP端末を使用すると、交換機を使用しないシステムが実現できます。(ただし、IPドア端末だけでシステム を構築することはできません。)
- ** リンクとは、通話路のことです。内部4リンクとは、1つの交換機に接続されている端末同士で同時に4つ の通話または放送ができることを表します。外部8リンクとは、他の交換機に接続されている端末やIP端 末などと8つの通話または放送ができることを表します。

使用上のご注意

インターネットは、伝送品質が保証されているわけではありません。したがって、このシステムをインター ネット経由で接続する場合は、ネットワークが混雑している状態では、パケットの欠落が起こり、通話音声 が途切れたり、ノイズが出たりする場合があります。

システム仕様

LAN接続台数 端末接続台数 音声リンク数 機器内	:交換機、マルチインターフェースユニット、IP端末の合計で最大80 :最大1280(交換機80台×1台あたりの端末数16台の場合) :最大320リンク(80台のN-8000EXを接続した場合)
N-8000EX	:4リンク
N-8010EX	:1リンク
機器間	
N-8000EX	:8リンク
N-8010EX	:2リンク
N-8000MI	:2リンク
	通話 最大2 〕
	音声入力 最大2 / 併用可(詳細はP. 1-6の表を参照) 音声出力 最大2 /
ページング	
系統数	:最大160
拡声出力	:最大160(80台のN-8000EXまたはマルチインターフェースユニット
	を接続した場合)
N-8000EX	:2出力
N-8000MI	:2出力
同時使用可能数	
N-8000EX	:マルチキャストページング最大4リンク
	ユニキャストページング1リンク
N-8010EX	:マルチキャストページング最大2リンク
	ユニキャストページング1リンク
N-8000MI	:マルチキャストページング最大2リンク
	ユニキャストページング1リンク
N-8500MS	:マルチキャストページング1リンク
	ユニキャストページング1リンク
N-8510MS	:マルチキャストページング1リンク
	ユニキャストページング1リンク
N-8515MS	:マルチキャストページング1リンク
	ユニキャストページング1リング
呼び出し先(ネットワーク経由)	:マルチキャストページンク 最大79カ所
	ユニキャストページンク 最大16カ所
BGM	:最大8糸統(端末から選択可能なチャンネル数)
	:最大160(80台のマルナインターフェースユニットを接続した場合)
タイ フインインター ノェース	:最大160(80台のマルナインターフェースユニットを接続した場合)
外部接点出力	:最大1280(80台のマルナインターフェースユニットを接続した場合)
外部接点人刀	:最大1280(80台のマルナインターノェースユニットを接続した場合)
ンステム設定	:N-8000ソフトウェアによるパソコン設定(LAN 経田)
(う…トローク問声)	
(ネットワーク関連) 辛吉波延時間	· 80 mc/220 mc/11 l 協う
白广连运时间 按结渥矿時間	・00 m3/020 m3 90 7 狭元 ・最大1私(マルチキャストページング哑バーし失 70 カ픖指字時)
运动 () 建筑 () () () () () () () () () () () () ()	・取入 112 (127 1 7 A TONE 2 2 2 7 FU 山 U元 7 3 7 7 11 2 FF) ・最大2 08 Mbne(巴古向) / 1 ニ キャストページング 16 カ 話 故 半時
又自己	- 取べている Mipps (17) パーパー (17) (17) (17) (17) (17) (17) (17) (17)

システム構成

■ システム構成例

本システムは、以下のような機器で構成されます。





* N-8500MS/8510MS/8540DSの場合は、スイッチングハブがPoE(Power over Ethernet)に対応していれば、 ACアダプターは不要です。この場合、スイッチングハブを無停電電源供給装置に接続してください。

● 交換機

N-8000EX : IPインターカム交換機 N-8010EX : IPインターカム交換機

● 周辺機器

N-8000MI :マルチインターフェースユニット

● IP端末

N-8500MS :IP多機能マスター端末 N-8510MS :IP標準マスター端末 N-8515MS :IP標準マスター端末(PoE機能なし) N-8540DS :IPドア端末

● 端末

N-8000MS :多機能マスター端末 N-8010MS :標準マスター端末 N-8011MS :ハンズフリー専用標準マスター端末 N-8020MS :工場用マスター端末 N-8031MS :ハンズフリー専用埋込型マスター端末 RS-191 :オプションハンドセット N-8050DS :ドア端末

● その他

YC-280	:壁掛卓上金具(N-8000MS/8010MS/
	8020MS/8500MS/8510MS/8515MS用)
YC-290	:壁掛卓上金具(N-8011MS用)
YS-13A	:露出ボックス(N-8050DS/8540DS用)
AD-1210P	:ACアダプター(N-8500MS/8510MS/
	8515MS/8540DS用)
E-7000TB	:40局端子盤
CR-273	:キャビネットラック
CR-413	:キャビネットラック
PD-022	:パワーディストリビューター

■ 機器概要

● 交換機

[IPインターカム交換機 N-8000EX] 交換機用端末を16台、拡声ページング出力を2系統接続することができる交換機です。 通話リンクは、内部4リンク、外部8リンクです。 ネットワークインターフェースを持ち、IP端末、マルチインターフェースユニット、および他のIPインター カム交換機と接続できます。 1Uサイズのラックマウント型で、卓上設置や壁掛けにも対応できます。

[IPインターカム交換機 N-8010EX]

交換機用端末を16台接続することができる交換機です。 通話リンクは、内部1リンク、外部2リンクです。拡声ページング出力はありません。 ネットワークインターフェースを持ち、IP端末、マルチインターフェースユニット、および他のIPインター カム交換機と接続できます。

1Uサイズのラックマウント型で、卓上設置や壁掛けにも対応できます。

● 周辺機器

[マルチインターフェースユニット N-8000MI]

2回線の音声入出力と16接点の入出力を持ち、以下のインターフェース機能*を実現するユニットです。

- ・EXES-2000、EXES-6000、EXES-7000と接続するタイラインインターフェース機能。
- ・PBXのODトランクと接続するPBXインターフェース機能。
- ・拡声機器と接続する拡声ページングインターフェース機能。
- ・メロディクスやチャイムなどの制御付き演奏機器やリモートマイクと接続する外部入力放送イン ターフェース機能。
- ・リモート制御機能のない演奏機器や呼び出しマイクと接続する外部入力放送インターフェース機能。

・リレー接点で表示器や外部機器(CCTVのスイッチャーなど)を制御するインターフェース機能。 ネットワークインターフェースを持ち、IP端末、IPインターカム交換機、および他のマルチインターフェー スユニットと接続できます。

1Uサイズのラックマウント型で、卓上設置や壁掛けにも対応できます。

* 機能組み合わせパターンは以下の9通りです。

	組み合わせパターン									
1 ノダーノェース悝類	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
PBX 1	0	0	0	_	_	_	_	_	_	
PBX 2	\bigcirc	—	-	0	0	_	—	_	-	
タイライン 1	—	—	-	0	—	0	0	_	_	
タイライン 2	—	\bigcirc	-	-	-	0	_	0	-	
音声出力 1	—	_	-	-	0	_	_	0	0	
音声出力 2	_	—	0	_	_	_	0	_	0	
音声入力 1	—	_	-	-	0	_	_	0	0	
音声入力 2	_	_	0	_	_	_	0	_	0	
接点入出力	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

● IP端末

		仕様												
业十万五	通話方式			設置方法				オート	外部	4-11 /Am	411/60	PCカス		
」	ハンド セット	ハンズ フリー	ヘッド セット	卓上	壁掛け	埋め 込み	露出	液晶 表示	ダイヤ ル	スピー カー	制御 出力	制御 入力	ケード 接続	電源
IP多機能 マスター端末 N-8500MS	0	0	0	⊖ ^{*1}	⊖ ^{*2}	_	_	0	0	0	_	_	0	⊖ ^{*3}
IP標準 マスター端末 N-8510MS	0	0	0	⊖ ^{*1}	°*2	_	_	0	0	0	_	0	0	⊖ ^{*3}
IP標準 マスター端末 N-8515MS	0	0	0	⊖ ^{*1}	⊖ ^{*2}	_	_	0	0	0	_	0	0	* ⁴
IPドア端末 N-8540DS	_	0	_	_	_	°*5	°*6	_	_	_	0	_	_	°*3

*1 専用の壁掛卓上金具YC-280を使用することで、操作面を卓上から16°傾けることができます。

*2 専用の壁掛卓上金具YC-280が必要です。

*³ IEEE802.3af準拠のPoE(Power over Ethernet)対応スイッチングハブまたは別売のACアダプターAD-1210Pを使用します。

- *4 付属のACアダプターAD-1210Pを使用します。
- *5 市販のJIS規格3個用スイッチボックス(カバー付き)が必要です。

*6 専用の露出ボックスYS-13Aが必要です。

● 端末

	仕様											
业十万五	通話方式			設置方法				<u>ж</u> в	オート	外部	告记作用	外部ダ
<u> </u>	ハンド セット	ハンズ フリー	ヘッド セット	卓上	壁掛け	埋め 込み	露出	液晶 表示	ダイヤ ル	スピー カー	制御 出力	イヤル 入力
多機能マスター端末 N-8000MS	0	0	0	⊖ ^{*1}	⊖ ^{*3}	_	_	0	0	0	_	_
標準マスター端末 N-8010MS	0	0	_	○ ^{*1}	* 3	_	_	—	_	—	_	_
ハンズフリー専用 標準マスター端末 N-8011MS	_	0	_	⊖ ^{*2}	* ⁴	_	_	_	_	_	_	_
工場用マスター端末 N-8020MS	0	0	_	O ^{*1}	° *3	_	_	_	_	0	0	_
ハンズフリー専用 埋込型マスター端末 N-8031MS	_*5	0	_	_	_	⊖ ^{*6}	°*8	_	_	_	_	0
ドア端末 N-8050DS	-	0	_	_	_	° *7	°*9	_	_	_	0	_

*1 専用の壁掛卓上金具 YC-280を使用することで、操作面を卓上から16°傾けることができます。

*2 専用の壁掛卓上金具 YC-290 を使用することで、操作面を卓上から16°傾けることができます。

*3 専用の壁掛卓上金具YC-280が必要です。

*4 専用の壁掛卓上金具YC-290が必要です。

*5 オプションハンドセットRS-191と組み合わせて使用すると、ハンドセット通話ができます。

*6 市販のJIS規格5個用スイッチボックス(カバー付き)が必要です。

*7 市販のJIS規格3個用スイッチボックス(カバー付き)が必要です。

** 市販の5個用スイッチボックス(松下電工製DZB295を推奨)が必要です。

*9 専用の露出ボックスYS-13Aが必要です。

● その他

[40局端子盤 E-7000TB] 端末からの回線を各交換機へ中継するためのクリップ式の端子盤です。 1ペアのケーブルを40回線まで接続できます。 配線には専用の工具YC-105(別売品)が必要です。 3Uサイズのラックマウント型です。

[キャビネットラック CR-273/413] 交換機、40局端子盤などを組み込むためのキャビネットラックです。

[パワーディストリビューター PD-022] 交換機へ電源を供給する機器です。 ■ 交換機のラック組み込み例

※ 図は交換機N-8000EXを使用していますが、N-8010EXの場合も同様です。

● 128回線交換機のシステム ● 192回線交換機のシステム ● 256回線交換機のシステム

キャビネットラックCR-273を1台 キャビネットラックCR-413を1台 キャビネットラックCR-273を2台 使います。 使います。 使います。



● 1280回線交換機のシステム

キャビネットラックCR-413を7台使います。



/ 各部の名称とはたらき

■ IPインターカム交換機 N-8000EX

[前面]

12345	
TOA RESET LINKACT STATUS POWER	
	IP INTERCOM EXCHANGE N-8000EX

- 1. RESET $\neq -$ [RESET] 押すと、本機を再起動します。
- 2. LNK/ACT表示灯「LNK/ACT」(緑) 本機がネットワークに接続されると点灯し、 データを送受信中は点滅します。
- 3. STATUS表示灯 [STATUS] (赤) 内部の記憶媒体(フラッシュメモリー)へデー タ書き込み中は点灯し、冷却ファンの故障など 交換機に障害があれば点滅します。([■] P. 8-8)
- 4. 電源表示灯 [POWER] (緑) 電源を入れると点灯します。
- 5. MACアドレス 本機のMACアドレス*です。 本機の設置場所とMACアドレスの対応は、ネッ トワーク属性を設定するときに必要ですので、 設置時に記録して、後から分かるようにしてお いてください。
 - * ネットワーク機器につけられた機器固有のア ドレスで、12桁の16進数で表現されています。

[後面]



7. 冷却ファン

▲ 注意 ファンの噴き出し口をふさがないでください。 ふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因とな ることがあります。

8. ACインレット 付属の電源コードを接続します。

ご注意

誘雷の恐れのある場合は、電源ラインに適切な 電源用保安器を挿入してください。

9. コードクランプ 本機を壁に取り付けて使用するとき、電源コー

- 10. 回線接続端子 [LINE] 圧接コネクターを使って端末を接続します。 (📭 P. 3-34)
- 11. ページング出力端子「PAGING OUT 1/2、 AUDIO/CONTROL 音声出力(0dB*、600Ω、平衡)と接点出力 (無電圧メイク、DC24 V、0.5 A) があります。 着脱式ターミナルプラグを接続します。 (📭 P. 3-34)

12. ネットワーク接続端子 [10/100M] 10BASE-Tまたは100BASE-TXに対応したネッ トワークに接続します。 (イーサネットRJ-45ジャック)

* 0 dB = 1 V

IP INTERCOM EXCHANGE N-8010EX

■ IPインターカム交換機 N-8010EX

[前面]

		\mathbf{D}	$\mathbb{D}($	3)(1)(5
Π	TOA				
	RESET	lnk/act O	STATUS O	POWER	

- **1. RESETキー** [RESET] 押すと、本機を再起動します。
- 2. LNK/ACT表示灯 [LNK/ACT] (緑)
 本機がネットワークに接続されると点灯し、データを送受信中は点滅します。
- STATUS表示灯 [STATUS](赤)
 内部の記憶媒体(フラッシュメモリー)へデータ
 書き込み中は点灯し、冷却ファンの故障など交換
 機に障害があれば点滅します。(■③ P. 8-8)
- **4. 電源表示灯 [POWER] (緑)** 電源を入れると点灯します。

5. MACアドレス

本機のMACアドレス*です。 本機の設置場所とMACアドレスの対応は、ネッ トワーク属性を設定するときに必要ですので、設 置時に記録して、後から分かるようにしておいて ください。

* ネットワーク機器につけられた機器固有のアド レスで、12桁の16進数で表現されています。

[後面]



- 機能アース端子 [SIGNAL GND]
 必ず接地してください。
 ※ 安全アースではありません。
- 7. 冷却ファン

▲ 注意 ファンの噴き出し口をふさがないでください。 ふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因とな ることがあります。

8. ACインレット 付属の電源コードを接続します。

ご注意

誘雷の恐れのある場合は、電源ラインに適切な 電源用保安器を挿入してください。

- 9. コードクランプ 本機を壁に取り付けて使用するとき、電源コード のプラグが抜けないようにするために、コードを 通します。(III P. 3-4)
 - **10. 回線接続端子**[LINE] 圧接コネクターを使って端末を接続します。 (^{II}S P. 3-34)

11. ネットワーク接続端子 [10/100M]

10BASE-Tまたは100BASE-TXに対応したネット ワークに接続します。 (イーサネットRJ-45ジャック)

* 0 dB = 1 V

MULTI INTERFACE UNIT N-8000M

|マルチインターフェースユニット N-8000MI

「前面]

ij	面」	1) (2	2)(3)(1)(5	シシ
	TOA Reset o	LNK/ACT O	STATUS O	POWER		

- 1. RESET $\neq -$ [RESET] 押すと、本機を再起動します。
- 2. LNK/ACT表示灯 [LNK/ACT] (緑) 本機がネットワークに接続されると点灯し、 データを送受信中は点滅します。
- 3. STATUS表示灯 [STATUS] (赤) 内部の記憶媒体(フラッシュメモリー)へデー タ書き込み中は点灯し、マルチインターフェー スユニットに障害があれば点滅します。 (📭 P. 8-8)

[後面]

4. 電源表示灯 [POWER] (緑) 電源を入れると点灯します。

5. MACアドレス 本機のMACアドレス*1です。 本機の設置場所とMACアドレスの対応は、ネッ トワーク属性を設定するときに必要ですので、 設置時に記録して、後から分かるようにしてお いてください。 *1 ネットワーク機器につけられた機器固有のア

ドレスで、12桁の16進数で表現されていま す。



- 6. 機能アース端子 [SIGNAL GND] PBX接続時以外は、必ず接地してください。 ※ 安全アースではありません。
- 7. ACインレット 付属の電源コードを接続します。

ご注意

誘雷の恐れのある場合は、電源ラインに適切な 電源用保安器を挿入してください。

- 8. コードクランプ 本機を壁に取り付けて使用するとき、電源コー ドのプラグが抜けないようにするために、コー ドを通します。(🔊 P. 3-7)
- 9. 接点入力端子 [CONTACT IN] 無電圧メイク接点入力(短絡電流: 10 mA、開 放電圧: 12 V) です。
- 10. 接点出力端子 [CONTACT OUT] リレー接点出力(耐電圧: DC24 V、制御電 流:最大0.5 A)です。
- 11. 入力音量調節器 [EXTERNAL SIGNAL 1、2] 使用する音源に合わせて、音声入力レベルを調 節します。

- 12. 音声入力端子 [AUDIO IN] 音声信号は、最大0 dB*2、10 kΩ以上、平衡型 です。 制御信号は、無電圧メイク接点入力(短絡電 流: 10 mA、開放電圧: 12 V)です。 (コネクターの結線のしかた II P. 3-34)
- 13. 音声出力端子 [AUDIO OUT] 音声信号は、最大0 dB*2、600 Ω以下、平衡型 です。 制御信号は、リレー接点出力(耐電圧: DC24 V、制御電流:最大0.5 A)です。 (コネクターの結線のしかた INS P. 3-34)
- 14. PBX インターフェース端子 [PBX IF] OD方式によるPBXとの接続、およびインター カムEXES-2000/EXES-6000/EXES-7000システ ムとのタイライン接続に使用します。(コネク ターの結線のしかた 📭 P. 3-34)

15. ネットワーク接続端子 [10/100M] 10BASE-Tまたは100BASE-TXに対応したネッ トワークに接続します。 (イーサネットRJ-45ジャック)

*2 0 dB = 1 V

■ IP多機能マスター端末 N-8500MS

[上面]



- ハンドセット
 ハンドセット通話をするときに使用します。
 使用時は、ハンズフリー通話用のマイクとス ピーカーは切断されます。
- オートダイヤルキー オートダイヤル呼び出し先を登録するときや呼び出すときに使用します。(■◎ P. 2-10)

3. 番号簿

オートダイヤルの登録内容を記入します。

 4. 状態表示灯(赤) 着信時は点滅、通話中またはページング受信中 は点灯、待ち受け時は消灯します。 内部の記憶媒体(フラッシュメモリー)へデー タ書き込み中は点灯し、本機に障害があれば点 減します。(■ P.8-8)
 5. スピーカー 拡声用のスピーカーで着信音を流したり、ハン ズフリー通話に使用したりします。

6. 液晶画面

16桁×2行の表示で、操作ダイヤルやかかって きた相手番号などを表示します。メニューキー ⑧を押すと、メニュー画面を表示します。

7. 選択キー

メニュー項目の選択、入力値の決定に使用しま す。

 メニューキー オートダイヤルの登録(■③ P. 2-10)やシステム設定(■③ 第7章)をするときに使用します。

- 9. リダイヤルキー 直前にしたダイヤル操作を繰り返すときに使用 します。(II ☞ P. 2-7)
- 10. 機能キー 転送先の設定、ワンタッチダイヤルの登録など の機能設定をするときに使用します。
- PTTキー [PTT]
 連続呼び出し音で呼び出している相手に、この キーを押して音声で呼びかけることができます。
 (№ P. 2-8)
 また、ハンズフリー通話中に押すと、押した側 からの一方向通話になります。(№ P. 2-6)
- **12. ダイヤルキー** 相手を呼び出したり、機能設定をするときなど に使用します。
- **13. クリアキー**[C] 通話を終了するときに使用します。

- 14. 矢印キー [▲] [▼] [◀] [▶]
 オートダイヤルの登録(INF P. 2-10) やシステム設定(INF 第7章)をするときに使用します。
- 15. ページング呼び出しキー ページング呼び出し操作をするときに使用しま す。(■ P. 2-24)
- **16. ページング応答キー** ページング応答操作をするときに使用します。 (^{II} ● P. 2-28)
- **17. 保留キー** 通話を一時保留するときに使用します。 (II ☞ P. 2-12)
- 18. 転送キー
 通話を他の端末に転送するときに使用します。
 (P. 2-13)

[後面]



- **19. ACアダプター端子**[**DC INPUT**] ACアダプターAD-1210Pを接続します。
- 20. 外部スピーカー端子 [EXT. SP.] 外部スピーカー(8Ω、0.6 W以上)を接続でき ます。(II P. 3-29) 外部スピーカーを使用するときは、底面のス ピーカー切換スイッチ⑳をEXT. SP側に切り換 えてください。
- ヘッドセット端子 [HEAD SET]
 ヘッドセットを接続できます。
 接続すると、上面のスピーカーからの音は出なくなります。

22. ネットワーク接続端子 [LAN]

10BASE-Tまたは100BASE-TXに対応したネットワークに接続します。 PoE (Power over Ethernet) に対応したスイッチングハブと接続すれば、ACアダプターなしでも動作します。 (イーサネットRJ-45ジャック)

23. パソコン接続端子 [PC]

パソコンをカスケード接続できます。(PoEには 対応していません。) (イーサネットRJ-45ジャック)

- **24. ACT表示灯(緑)** 本機がデータを送受信しているときに点灯しま す。
- 25. FD表示灯(黄)

ネットワークが全二重通信をしているときに点 灯します。

- 26. ACT表示灯(緑) 接続しているパソコンがデータを送受信してい るときに点灯します。
- **27. FD表示灯(黄)** 本機にパソコンを接続すると点灯します。

[底面]



28. MACアドレス

本機のMACアドレス*です。 本機の設置場所とMACアドレスの対応は、ネッ トワーク属性を設定するときに必要ですので、 設置時に記録して、後から分かるようにしてお いてください。

- * ネットワーク機器につけられた機器固有のア ドレスで、12桁の16進数で表現されていま す。
- **29. スピーカー切換スイッチ [INT. SP/EXT. SP]** 内部スピーカー(INT. SP)または外部スピー カー(EXT. SP)の切り換えができます。

30. マイク

ハンズフリー通話に使用します。

ご注意

マイクの回りに物を置いたりして、ふさがない でください。通話ができなくなります。

■ IP標準マスター端末 N-8510MS

[上面]



- ハンドセット
 ハンドセット通話をするときに使用します。
 使用時は、ハンズフリー通話用のマイクとス ピーカーは切断されます。
- **2. 番号簿** 呼び出し先の番号を記入します。

す。

- 3. 状態表示灯(赤) 着信時は点滅、通話中は点灯、待ち受け時は消 灯します。また、ページング受信中は点灯しま
- 4. スピーカー 拡声用のスピーカーで着信音を流したり、ハン ズフリー通話に使用したりします。
- 5. 機能キー 転送先の設定、ワンタッチダイヤルの登録など の機能設定をするときに使用します。
- Uダイヤルキー 直前にしたダイヤル操作を繰り返すときに使用 します。(^{II} P. 2-7)
- 7. 転送キー 通話を他の端末に転送するときに使用します。 (^{II} ▼ P. 2-13)

- 8. PTTキー [PTT]
 連続呼び出し音で呼び出している相手に、この キーを押して音声で呼びかけることができます。
 (II P. 2-8)
 また、ハンズフリー通話中に押すと、押した側 からの一方向通話になります。(II P. 2-6)
- 9. ダイヤルキー 相手を呼び出したり、機能設定をするときなど に使用します。
- **10. クリアキー**[C] 通話を終了するときに使用します。
- ページング呼び出しキー
 ページング呼び出し操作をするときに使用します。(■零 P. 2-24)
- ページング応答キー
 ページング応答操作をするときに使用します。
 (II P. 2-28)
- **13. 保留キー** 通話を一時保留するときに使用します。 (II ☞ P. 2-12)

[後面]



- **14. ACアダプター端子 [DC INPUT]** ACアダプターAD-1210Pを接続します。
- 15. 緊急メッセージ起動端子 [CONTACT IN] 外部制御機器(スイッチ、センサーなど)を接 続し、メイク信号を入力することにより、緊急 メッセージ放送を起動します。(II P. 2-41)
- 16. ネットワーク接続端子 [LAN]
 10BASE-Tまたは100BASE-TXに対応したネットワークに接続します。
 PoE (Power over Ethernet) に対応したスイッチングハブと接続すれば、ACアダプターなしでも動作します。
 (イーサネットRJ-45ジャック)
- 17. パソコン接続端子 [PC] パソコンをカスケード接続できます。(PoEには 対応していません。) (イーサネットRJ-45ジャック)

- **18. ACT表示灯(緑)** 本機がデータを送受信しているときに点灯しま す。
- 19. FD表示灯(黄) ネットワークが全二重通信をしているときに点 灯します。
- 20. ACT表示灯(緑) 接続しているパソコンがデータを送受信してい るときに点灯します。
- **21. FD表示灯(黄)** 本機にパソコンを接続すると点灯します。

[底面]



22. マイク

ハンズフリー通話に使用します。

ご注意

マイクの回りに物を置いたりして、ふさがない でください。通話ができなくなります。

23. 壁掛卓上金具挿入口

壁掛卓上金具YC-280を使用するとき、金具の フックをここに挿入します。 (II ☞ P. 3-9、P. 3-13)
■ IP標準マスター端末 N-8515MS

[上面]



- ハンドセット
 ハンドセット通話をするときに使用します。
 使用時は、ハンズフリー通話用のマイクとス ピーカーは切断されます。
- **2. 番号簿** 呼び出し先の番号を記入します。

す。

- 3. 状態表示灯(赤) 着信時は点滅、通話中は点灯、待ち受け時は消 灯します。また、ページング受信中は点灯しま
- **4. スピーカー** 拡声用のスピーカーで着信音を流したり、ハン ズフリー通話に使用したりします。
- 5. 機能キー 転送先の設定、ワンタッチダイヤルの登録など の機能設定をするときに使用します。
- Uダイヤルキー 直前にしたダイヤル操作を繰り返すときに使用 します。(^{II} P. 2-7)
- 7. 転送キー 通話を他の端末に転送するときに使用します。 (^{II} ▼ P. 2-13)

- 8. PTTキー [PTT]
 連続呼び出し音で呼び出している相手に、この キーを押して音声で呼びかけることができます。
 (■ P. 2-8)
 また、ハンズフリー通話中に押すと、押した側 からの一方向通話になります。(■ P. 2-6)
- 9. ダイヤルキー 相手を呼び出したり、機能設定をするときなど に使用します。
- **10. クリアキー**[C] 通話を終了するときに使用します。
- ページング呼び出しキー
 ページング呼び出し操作をするときに使用します。(■零 P. 2-24)
- ページング応答キー ページング応答操作をするときに使用します。
 (II ● P. 2-28)
- **13. 保留キー** 通話を一時保留するときに使用します。 (II ☞ P. 2-12)



- **14. ACアダプター端子 [DC INPUT]** 付属のACアダプターAD-1210Pを接続します。
- 15. 緊急メッセージ起動端子 [CONTACT IN] 外部制御機器(スイッチ、センサーなど)を接続し、メイク信号を入力することにより、緊急 メッセージ放送を起動します。(IS P. 2-41)
- **16. ネットワーク接続端子 [LAN]** 10BASE-Tまたは100BASE-TXに対応したネッ トワークに接続します。PoE (Power over Ethernet) には対応していません。 (イーサネットRJ-45ジャック)
- 17. パソコン接続端子 [PC] パソコンをカスケード接続できます。(PoEには 対応していません。) (イーサネットRJ-45ジャック)

- **18. ACT表示灯(緑)** 本機がデータを送受信しているときに点灯しま す。
- 19. FD表示灯(黄) ネットワークが全二重通信をしているときに点 灯します。
- 20. ACT表示灯(緑) 接続しているパソコンがデータを送受信してい るときに点灯します。
- **21. FD表示灯(黄)** 本機にパソコンを接続すると点灯します。

[底面]



22. マイク

ハンズフリー通話に使用します。

ご注意

マイクの回りに物を置いたりして、ふさがないでください。通話ができなくなります。

23. 壁掛卓上金具挿入口

付属の壁掛卓上金具YC-280を使用するとき、金 具のフックをここに挿入します。 (☞ P. 3-9、P. 3-13)

■ IPドア端末 N-8540DS

[前面]



[後面]







[上面]



- 1. スピーカー 拡声用のスピーカーで着信音を流したり、ハン ズフリー通話に使用したりします。
- 2. 状態表示灯(赤) 着信時は点滅、通話中またはページング受信中 は点灯、待ち受け時は消灯します。 内部の記憶媒体(フラッシュメモリー)へデー タ書き込み中は点灯し、本機に障害があれば点 減します。(II P. 8-8)
- 3. **呼び出しボタン** あらかじめ登録されたマスター端末を呼び出す ときに使用します。
- **4. マイク** ハンズフリー通話に使用します。
- **5. ACアダプター端子** ACアダプターAD-1210Pを接続します。
- 6. 接点出力端子 [H、C]
 電子錠などの外部機器を接続できます。
 (出力容量: DC30 V、50 mA)
 (II SP. 2-39、 P. 2-40、 P. 3-32)

- **7. フレームグランド** 必ず接地してください。
- 8. ACT表示灯(緑) 本機がデータを送受信しているときに点灯しま す。
- 9. FD表示灯(黄) ネットワークが全二重通信をしているときに点 灯します。
- ネットワーク接続端子 [LAN]
 10BASE-Tまたは100BASE-TXに対応したネットワークに接続します。
 PoE (Power over Ethernet) に対応したスイッチングハブと接続すれば、ACアダプターなしでも動作します。
 (イーサネットRJ-45ジャック)

■ 多機能マスター端末 N-8000MS

[上面]



- ハンドセット
 ハンドセット通話をするときに使用します。
 使用時は、ハンズフリー通話用のマイクとス ピーカーは切断されます。
- オートダイヤルキー オートダイヤル呼び出し先を登録するときや呼び出すときに使用します。(■◎ P. 2-10)

3. 番号簿

オートダイヤルの登録内容を記入します。

4. 状態表示灯(赤)

着信時は点滅、通話中は点灯、待ち受け時は消 灯します。また、ページング受信中は点灯しま す。 5. スピーカー 拡声用のスピーカーで着信音を流したり、ハン ズフリー通話に使用したりします。

6. 液晶画面

16桁×2行の表示で、操作ダイヤルやかかって きた相手番号などを表示します。メニューキー ⑧を押すと、メニュー画面を表示します。

7. 選択キー

メニュー項目の選択、入力値の決定に使用しま す。

 メニューキー オートダイヤルの登録(■③ P. 2-10)やシステム設定(■③ 第7章)をするときに使用します。

- 9. リダイヤルキー 直前にしたダイヤル操作を繰り返すときに使用 します。(II マ P. 2-7)
- 10. 機能キー 転送先の設定、ワンタッチダイヤルの登録など の機能設定をするときに使用します。
- 11. PTTキー [PTT]
 連続呼び出し音で呼び出している相手に、この キーを押して音声で呼びかけることができます。
 (◎ P. 2-8)
 また、ハンズフリー通話中に押すと、押した側 からの一方向通話になります。(◎ P. 2-6)
- **12. ダイヤルキー** 相手を呼び出したり、機能設定をするときなど に使用します。
- **13. クリアキー**[C] 通話を終了するときに使用します。

- 14. 矢印キー [▲] [▼] [◀] [▶]
 オートダイヤルの登録(INF P. 2-10) やシステム設定(INF 第7章)をするときに使用します。
- 15. ページング呼び出しキー ページング呼び出し操作をするときに使用しま す。(■ P. 2-24)
- **16. ページング応答キー** ページング応答操作をするときに使用します。 (^{II} ● P. 2-28)
- **17. 保留キー** 通話を一時保留するときに使用します。 (**■** マ **P. 2-12**)
- 18. 転送キー
 通話を他の端末に転送するときに使用します。
 (P. 2-13)

[後面]



- 19. 外部スピーカー端子 [EXT. SP.] 外部スピーカー(8Ω、0.6 W以上)を接続でき ます。(INF P. 3-23) 外部スピーカーを使用するときは、底面のス ピーカー切換スイッチ20をEXT. SP側に切り換 えてください。
- 20. ヘッドセット端子 [HEAD SET] ヘッドセットを接続できます。 接続すると、上面のスピーカーからの音は出な くなります。

21. 回線接続端子 [LINE]

交換機と接続します。

(RJ-11モジュラージャック)

[底面]



- 22. スピーカー切換スイッチ [INT. SP / EXT. SP]
 内部スピーカー (INT. SP) または外部スピーカー (EXT. SP) の切り換えができます。
- 23. マイク

ハンズフリー通話に使用します。

ご注意

マイクの回りに物を置いたりして、ふさがないでください。通話ができなくなります。

24. 壁掛卓上金具挿入口 壁掛卓上金具YC-280を使用するとき、金具の フックをここに挿入します。 (II ● P. 3-9、P. 3-13)

■ 標準マスター端末 N-8010MS

[上面]



- ハンドセット
 ハンドセット通話をするときに使用します。
 使用時は、ハンズフリー通話用のマイクとス ピーカーは切断されます。
- **2. 番号簿** 呼び出し先の番号を記入します。
- 3. 状態表示灯(赤) 着信時は点滅、通話中は点灯、待ち受け時は消 灯します。また、ページング受信中は点灯しま
- 4. スピーカー

拡声用のスピーカーで着信音を流したり、ハン ズフリー通話に使用したりします。

5. 機能キー

転送先の設定、ワンタッチダイヤルの登録など の機能設定をするときに使用します。

- 6. リダイヤルキー 直前にしたダイヤル操作を繰り返すときに使用 します。(☞ P. 2-7)
- 7. 転送キー 通話を他の端末に転送するときに使用します。 (^{II} ▼ P. 2-13)

- 8. PTTキー [PTT]
 連続呼び出し音で呼び出している相手に、この キーを押して音声で呼びかけることができます。
 (II P. 2-8)
 また、ハンズフリー通話中に押すと、押した側 からの一方向通話になります。(II P. 2-6)
- 9. ダイヤルキー 相手を呼び出したり、機能設定をするときなど に使用します。
- **10. クリアキー**[C] 通話を終了するときに使用します。
- ページング呼び出しキー
 ページング呼び出し操作をするときに使用します。(■零 P. 2-24)
- ページング応答キー ページング応答操作をするときに使用します。
 (II ● P. 2-28)
- **13. 保留キー** 通話を一時保留するときに使用します。 (^I☞ P. 2-12)

[後面]



14. 回線接続端子 [LINE] 交換機と接続します。 (RJ-11モジュラージャック)

[底面]



15. マイク

ハンズフリー通話に使用します。

ご注意

マイクの回りに物を置いたりして、ふさがない でください。通話ができなくなります。

15. 壁掛卓上金具挿入口

壁掛卓上金具YC-280を使用するとき、金具の フックをここに挿入します。 (II P. 3-9、P. 3-13)

■ ハンズフリー専用標準マスター端末 N-8011MS

[上面]



- ページング応答キー ページング応答操作をするときに使用します。
 (II ● P. 2-28)
- ページング呼び出しキー ページング呼び出し操作をするときに使用しま す。(^{II}SP. 2-24)
- 3. 保留キー 通話を一時保留するときに使用します。 (^{II}S P. 2-12)
- 4. 状態表示灯(赤) 着信時は点滅、通話中は点灯、待ち受け時は消 灯します。また、ページング受信中は点灯しま す。
- 5. スピーカー 拡声用のスピーカーで着信音を流したり、ハン ズフリー通話に使用したりします。
- 6. 機能キー 転送先の設定、ワンタッチダイヤルの登録など の機能設定をするときに使用します。

- 7. リダイヤルキー 直前にしたダイヤル操作を繰り返すときに使用 します。(☞ P. 2-7)
- 8. 転送キー 通話を他の端末に転送するときに使用します。 (II ◎ P. 2-13)
- 9. PTTキー [PTT]
 連続呼び出し音で呼び出している相手に、この キーを押して音声で呼びかけることができます。
 (■ P. 2-8)
 また、通話中に押すと、押した側からの一方向 通話になります。(■ P. 2-6)
- 10. ダイヤルキー 相手を呼び出したり、機能設定をするときなど に使用します。
- 11. クリアキー [C] 通話を終了するときに使用します。

[後面]



[底面]



13. マイク

ハンズフリー通話に使用します。

ご注意

マイクの回りに物を置いたりして、ふさがない でください。通話ができなくなります。

14. 壁掛卓上金具挿入口

壁掛卓上金具YC-290を使用するとき、金具の フックをここに挿入します。 (■ P. 3-11、P. 3-14)

■ 工場用マスター端末 N-8020MS

[上面]



- ハンドセット
 ハンドセット通話をするときに使用します。
 使用時は、ハンズフリー通話用のマイクとス ピーカーは切断されます。
- 2. 状態表示灯(赤) 着信時は点滅、通話中は点灯、待ち受け時は消 灯します。また、ページング受信中は点灯しま す。
- 3. スピーカー 拡声用のスピーカーで着信音を流したり、ハン ズフリー通話に使用したりします。
- ページング呼び出しキー ページング呼び出し操作をするときに使用しま す。(■零 P. 2-24)
- 5. ページング応答キー ページング応答操作をするときに使用します。 (II ペ P. 2-28)
- 6. 機能キー 転送先の設定、ワンタッチダイヤルの登録など の機能設定をするときに使用します。

- 7. リダイヤルキー 直前にしたダイヤル操作を繰り返すときに使用 します。(IN P. 2-7)
- 8. 転送キー 通話を他の端末に転送するときに使用します。 (☞ P. 2-13)
- 9. ダイヤルキー 相手を呼び出したり、機能設定をするときなど に使用します。
- **10. 保留キー** 通話を一時保留するときに使用します。 (II ☞ P. 2-12)
- 11. PTTキー [PTT]
 連続呼び出し音で呼び出している相手に、この キーを押して音声で呼びかけることができます。
 (□ <>>> P. 2-8)
 また、ハンズフリー通話中に押すと、押した側 からの一方向通話になります。(□ <>>>>> P. 2-6)
- 12. クリアキー [C] 通話を終了するときに使用します。

[後面]



13. 回線接続コード [LINE] 交換機と接続します。 (RJ-11モジュラープラグ付き、3 m)

保護カバーは取り外さないでください。

14. 外部スピーカー端子 [EXT. SP.] 外部スピーカー(8Ω、0.6 W以上)を接続でき ます。接続するときは、保護キャップを付属の ゴムブッシングに付け換えてください。 (II P. 3-23) 外部スピーカーを使用するときは、底面のス ピーカー切換スイッチ⑯をEXT. SP側に切り換 えます。

15. 制御出力端子 [CONTACT OUT]
 着信を表示する機器(別途製作)を接続できます。呼び出し中のみメイクします。
 (出力容量:DC30 V、50 mA)
 接続するときは、保護キャップを付属のゴムブッシングに付け換えてください。
 (II ● P. 3-23)



- 16. スピーカー切換スイッチ [INT. SP/EXT. SP] 保護カバーを外すと、内部にスイッチがありま す。内部スピーカー(INT. SP)または外部ス ピーカー(EXT. SP)の切り換えができます。 切り換えた後は、保護カバーを必ず元どおりに 取り付けてください。
- 17. マイク

ハンズフリー通話に使用します。

ご注意

マイクの回りに物を置いたりして、ふさがない でください。通話ができなくなります。

[底面]

■ ハンズフリー専用埋込型マスター端末 N-8031MS





- 1. 状態表示灯(赤) 着信時は点滅、通話中は点灯、待ち受け時は消 灯します。また、ページング受信中は点灯しま す。
- ページング呼び出しキー ページング呼び出し操作をするときに使用しま す。(ISP P. 2-24)
- 3. 保留キー 通話を一時保留するときに使用します。 (№ P. 2-12)
- 4. PTTキー [PTT]
 連続呼び出し音で呼び出している相手に、この キーを押して音声で呼びかけることができます。
 (II P. 2-8)
 また、ハンズフリー通話中に押すと、押した側
- からの一方向通話になります。(III P. 2-6) 5. スピーカー
 - 拡声用のスピーカーで着信音を流したり、ハン ズフリー通話に使用したりします。
- ページング応答キー ページング応答操作をするときに使用します。
 (II ● P. 2-28)
- 7. 機能キー 転送先の設定、ワンタッチダイヤルの登録など の機能設定をするときに使用します。





- 8. リダイヤルキー 直前にしたダイヤル操作を繰り返すときに使用 します。(IST P. 2-7)
- 9. 転送キー 通話を他の端末に転送するときに使用します。 (☞ P. 2-13)
- 10. ダイヤルキー 相手を呼び出したり、機能設定をするときなど に使用します。
- 11. クリアキー [C] 通話を終了するときに使用します。
- **12. マイク** ハンズフリー通話に使用します。
- 13. 回線接続端子 [CN101]
 交換機と接続します。(ピンヘッダー)
 ※ 工場出荷時は付属の着脱式ターミナルプラグ (2P)が装着されています。(II P. 3-22)
- 14. ハンドセット接続端子 [CN302] 専用のオプションハンドセットRS-191を接続で きます。(IN P. 3-24)
- 15. 外部ダイヤル入力端子 [CN306] フットスイッチなどの外部スイッチを接続でき ます。(II PR P. 3-25) 使用するときは、ワンタッチダイヤルの登録が 必要です。(II PR P. 2-11)

| ドア端末 N-8050DS

[前面]



- 1. スピーカー 拡声用のスピーカーで着信音を流したり、ハン ズフリー通話に使用したりします。
- 2. 状態表示灯(赤)

着信時は点滅、通話中は点灯、待ち受け時は消 灯します。また、ページング受信中は点灯しま す。

3. 呼び出しボタン

あらかじめ登録されたマスター端末を呼び出す ときに使用します。

4. マイク

ハンズフリー通話に使用します。

[後面]



- 5. 回線接続端子 [LINE]
 交換機と接続します。
 (ターミナルブロック)(^{IC} P. 3-22)
- 6. 接点出力端子 [H、C]
 電子錠などの外部機器を接続できます。
 (出力容量: DC30 V、50 mA)
 (II P. 2-39、P. 2-40、P. 3-25)

システムの機能一覧表

■ 基本の機能

交換機と端末によるシステムまたはIP端末で、次の機能が実現できます。

機能名		1917 775	参照ページ	
				設定
2者通話	ハンズフリー通話	ハンドセットを取り上げずに相手を呼び出したとき や、自動着信モードで着信したときなどは、手を使わ ずに通話ができます。	P. 2-5	
	ハンドセット通話	ハンドセットを取り上げて相手を呼び出したり、応答 したりできます。	P. 2-6	
	PTT通話	ハンズフリー通話中に、PTTキーを押すと、押した側 からの一方向通話になり、離すと相手側からの一方向 通話になります。周囲騒音が大きい場所にいる相手と の通話中に使用します。	P. 2-6	
呼び出し	個別呼び出し	通話したい相手の端末番号をダイヤルして、呼び出す ことができます。	P. 2-6	
	リダイヤル	リダイヤルキーを押すと、最後に行ったダイヤル操作 を、もう一度行うことができます。 N-8000MS/8500MSの場合のみ、最新10件から選択で きます。	P. 2-7	
	リコール	[#/▲] キーを押すと、最後に通話した相手(呼び出 しをかけてきた相手、または呼び出した相手)を呼び 出すことができます。 N-8000MS/8500MSの場合のみ、最新10件から選択で きます。	P. 2-8	
	音声呼び出し	連続呼び出し音で呼び出している相手に、PTTキーを 押すことで、音声で呼びかけることができます。 PTTキーを離すと、連続呼び出し音に戻ります。	P. 2-8	
	グループ呼び出し	端末に同時呼び出し端末が設定されていると、その端 末番号をダイヤルしたときに、その端末と同時呼び出 し端末すべてが、着信モードの設定に関係なく連続呼 び出し音で呼ばれます。いずれかの端末が応答すれば、 他の端末への呼び出しは終了します。	P. 2-9	P. 5-54 P. 5-59
	マスター呼び出し	ドア端末の呼び出しボタンを押すと、あらかじめ登録 されたマスター端末を呼び出すことができます。	P. 2-6	P. 5-56 P. 5-62
着信選択	自動着信	着信があれば短い着信音の後(約1秒間)または無音 で即時、自動的に通話状態になります。	P. 2-9	P. 5-54 P. 5-59
	連続呼び出し	連続した呼び出し音(または無音)と状態表示灯で、 応答するまで呼び出し続けます。	P. 2-9	P. 5-54 P. 5-59

第1章 システム概要

機能名		概要		参照ページ	
				設定	
短縮 ダイヤル	オートダイヤル (N-8000MS/ 8500MSのみ)	端末ごとに、専用のオートダイヤルキーにあらかじめ ダイヤル操作(最大20桁)を登録しておくと、ワン タッチで発信などができます。	P. 2-10	P. 2-10	
	ワンタッチ ダイヤル	端末ごとに、[7]、[8]、[9]、[0] キーまたはオフ フック(ハンドセットを持ち上げた状態)にあらかじ めダイヤル操作(最大20桁)を登録しておくと、ワン タッチで発信などができます。	P. 2-11	P. 2-11 P. 5-56 P. 5-62	
保留	マイクオフ	通話中にダイヤルキー([0] ~[9])のいずれかを 押すと、押している間だけマイクを切って、相手にこ ちらの会話を聞かれないようにすることができます。	P. 2-12		
	一時保留	通話中に保留キーを押すと両者に保留音が鳴って保留 状態になります。もう一度押すと保留は解除され、元 の通話に戻ります。	P. 2-12		
転送*		転送キーを操作して、2者通話状態から、第3者を呼 び出して通話し、その後元の通話に戻ることや、元の 通話相手と第3者の通話状態にすることができます。	P. 2-13		
自動転送	話中転送	通話中に着信があったとき、着信端末に話中転送が設 定されていると自動的に転送されます。	P. 2-15	P. 2-16 P. 5-32/ 51/54/59	
	不応答転送	着信があったとき、着信端末に不応答転送設定があり 一定時間応答しないと自動的に転送されます。	P. 2-17	P. 2-17 5-32/ 51/54/59	
	不在転送	着信があった場合、着信端末が不在転送状態ならば、 呼び出し音を鳴らさずに、自動的に転送されます。 不在転送には2種類あり、転送先を設定すればすぐに 不在転送状態になる手動による不在転送と、転送先を 設定しても指定時刻になるまでは不在転送状態になら ない時刻連動不在転送があります。	P. 2-18	P. 2-18 P. 2-19 P. 5-32 P. 5-51 P. 5-54 P. 5-59	
代理応答*		他の端末に着信があったとき、その端末と自席の端末 が同ーグループに設定されていた場合に、PTTキーを 押すと、自席の端末で代わりに呼び出しに応答して通 話できます。	P. 2-20	P. 2-21 P. 5-67	
緊急割り込み*		呼び出した相手端末が使用中で話中音が流れている場合、[9] キーを押すと、割り込み音を数秒流した後、 相手端末の通話を強制的に終了させた後、呼び出すこ とができます。 割り込み操作できる端末、割り込みを拒否できる端末 を端末ごとに設定できます。	P. 2-22	P. 5-54 P. 5-59	

* 交換機N-8010EXに接続されている端末の場合は、これらの機能の使用に制限があります。詳しくは、各機能の操作のページをお読みください。

機能名		概要		参照ページ	
				設定	
ページン グ呼び出 し	系統ページング	あらかじめ設定されたエリア(系統)の1つに呼び出 し放送ができます。	P. 2-24	P. 5-64	
	選択ページング	あらかじめ設定された複数のエリア(系統)から最大 10系統を選択して呼び出し放送ができます。	P. 2-25	P. 5-64	
	一斉ページング	あらかじめ設定されたすべてのエリア(系統)に、一 斉に呼び出し放送ができます。	P. 2-26	P. 5-64	
ページン グ応答	自動応答	ページング応答操作をすると、操作端末が最後に受信 したページング系統に応答します。	P. 2-28	P. 5-32 P. 5-51	
	系統番号指定応答	ページング応答操作をすると、指定した系統へ最後に 放送した端末に応答します。	P. 2-29	P. 5-32 P. 5-51	
スキャンモニター		端末から、あらかじめ登録された任意の複数端末の周 囲音声を登録順にモニターすることができます。	P. 2-30	P. 5-57 P. 5-63	
ドアリモート (N-8050DS/8540DS 使用時のみ)		ドア端末の接点出力を利用して、電子錠などの外部機 器を制御することができます。 ドア端末と通話中のマスター端末からドアリモート操 作をすると、ドア端末の接点出力が一定時間メイクし ます。	P. 2-39	P. 5-32 P. 5-51	
呼び出し・通話連動接点出力 (N-8050DS/8540DS 使用時のみ)		ドア端末の接点出力が自端末の状態に連動してメイク します。呼び出し、通話に連動して回転灯、カメラな どを制御することができます。	P. 2-40	P. 5-32 P. 5-51	
時間制限		交換機、マルチインターフェースユニット、またはIP 端末ごとに、あらかじめ制限時間(10~990秒)を決 めておくと、呼び出し、通話、およびページングの時 間を制限することができます。	P. 2-22	P. 5-32 P. 5-51	
限定局呼び出し		グループ(最大31)を決め、グループ相互間の呼び 出しの可否を任意に設定することができます。	P. 2-23	P. 5-65	
端末スピーカー音量設定		端末のスピーカー音量を調節することができます。	P. 2-4	P. 5-54/59	
周囲騒音測定			P. 2-5		

■ IPマスター端末の機能

IPマスター端末N-8500MS/8510MS/8515MSで、次の機能が実現できます。

144 44 4		参照ページ	
微能者	城	操作	設定
緊急メッセージ放送	IPマスター端末のキー操作または外部からIPマスター 端末への制御入力により、あらかじめ録音された緊急 メッセージを放送できます。緊急メッセージ放送の起 動に連動して、マルチインターフェースユニットの接 点出力にメイク信号を出すこともできます。		P. 5-58 P. 5-71

■ マルチインターフェースユニットの機能

マルチインターフェースユニットN-8000MIを追加すると、次の機能が実現できます。

機能名			参照ページ	
		【1111】	操作	設定
外部入力ページング		マルチインターフェースユニットに演奏機器やリモー トマイクなどを接続し、制御入力から起動をかけると、 あらかじめ登録したページング系統に放送できます。		P. 5-42 P. 5-44
PBX接続		マルチインターフェースユニットをPBXのODトラン クと接続すると、N-8000システムの端末とPBXの内 線電話機の間で相互に呼び出しや通話をしたり、PBX の内線電話機からページング呼び出しなどをしたりす ることができます。		P. 5-42
タイライン接続		4線の私設線を介してマルチインターフェースユニットを別のインターカム交換機(EXES-2000、EXES-6000、 EXES-7000)と接続すると、別の交換機の端末と相互に呼び出しや通話を行ったり、別の交換機へのページング呼び出しを行ったりすることができます。	P. 2-33	P. 5-42
BGM		マルチインターフェースユニットに演奏機器などを接続すると、各端末から最大8チャンネルのBGMを選択して、待ち受け状態のときに端末のスピーカーから聞くことができます。	P. 2-35	P. 5-32 /42/51 /54/59
外部機器 制御	ワンショットメイ ク出力	端末を操作して、指定したマルチインターフェースユ ニットの接点にワンショットメイク出力を出すこと で、外部機器を制御することができます。	P. 2-37	P. 5-40 /46/54 /59
	メイク/ブレイク 出力	端末を操作して、指定したマルチインターフェースユ ニットの接点にメイク出力またはブレイク出力を出す ことで、外部機器を制御することができます。	P. 2-37	P. 5-46 P. 5-54 P. 5-59
発呼局表示/CCTV連動		通話に連動してマルチインターフェースユニットの接 点出力にメイク信号を出すことで、発呼局表示をする ことや、CCTVを制御することができます。	P. 2-38	P. 5-32 /51/54 /59
ドアリモート		端末を操作して、マルチインターフェースユニットの 接点にワンショットメイク出力を出すことで、電子錠 などの外部機器を制御することができます。 通話中の端末からドアリモート操作をすると、あらか じめ設定されたマルチインターフェースユニットの接 点出力が一定時間メイクします。	P. 2-39	P. 5-32 P. 5-40 P. 5-54 P. 5-59
リモートダイヤル		マルチインターフェースユニットの接点入力がメイク されると、あらかじめ指定された端末で、設定された ダイヤル操作を自動的に行います。	P. 2-43	P. 5-44
接点ブリッジ		マルチインターフェースユニットの接点入力を接点出 力に伝送することができます。	P. 2-44	P. 5-44
ページングビジー入力		外部に接続した拡声ページング機器のビジー状態を通 知することができます。	P. 2-44	P. 5-44
システム診断		マルチインターフェースユニットからネットワーク経 由でシステムの状態を診断し、その結果を接点出力に 出力します。	P. 2-45	P. 5-46

ページング (呼び出し放送)機能の概要

ページングの形態には、①拡声機器を介して放送する拡声ページングと、②端末のスピーカーに放送するス テーションページングがあります。

どちらの形態にも、①1つのエリアに放送する系統ページング、②選択した複数のエリアに放送する選択ページング、③すべてのエリアに放送する一斉ページングの機能があります。

■ ページング呼び出しの形態

● 拡声ページング(N-8000EX/8000MI使用時のみ)

交換機N-8000EXのページング出力端子またはマルチインターフェースユニットN-8000MIの音声出力端子に 拡声放送機器を接続すると、端末からのダイヤル操作で拡声ページングをすることができます。

● ステーションページング

端末からのダイヤル操作で端末のスピーカーにステーションページングをすることができます。

通話中の端末にステーションページングをかけた場合、通話中の端末を除いて放送する「通話優先」モード と通話を保留して放送を流す「ページング優先」モードのどちらかを選択できます。設定は付属のN-8000ソ フトウェアで行います。



■ ページング呼び出しの機能

● 系統ページング

1つのエリアに呼び出し放送ができます。 拡声ページングの場合は、任意の拡声ページング出力を系統番号に割り当て、ステーションページングの場 合は、任意の端末を系統番号に割り当てます。 拡声のみ、端末のみ、拡声十端末のいずれを選択することもできます。 設定は付属のN-8000ソフトウェアで行います。設定する端末、拡声出力に制限はありません。

● 選択ページング

端末からのダイヤル操作で、任意の複数のページング系統を選択して呼び出し放送を流すことができます。 一度に選択できる系統数は、最大10系統です。

● 一斉ページング

系統ページングで設定したすべてのエリアに呼び出し放送ができます。



■ ステーションページングの受信モード

ステーションページングを受信する端末は、次の2つのモードで動作します。 ただし、端末に接続されている交換機がN-8010EXの場合は、通話優先モードに固定されます。 モードの設定は、付属のN-8000ソフトウェアで行います。

● 通話優先モード

- ページング開始時に、待ち受け状態の場合は、ページングを受信します。通話中、ダイヤル途中などの場合は、ページングを受信しません。
- ページング受信中に他の端末から着信があっても、呼び出し状態にはならず、ページング受信を継続します。
 す。呼び出した端末では話中音が聞こえます。

通話中にページングがあって、通話終了時にまだページングが継続している場合は、通話が終わるとペー ジングが始まり、ページング受信状態に変わります。

※ ページング受信中にも、ダイヤル操作はできます。

● ページング優先モード

- ・ページング開始時に、待ち受け状態の場合は、ページングを受信します。通話中の場合は、その状態を保 持してページングを受信します。通話中は通話相手がページング系統に属していない場合、保留音を流し ます。
- ・ページング受信中に他の端末から着信があった場合は、話中になりページング受信を継続します。
 ページング終了時にまだ通話が終了していなかった場合は、通話状態になります。
- ※ ページング受信中に、ダイヤル操作はできません。(ページング受信中の端末からページング応答をする こともできません。)

■ ページング応答

ページング呼び出しを聞いた人が端末で応答操作をすると、ページング呼び出しをした端末と通話ができます。ページング応答には次の2種類があります。設定は付属のN-8000ソフトウェアで行います。

● 自動応答

ページング応答操作をすると、操作端末のページング系統に最後に放送した端末を呼び出して通話ができます。 ページング応答は呼び出された系統の端末から行います。各系統の放送エリアが独立している場合は、この モードに設定します。また、拡声用スピーカーを併用している場合は、マスター端末と拡声用スピーカーの 系統が一致している必要があります。



● 系統番号指定応答

ページング呼び出しのときに、どの系統に放送しているのかを伝え、その系統の番号を指定して応答します。 ページング応答操作をすると、指定した系統に最後に放送した端末を呼び出して通話ができます。 複数の系統の放送が聞こえる場所がある場合や、拡声ページングのみを行う場合は、このモードに設定します。 ページング応答は、呼び出された系統の端末から行います。また、呼び出された系統の端末および拡声ペー ジング出力と同じ交換機に接続しているどの端末からも応答することができます。



| 緊急メッセージ放送機能の概要

IPマスター端末N-8500MS/8510MS/8515MSを使用して、緊急連絡システムを構築することができます。 IPマスター端末にあらかじめメッセージを登録しておき、その端末のキー操作または外部制御入力により、 自動的にメッセージを放送できます。メッセージの放送先は、ページング機能の場合と同様で、拡声放送機 器または端末のスピーカーなど、任意に設定できます。

緊急メッセージ放送が起動されると、放送先の通話やページングがすべて中断され、緊急メッセージ放送が 行われます。起動に連動して、監視カメラ、電子錠などを制御することもできます。



■ 緊急メッセージの録音

- パソコンへの緊急メッセージの録音およびパソコンからIPマ
- スター端末への登録はN-8000設定ソフトウェアで行います。
- ●標準メッセージをインストールして登録することができます。
- ●オリジナルメッセージを録音して登録することもできます。
- ●IPマスター端末1台ごとに異なるメッセージを登録できます。
- 最大20秒のメッセージを録音、登録できます。



■ 登録されているメッセージの確認

IPマスター端末に登録されているメッセージをその端末で確認することができます。

IPマスター端末が待ち受け状態のときに、ページング呼び出しキーを押し、 次にページング応答キーを押すと、その端末に登録されているメッセージを 確認することができます。



■ 緊急メッセージ放送の起動

● 緊急メッセージ放送の起動方法

2とおりの起動方法があります。

(1) IPマスター端末のページング呼び出しキーを4回押すことで、その端末に録音されている緊急メッセージを起動できます。



ご注意

操作するIPマスター端末が使用中のときは、緊急メッセージ放送を起動できません。待ち受け状態にし てから操作してください。

例外として、通話優先モードに設定されているシステムで、ページング受信中のときは、緊急メッセージ放送の起動が優先されます。(次ページ参照)

(2) IP標準マスター端末N-8510MS/8515MSの場合のみ、後面の緊急メッセージ起動端子にスイッチ、セン サーなどの外部機器を接続して、メイク信号の入力で起動させることもできます。メイク信号を入力するIPマスター端末が使用中であっても、その使用を中止して、緊急メッセージ放送を起動します。



N-8510MS/8515MSの場合、使用できる起動方法をN-8000設定ソフトウェアで設定します。

● 緊急メッセージ放送起動の条件

起動方法 端末の状態	(1)端末の操作による起動	(2)外部接点入力による起動(N-8510MS/8515MSのみ)
待ち受け状態	0	0
着信中	×	0
通話中	×	0
呼び出し中	×	0
ページング呼び出し中	×	0
ページング着信中	通話優先モードのとき :〇 ページング優先モードのとき:X	0

┃緊急メッセージ放送の放送先

IPマスター端末ごとに設定した、任意の1つのページング系統(例:一斉)に放送できます。 放送先の設定はN-8000設定ソフトウェアで行います。

■ 緊急メッセージ放送の終了

放送を起動したIPマスター端末のクリアキーを押すと、緊急メッセージ放送は終了します。 終了の操作をするまで繰り返し放送するか、または1~10回の範囲で繰り返し回数を設定することができま す。 回数制限が設定されていても終了の操作が優先します。

回数制限の設定は、付属のN-8000設定ソフトウェアで行います。

ご注意

IP標準マスター端末の緊急メッセージ起動端子をブレイクしても、放送は終了しません。端末のクリアキー を押すか、繰り返し回数を設定してください。

■ 緊急メッセージ放送の優先度

緊急メッセージ放送は、通話、他のページングよりも優先度が高い放送です。 緊急メッセージの放送先が動作中の場合は、すべて強制終了して、緊急メッセージを放送します。緊急メッ セージ放送により強制終了した動作は、緊急メッセージ放送が終了しても復旧しません。

■ 接点連動制御

緊急メッセージ放送の起動に連動して、マルチインターフェースユニットN-8000MIの接点出力をメイクする ことができます。メイクのタイミングは、緊急メッセージ起動中メイクとワンショットメイクの2種類があり ます。





マルチインターフェースユニットN-8000MIを使って実現する機能について説明します。

外部入力ページング

N-8000MIにリモートマイクや演奏機器などを接続して、任意の系統に放送できます。





N-8000MIの音声出力端子に拡声放送機器を接続すると、端末からのダイヤル操作で拡声ページングをすることができます。





N-8000MIをEXES-2000/6000/7000などと接続し、通話やページングができます。 配線は1回線あたり2ペアで、接続先のインターカムシステムにはタイライン接続ユニット(EXES-2000には TI-20A、EXES-6000にはTI-600、EXES-7000にはE-7000TI)が実装されている必要があります。



* 0 dB = 1 V

■ PBXインターフェース(SS-SR方式)

N-8000MIをPBXと接続して電話機と相互通話や電話機からのページング放送ができます。TTC標準に準拠しており、PBX標準のODトランクと1回線あたり3ペアで接続します。アースリターン方式ですので、接地をするか、別にグランド線を接続する必要があります。



BGM

N-8000MIに演奏機器などを接続して、待ち受け状態の端末のスピーカーにBGMを流すことができます。 BGMは各端末で最大8チャンネルの中から任意に選択することができます。



ご注意

BGMは通話やページングに比べ優先順位が低いので、通話路がふさがっているときに他の端末が通話やページングを行うと、BGMを聴いている端末が何の操作もしなくてもBGMが途切れることがあります。特に、 N-8010EXは通話路が少ないため、BGMが途切れる頻度が高くなります。

▌接点入出力機能

N-8000MIの接点入出力を使用して以下の機能を実現できます。

● 外部機器制御

通話に連動して、あるいは端末から操作して、N-8000MIの接点にワンショットメイク出力またはメイク/ブレイク出力を出すことで、外部機器を制御することができます。 例えば、ドアリモート制御、発呼局表示、投薬表示器の制御などができます。



● リモートダイヤル

N-8000MIの接点入力がメイクされると、任意の端末が自動的にダイヤルします。1つの接点入力に最大20の ダイヤルコード(ダイヤル番号、キー操作)を設定できます。 例えば、センサーからの信号に連動して通話を開始することができます。

ご注意

リモートダイヤルを起動するには、接点入力を50 ms以上メイクする必要があります。



● 接点ブリッジ機能(外部接点連動)

ネットワークを介して接点信号を伝送できます。



● ページングビジー入力

空港などの大規模放送システムと連動する場合、上位システムのビジー状態を受け取ることができ、重要な 放送を確実に伝えることができます。



● システム診断

N-8000MIがシステムの状態を診断し、その結果をN-8000MIの接点出力に出力する機能です。システムの診 断は、診断対象の機器にネットワーク接続して行います。 接点出力は異常のときにのみメイクします。その後、正常と判断した時点でブレイクします。

後点山力は異常のとさにののメイノしより。その後、正常と判断した時点でノレイノしより 診断できるのは、交換機の回線状態とネットワーク接続機器のネットワーク状態です。

ご注意

診断は一定時間*おきに行われます。そのため、リアルタイムに診断結果が出力されるわけではありません。 また、診断と次の診断までの変化を検出することはできません。

*診断結果は20秒以内に更新されます。



第2章

機能と操作のしかた

この章では、システムの機能と操作のしかたについて説明します。

基本的な使いかた

交換機に接続されている端末もIP端末も使いかたは同じです。



1 呼び出す端末の番号を押す。

- ※ ハンドセットを置いたままでも、持ち上げていて もダイヤルできます。
- 発呼端末の内部スピーカーから呼び出し音が聞こえ ます。
- ※ハンドセットを持ち上げてダイヤルした場合には、 呼び出し音は、マスター端末のハンドセットから 聞こえます。
- ※話中音が聞こえたら、そのままお待ちください。 相手の通話が終わり次第、呼び出します。
- 2 呼び出し音が止まり、呼び出された端末が応答したら、通話を始める。
 - ※ 自動着信モード*に設定されているときは、呼び 出し音が1度鳴った後、すぐに通話を始めること ができます。 連続呼び出しモード*に設定されているときは、 呼び出し音が鳴り続けます。呼び出された端末が 応答すると、呼び出し音が止まり、通話を始める ことができます。
- 3 通話を終えるときは、クリアキーを押すか、ハンドセットを置く。
- f = f + i
- * 自動着信モード・連続呼び出しモードの設定は、付属のN-8000ソフトウェア(P. 5-54、5-59) で行い ます。

ご注意

呼び出しまたは通話の制限時間が設定されていると、制限時間が経過すると自動的に呼び出しまたは通話が 終了します。

制限時間(10~990秒で10秒単位)は、あらかじめ付属のN-8000ソフトウェアで交換機またはIP端末ごとに設定されています。(🖙 P. 5-32、5-51)

■ドア端末から呼び出す

1 呼び出しボタンを押す。

※ あらかじめ登録されたマスター端末を呼び出します。

発呼端末の内部スピーカーから呼び出し音が聞こえます。

※ドア端末がドアホンモードに設定されていない場合は、相手のマスター端 末が話中のときに、話中音が聞こえます。話中音が聞こえたら、そのまま お待ちください。相手の通話が終わり次第、呼び出します。

[ドア端末がドアホンモードに設定されている場合]

呼び出し相手の着信モードの設定に関係なく、呼び出し音は1回しか流れません。また、この場合は呼び出し制限時間が30秒に設定されますので、30秒が 経過しても相手が応答しないときは自動的に呼び出しが終了します。

[ドア端末がドアホンモードに設定されていない場合]

相手のマスター端末が自動着信モードに設定されているときは、呼び出し音が 1度鳴った後、すぐに通話を始めることができます。 相手のマスター端末が連続呼び出しモードに設定されているときは、呼び出し 音が鳴り続けます。呼び出された端末が応答すると、呼び出し音が止まり、通 話を始めることができます。

ご注意

ドア端末から呼び出しを終了することはできません。

2 呼び出された端末が応答したら、通話を始める。

[ドア端末がドアホンモードに設定されている場合] 通話制限時間が30秒に設定されますので、30秒が経過すると自動的に通話が 終了します。

メモ

マスター端末がハンドセットを取り上げる、保留キーや転送キーを押すなどの 操作をすると、30秒の制限はなくなります。

[ドア端末がドアホンモードに設定されていない場合] 相手のマスター端末が通話終了の操作をするまで通話できます。

ご注意

ドア端末から通話を終了することはできません。

- ※ 呼び出し先のマスター端末をあらかじめ登録する必要があります。登録は、付属のN-8000ソフトウェア (■ P. 5-56、5-62)または多機能端末の操作(■ P. 7-8)で行います。
- ※ドアホンモードの設定は、付属のN-8000ソフトウェア(№ P. 5-54、5-59)で行います。







■ 呼び出しを受ける

- マスター端末の場合
- 7 呼び出しを受けて、通話する。
- 1-1 自動着信モード*に設定されている場合 呼び出し音が1度鳴った後、すぐに相手の声が内部のスピー カーから聞こえますので、そのまま端末に向かって話します。 ハンドセットを持ち上げて通話することもできます。
- **1-2** 連続呼び出しモード*に設定されている場合
 - 任意のキーを押してハンズフリーで通話するか、ハンドセット を持ち上げて通話します。

メモ

ヘッドセットを接続している場合、呼び出し音は、端末上面の スピーカーからも流れます。 ハンドセットを持ち上げると、ハンドセット通話になります。

2 通話を終えるときは、クリアキーを押すか、ハンドセットを置く。

* 自動着信モード・連続呼び出しモードの設定は、付属のN-8000ソ フトウェア(INST P. 5-54、5-59)で行います。

● ドア端末の場合

マスター端末からの呼び出しを受けると、呼び出し音が1度鳴った後、すぐに相手の声が内部のスピーカーか ら聞こえますので、そのまま端末に向かって話してください。

ドア端末から通話を終える操作はできません。通話相手のマスター端末が通話を終える操作をするか、また はあらかじめ設定された通話制限時間が経過したら、通話が終了します。

■ 端末スピーカー音量の設定

マスター端末のスピーカーの音量は付属のN-8000ソフトウェアであらかじめ設定できますが、端末からの操作でも調節することができます。出力レベルは5段階(3 dBステップ)で変更できます。

・音量を大きくするには、通話中に [#/▲] キーを押す。

・音量を小さくするには、通話中に [*/▼] キーを押す。

※ 変更した音量は、通話終了後も維持されます。







■2者通話

● ハンズフリー通話

ハンドセットを取り上げずに相手を呼び出したときや、自動着信モードで着信したときなどは、ハンドセットを使わずに通話ができます。



[周囲騒音測定機能について]

ハンズフリー通話を適切に行うために、端末の設置されている場所の周囲騒音を測定し、端末内部の設定を 行う機能があります。(IP端末の場合は、常にハンズフリー通話が適切に行えるようになっていますので、測 定の必要はありません。)

周囲騒音が大きい方からの一方向通話になってしまうなど、ハンズフリー通話が正しく行えないときは、次の操作を行って、周囲騒音を測定し直してください。

ハンドセットを置いた状態で、[*/▼]キーを押してから、[#/ ▲]キーを押す。 測定が開始され、N-8000MSの場合は液晶画面に「ソクテイ」と表示 されます。 約5秒後に確認音が流れ、測定は終了します。



ソクテイ

メモ

交換機への電源投入時および端末の回線接続時には、自動的に周囲騒 音を測定します。測定中は端末の状態表示灯が点滅し、ダイヤル操作 はできません。

[2者ともハンズフリー通話時の動作]

2台の端末が両方ともハンズフリー通話をする場合、エコーキャンセラー*と音声スイッチを使った同時通話 となります。この通話中はマイクで集音される音の変化に応じて、常に端末内部の設定(音の反射条件のパ ラメーター)を更新し、最適な通話になるようにしています。

端末を新しい環境に設置した後や、端末の環境が大きく変化した後に、両方の端末がハンズフリー通話をした場合、ハウリングが起こることがありますが、しばらく通話を続けると正常に通話できるようになります。 ただしハウリングがおさまらない場合は、マイク感度・スピーカー出力の調節を行ってください。

※ マイク感度・スピーカー出力の設定は、付属のN-8000ソフトウェア(☞ P. 5-54、5-59)で行います。 マスター端末のスピーカー出力の設定は端末でも行えます。(☞ P. 2-4)

* エコーキャンセラー機能は、端末のスピーカーから出る音がマイクで集音されることにより起こるハウリ ングを抑制する機能ですが、ハウリングを完全に抑制することができないため、通常は、音声スイッチと 併用して使用されます。 ● ハンドセット通話

ハンドセットを取り上げて相手を呼び出したり、応答したりできます。



● PTT通話

周囲騒音が大きい場所にいる相手との通話中に使用します。

ハンズフリー通話中に、PTTキーを押すと、押した側からの一方向通話になり、離すと相手側からの一方向 通話になります。

両端末が操作している場合は、後押し優先となります。



■ 呼び出し

● 個別呼び出し

- ・通話したい相手の番号を押すと、相手を呼び出せます。
 (ハンドセットを取り上げずにダイヤルしても相手を呼び出せます。)
- ・相手が応答して、呼び出し音が止まったら通話できます。
- ・相手が通話中などで呼び出せないときは、話中音が出ます。
 そのままの状態で待っていると、相手の通話が終わりしだい呼び出します。

● マスター呼び出し

ドア端末の呼び出しボタンを押すと、あらかじめ登録されたマスター端末を呼び出せます。

※ 呼び出し先のマスター端末をあらかじめ登録する必要があります。登録は、付属のN-8000ソフトウェア (■ P. 5-56、5-62)または多機能端末の操作(■ P. 7-8)で行います。
M 1

● リダイヤル

リダイヤルキーを使って、最後に行ったダイヤル操作を、もう一度行うことができます。 多機能マスター端末N-8000MS、IP多機能マスター端末N-8500MSの場合のみ、最新10件から任意に選択す ることができます。

メモ

リダイヤルキーに登録されるのは、ダイヤルキー(12種類)、ページング呼び出しキー、機能キーです。

[N-8010MS/8011MS/8020MS/8031MS/8510MS/8515MSの場合]

リダイヤルキーを押す。

[最後にページング呼び出しをしていたときの例]

最後に行ったダイヤル操作(個別呼び出しやページン グ呼び出しなど)が、もう一度行われます。

	IJダイヤル	「 」 呼び出し	
れま	USTTU Rm	[199] 「リタ゛イヤル 0:1001	

[N-8000MS/8500MSの場合]

- 1 リダイヤルキーを押す。 液晶画面に最近のダイヤル操作のデータが表示されます。
- 2 上下矢印キーを押して、かけたいダイヤルを表示させる。

下矢印キーを押すと、新しい順に過去10件までのダイ ヤルデータが表示されます。数字が小さい方が新しく、 一番新しいものが0です。

3 選択キーまたはリダイヤルキーを押す。 表示されたダイヤルの操作(個別呼び出しやページング 呼び出しなど)が実行されます。 0:1001



ヨビ゚゚゚ゞシ

選択

1203	ТОА	

● リコール

[#/▲] キーを使って、最後に通話した相手(呼び出しをかけてきた相手、または呼び出した相手)を呼び出 すことができます。 多機能マスター端末N-8000MS、IP多機能マスター端末N-8500MSの場合のみ、最新10件から任意に選択す ることができます。

[N-8010MS/8011MS/8020MS/8031MS/8510MS/8515MSの場合]

[#/▲] キーを押す。 最後に通話した相手(呼び出しをかけてきた相手、ま たは呼び出した相手)を呼び出します。



[N-8000MS/8500MSの場合]

1 [#/▲] キーを押す。

液晶画面に最近の通話相手 (呼び出しをかけてきた相手、 または呼び出した相手)のダイヤルデータが表示されま す。

2 上下矢印キーを押して、かけたいダイヤルを表示 させる。

下矢印キーを押すと、新しい順に過去10件までのダイ ヤルデータが表示されます。数字が小さい方が新しく、 一番新しいものが0です。

3 選択キーまたは [#/▲] キーを押す。 表示されたダイヤルの操作が実行されます。





リコール 8:1111



● 音声呼び出し

連続呼び出し音で呼び出している相手に、音声で呼び かけることができます。

・連続呼び出し音で呼び出しているときに、PTT キーを押して呼びかける。 押している間は呼び出し音が止まり、相手にこちら

押している间は呼び出し音が止まり、相子にこらら の音声が届きます。

・PTTキーを離す。
 連続呼び出し音に戻ります。



● グループ呼び出し

・端末にグループ呼び出しのメンバー端末が設定されていると、その端末番号をダイヤルしたときに、その端末(代表端末)とメンバー端末すべてが、着信モードの設定に関係なく連続呼び出し音で呼ばれます。
 代表端末が話中のときでも、メンバー端末のすべてが連続呼び出し音で呼ばれます。

・いずれかの端末が応答すれば、他の端末への呼び出しは終了します。

※ グループ呼び出しのメンバー端末は、付属のN-8000ソフトウェアで設定します。(📭 P. 5-54、5-59)

ご注意

ドア端末N-8050DS、IPドア端末N-8540DSはグループ呼び出しの代表端末およびメンバー端末に設定できません。



■ 着信選択

端末ごとに着信時のモードと呼び出し音の有無を設定することができます。 ※ 設定は付属のN-8000ソフトウェア(■ P. 5-54、5-59)で行います。

● 自動着信

着信があれば短い着信音の後(約1秒間)または無音で即時、自動的に通話状態になります。 着信時は、状態表示灯が消灯から赤色の点滅に変わります。通話状態になれば、赤色に点灯します。 ・ハンドセットを取り上げると、ハンドセット通話となります。

● 連続呼び出し

連続した呼び出し音(または無音)と状態表示灯で、応答するまで呼び出し続けます。 着信時は、状態表示灯が消灯から赤色の点滅に変わります。通話状態になれば、赤色に点灯します。 ・ハンドセットを取り上げて応答すると、ハンドセット通話となります。 ・任意のキーを押して応答すると、ハンズフリー通話となります。(ワンタッチ応答)

ご注意

ドア端末N-8050DS、IPドア端末N-8540DSは「連続呼び出し」に設定できません。

■ 短縮ダイヤル

● オートダイヤル(N-8000MS/8500MSのみ)

端末ごとに専用のオートダイヤルキーにあらかじめダ イヤル操作(最大20桁)を登録しておくと、ワンタッ チで発信などができます。

※オートダイヤルキーへの登録は、各端末で行います。
※オートダイヤルキーへの登録内容も、各端末で確認できます。





No. 200

呼び出し

● ワンタッチダイヤル

端末ごとに、[7]、[8]、[9]、[0] キー、およびオフ フック*にあらかじめダイヤル操作(最大20桁)を登 録しておくと、ワンタッチで発信などができます。

* ハンドセットを持ち上げる動作

※ N-8031MSの外部ダイヤル入力端子を使用するとき は、ワンタッチダイヤル登録をしてください。

※ ワンタッチダイヤルの登録は、端末の操作(下記)または付属のN-8000ソフトウェア(II P. 5-56、5-62) で行います。

[例]

8



■保 留

● マイクオフ

通話中にマイクを切って、相手にこちらの会話が聞こえないようにすることができます。

[例]

0

[マイクオフ]

通話中に[0]~[9]のいずれかのキーを押し 続ける。

[マイクオフ解除] 押しているキーを離す。 元の状態に戻ります。



マイク断

受話

● 一時保留

通話中に通話を保留することができます。

[保留]

通話中に保留キーを押す。

両者に保留音が鳴って、保留状態になります。 保留キーを押した状態でハンドセットを置いても、通 話は終了しません。



通話

[保留解除]

もう一度保留キーを押す。 保留が解除され、元の通話に戻ります。

ハンドセットを置いた状態で一時保留にしているとき は、ハンドセットを持ち上げただけでも保留が解除さ れます。





■転 送

2者通話状態から、第3者を呼び出して通話(元の通話相手は一時保留)し、その後元の通話に戻ることや、 元の通話相手と第3者の通話状態にする(転送)ことができます。

ご注意

N-8010EXに接続されている端末からは転送できません。

1 2者間で通話をしている間に、転送キーを押す。 現在の通話が保留され、保留音が相手に送られます。

2 第3者の端末番号をダイヤルする。(例: [6] [3]) 第3者が応答すると、第1者は、元の通話を保留したまま第3者と話すことができます。



第3者との通話が終わった後、第1者は、その通話を第3者へ転送するか、元の通話に戻ることができます。

[第3者への転送]

3 保留されている相手に第3者をつなぐには、クリアキーを押すか、ハンドセットを置く。 第2者と第3者の通話状態となります。



[元の通話の復旧]

3転送せずに元の通話に戻るには、もう一度転送キーを押す。 元の2者間通話に戻ります。



■ 自動転送

ご注意

マルチインターフェースユニットを経由した相手先の端末へ自動転送をすることはできません。

● 話中転送

通話中に着信があった場合、着信端末に話中転送が設定されていると自動的に転送されます。

通話中からの呼び出し(転送 ☞ P.2-13)も話中転送されます。

転送先も通話中の場合は、さらに別の端末へ転送させることができるため、空き回線へスライド式に転送さ せることもできます。

※ 話中転送先の設定は、端末の操作(次ページ)または付属のN-8000ソフトウェア(№ P. 5-54、5-59) で行います。

※ 話中転送機能の有無は、付属のN-8000ソフトウェアで設定します。(№ P. 5-32、5-51) 話中転送機能が有効になっていないと、転送先の設定はできません。

[例]通話中の端末(No. 62)にかかってきた呼び出しは、別の指定した端末(No. 63)に転送されます。



ご注意

以下の条件のときは転送されません。

- 転送先端末が不在転送に設定されているとき
- ●転送先端末が待ち受け状態でないとき(ただし、転送先端末が話中であっても話中転送に設定されているときは、さらに転送されます。)
- ●話中転送に設定されている端末がグループ呼び出しの代表またはメンバーとして呼び出されるとき



● 不応答転送

着信があった場合、着信端末に不応答転送設定があり一定時間応答しないと自動的に転送されます。 通話中からの呼び出し(転送 ☞ P.2-13)も不応答転送されます。

- ※ 不応答転送先の設定は、端末の操作(下記)または付属のN-8000ソフトウェア(№ P. 5-54、5-59)で 行います。
- ※ 不応答転送機能の有無、呼び出し時間は、付属のN-8000ソフトウェアで設定します。(№ P. 5-32、5-51) 不在転送機能が有効になっていないと、転送先の設定はできません。



ご注意

以下の条件のときは転送されません。

- 転送先端末が不在転送に設定されているとき
- 転送先端末が待ち受け状態でないとき
- 不応答転送に設定されている端末がグループ呼び出しの代表またはメンバーとして呼び出されるとき



● 不在転送

着信があった場合、着信端末が不在転送状態ならば、呼び出し音を鳴らさずに、自動的に転送されます。 不在転送には2種類あり、転送先を設定すればすぐに不在転送状態になる手動による不在転送と、転送先を設 定しても指定時刻になるまでは不在転送状態にならない時刻連動不在転送があります。 通話中からの呼び出し(転送 ☞ P. 2-13)も不在転送されます。

- ※ 不在転送先の設定は、端末の操作(№ 下記およびP. 2-19)または付属のN-8000ソフトウェア (№ P. 5-54、5-59)で行います。
- ※ 不在転送機能の有無、連動時刻(転送開始時刻と終了時刻)は、付属のN-8000ソフトウェアで設定します。 (☞ P. 5-32、5-51)

不在転送機能が有効になっていないと、転送先の設定はできません。

ご注意

不在転送に設定されている端末がグループ呼び出しのメンバーとして呼び出されるときは、転送されません。

[手動による不在転送に設定されている場合]

不在転送に設定した自席の端末にかかってき た呼び出しは、呼び出し音を鳴らさずに、指 定した端末に自動的に転送されます。





[時刻連動不在転送が設定されているとき]

1 あらかじめ設定された転送開始時間になると、端末の表示部に次のように表示され、端末(例:62)が 時刻連動不在転送状態に入ったことを示します。(N-8000MS/8500MSのみ)



2 自席の端末(転送元端末)にかかってきた呼び出しは、呼び出し音を鳴らさずに、自動的に転送先端末に転送されます。





■ 代理応答

他の端末に着信があったとき、その端末と自席の端末が同一グループに設定されていた場合に、自席の端末で 代わりに呼び出しに応答して通話できます。

応答グループ登録できる端末数は最大16台です。

連続呼び出しで呼ばれている場合のみ応答できます。

グループ呼び出し機能で着信している場合は、代理応答機能を使って応答することはできません。(この場合は、グループ呼び出しの代表端末と同一のグループの端末のみ応答可能となります。)

※ 代理応答グループの設定は、端末の操作(☞ 次ページ)または付属のN-8000ソフトウェア(☞ P. 5-67) で行います。

ご注意

N-8010EXに接続されている端末を代理応答のグループに設定することはできません。

[操作例]

同一の代理応答グループに設定されている端末(例:62)が連続呼び出し音で着信しているときに、 PTTキーを押す。





●端末の操作で設定した内容は、1日1回(午前0時)、交換機またはIP端末内部に保存されます。
 保存されるまでに電源を切ると、変更前の設定内容に戻ります。

■ 緊急割り込み

呼び出した相手端末が使用中で話中音が流れている場合、端末*1から割り込み操作をすると、割り込み音を 数秒流して、相手端末*2の通話を強制的に終了させた後、呼び出すことができます。 割り込み操作できる端末、割り込みを拒否できる端末を端末ごとに設定できます。

*1割り込み操作はどの端末からでも行えます。

*2 交換機N-8010EXに接続されている端末に割り込むことはできません。

※設定は付属のN-8000ソフトウェアで行います。(📭 P. 5-54、5-59)

[操作のしかた] Aから呼び出した端末Bが話中のときに[9]キー を押す。



通話中の2つの端末(BとC)に割り込み音が流れ、強制的に通話を終了させます。そして相手端末Bを呼び 出すことができます。

※ 通話中の相手に割り込みを拒否できる設定がされて いるときは、話中状態のまま変化ありません。

| 時間制限

通話やページングなどでキャンセルし忘れて通話路が実際には使われないまま保留されるのを防止するため に、以下の3種類の時間を制限することができます。制限時間が経過すると、自動的に待ち受け状態に戻りま す。

- 1. 呼び出し時間
- 2. 通話時間
- 3. ページング呼び出し時間
- ※ それぞれの制限時間(10~990秒で10秒単位)の設定は、付属のN-8000ソフトウェアで行います。 (■〒 P. 5-32、5-51)

メモ

制限時間は呼び出し操作をした端末が接続されている交換機での設定または呼び出し操作をしたIP端末での 設定になります。

┃限定局呼び出し

あらかじめ、グループ(最大31グループ)を設定して、グループ相互間の呼び出しの可否や呼び出しできる ページング系統番号を任意に設定することができます。

※ 限定局呼び出しのグループ、グループ相互間の呼び出しの可否、および呼び出しできるページング系統の 設定は、付属のN-8000ソフトウェアで行います。(■ P. 5-65)

[限定局グループの設定例]

任意のグループ(最大31グループ)を設定します。

グループ1 No.201~209				
グループ2	グループ3	グループ4		
No.210~219	No.220~249	No.250~279		

[グループ相互間の呼び出し可否の設定例]

グループ相互間で呼び出しの可否を任意に設定できます。 この例では、グループ1はグループ2~4を、グループ2はグループ1のみ呼び出せます。グループ3と4は他 のグループを呼び出せません。

A /	グループ1	\	発呼局
/ /	▼	\	+
グループ 2	グループ 3	グループ 4	被呼局

[呼び出しできるページング系統番号の設定例]

それぞれのグループから呼び出せるページング系統番号を任意に決められます。 この例では、グループ1は一斉と系統1~4に、グループ2は一斉とページング系統1のみに、グループ4は ページング系統4のみにページングできます。



ページング呼び出し局 ―― ページング系統

メモ

ページング系統のエリアは、限定局呼び出しのグループとは関係なく、任意に設定できます。

ページング機能と操作のしかた

| ページング呼び出し

ページング呼び出し操作ができる端末は、あらかじめ設定されています。 また、交換機またはIP端末ごとに、あらかじめ制限時間(10~990秒で10秒単位)を決めておくと、ページ ングの呼び出し放送時間を制限できます。

※ページング操作の可否および制限時間の設定は、付属のN-8000ソフトウェアで行います。 (📭 P. 5-32、5-51、5-54、5-59)

● 系統ページング

あらかじめ設定されたエリア(系統)の1つに呼び出し放送ができます。 ※ エリアの設定は付属のN-8000ソフトウェアで行います。(📭 P. 5-64)

┦ ページング呼び出しキーを押し、次に呼び出し放送をする系統番号(1~160)を押す。 ページング呼び出し音が、選択された系統に流れます。

ご注意

系統番号は、N-8000ソフトウェアで設定された桁数(1~3)に合わせて入力してください。

2 ハンドセットを置いたまま、あるいは持ち上げて呼び出し放送をする。

※ 応答モードが系統番号指定応答 (II P. 2-29) に設定されている場合は、呼び出すときに、応答す る系統番号を知らせてください。

3 クリアキーを押すか、あるいはハンドセットを置く。 呼び出し放送が終了します。

[系統23にページングをする例]



● 選択ページング

あらかじめ設定された、複数のエリア(系統)に呼び出し放送ができます。 一度に最大10系統を選択できます。

※エリアの設定は付属のN-8000ソフトウェアで行います。(🖙 P. 5-64)

1 ページング呼び出しキーを押し、次に [*/▼] キーを押してから、呼び出し放送をする系統 番号(1~160)を押す。

ご注意

系統番号は、N-8000ソフトウェアで設定された桁数(1~3)に合わせて入力してください。

- 2 続けて系統番号を選択するときは [*/▼] キーを押す。
- **3** 系統番号の選択を終えるときは、系統番号を押した後、[#/▲] キーを押す。 ページング呼び出し音が、選択された系統に流れます。
- 4 ハンドセットを置いたまま、あるいは持ち上げて呼び出し放送をする。
 ※ 応答モードが系統番号指定応答(■◎ P. 2-29)に設定されている場合は、呼び出すときに、応答する系統番号(呼び出した系統のいずれか1つで可)を知らせてください。
- 5 クリアキーを押すか、あるいはハンドセットを置く。 呼び出し放送が終了します。

[系統1、23、105にページングをする例]



● 一斉ページング

あらかじめ設定された、すべてのエリア(系統)に一斉に呼び出し放送ができます。 ※ エリアの設定は付属のN-8000ソフトウェアで行います。(II → P. 5-64)

1 ページング呼び出しキーを押し、次に系統番号0(全系統)を押す。 ページング呼び出し音が、すべての系統に流れます。

ご注意

系統番号は、N-8000ソフトウェアで設定された桁数(1~3)に合わせて入力してください。

2 ハンドセットを置いたまま、あるいは持ち上げて呼び出し放送をする。

※ 応答モードが系統番号指定応答 (■ P. 2-29) に設定されている場合は、呼び出すときに、系統番号0に応答することを知らせてください。

3 クリアキーを押すか、あるいはハンドセットを置く。 呼び出し放送が終了します。



● ページングの優先度

ー斉ページングは系統ページング、選択ページングよりも優先度が高いページングです。系統ページングと 選択ページングの優先度は同じです。

- ●系統ページングまたは選択ページング中に一斉ページングをすると、系統ページングまたは選択ページングは強制的に終了し、一斉ページングになります。
- ●ページング中に、優先度が同じページングをすると、呼び出し放送先の端末や拡声出力が重複する場合は、 後からのページングが話中待ちになります。

■ 外部入力ページング(N-8000MI使用時のみ)

マルチインターフェースユニットに演奏機器やリモートマイクなどを接続し、制御入力から起動をかけると、 あらかじめ登録したページング系統に放送できます。

起動をかける方法は、音声入力端子(下図 A)または接点入力端子(下図 B)の2通りあります。 音声入力端子で起動をかけるときは、放送先のみ設定します。 接点入力端子で起動をかけるときは、放送先と入力音源を設定します。入力音源の動作モードは「外部入力 放送」に設定します。

※各設定は付属のN-8000ソフトウェアで行います。(💵 P.5-42、5-44)

●制御入力をメイクすると、外部音源からの放送があらかじめ登録されたページング系統に流れます。

● 制御入力がブレイクすると、放送は終了します。





[優先度]

- 音声入力端子と接点入力端子の制御信号間に優先はありません。入力がメイク中にもう一方の入力がメイクしても受け付けません。
- ●ページングは他の端末からのページングと同等の優先順位です。他のページング中に入力がメイクすると、 そのまま待機状態になり、他のページングが終了するとすぐにページング放送ができます。

■ ページング応答

ページング呼び出しを聞いた人が最寄りの端末で応答操作をすると、ページング操作した端末を呼び出して通話ができます。応答モードには「自動応答」と「系統番号指定応答」の2種類あり、あらかじめどちらかに設定されています。(II P. 5-32、5-51)

ご注意

ステーションページングを受信する端末には、「通話優先モード」と「ページング優先モード」の2種類の受信モードがあり、あらかじめどちらかに設定されています。(IN P. 5-32、5-51) 「ページング優先モード」に設定されているときは、ページング受信中の端末からページング応答をすること はできません。ページングの受信が終了してから、ページング応答の操作をしてください。

● 自動応答

ページング応答操作をすると、操作端末が最後に受信したページング系統に放送した端末に応答します。 [操作のしかた]

ページング応答キーを押す。

その端末が最後に受信したページング呼び出し端末と通話ができます。



※ 各系統は独立していますので、ページング呼び出しが聞こえた端末から応答操作をすれば、通話できます。

● 系統番号指定応答

ページング応答操作をすると、指定した系統へ最後に放送した端末に応答します。 ページング呼び出し時に、どの系統へ応答すればよいのかを知らせておく必要があります。

[操作のしかた]

ページング応答キーを押してから、放送された系統番号を押す。

ご注意

系統番号は、N-8000ソフトウェアで設定された桁数(1~3)に合わせて入力してください。

その系統へ最後に放送した端末と通話ができます。

[例]



応答操作ができる端末は次のとおりです。

- 呼び出された系統の端末
- 呼び出された系統の端末および拡声ページング出力と同じ交換機に接続している端末

/ その他の機能と操作のしかた

■ スキャンモニター

端末から、あらかじめ登録された任意の複数端末の周囲音声をモニターすることができます。 モニターされる端末は、登録された順序にしたがって、一定時間で切り換わります。モニター端末から手動 で制御することもできます。 1つのモニターグループには最大16台の端末を登録できます。 1台の端末から最大4グループ(最大64台の端末)を順次モニターできます。

※ モニターグループおよびスキャン時間の設定は、付属のN-8000ソフトウェアで行います。(II P. 5-57、 5-63)

※通話中など、使用中の端末はスキップされ、モニターされません。

※ モニターされる端末の状態表示灯などは待ち受け状態のままで変化しません。



[操作のしかた]

1 自動スキャンを開始する。

[*/▼][2]キーを押し、モニターグループ番号(1~4)を押してから、[#/▲]キーを押す。

※ 複数のグループをモニターするときは、グループ番号を連続して押してください。

 ● スキャンモニターが始まり、手動で止めるまで、設定した順序と設定した時間間隔で自動的に端末グ ループ内を循環してモニターします。

● モニターされている端末の番号と名称がモニターしている端末の液晶画面に表示されます。 (N-8000MS/8500MSのみ)

[331の端末をモニターしている例]



ハンドセットを使ってもモニターできます。

2 手動でスキャンの動作を操作する。

2-1 自動スキャンの停止および再開

特定の端末を連続してモニターするには、その端末のところで、[0] キーを押して自動スキャンの動作 を止めてください。もう一度 [0] キーを押すと、引き続き自動スキャン動作が再開します。

2-2 スキャンを進める

[#/▲] キーを押すと、モニターする端末を1台進めます。

2-3 スキャンを戻す

[*/▼]キーを押すと、モニターする端末を1台戻します。

2-4 相手の端末に音声で警告をする

相手端末に音声で警告をするには、PTTキーを押してください。

3 スキャンモニターの終了

スキャンモニターを終了させるには、クリアキーを押すか、ハンドセットを置いてください。

■PBX接続(N-8000MI使用時のみ)

マルチインターフェースユニットをPBXのODトランクと接続すると、N-8000システムの端末とPBXの内線 電話機の間で相互に呼び出しや通話をしたり、PBXの内線電話機からページング呼び出しなどをしたりする ことができます。

● PBXの内線を呼び出す

- **1** ODトランク発信操作特番を押す。 PBXと接続できます。
- 2 PBXからの発信音を確認して、PBXの内線番号をダイヤルする。 PBXの内線を呼び出します。

※ ODトランク発信操作特番の設定は、付属のN-8000ソフトウェアで行います。(🕸 P. 5-42)



● PBXの内線から呼び出しを受ける

PBXの内線電話機からインターカム発信操作特番とN-8000システムの端末番号をダイヤルすると、N-8000システムの端末を呼び出せます。

N-8000システムの端末でPBXの内線電話から呼び出しを受けるときの方法は、N-8000システム内の端末から呼び出されたときと同じです。

※インターカム発信操作特番は、PBX側で設定してください。



● PBXの内線からページング呼び出しを受ける

PBXの内線電話機からインターカム発信操作特番、「*」「8」、およびN-8000システムのページング操作番号 を続けてダイヤルすると、N-8000システムへのページング呼び出しができます。 端末でページングに応答する方法は、N-8000システム内の端末からページング呼び出しをされたときと同じ です。(ただし、ページング呼び出しの放送中しか応答できません。)

ご注意

PBXの内線電話機からページング呼び出しができるのは、付属のN-8000ソフトウェアで回線属性を「PB」 に設定しているときのみです。(『◎ P. 5-42)

※インターカム発信操作特番は、PBX側で設定してください。



■ タイライン接続(N-8000MI使用時のみ)

4線の私設線を介して、マルチインターフェースユニットを別のインターカムシステムと接続すると、別のシ ステムの端末と相互に呼び出しや通話を行ったり、別のシステムへのページング呼び出しを行ったりするこ とができます。

● 他のインターカムシステムの端末を呼び出す

1 タイライン発信操作特番を押す。

他のインターカムシステムと接続できます。

2 接続したシステムからの発信音を確認して、相手のインターカムシステムの端末番号をダイヤ ルする。

接続したインターカムシステムの端末を呼び出します。

※ タイライン発信操作特番は、付属のN-8000ソフトウェアで行います。(🕸 P. 5-42)



● 他のインターカムシステムの端末から呼び出しを受ける

他のインターカムシステムの端末からタイライン発信操作特番とN-8000システムの端末番号をダイヤルすると、N-8000システムの端末を呼び出せます。

N-8000システムの端末で他のインターカムシステムからの呼び出しを受けるときの方法は、N-8000システム内の端末から呼び出されたときと同じです。



※相手のインターカムシステムの端末からのタイライン発信操作特番は、相手インターカムシステム側で設定してください。

● 他のインターカムシステムヘページング呼び出しをする

1 タイライン発信操作特番を押す。

他のインターカムシステムと接続できます。

2 接続したシステムからの発信音を確認し、相手のインターカムシステムのページング操作番号をダイヤルする。

接続したインターカムシステムヘページング呼び出しをします。

※ タイライン発信操作特番は、付属のN-8000ソフトウェアで行います。(🖙 P. 5-42)



● 他のインターカムシステムからページング呼び出しを受ける

他のインターカムシステムの端末からインターカム発信操作特番、「*」または「・」、「8」、およびN-8000 システムのページング操作番号を続けてダイヤルすると、N-8000システムへのページング呼び出しができま す。

N-8000システムの端末でページングに応答するときの方法は、N-8000システム内の端末からページング呼び 出しをされたときと同じです。(ただし、ページング呼び出しの放送中しか応答できません。)

※相手のインターカムシステムの端末からのタイライン発信操作特番は、相手インターカムシステム側で設 定してください。



■ BGM(N-8000MI使用時のみ)

マルチインターフェースユニットに演奏機器などを接続すると、各端末から最大8チャンネルのBGMを選択 して、待ち受け状態のときに端末のスピーカーから聞くことができます。

BGMを聞いている状態でも、ダイヤルや他局からの呼び出しを受けることができます。このとき、BGMは自動的に中断します。

中断したBGMは、通話やページングなどが終了すると、すぐに自動的に復旧します。

※ 演奏機器を接続しているマルチインターフェースユニットの機器番号と音声入力番号、BGMを受信できる 端末の設定は、付属のN-8000ソフトウェアで行います。(■ P. 5-32、5-42、5-51、5-54、5-59)

ご注意

- ●BGMは通話やページングに比べ優先順位が低いので、通話路がふさがっているときに他の端末が通話やページングを行うと、BGMを聴いている端末が何の操作もしなくてもBGMが途切れることがあります。特に、N-8010EXは通話路が少ないため、BGMが途切れる頻度が高くなります。
- 演奏機器を接続するマルチインターフェースユニットと、BGMを選択する端末に接続されている交換機、 BGMを選択するIP端末は、マルチキャスト通信(■③ P. 5-26)が可能で、かつ高音質モード(■③ P. 5-27、 5-35、5-47)で接続できるネットワーク設定にしてください。

[チャンネルの選択のしかた]

●機能キー、[1]を押した後、チャンネル番号を選択します。



●機能キー、[1]を押した後、[#/▲]キーを押すと、選択中のチャンネル番号より1つ大きいチャンネル番号(1→2→…7→8→0…)に変更できます。



●機能キー、[1]を押した後、[*/▼]キーを押すと、選択中のチャンネル番号より1つ小さいチャンネル番号(1→0→8→7…)に変更できます。



[BGM音量の調節のしかた]

BGMの音量を5段階で調節することができます。

●音量を上げるときは、機能キー、[1] [9] を押した後、[#/▲] キーを押します。



●音量を下げるときは、機能キー、[1] [9] を押した後、[*/▼] キーを押します。



■ 外部機器制御(N-8000MI使用時のみ)

端末の操作で、指定したマルチインターフェースユニットの接点にワンショットメイク出力やメイク/ブレ イク出力を出すことで、外部機器を制御することができます。

例えば、ワンショットメイク出力によりドアロックの制御をしたり、メイク/ブレイク出力により表示器を 制御したりすることができます。

※ ワンショットメイク時間、操作番号桁数、操作番号、および外部機器制御の操作ができる端末の設定は、 付属のN-8000ソフトウェアで行います。(№ P. 5-40、5-46、5-54、5-59)

[ワンショットメイク出力制御によるドアリモートの例]

[メイク/ブレイク出力による投薬表示の例]



4	/				_/
	1	6	11	16	
	2	7	12	17	
	3	8	13	18	
	4	9	14	19	
	5	10	15	20	
					\square

[ワンショットメイク出力の操作のしかた]

機能キー、[3] [0] を押した後、制御したい外 部機器に対応する接点の操作番号を押します。





[メイク出力の操作のしかた]

機能キー、[3] [1] を押した後、制御したい外 部機器に対応する接点の操作番号を押します。



[ブレイク出力の操作のしかた]

機能キー、[3] [2] を押した後、制御したい外 部機器に対応する接点の操作番号を押します。



■発呼局表示/CCTV連動(N-8000MI使用時のみ)

特定の端末にランプ型の表示盤*を持たせると、その端末は通話相手や通話中に呼び出してきた相手をランプで表示させることができます。

複数の端末(最大8台)で表示盤を共有して、グループ内のどの端末にかかってきても表示させることができ ます。

また、この接点を利用してCCTVと連動させ、呼び出してきた相手を映像に写すことができます。

*マルチインターフェースユニットの出力を利用して、別途製作する必要があります。

※ マルチインターフェースユニットの接点番号および表示盤などを持つ端末の設定は、付属のN-8000ソフト ウェアで行います。(■ P. 5-32、5-51、5-54、5-59)

[発呼局表示の例]



torve=ターを 持つ端末 No.350

■ドアリモート(N-8050DS/8540DS/8000MI使用時のみ)

ドア端末N-8050DSおよびIPドア端末N-8540DSのドア端末接点動作モードを「ドアリモート制御」に設定 している場合、その端末と通話中のマスター端末からの操作により、N-8050DS/8540DSの接点出力が一定時 間メイクします。

または、端末との通話中にマスター端末からの操作により、マルチインターフェースユニットN-8000MIの接 点出力が一定時間メイクします。

例えば、電子錠システムと接続すると、ドアロックの制御ができます。

※ ドア端末接点動作モード、ワンショットメイク時間、および各端末に対応するN-8000MIの接点の設定は、 付属のN-8000ソフトウェアで行います。(© P. 5-32、5-40、5-51、5-54、5-59)

[操作のしかた]

- 7 2者通話をしている間に、転送キーを押す。 現在の通話が保留され、保留音が相手に送られます。
- 2 機能キー、[0] を押す。

通話中のN-8050DS/8540DSの接点出力または自端末に対応するN-8000MIの接点出力が一定時間メイク します。(例えば、電子錠システムと接続していると、対応するドアのロックを解除することができま す。)

3 確認音が鳴って、元の通話に戻ります。

[N-8050DS/8540DSの例]



■呼び出し・通話連動接点出力 (N-8050DS/8540DS使用時のみ)

ドア端末N-8050DSまたはIPドア端末N-8540DSの接点出力が自端末の状態に連動してメイクされます。 接点出力がメイクされるタイミングは、呼び出し中メイク、通話中メイク、呼び出し・通話中メイクの3パ ターンから選択できます。

例えば、呼び出し、通話に連動して回転灯やカメラを制御することが可能です。

※ ドア端末接点動作モードの設定は、付属のN-8000ソフトウェアで行います。(🖙 P. 5-32、5-51)

[回転灯を接続した例]



[ドア端末の動作による接点出力の状態]

ドア端末接点動作モード ドア端末の動作	呼び出し中メイク	通話中メイク	呼び出し・ 通話中メイク
呼び出し中	メイク	ブレイク	メイク
話中待ち	メイク	ブレイク	メイク
通話	ブレイク	メイク	メイク
ページング受信	ブレイク	ブレイク	ブレイク
スキャンモニター受信	ブレイク	メイク	メイク

■ 緊急メッセージ放送(IPマスター端末使用時のみ)

IP多機能マスター端末N-8500MS、またはIP標準マスター端末N-8510MS/8515MSにあらかじめ登録されて いるメッセージにより緊急メッセージ放送を行うことができます。 緊急メッセージ放送の放送先は、あらかじめ設定したページング系統になります。

- ※ 緊急メッセージ放送の起動方法、ページング系統番号、繰り返し回数、接点連動制御の設定は、付属のN-8000 ソフトウェアで行います。(© P. 5-58)
- ※ パソコンへのメッセージ録音およびIPマスター端末へのメッセージの登録は、付属のN-8000ソフトウェ アで行います。(III P. 5-71)

● 緊急メッセージ放送のしかた

1 緊急メッセージ放送を起動する。

2とおりの起動方法があります。

※ 起動方法の設定は、付属のN-8000ソフトウェアで行います。(🕸 P. 5-58)

1-1 IPマスター端末のダイヤルを操作する場合

ページング呼び出しキーを4回押します。



ご注意

操作するIPマスター端末が使用中のときは、緊急メッセージ放送を起動できません。待ち受け状態にしてから操作してください。

例外として、通話優先モードに設定されているシステムで、ページング受信中のときは、緊急メッセージ放送の起動が優先されます。

1-2 IP標準マスター端末の緊急メッセージ起動端子を使用する場合(N-8510MS/8515MSのみ)

IP標準マスター端末の緊急メッセージ起動端子に接続された外部機器(例:スイッチ)のメイク信号に より緊急メッセージ放送を起動します。メイク信号を入力するIPマスター端末が使用中であっても、そ の使用を中止して、緊急メッセージ放送を起動します。 外部機器からのメイク信号は100 ms以上必要です。



- 2 緊急メッセージ放送を終了する。 2とおりの終了方法があります。
- 2-1 IPマスター端末のダイヤルを操作する方法
 クリアキーを押します。
 ※ 回数制限が設定されていても操作が優先します。



2-2 回数制限設定により終了する方法

あらかじめ設定した回数だけメッセージが再生されると、自動的に終了します。 ※回数制限の設定は、付属のN-8000ソフトウェアで行います。(『☞ P. 5-58)

ご注意

- ●ページング時間制限(INF P. 5-51) が設定されていても、緊急メッセージ放送に影響しません。
- IP標準マスター端末の緊急メッセージ起動端子をブレイクしても、放送は終了しません。端末のクリア キーを押すか、繰り返し回数を設定してください。

● 緊急メッセージ放送の優先度

緊急メッセージ放送は、通話、他のページングよりも優先度が高い放送です。 緊急メッセージの放送先が動作中の場合は、すべて強制終了して、緊急メッセージを放送します。緊急メッ セージ放送により強制終了した動作は、緊急メッセージ放送が終了しても復旧しません。

● 接点連動制御

緊急メッセージ放送の起動に連動して、マルチインターフェースユニットN-8000MIの接点出力をメイクする ことができます。メイクのタイミングは、緊急メッセージ起動中メイクとワンショットメイクの2種類があり ます。

● 登録されているメッセージの確認

IPマスター端末に登録されているメッセージをその端末で確認することができます。



2 クリアキーを押す。

終了します。 ※ この操作をするまで、繰り返し再生されます。
■ リモートダイヤル(N-8000MI使用時のみ)

マルチインターフェースユニットN-8000MIの接点入力がメイクされると、任意の端末が自動的にダイヤルし ます。1つの接点入力に最大20のダイヤルコード(ダイヤル番号、キー操作)を設定できます。 例えば、センサーからの信号に連動して通話を開始することができます。

※ リモートダイヤルの設定は、付属のN-8000ソフトウェアで行います。(№ P. 5-44)

ご注意

リモートダイヤルを起動するには、接点入力を50 ms以上メイクする必要があります。

[例]

センサーからの接点入力により、端末No. 200からNo. 100を自動的に呼び出す例です。



■ 接点ブリッジ(N-8000MI使用時のみ)

ネットワークを介して接点信号を伝送できます。



接点入力の動作モードは次の2種類から選択できます。



※入力が変化して50 ms間安定すると、入力が確定します。

※ 伝送する接点および伝送出力信号の種類の設定は、付属のN-8000ソフトウェアで行います。 (🖙 P. 5-44)

■ ページングビジー入力(N-8000MI使用時のみ)

空港などの大規模放送システムと連動する場合、上位システムのビジー状態を受け取ることができ、重要な 放送を確実に伝えることができます。



※ページングビジー入力に使用する接点の設定は、付属のN-8000ソフトウェアで行います。(№ P. 5-44)

■ システム診断(N-8000MI使用時のみ)

マルチインターフェースユニットN-8000MIがシステムの状態を診断し、その結果をN-8000MIの接点出力に 出力する機能です。システムの診断は、診断対象の機器にネットワーク接続して行います。 接点出力は異常のときにのみメイクします。その後、正常と判断した時点でブレイクします。 診断できるのは、交換機の回線状態とネットワーク接続機器のネットワーク状態です。

※診断する回線および機器の設定は、付属のN-8000ソフトウェアで行います。(■ P. 5-46)

ご注意

診断は一定時間*おきに行われます。そのため、リアルタイムに診断結果が出力されるわけではありません。 また、診断と次の診断までの変化を検出することはできません。

*診断結果は20秒以内に更新されます。

● 回線状態診断

交換機N-8000EX/8010EXの診断対象回線が次の状態のときに異常と判断します。

・端末のCPU異常

- ·回線同期異常
- ・端末番号登録済みであるが未接続

● ネットワーク状態診断

診断対象のネットワーク接続機器(交換機、マルチインターフェースユニット、IP端末)とネットワーク通 信を行い、応答がないと異常と判断します。

[例]

外部表示器を接続して診断結果を表示させることができます。



マスター端末での操作一覧表

	機能 項目		操作	備考	
呼7	び出し/応答	呼び出し	端末番号[X][X]… [X]をダイヤルする。	端末番号:2~6桁	
		リダイヤル	「リダイヤル」を押す。		
		リコール	[#/▲]を押す。		
		音声呼び出し	連続呼び出し音で呼び出している相手に「PTT」を押して呼		
		цулзоно			
			じんかい。		
诵言	 舌	ハンドセット通話	ハンドセットを持ち上げて話す。		
	н	ハンズフリー通話	手を使わずに話す	-	
		PTT通話	」で使わりに出す。 ハンズフリー通話由に「PTT]を囲す	-	
短約	宿ダイヤル	オートダイヤル		N-8000MS/8500MSのみ	
1		ワンタッチダイヤル	[7] [8] [9] [0] を拥す キたはハンドセットを持ち上		
保留	2	マイクオフ	1/2。 通話中に「∩]~「♀]のいずれかを押し続けろ		
	•	一時保留	温品平に[0] ~ [5] 000910021平01003。 涌話山に「保密」を囲ま		
		一時保密解除			
		~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~	休田中に   休田」 と押り。    承託市に「転送」 を囲す		
		TA LA	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□		
			第3名の番号をダイヤルして行び出す。   、第9老との通話 (二の通話相手は一時収回)		
			→第3名との通話。(儿の通話怕于は一時休曲) 「○]を押すみ」のこともからた罢く		
			し」を押りが、ハンドセットを直く。		
		一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	→転达が終」。		
		ルの通路の復日	通品中に「料区」を押り。		
			弗3有の番方をダイヤルし(呼び出り。		
			【転达」を冉の押す。   このほぜに言え、 /このほぜの佐旧〉		
	エナキンド	白地十次の改合			
	个仕転达	日端木での豆球	_ [ (	「「「「「「」」「「」」「「」」「」」「「」」「」」「「」」「」」「」」「」」	
		日端木での消去	_ [ (	-	
	마누가까ㅋㅋㅋ	転达 た 场本 で の 豆 球			
山動	時刻理期	豆球	_ [ (	-	
転	个仕転达	消去 変合3	_ [ ( ( ( に ) ( 4 ) [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [ 4 ] [		
送	个心合転达	豆球	_ [ (	-	
	=7 _1 +- \>	消去	_ [ (		
	<b></b>	豆邨	_ [	-	
(#) IF	田広体	泊云	[ (		
17. 理心合			向し11,理心合グループの端木に盾信がのつたとさに【PTT]   ち曲す		
西文在山山いフィ			で押9。   哑び山」と相手提士が話中のとき [0] を押す		
※元	はいたの	問私	吁び田しに怕于姉木が品中のこさ[9]  ど押9。 「♥/♥][9][エーターグループ乗早][エーターグループ乗早]	エーター中にダイヤル	
1~1			[*/ ♥] [2] [ こーメーノルーノ番与] [ こーメーノルーノ番与]   「# /▲] たガイヤルナス		
			[#/▲] セメイヤルする。 信止け「0] た 西門け西座「0] た畑ナ		
		アエーサ曲	「庁正は[0]で、円冊は円皮[0]で1件す。		
		スキャン定る	「端木のビータ」を定めるには[#/▲]で打す。		
		ションシーン	「m木のビーク」を戻りには「*/*」で打り。 「DTT」を畑」で託す		
ページング 座び山		自户达店	「「」で行して語り。		
		「「「」」	[0] で押りが、ハンドビッドで直く。 [ページング哑屮][玄絃釆巳]をダイヤルオス		
		深祝、 ファク	[ページング町山][水旭田与]をメーイルする。		
[ ¹ ] (	лцо		[(ヽ ̄ノンノ町山][*/▼][ホ祝笛与][*/▼][ホ祝笛与] 「Ψ/▼]「玄紘釆믖][#/▲]をダイヤルオス		
ページング応答			[ペ/▼] ~ [示机宙与][#/▲] セメイマルする。		
		白動応答	こ		
		系統番号指定应体	ページング応答][系統悉号]をダイヤルすス	系統番号:1~3桁	
 緊急メッセージ 放送		記動	こ、 ノイノルロコルベル電力」とノーマルタン。   ページング呼出][ページング呼出][ページング呼出]		
		~===#	こ · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
"		終了	[C] を拥す		
		確認			
端。	<b></b>	音量を大きくする	通話中に「#/▲]を押す。		
出力		音量を小さくする			

機能	項目	操作	備考
周囲騒音測定		ハンドセットを置いた状態で[*/▼][#/▲]をダイヤルする。	
ドアリモート		通話中に [転送][機能][0]をダイヤルする。	
BGM	チャンネル選択	[機能][1][チャンネル番号]をダイヤルする。	チャンネル番号:0~8
		[機能][1][#/▲]をダイヤルする。	1つ大きい番号を選択
		[機能][1][*/▼]をダイヤルする。	1つ小さい番号を選択
	音量を大きくする	[機能][1][9][#/▲]をダイヤルする。	
	音量を小さくする	[機能][1][9][*/▼]をダイヤルする。	
外部機器制御	ワンショットメイク出力	[機能][3][0][接点操作番号]をダイヤルする。	接点操作番号:2~4桁
	メイク出力	[機能][3][1][接点操作番号]をダイヤルする。	
	ブレイク出力	[機能][3][2][接点操作番号]をダイヤルする。	



● 待ち受け時



● 転送時の呼び出し中、通話中



● ページング呼び出し中



## ● ダイヤル操作中

機能登録ボタン操作の表示例



ダイヤルキー	:	0~9、	*、	#
ページング呼び出しキー	:	PC		
ページング応答キー	:	PR		
機能キー	:	FN		
その他のキー	:	表示な	し	

● 呼び出し中、通話中



● スキャンモニター中

モニター相手端末番号
 モニター相手端末名称
 4000
 4FIレベータ

● ページング受信中



# 第3章

## 設置・配線

この章では、交換機・マルチインターフェースユニット・端末の取 り付けと配線など、具体的な設置・配線方法について説明します。

## 🖊 交換機の設置のしかた

交換機 N-8000EX/8010EX の設置方法には、キャビネットラックへの取り付け、卓上設置、壁への取り付けの3種類があります。

## ■ キャビネットラックに取り付けるとき

交換機のキャビネットラックとして CR-273、CR-413 が使用できます。CR-273 × 1 台で 128 回線まで、CR-413 × 1 台で 192 回線まで、CR-413 × 7 台で 1280 回線を接続できます。(『☞ P. 1-9) キャビネットラック CR-273、CR-413 の組み立て、ブロワーユニット BU-412 の取り付けなどは、ラックに 付属の工事説明書をお読みください。

※ ブロワーユニット・端子盤・交換機を取り付けるときは、キャビネットラックを横に倒した状態で行うと 安全に作業ができます。

※ ブロワーユニットはラック内部から取り付けますので、必ず収納機器を取り付ける前に行ってください。

### ● 設置スペース

交換機の周囲は、保守点検のために必要なスペースを 確保してください。 交換機 50 cm 1 m

## ● 機器取り付け時のご注意

⚠ 注意 交換機のファンの噴き出し口をふさがないでください。 ふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

●交換機は2台を超える積み重ね設置をしないでください。2台ごとに上下に1Uサイズ以上のパーフォレイテッドパネルPF-013Bなどを取り付けてください。



 ●端子盤は、付属のラック取付ねじ類を使用し、キャビネットラックのケーブル引き込み方向と配線作業・ 保守がしやすい位置に取り付けてください。 ● 交換機 N-8000EX/8010EX の取り付けかた



## ■ 卓上に置くとき

卓上に置いて使用するときは、付属のプラスチック足を交換機の底面に取り付けてください。



## ■ 壁に取り付けるとき

1 付属ねじ2本とケースから取り外したねじ2本を使用して、付属の壁取付金具を交換機に取り 付ける。



2 交換機を壁に取り付ける。

## ご注意

●壁面の材質に応じた取付ねじを使用してください。

●交換機には木ねじ3.5×20が付属されています。





マルチインターフェースユニットN-8000MIの設置方法には、キャビネットラックへの取り付け、卓上設置、 壁への取り付けの3種類があります。

## ■ キャビネットラックに取り付けるとき

N-8000MIのキャビネットラックとして CR-273、CR-413 が使用できます。キャビネットラック CR-273、 CR-413 の組み立ては、ラックに付属の工事説明書をお読みください。

※ N-8000MIを取り付けるときは、キャビネットラックを横に倒した状態で行うと安全に作業ができます。

## ● 設置スペース

N-8000MIの周囲は、保守点検のために必要なスペースを確保してください。



● 機器取り付け時のご注意

▲ 注意 本機の通風口をふさがないでください。 ふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
N-8000MIは2台を超える積み重ね設置をしないでくだ さい。2台ごとに上下に1Uサイズ以上のパーフォレイ テッドパネル PF-013B などを取り付けてください。
N-8000MI ● マルチインターフェースユニット N-8000MIの取り付けかた



## ■ 卓上に置くとき

卓上に置いて使用するときは、付属のプラスチック足をN-8000MIの底面に取り付けてください。



## ■壁に取り付けるとき

**1** ケースから取り外したねじ4本を使用して、付属の壁取付金具をN-8000MIに取り付ける。



**2** N-8000MIを壁に取り付ける。

## ご注意

- 壁面の材質に応じた取付ねじを使用してください。
- N-8000MIには木ねじ3.5×20が付属されています。



## / 端末の設置のしかた

端末の設置方法には、壁への取り付け、卓上設置、電工ボックスを使用した壁への埋め込み、露出ボックス を使用した壁への取り付けの4種類があります。

## ご注意

ページング呼び出しのあるシステムの場合は、拡声スピーカーとのハウリングを防ぐため、端末を拡声ス ピーカーからできるだけ遠ざけて設置してください。

## ┃壁掛けで使用するとき

壁掛けで使用するときは、ハンドセットフックの向きを変えてください。



■ 壁への取り付けかた

## ● N-8000MS/8010MS/8020MS/8500MS/8510MS/8515MSの場合

壁掛卓上金具 YC-280 * を使って壁に取り付けます。 YC-280 は JIS 規格の 1 個用スイッチボックスに取り付けることもできます。

* N-8515MSには付属

[取り付けかた]



※ 図はN-8000MSです。

**1** 壁掛卓上金具 YC-280 を壁に取り付ける。

## ご注意

- ●壁面の材質に応じた取付ねじを使用してください。
- ●木ねじ 3.5×20 は、N-8515MS および別売の YC-280 に付属されています。
- ●スイッチボックス用の取付ねじは、付属していません。
   適切なものを市販品から選んで使用してください。



端末本体を矢印方向に押し下げてください。



[取付完成図]

N-8000MS/8010MS/8500MS/8510MS/8515MS



単位:mm YC-280 72.1 83.5





## ● N-8011MSの場合

壁掛卓上金具 YC-290 を使って壁に取り付けます。 YC-290 は JIS 規格の 1 個用スイッチボックスに取り付けることもできます。

[取り付けかた]



**1** 壁掛卓上金具 YC-290 を壁に取り付ける。

## ご注意

- 壁面の材質に応じた取付ねじを使用してください。
- YC-290には木ねじ3.5×20が付属されています。
- ●スイッチボックス用の取付ねじは、付属していません。
   適切なものを市販品から選んで使用してください。
- 2 端末を金具のフックに引っ掛けて取り付ける。 端末本体を矢印方向に押し下げてください。

## 第3章 設置・施工



[取付完成図]

• N-8011MS



■ 卓上に置くとき

● N-8000MS/8010MS/8020MS/8500MS/8510MS/8515MSの場合

端末をそのまま卓上に置いて使用できます。 また、壁掛卓上金具 YC-280*を端末の底面に取り付けて卓上に置くと、操作面が水平から16°上向きになり、 操作しやすくなります。

* N-8515MSには付属

[金具の取り付けかた]

**壁掛卓上金具のフックを端末の挿入口に引っ掛けて取り付ける**。 壁掛卓上金具を矢印方向に押し上げてください。



※図はN-8000MSです。

[取付完成図]

• N-8000MS/8010MS/8500MS/8510MS/8515MS





## ● N-8011MSの場合

端末をそのまま卓上に置いて使用できます。 また、壁掛卓上金具 YC-290 を端末の底面に取り付けて卓上に置くと、操作面が水平から 16 °上向きになり、 操作しやすくなります。

[金具の取り付けかた]

## 壁掛卓上金具のフックを端末の挿入口に引っ掛けて取り付ける。

壁掛卓上金具を矢印方向に押し上げてください。



[取付完成図]



単位:mm

■ 電エボックスを使用して壁に埋め込むとき

## ● N-8031MSの場合

壁に取り付けた電工ボックス(JIS規格の5個用スイッチボックス)にN-8031MSを取り付けます。



## ● N-8050DS/8540DS の場合

壁に取り付けた電エボックス(JIS 規格の3個用スイッチボックス)に N-8050DS/8540DS を取り付けます。



## [取付完成図]



単位:mm

## ご注意

のねじが付属されています。

● N-8050DS/8540DS で電子錠を制御する場合は、機器が容易に取り外しできないよう、設置時にトルクスねじなどをご使用ください。

N-8050DS/8540DSには、 ⊕ 丸皿小ねじ M4×25と ⊖ 丸皿UNC No.6×18の2種類

電工ボックス側がミリねじの場合は、全丸皿小ねじ M4×25をご使用ください。

- N-8050DSの場合は、スイッチボックスを必ず接地してください。
   N-8540DSの場合は、スイッチボックスまたは後面のフレームグランド端子
   (■零 P. 3-32)を必ず接地してください。
- ●屋外など水のかかる場所に設置するときは、パネル外周をシーリング処理してください。また、機器を取り付けるボックスには水抜き穴を設けてください。
- ●海岸付近や高湿度の場所など、環境条件の悪い場所に設置するときは、機器 内部をコーティング処理する必要があります。コーティング処理については、 当社営業所にご相談ください。





■ 露出ボックスを使用して壁に取り付けるとき

## ● N-8031MSの場合

壁に取り付けた露出ボックス*にN-8031MSを取り付けます。 *5個用スイッチボックス(松下電工製DZB295を推奨)を使用します。







● N-8050DS/8540DS の場合

壁に取り付けた露出ボックス YS-13A に N-8050DS/8540DS を取り付けます。



N-8050DS/8540DSには、 ① 丸皿小ねじ M4×25と ○ 丸皿UNC No.6×18の2種類 のねじが付属されています。 ここでは、 ① 丸皿小ねじ M4×25をご使用ください。

単位:mm

ご注意

- N-8050DS/8540DS で電子錠を制御する場合は、機器が容易に取り外しできないよう、設置時にトルクスねじなどをご使用ください。
- ●屋外など水のかかる場所に設置するときは、パネル外周をシーリング処理してください。また、機器を取り付けるボックスには水抜き穴を設けてください。
- ●海岸付近や高湿度の場所など、環境条件の悪い場所に設置するときは、機器 内部をコーティング処理する必要があります。コーティング処理については、 当社営業所にご相談ください。



N-8050DS/8540DS前面

## / 配線のしかた

## マ換機の接続

交換機N-8000EX/8010EX



* システムを構成する機器の消費電力の合計とバックアップしたい時間から、適切な UPS を選定します。 常時インバーター給電方式の UPS を使用してください。

(参考)

交換機:50 W(定格)

8ポート10M/100Mスイッチングハブ:約10W(メーカーにより異なります。)



## ● 接続の概要

※使用する線材については、P. 3-33をお読みください。

#### 1) 電源の接続

付属の電源コードで、AC100 VまたはUPS(無停電 電源供給装置)に接続します。

電源コードの取り扱いについて

付属の電源コードは、N-8000EX/8010EXの専用品です。 これ以外の機器に使用しないでください。

#### ②回線端子の接続

回線端子に極性はありません。 (圧接コネクターの結線のしかた ☞ P. 3-34)

 ③ ページング音声出力端子の接続 (N-8000EXのみ)
 ページング音声出力端子に極性はありません。
 (ターミナルプラグの結線のしかた ◎ P. 3-34)
 [ページング音声出力の仕様]
 0 dB*、600 Ω、平衡

# ④ ページング接点出力端子の接続 (N-8000EXのみ) ページング接点出力端子に極性はありません。 (ターミナルプラグの結線のしかた ☞ P. 3-34) [ページング接点出力の仕様] 無電圧メイク接点出力 耐電圧 :最大 DC24 V 制御電流:最大 0.5 A

 う ネットワークの接続
 10BASE-T/100BASE-TXのネットワークに自動判別で接続できます。
 この接続には、UTPカテゴリー5規格以上のストレートケーブルを使用してください。

⑥ 端末の接続
 接続のしかたは、端末の種類により異なります。
 (端末の接続 ☞ P. 3-21)

* 0 dB = 1 V

## ■ 端末の接続

## ● 端末と交換機の接続

端末と交換機の接続には、極性はありません。

#### [N-8000MS/8010MS/8011MSの場合]

交換機からのケーブルとの接続は、各端末に付属の接続コードと市販の RJ-11 モジュラーローゼットを使用 します。



[N-8020MSの場合]

交換機からのケーブルとの接続は、端末から直出しされている接続コードと市販の RJ-11 モジュラーロー ゼットを使用します。



[N-8031MSの場合]

交換機からのケーブルとの接続は、N-8031MSに付属の着脱式ターミナルプラグ(2P)を使用します。 (コネクターの結線のしかた © P. 3-34)



[N-8050DSの場合] 交換機からのケーブルは、直接、N-8050DSの回線接続端子に接続します。 (コネクターの結線のしかた INN P. 3-34)



● ヘッドセット端子の接続(N-8000MSのみ)



* 0 dB = 1 V/pa (1 kHz)

● 外部スピーカー端子および制御出力端子の接続(N-8000MS/8020MSのみ)

[N-8000MSの場合]

外部スピーカーのみ接続できます。 後面のプッシュ式ターミナルを⊖ドライバーの先などで押し、電線を差し込んでください。

[N-8020MSの場合]

ご注意

外部スピーカー端子、制御出力端子ともに以下の手順で接続してください。

1 保護カバーを取り外す。

3本の保護カバー取付ねじを外します。

2 使用する端子の保護キャップを引き抜く。



3 外した保護カバーに電線を通してから、プッシュ式ターミナルに接続する。

使用しない端子の保護キャップは、取り外さないでください。



[制御出力端子の接続例]

表示器などを接続できます。



**4** 付属のゴムブッシングを電線にはさみ込み端末本体に挿入してから、保護カバーを元どおりに 取り付ける。



## ● N-8031MSとRS-191の接続

オプションハンドセットRS-191に接続してハンドセット通話をすることができます。

7 N-8031MSのハンドセット接続端子に装着されているハンドセットジャンパーを外し、RS-191後面基板のソケットに差し込む。



※ ソケットは基板の内側に付いており、横から ハンドセットジャンパーを差し込みます。



● N-8031MS と外部スイッチの接続

N-8031MSの外部ダイヤル入力端子に、フットスイッチなどの外部スイッチを接続できます。

ご注意 外部スイッチからの配線は3m以内にしてください。



※ 使用する線材については、P. 3-33 を お読みください。

[結線のしかた]

外部ダイヤル入力端子「7」「8」「9」「C」に接続された各スイッチで、ダイヤル「7」「8」「9」「C」を押したときと同じ操作をすることができます。

これらのダイヤルにワイタッチダイヤルの登録をしておくと、例えば、フットスイッチを押して、登録された端末を呼び出すことができます。(登録のしかた II P. 2-11、P. 5-62)

● N-8050DS と外部リレーの接続

N-8050DSの接点出力端子に、外部リレーを接続できます。(コネクターの結線のしかた 12 P. 3-34)



交換機 N-8000EX/8010EXへ

■マルチインターフェースユニットの接続



AC100 VまたはUPS (無停電電源供給装置)*へ

## ご注意

誘雷の恐れのある場合は、電源ラインに 適切な電源用保安器を挿入してください。

### ● 接続の概要

※使用する線材については、P. 3-33をお読みください。

#### 1) 電源の接続

付属の電源コードで、AC100 VまたはUPS(無停電 電源供給装置)に接続します。

電源コードの取り扱いについて

付属の電源コードは、N-8000MIの専用品です。 これ以外の機器に使用しないでください。 ② 接点入力端子の接続

(コネクターの結線のしかた IN P. 3-34)
 [無電圧メイク接点入力の仕様]
 短絡電流: 10 mA
 開放電圧: 12 V

③ 接点出力端子の接続
 接点出力端子に極性はありません。
 (コネクターの結線のしかた ^{IC} P. 3-34)
 [リレー接点出力の仕様]
 耐電圧 : DC24 V
 制御電流:最大 0.5 A

* システムを構成する機器の消費電力の合計とバックアップしたい時間から、適切な UPS を選定します。 常時インバーター給電方式の UPS を使用してください。 (参考)

マルチインターフェースユニット: 16W (定格)

8ポート10M/100Mスイッチングハブ:約10W(メーカーにより異なります。)



### ④ 音声入力端子の接続

音声入力端子に極性はありません。

(ターミナルプラグの結線のしかた ^{II} P. 3-34) [音声入力の仕様]

最大0 dB *²、10 k Ω 以上、平衡

※入力音量調節器を使用して、音声入力の感度を 0~-25 dB*²の範囲で調節することができま す。接続する機器に応じて、調節してください。 (工場出荷時:0 dB*²)

#### [制御入力の仕様]

無電圧メイク接点 短絡電流: 10 mA 開放電圧: 12 V

#### ⑤ 音声出力端子の接続

- 音声出力端子に極性はありません。 (ターミナルプラグの結線のしかた ☞ P.3-34) [音声出力の仕様]
- 最大0 dB^{*2}、600 Ω以下、平衡

#### [制御出力の仕様]

リレー接点出力 耐電圧 : DC24 V 制御電流:最大 0.5 A

#### 6 PBX インターフェース端子の接続

PBXのODトランクに接続するときと、インターカムEXES-2000/EXES-6000/EXES-7000システムとのタイライン接続のときで、接続のしかたが異なります。 (接続のしかた II P. 3-28) (圧接コネクターの結線のしかた II P. 3-34)

 マネットワークの接続
 10BASE-T/100BASE-TXのネットワークに自動判別 で接続できます。
 この接続には、UTPカテゴリー5規格以上のストレートケーブルを使用してください。

* ² 0 dB = 1 V

## ● PBXのODトランクと接続するとき

相手送話側からのケーブルは受話へ、相手受話側からのケーブルは送話へ接続します。 相手 SS 線は SR へ、相手 SR 線は SS へ接続します。



## ご注意

●C端子は内部で筐体(機能アース端子)と接続されています。

●この接続の場合は、N-8000MIの機能アース端子( ☞ P. 1-13の⑥)は接地しないでください。

#### メモ

接続する機器や距離に応じて、出力レベルおよび入力感度を0~15 dBの範囲で調節することができます。 ( ^{II} ● P. 5-42)

### ● インターカムのタイラインユニットと接続するとき

相手送話側からのケーブルは受話へ、相手受話側からのケーブルは送話へ接続します。



## ■ IP 端末の接続

## ● N-8500MSの接続



## AC アダプター端子の接続 AC アダプター AD-1210P を接続します。

② 外部スピーカー端子の接続



③ ヘッドセット端子の接続



### ④ ネットワーク接続端子の接続

10BASE-T/100BASE-TXのネットワークに自動判別 で接続できます。

IEEE802.3af 準拠の PoE (Power over Ethernet) 対応スイッチングハブと接続すれば、AC アダプターなしでも動作します。(接続のしかたについては、スイッチングハブに付属の説明書をお読みください。) この接続には、UTP カテゴリー5 規格以上のストレートケーブルを使用してください。

### ⑤ パソコン接続端子の接続

パソコンをカスケード接続することができます。た だし、本機に電源が供給されていないときは、ハブ 機能も停止します。

この接続には、UTPカテゴリー5規格以上のストレートケーブルを使用してください。

### ご注意

パソコン1台以外は接続しないでください。

* 0 dB = 1 V/pa (1 kHz)

## ● N-8510MSの接続



## ① AC アダプター端子の接続

AC アダプター AD-1210P を接続します。

② 緊急メッセージ起動端子の接続



## ③ ネットワーク接続端子の接続

10BASE-T/100BASE-TXのネットワークに自動判別 で接続できます。

IEEE802.3af 準拠の PoE(Power over Ethernet)対応スイッチングハブと接続すれば、AC アダプターなしでも動作します。(接続のしかたについては、スイッチングハブに付属の説明書をお読みください。) この接続には、UTP カテゴリー5 規格以上のストレートケーブルを使用してください。

### ④ パソコン接続端子の接続

パソコンをカスケード接続することができます。た だし、本機に電源が供給されていないときは、ハブ 機能も停止します。 この接続には、UTPカテゴリー5規格以上のスト レートケーブルを使用してください。

## ご注意

パソコン1台以外は接続しないでください。

## ● N-8515MSの接続



## ① AC アダプター端子の接続

付属のACアダプターAD-1210Pを接続します。

### ② 緊急メッセージ起動端子の接続



③ ネットワーク接続端子の接続

10BASE-T/100BASE-TXのネットワークに自動判別 で接続できます。

この接続には、UTPカテゴリー5規格以上のストレートケーブルを使用してください。

#### ④ パソコン接続端子の接続

パソコンをカスケード接続することができます。た だし、本機に電源が供給されていないときは、ハブ 機能も停止します。 この接続には、UTPカテゴリー5規格以上のスト レートケーブルを使用してください。



パソコン1台以外は接続しないでください。
#### ● N-8540DSの接続



AC100 V^

#### ① AC アダプター端子の接続

AC アダプター AD-1210P を接続します。

#### ② 接点出力端子の接続

上図のように、外部リレーと接続できます。 (コネクターの結線のしかた ■③ P. 3-34) [接点出力の仕様] オープンコレクター出力 耐電圧 : DC30 V 制御電流: 50 mA ③ ネットワーク接続端子の接続

10BASE-T/100BASE-TXのネットワークに自動判別 で接続できます。

IEEE802.3af 準拠の PoE (Power over Ethernet) 対応スイッチングハブと接続すれば、AC アダプターなしでも動作します。(接続のしかたについては、スイッチングハブに付属の説明書をお読みください。) この接続には、UTP カテゴリー5 規格以上のストレートケーブルを使用してください。

※ このケーブルには、フェライトクランプ(N-8540DSに付属)を装着してください。



## ■ 線材の選定

使用する線材は、次の条件により選定してください。

- ●交換機から端末への配線およびマルチインターフェースユニットの音声入出力端子、PBX インターフェース端子の配線は、必ずツイストペア線(電子ボタン電話用ケーブルなど)を使用してください。
- IP ネットワークへ接続する機器の接続には、RJ-45 コネクター付き UTP カテゴリー5 規格以上のストレー トケーブルを使用してください。
- ●ケーブルの対数は、将来の増設を十分に見込んだものとしてください。
- 点検のできない天井裏や床下などに配線するときは、屋外線を使用してください。
   ただし、熱気などによる障害の恐れがないときは、屋内線を使用することができます。

※ 各接続部の仕様は、次のとおりです。

圧接コネクター(N-8000EX/8010EX 回線端子、N-8000MI PBX インターフェース端子) 導体径: *o* 0.4 ~ 0.65 mm (AWG22 ~ 26)、単線 外形 : φ 1.05 mm 以下 クリップターミナル(E-7000TB) i 導体径:φ 0.4 ~ 0.8 mm (AWG20 ~ 26)、単線 外形 : φ 1.5 mm 以下 着脱式ターミナルプラグ(N-8000EX ページング出力、N-8000MI 接点入出力端子・音声入出力端子) 導体径: **0.5~2 mm** (AWG12~24)、単線・より線 着脱式ターミナルプラグ(N-8031MS 回線接続端子) 外部スピーカー端子(N-8000MS/8500MS)、緊急メッセージ起動端子(N-8510MS/8515MS) 導体径: φ 0.4 ~ 1.3 mm (AWG16 ~ 26)、単線 φ 0.7 ~ 1.4 mm (AWG16 ~ 22)、より線 外部スピーカー端子、制御出力端子(N-8020MS) 導体径: φ 0.65 mm (AWG22)、単線 φ 0.7 mm(AWG22)、より線 外部ダイヤル入力端子(N-8031MS) 導体径: φ 0.8 ~ 1.3 mm (AWG16 ~ 20)、単線・より線 端末ターミナル(N-8050DS 回線接続端子・接点出力端子、N-8540DS 接点出力端子) 導体径: φ 0.4 ~ 1.3 mm (AWG16 ~ 26)、単線・より線

## ■ 心線径と通達距離の関係

交換機と端末間の距離は、ループ抵抗が170Ω以下になるよう、次の表を目安に設計してください。

心線径(mm)	ループ抵抗(Ω/ km)	交換機から端末までの最大延長距離 (ループ抵抗を170Ωとして算出)
φ 0.4	295	570 m
φ 0.5	187	900 m
φ 0.65	113	1.5 km
φ 0.9	58	2.9 km

## ■ コネクターの結線

#### ● 圧接コネクターの結線

市販の工具(プライヤー)を使用して、各機器に付属の圧接コネクターをケーブルに接続します。



圧接コネクター (N-8000EX/8010EX/8000MI に付属、第一電子工業株式 会社製:232D-02S1B-DA5)



#### ● ターミナルプラグの結線

↑ ケーブルの先端に約7 mm(N-8031MSの場合のみ約5 mm)のむきしろを作る。

※ 使用する線材は P. 3-33「線材の選定」をお読みください。



7 mm'

*N-8031MSの場合のみ5 mm より線を使用するときは、むきしろ部分にはんだめっきをしないでください。

2 端子ねじをゆるめて、線材を差し込む。

3 端子ねじをしっかりと締め付ける。

#### ご注意

- ●線材を引っ張って抜けないことを確認してください。もし抜けた場合は端子ねじをゆるめ、やり直してください。
- ターミナルプラグのねじに合った適切なドライバーを使用してください。

4 (着脱式の場合のみ)

本体のターミナルブロックまたはピンヘッダーに、ケーブルを取り付けたターミナルプラグを 挿入する。

[N-8000EXの場合]



※ N-8000MIの場合も N-8000EX と同様です。



## ■端子盤 E-7000TB の結線

端子盤 E-7000TB へのケーブルの接続は別売の専用工具 YC-105 を使用します。 ケーブルを端子に引っ掛け、余った先端部分を手で持ち、専用工具 YC-105 で上から端子に押し込みます。 押し込むとケーブルの余った先端部分が切断され、接続が完了します。

※使用する線材は P. 3-33「線材の選定」をお読みください。



# 第4章

## システム設定の前に

この章では、システム設定の項目、システムの電源投入などについ て説明します。

## システム設定の項目と初期値

システム設定は、オートダイヤルの登録を除くすべての設定項目について、付属のN-8000 ソフトウェアで行 えます。

ー部の設定項目は、ブラウザー、端末からも設定できます。ただし、ブラウザーからは、接続している交換 機、マルチインターフェースユニット、またはIP端末に対してのみの設定となります。また、端末からは接 続している交換機に対して、あるいは自端末に関してのみの設定となります。

システム設定の分類と項目、および各項目についての工場出荷時の初期値などは以下の一覧のとおりです。

※表中の略語はソ:ソフトウェア、ブ:ブラウザー、端:端末を表します。

## ■ システム全般

項目名	ソフトウェア からの設定	ブラウザー からの設定	端末から の設定	初期値	参照ページ
システム構成	0				P 5 20
機器番号	0			1~	F. 5-20
機器名称	0	0		各機器の品番 (例:N-8000EX)	ソ:P. 5-20 ブ:P. 6-5
端末番号桁数	0			2	P. 5-23
端末番号	0		•	回線1は10、回線2 は11、、回線 16は25	ソ:P. 5-23 端:P. 7-7
端末名称	0				P. 5-23
機器間のネットワーク通信の可否	0				P. 5-25
機器間のマルチキャスト通信の可否	0				P. 5-26

*多機能マスター端末N-8000MS、IP多機能マスター端末N-8500MSでのみ設定可



#### ● ネットワーク設定

項目名	ソフトウェア からの設定	ブラウザー からの設定	端末から の設定	初期値	参照ページ
IPアドレス*1	0	0	O*2	192.168.1.1	ソ:P. 5-15/20/27 ブ:P. 6-5 端:P. 7-6
サブネットマスク*1	0	0	○*2	255.255.255.0	ソ:P. 5-15 P. 5-16 P. 5-27
デフォルトゲートウェイ*1	0	0	○*2	0.0.0.0	ブ:P. 6-5 端:P. 7-6
Webサーバーポート番号	0	0		80	ソ:P. 5-15/20/27 ブ:P. 6-5
TCP開始ポート番号	$\bigcirc$			5000	
UDP開始ポート番号	$\bigcirc$			5006	
マルチキャストポート番号	$\bigcirc$			6000	P. 5-27
NAPT対応の可否	$\bigcirc$			対応しない	
ネットワークID	$\bigcirc$			1	
WAN側IPアドレス	$\bigcirc$			192.168.1.1	P. 5-20
WAN側Webサーバーポート番号	$\bigcirc$			80	P. 5-27
WAN側TCP開始ポート番号	$\bigcirc$			5000	
WAN側UDP開始ポート番号	0			5006	
音声スペック	0			高音質モード	r. 5-21
通信容量	0			2990 kbps	

*1 ネットワーク経由で設定、通話するために、必ず設定してください。

*2 多機能マスター端末N-8000MSでのみ設定可

## ● サンプリング周波数補正

項目名	ソフトウェア からの設定	ブラウザー からの設定	端末から の設定	初期值	参照ページ
サンプリング周波数補正	0			自動	
送信先IPアドレス	0				
送信先ポート番号	0				P 5-31
受信元IPアドレス	0				
受信マルチキャスト使用可否	0				
受信マルチキャストアドレス	0				

### ● 機能設定

項目名	ソフトウェア からの設定	ブラウザー からの設定	端末から の設定	初期値	参照ページ
不在転送機能	0			OFF	
時刻連動不在転送機能	0			OFF	
時刻連動不在転送開始時刻	$\bigcirc$			00:00	
時刻連動不在転送終了時刻	0			00:00	
話中転送機能	$\bigcirc$			OFF	
不応答転送機能	0			OFF	
不応答転送呼び出し時間	$\bigcirc$			10秒	
ワンショットメイク時間	$\bigcirc$			1秒	D 5 20
呼び出し時間制限	$\bigcirc$			制限なし	F. 5-52
通話時間制限	$\bigcirc$			制限なし	
ページング時間制限	$\bigcirc$			制限なし	
ページング応答モード	0			系統選択	
ページング優先設定	$\bigcirc$			ページング優先	
発呼局表示モード	0			呼び出し・通話中メイク	
BGM入力	0				
ドア端末接点動作モード	0			ドアリモート制御	

## ■ マルチインターフェースユニット

### ● ネットワーク設定

項目名	ソフトウェア からの設定	ブラウザー からの設定	端末から の設定	初期値	参照ページ
IPアドレス*	0	0		192.168.1.1	ソ:P. 5-15/20/35 ブ:P. 6-5
サブネットマスク*	0	0		255.255.255.0	ソ:P. 5-15 P. 5-16
デフォルトゲートウェイ *	0	0		0.0.0.0	P. 5-35 ブ:P. 6-5
Webサーバーポート番号	0	0		80	ソ:P. 5-15/20/35 ブ:P. 6-5
TCP開始ポート番号	$\bigcirc$			5000	
UDP開始ポート番号	0			5006	
マルチキャストポート番号	$\bigcirc$			6000	P. 5-35
NAPT対応の可否	$\bigcirc$			対応しない	
ネットワークID	0			1	
WAN側IPアドレス	0			192.168.1.1	P. 5-20
WAN側Webサーバーポート番号	$\bigcirc$			80	P. 5-35
WAN側TCP開始ポート番号	0			5000	
WAN側UDP開始ポート番号	0			5006	
音声スペック	0			高音質モード	r. d-30
通信容量	0			2990 kbps	

* ネットワーク経由で設定、通話するために、必ず設定してください。

#### ● サンプリング周波数補正

項目名	ソフトウェア からの設定	ブラウザー からの設定	端末から の設定	初期值	参照ページ
サンプリング周波数補正	$\bigcirc$			自動	
送信先IPアドレス	$\bigcirc$				
送信先ポート番号	0				P 5 20
受信元IPアドレス	$\bigcirc$				F. 5-59
受信マルチキャスト使用可否	0				
受信マルチキャストアドレス	0				

### ● 機能設定

項目名	ソフトウェア からの設定	ブラウザー からの設定	端末から の設定	初期值	参照ページ
ワンショットメイク時間	0			1秒	
呼び出し時間制限	0			制限なし	
通話時間制限	0			制限なし	D E 40
ページング時間制限	0			制限なし	P. 5-40
ページング応答モード	0			系統選択	
ページング優先設定	0			ページング優先	

### ● 音声入出力

項目名	ソフトウェア からの設定	ブラウザー からの設定	端末から の設定	初期值	参照ページ
入力動作モード	0			未使用	
入力感度	0				
タイライン発信操作特番	$\bigcirc$				
ODトランク発信操作特番	$\bigcirc$				
外部入力放送の放送先系統	0				P. 5-42
回線属性	0				
回線方式	$\bigcirc$				
出力動作モード	0			未使用	
出力レベル	0				

### ● 接点入力

項目名	ソフトウェア からの設定	ブラウザー からの設定	端末から の設定	初期值	参照ページ
接点入力動作モード	$\bigcirc$			未使用	
連動接点	$\bigcirc$				D 5 44
外部入力放送の放送先系統	$\bigcirc$				F. 5-44
リモートダイヤル	0				

## ● 接点出力

項目名	ソフトウェア からの設定	ブラウザー からの設定	端末から の設定	初期値	参照ページ
外部機器制御の操作番号桁数	0			2	
外部機器制御の操作番号	$\bigcirc$				
回線状態	0				P. 5-46
ネットワーク状態	0				

## IP 端末

### ● ネットワーク設定

項目名	ソフトウェア からの設定	ブラウザー からの設定	端末から の設定	初期值	参照ページ
IPアドレス *1	0	0	<u></u> *2	192.168.1.1	ソ:P. 5-15/20/47 ブ:P. 6-5
サブネットマスク*1	0	0	O*2	255.255.255.0	ソ:P. 5-15 P. 5-16
デフォルトゲートウェイ *1	0	0	O*2	0.0.0.0	P. 5-47 ブ:P. 6-5
Webサーバーポート番号	0	0		80	ソ:P. 5-15/20/47 ブ:P. 6-5
TCP開始ポート番号	$\bigcirc$			5000	
UDP開始ポート番号	$\bigcirc$			5006	
マルチキャストポート番号	$\bigcirc$			6000	P. 5-47
NAPT対応の可否	$\bigcirc$			対応しない	
ネットワークID	$\bigcirc$			1	
WAN側IPアドレス	$\bigcirc$			192.168.1.1	P. 5-20
WAN側Webサーバーポート番号	$\bigcirc$			80	P. 5-47
WAN側TCP開始ポート番号	0			5000	
WAN側UDP開始ポート番号	0			5006	D 5 47
音声スペック	0			高音質モード	Г. J-47
通信容量	0			2990 kbps	

*1 ネットワーク経由で設定、通話するために、必ず設定してください。

*2 IP多機能マスター端末N-8500MSでのみ設定可

### ● 機能設定1

項目名	ソフトウェア からの設定	ブラウザー からの設定	端末から の設定	初期值	参照ページ
不在転送機能 *1	0			OFF	
時刻連動不在転送機能 *1	0			OFF	
時刻連動不在転送開始時刻 *1	0			00:00	
時刻連動不在転送終了時刻 *1	0			00:00	
話中転送機能 *1	0			OFF	
不応答転送機能 *1	0			OFF	
不応答転送呼び出し時間 *1	$\bigcirc$			10秒	
ワンショットメイク時間	0			1秒	
呼び出し時間制限	0			制限なし	P. 5-51
通話時間制限	0			制限なし	
ページング時間制限 *1	0			制限なし	
ページング応答モード *1	0			系統選択	
ページング優先設定	$\bigcirc$			ページング優先	
発呼局表示モード	0			呼び出し・通話中 メイク	
BGM入力	0				
ドア端末接点動作モード *2	0			ドアリモート制御	

*1 IP多機能マスター端末N-8500MSの場合のみ設定可

*² IPドア端末N-8540DSの場合のみ設定可

#### ●機能設定2

項目名	ソフトウェア からの設定	ブラウザー からの設定	端末から の設定	初期值	参照ページ
着信モード *1	0			自動着信モード	
自動着信呼び出し音	0			あり	D 5 54
連続呼び出し時呼び出し音 *1	0			あり	1.0-04
マイク感度	0			レベル2	
スピーカー出力	$\bigcirc$		<b>)</b> *2	レベル3	ン:P. 5-54 端:P. 2-4
呼び出し音量	0			レベル3	D 5 54
グループ呼び出しメンバー *1	0				F. 5-54
不在転送先 *1	$\bigcirc$		○*2		ン:P. 5-54 端:P. 2-18
時刻連動不在転送先 *1	0		O*2		ン:P. 5-54 端:P. 2-19
不応答転送先 *1	0		○*2		ン:P. 5-54 端:P. 2-17
話中転送先 *1	0		○*2		ン:P. 5-54 端:P. 2-15
BGM受信の可否	0			不可	P. 5-54
BGM入力	0		○*2		ン:P. 5-54 端:P. 2-35
ドアホンモード	0			不可	
割り込み操作の可否 *1	0			不可	
割り込み拒否の設定	0			割り込みを許可する	
ページング呼び出し操作の可否 *1	0			可	P 5-54
外部機器制御操作の可否*1	0			不可	1.0-04
ドアリモート接点番号	$\bigcirc$				
発呼局表示接点番号	0				
発呼局表示呼び出し先端末番号	0				

*1 IP多機能マスター端末N-8500MSの場合のみ設定可

*2 IP多機能マスター端末N-8500MSでのみ設定可

### ● 短縮ダイヤル

項目名	ソフトウェア からの設定	ブラウザー からの設定	端末から の設定	初期値	参照ページ
ワンタッチダイヤル	0		<b>○</b> *2		ン:P. 5-56 端:P. 2-11
マスター呼び出し	0				P. 5-56
オートダイヤル			O*2		P. 2-10

*2 IP多機能マスター端末N-8500MSでのみ設定可

#### ● スキャンモニター

項目名	ソフトウェア からの設定	ブラウザー からの設定	端末から の設定	初期値	参照ページ
スキャンモニターグループ	$\bigcirc$				D 5 57
スキャンモニター時間	$\bigcirc$			3秒	F. 5-57

#### ● 緊急メッセージ

この項目は IP マスター端末 N-8500MS/8510MS/8515MS のみ設定可

項目名	ソフトウェア からの設定	ブラウザー からの設定	端末から の設定	初期值	参照ページ
緊急メッセージ放送操作の可否	0			不可	
起動方法	0			ダイヤル操作・外 部接点入力* によ る起動	
繰り返し	0			1回	P. 5-58
放送系統	$\bigcirc$			一斉	
連動接点出力番号	0				
連動制御モード	0			起動中メイク	

* N-8500MSのみ、外部接点入力による起動はできません。



### ● 機能設定

項目名	ソフトウェア からの設定	ブラウザー からの設定	端末から の設定	初期值	参照ページ
着信モード	0			自動着信モード	
自動着信呼び出し音	0			あり	P 5-59
連続呼び出し時呼び出し音	0			あり	1.0-00
マイク感度	0			レベル2	
スピーカー出力	0		○*1	レベル3	ン:P. 5-59 端:P. 2-4
呼び出し音量	$\bigcirc$			レベル3	P. 5-59
グループ呼び出しメンバー	0				
不在転送先	0		○* ¹		ン:P. 5-59 端:P. 2-18
時刻連動不在転送先	0		○*1		ン:P. 5-59 端:P. 2-19
不応答転送先	0		○*1		ン:P. 5-59 端:P. 2-17
話中転送先	0		○*1		ン:P. 5-59 端:P. 2-15
BGM受信の可否	0			不可	P. 5-59
BGM入力	0		○*1		ン:P. 5-59 端:P. 2-35
ドアホンモード	0			不可	_
割り込み操作の可否	0			不可	_
割り込み拒否の設定	0			割り込みを許可する (N-8000EX接続時) 割り込みを拒否する (N-8010EX接続時)* ²	D.C.CO
ページング呼び出し操作の可否	0			可	P. 5-59
外部機器制御操作の可否	$\bigcirc$			不可	
ドアリモート接点番号	0				
発呼局表示接点番号	0				
発呼局表示呼び出し先端末番号	$\bigcirc$				

*1 すべてのマスター端末で設定可

*2 N-8010EXに接続されている端末は割り込みを拒否する設定に固定

#### ● 短縮ダイヤル

項目名	ソフトウェア からの設定	ブラウザー からの設定	端末から の設定	初期値	参照ページ
ワンタッチダイヤル	0		○*1		ン:P. 5-62 端:P. 2-11
マスター呼び出し	$\bigcirc$				P. 5-62
オートダイヤル			O*2		P. 2-10

*1 すべてのマスター端末で設定可

*2多機能マスター端末N-8000MSでのみ設定可

● スキャンモニター

項目名	ソフトウェア からの設定	ブラウザー からの設定	端末から の設定	初期値	参照ページ
スキャンモニターグループ	$\bigcirc$				P 5-63
スキャンモニター時間	0			3秒	1.5-05

## ■ ページング

項目名	ソフトウェア からの設定	ブラウザー からの設定	端末から の設定	初期値	参照ページ
ページング番号桁数	0			1	
ページング用ポート開始番号	$\bigcirc$			6000	D 5 64
ページング系統名称	$\bigcirc$				F. 3-04
ページング系統の設定	0				

■ グループ

項目名	ソフトウェア からの設定	ブラウザー からの設定	端末から の設定	初期値	参照ページ
限定局呼び出しグループ	0				P. 5-65
限定局呼び出し先	0				P. 5-66
代理応答グループ	0				P. 5-67

## / システムの電源を入れる

システム設定を行うためには、システムに電源が供給されている必要があります。

#### ● 電源を入れるときのご注意

システムの電源を入れる前に、次のことをもう一度確認してください。

・ケーブル、コネクター類の配線と接続は正しく確実に行われているか。

・交換機およびマルチインターフェースユニットの機能アースは正しく接続されているか。

#### ● 電源の入れかた

次の手順で電源を入れてください。

**┦** 接続されているネットワーク機器(スイッチングハブ、ルーターなど)の電源を入れる。

**2** すべての交換機、マルチインターフェースユニット、および IP 端末の電源を入れる。

## 設定の手順

① ネットワーク設定をする。( 🔊 P. 5-12、P. 6-5、P. 7-6)

ネットワークに接続するすべての交換機、マルチインターフェースユニット、およびIP 端末のネットワーク設定(IP アドレス、デフォルトゲートウェイ、サブネットマスク)を行います。ネット ワーク設定の概略は、次ページの「パソコンでのネットワーク設定」をお読みください。

システム設定をする。(¹¹ P. 5-18)

付属のN-8000 ソフトウェアを使って、交換機、マルチインターフェースユニット、端末、ページン グなどのシステムに関する各種設定を行います。

③ 設定を保存し、機器にアップロードする。( 🖙 P. 5-69)

設定内容を保存し、交換機、マルチインターフェースユニット、およびIP端末に書き込みます。

## / パソコンでのネットワーク設定

3 つのローカルネットワーク(LAN)がインターネットを介して接続されているシステムを例に、パソコンで 各交換機、各マルチインターフェースユニット、および各 IP 端末のネットワーク設定をする方法を説明しま す。

それぞれのLAN内はブロードキャストが伝送できる範囲であり、異なるLAN同士はブロードキャストが届かないものとします。

LAN(A)に接続されているパソコンAをシステム設定用とします。

[システムのイメージ図]



[設定の概略手順]

- 1 システム設定用のパソコン*1からブロードキャストが伝送できる範囲*2にある交換機、マル チインターフェースユニット、または IP 端末のネットワーク設定を、このパソコンを使って 行う。
  - *1前ページの図ではパソコンA
  - *²前ページの図ではLAN(A)内

付属のN-8000 ソフトウェアの機器検出機能を使って設定してください。(『☞ P.5-12)

2 システム設定用のパソコンからブロードキャストが伝送できない範囲*3にある交換機、マルチ インターフェースユニット、または IP 端末のネットワーク設定を、各ローカルネットワーク 内のパソコンを使って行う。

*3前ページの図ではLAN(B)と(C)

● N-8000 ソフトウェアの機器検出機能を使って設定します。

#### ご注意

このとき、N-8000 ソフトウェアは交換機、マルチインターフェースユニット、または IP 端末のネットワーク設定にのみお使いください。システム全体に関する各種設定は、パソコンA で行ってください。

- 次の①、②いずれかの方法でも設定できます。( 🖙 P. 6-5)
  - Web ブラウザーを使ってネットワークを介して設定する。

#### ご注意

交換機、マルチインターフェースユニット、または IP 端末が複数台あり、IP アドレスが同じ(工 場出荷時はすべて同じ)場合は、1 台ずつネットワークに接続して設定してください。

- ② 交換機、マルチインターフェースユニット、または IP 端末を LAN から外して、直接パソコンにクロスケーブルで接続し、Web ブラウザーを使って設定する。
- ・パソコンを使わないで、多機能マスター端末のメニュー画面を使って設定する方法もあります。
   交換機のネットワーク設定をするときは、設定したい交換機に多機能マスター端末を接続して設定してください。
   IP 多機能マスター端末の場合は、メニュー画面を使って、その端末のネットワーク設定をすることができます。(■③ P.7-6)
- 3 ネットワーク上のすべての交換機、マルチインターフェースユニット、および IP 端末をシステム設定用のパソコンから通信できるようにする。

システム設定用のパソコンでN-8000 ソフトウェアのシステム設定機能を使って、**手順1**または2でネットワーク設定をした交換機、マルチインターフェースユニット、およびIP 端末を登録してください。 ( ■ P. 5-20)

以上の手順で、システム設定用のパソコンからシステム内のすべての交換機、マルチインターフェース ユニット、またはIP端末と通信ができます。

第5章

## ソフトウェアによる システム設定

この章ではN-8000 ソフトウェアのインストール、ソフトウェアでの 設定のしかたについて説明します。

## / N-8000 ソフトウェアの概要

## ■ N-8000 ソフトウェアとは

付属のN-8000 ソフトウェアは、システムの設定を行うソフトウェアです。 このソフトウェアには、以下の2つの機能があります。

#### ● 機器検出(ネットワーク設定)機能

ローカルネットワークに接続された交換機、マルチインターフェースユニット、または IP 端末の検出と、 ネットワークの設定を行います。システムの初期設定時に使ってください。

※ 機器検出機能が使えるのは、ブロードキャストが届く範囲のみです。それ以外の機器は、別途ネットワーク設定を行ってください。( II P. 4-14)

#### ● システム設定機能

システムに関する各種設定を行います。

#### ご注意

システムの動作ログはこのソフトウェアでは表示できません。ブラウザーをお使いください。( 🖙 P. 6-18)

## ■ パソコンのネットワークの設定について

パソコンのネットワーク設定は、ネットワーク管理者の指示に従って、あらかじめ行ってください。 誤った設定をすると、同じネットワークに接続されている他の機器に影響を与える恐れがあります。

#### ご注意

パソコンと交換機、マルチインターフェースユニット、および IP 端末が通信できるように、パソコンのネットワーク設定を行ってください。 パソコンのネットワーク設定を適切に行わないと、N-8000 システムの設定ができません。 ただし、交換機、マルチインターフェースユニット、および IP 端末のネットワーク設定は、パソコンのネットワーク設定が適切でなくても、できる場合もあります。

## ■ 設定内容更新時のご注意

設定内容の更新中*は、絶対に交換機、マルチインターフェースユニット、および IP 端末を再起動したり、 電源を切ったりしないでください。 故障の原因となります。

* 更新中は、交換機・マルチインターフェースユニット前面の STATUS 表示灯、および IP 端末の状態表示灯 が点灯します。

## ソフトウェアをインストールする

## ■ システムの条件

N-8000 ソフトウェアを正常に動作させるために、パソコンは以下の条件を推奨します。

- OS : Windows 2000/XP/Vista
- CPU : Pentium III 800 MHz 以上

※ Windows および Windows Vista は、Microsoft Corporationの商標です。 ※ Pentium は、Intel Corporationの商標です。

## ■ セットアップガイドを起動する

付属の CD をパソコンのドライブに入れると、セットアップガイドが自動的にスタートします。

#### ご注意

お持ちのパソコンの CD ドライブがオートラン機能に対応していない場合、CD を挿入してもセットアップガ イドは自動的に起動しません。その場合は、エクスプローラやマイコンピュータで以下のファイルを実行す るか、タスクバーの [スタート→ファイル名を指定して実行] で以下のコマンドを入力してください。

< CDの入っているドライブ> ¥index.html 例:dドライブに CDを挿入している場合 → d:¥index.html

次の画面が表示されます。

メモ

画面右上の[言語選択]をクリックすると、言語選択画面が表示されます。その画面で希望の言語を選択す ると画面に表示する言語を変更できます。



ブラウザーが Java スクリプトに対応していない場合、右のような画面が表示されます。 日本語で表示させるには[日本語]をクリックしてください。



## 【N-8000 ソフトウェアをインストールする

1 セットアップガイドの「N-8000 ソフトウェアのインストール」をクリックする。 インストーラーが起動します。



2 [次へ] ボタンを押す。

インストール先の選択画面が表示されます。



## 3 インストール先の変更が必要な場合は、フォルダーを選択する。

「N-8000 ソフトウェアのインストール先」に表示されているものとは異なるフォルダーにインストール したい場合は、[変更] ボタンを押して、フォルダーを選択してください。





5 [インストール] ボタンを押す。

選択したフォルダーにインストールされ、完了すると、セットアップの完了画面が表示されます。



6 [完了] ボタンを押す。

## ■ N-8000 ソフトウェアをアンインストールする

[コントロールパネル] → [アプリケーションの追加と削除] から削除してください。

## ■ 緊急メッセージ放送用の標準メッセージをインストール する

IPマスター端末から行う緊急メッセージ放送の標準メッセージをパソコンにインストールします。 緊急メッセージ放送は、ここでインストールする標準メッセージのほか、オリジナルメッセージを作成し放 送することも可能です。

#### ご注意

標準メッセージのインストールは、N-8000 ソフトウェアをインストールした後に行ってください。

- インストールのしかた
- 1 セットアップガイドの「緊急メッセージ放送用標準メッセージのインストール」をクリックする。

インストーラーが起動します。



2 [次へ] ボタンを押す。

インストール準備完了画面が表示されます。



3 [インストール] ボタンを押す。

N-8000 ソフトウェアと同じフォルダーにインストールされ、完了すると、セットアップの完了画面が表示されます。

🛃 N-8000緊急メッセージ -	- InstallShield Wizard 🛛 🔀
<b>S</b>	InstallShield ウィザードを完了しました
2	InstallShield ウィザードは、N-8000駅急メッセージ を正常にイン ストールしました。「完了」をクリックして、ウィザードを終了してくださ い。
	< 戻る(B) <b>売了(E)</b> キャンセル



● アンインストールのしかた

[コントロールパネル] → [アプリケーションの追加と削除] から「N-8000 緊急メッセージ」を削除してください。

## ■ フォルダーの構成

N-8000 ソフトウェアは、デフォルトで C:¥Program Files¥TOA¥N-8000 にインストールされます。 システム設定ファイルはデフォルトで、Windows 2000/XP の場合は①、Windows Vista の場合は②に作成されます。

1) C:¥Document and Settings¥All Users¥ Application Data¥TOA¥N-8000

2 C:¥ProgramData¥TOA¥N-8000

フォルダーの構成は下記のとおりです。(ただし、システム設定ファイルはソフトウェアでの設定後に生成されます。)

フォルダー内のファイル、フォルダーの構成や名前を変更しないでください。



## ■ バージョンアップ情報

- N-8000 ソフトウェア、ファームウェア、および取扱説明書の最新版を TOA 商品ダウンロードサイト (http://www.toa-products.com/) で公開しています。 最新のものを上記サイトからダウンロードしてお使いください。
- ソフトウェアのバージョンはヘルプメニューから確認できます。
- ファームウェアのバージョンは、ブラウザーから交換機、マルチインターフェースユニット、またはIP端 末に接続すると、システム管理画面(■③ P. 6-23)で確認できます。
- 説明書のバージョンは、最終ページ右下の作成年月で確認できます。
   (例) 2008 年 3 月作成の場合: 200803

## / N-8000 ソフトウェアを起動する

インストール時、デスクトップに作成された N-8000 ソフトウェアのショートカットをダブル クリックする。または、インストールしたフォルダーに作成された N8000.exe を直接ダブルク リックする。

[ユーザー認証]の画面が表示されます。

N-8000 ソフトウェア
システム名を選択し、バスワードを入力してください。 新しいシステムの設定をする場合は、新規システムを 選択し[OK]ボタンを押してください。
システム名: (新規システム) 💌
パスワード:
OK キャンセル

2 システム名を選択、パスワードを入力し、[OK] ボタンを押す。
 ※ システム名、パスワードは大文字、小文字を区別します。
 ※ 新しいシステムの設定をする場合は、(新規システム)を選択し [OK] ボタンを押してください。

工場出荷時は、システム名: N-8000、パスワード: guest になっています。システム名とパス ワードの変更は P. 5-81 をお読みください。

システム名とパスワードが正しく入力されると、N-8000 ソフトウェアの初期画面が表示されます。

³ [™] N-8000ソフトウェア	
Packet Inter	rcom
N-8000 ソフトウェア	,
	機器検出 (ネットワーク設定)
	システム設定
	緊急メッセージ設定
	パスワードの変更
	時刻設定
終了	Copyright(C)2004 TOA Corporation. All rights reserved.

- 3 機器検出をするときは「機器検出(ネットワーク設定)」をクリックする。
- 4 システムの設定をするときは「システム設定」をクリックする。
- 5 IPマスター端末の緊急メッセージを作成・登録するときは「緊急メッセージ設定」をクリック する。
- 6 パスワードを変更するときは「パスワード変更」をクリックする。
- 7 システム時刻の設定をするときは「時刻設定」をクリックする。
- 8 このソフトウェアを終了するときは「終了」をクリックする。



ローカルネットワークに接続された交換機、マルチインターフェースユニット、およびIP 端末の検出とネットワーク設定を行います。

※ 機器検出機能が使えるのは、ブロードキャストが届く範囲 ( II № P. 8-5) のみです。それ以外の機器は、 別途ネットワーク設定を行ってください。( II № P. 4-14)

画面の説明

初期画面で「機器検出(ネットワーク設定)」をクリックします。

以下の画面は、機器検出後の画面例です。検出された交換機、マルチインターフェースユニット、および IP 端末のリストが表示されます。

P <b>U</b>	<b>標器検出 - N-8000</b> )	リフトウェア						
ファ	イル(E) 検出(S) ヘルプ	?( <u>H</u> )						
6	金山 静定							
選	沢 MACアドレス	機種名	IPアドレス	サブネットマスク	デフォルトゲートウェイ	Webポート	名称	~
	00-05-F9-FF-80-00	N-8000EX	192.168.1.1	255.255.255.0	0.0.0.0	80	EX 1	
	00-05-F9-FF-80-01	N-8000EX	192.168.1.2	255.255.255.0	0.0.0.0	80	EX 2	
	00-05-F9-FF-80-02	N-8000EX	192.168.1.3	255.255.255.0	0.0.0.0	80	EX 3	
	00-05-F9-FF-80-03	N-8000EX	192.168.1.4	255.255.255.0	0.0.0.0	80	EX 4	
	00-05-F9-FF-80-04	N-8000EX	192.168.1.5	255.255.255.0	0.0.0.0	80	EX 5	
	00-05-F9-FF-80-05	N-8000EX	192.168.1.6	255.255.255.0	0.0.0.0	80	EX 6	
	00-05-F9-FF-80-06	N-8000EX	192.168.1.7	255.255.255.0	0.0.0.0	80	EX 7	
	00-05-F9-FF-80-07	N-8000EX	192.168.1.8	255.255.255.0	0.0.0.0	80	EX 8	
	00-05-F9-FF-80-08	N-8000EX	192.168.1.9	255.255.255.0	0.0.0.0	80	EX 9	
	00-05-F9-FF-80-09	N-8000EX	192.168.1.10	255.255.255.0	0.0.0.0	80	EX 10	
	00-05-F9-FF-80-0A	N-8000EX	192.168.1.11	255.255.255.0	0.0.0.0	80	EX 11	
	00-05-F9-FF-80-0B	N-8000EX	192.168.1.12	255.255.255.0	0.0.0.0	80	EX 12	
	00-05-F9-FF-80-0C	N-8000EX	192.168.1.13	255.255.255.0	0.0.0.0	80	EX 13	
	00-05-F9-FF-80-0D	N-8000EX	192.168.1.14	255.255.255.0	0.0.0.0	80	EX 14	
	00-05-F9-FF-80-0E	N-8000EX	192.168.1.15	255.255.255.0	0.0.0	80	EX 15	
	00-05-F9-FF-80-0F	N-8000EX	192.168.1.16	255.255.255.0	0.0.0	80	EX 16	
	00-05-F9-FF-80-10	N-8000EX	192.168.1.17	255.255.255.0	0.0.0	80	EX 17	
	00-05-F9-FF-80-11	N-8000EX	192.168.1.18	255.255.255.0	0.0.0.0	80	EX 18	
	00-05-F9-FF-80-12	N-8000EX	192.168.1.19	255.255.255.0	0.0.0.0	80	EX 19	
	00-05-F9-FF-80-13	N-8000EX	192.168.1.20	255.255.255.0	0.0.0.0	80	EX 20	
	00-05-F9-FF-80-14	N-8000EX	192.168.1.21	255.255.255.0	0.0.0.0	80	EX 21	
	00-05-50-55-20-15	N-2000EV	102168122	255 255 255 0	0000	90	FX 99	<u> </u>

- 選択
   各機器を選択するときにチェックします。
- MACアドレス(変更できません。) 検出された機器のMACアドレスを表示します。
- (3) 機種名(変更できません。)
   検出された機器の機種名を表示します。
- ④ IP アドレス 検出された機器の IP アドレスを表示します。

- ⑤ サブネットマスク 検出された機器に設定するサブネットマスクを表示します。
- ⑥ デフォルトゲートウェイ
   検出された機器に設定するデフォルトゲートウェ
   イを表示します。
- ⑦ Web ポート
   Web サーバーのポート番号を表示します。
- 名称 検出された機器の名称を表示します。

## ■メニュー

#### ● ファイル

ファイル( <u>F</u> )	検出( <u>S</u> )	ヘルプ(日)
保存( <u>S</u> )		
印刷( <u>P</u> ) 印刷プレ( プリンタの)	Ľユー(⊻) 設定(B)	Ctrl+P
閉じる( <u>C</u> )		Alt+F4

保存 :検出した結果をCSV形式で保存します。 印刷 :検出した結果を印刷します。 印刷プレビュー:印刷プレビュー画面を表示します。 プリンタの設定:プリンタの設定をします。 閉じる :このソフトウェアを終了します。

#### ● 検出

検出(空) ヘルプ(円)	
機器検出( <u>S</u> ) 設定( <u>C</u> )	
IPアドレス① サブネットマスクの設定(M) デフォルトゲートウェイの設定(G)	自動割り当て(A) 割り当て範囲の設定(R)
すべて選択( <u>A</u> )	

機器検出

: ローカルネットワーク上に接続されている機器を検出します。 : 選択した機器の設定をアップロードします。 設定 IPアドレス : IP アドレスの自動割り当てと、そのための設定を行います。 自動割り当て :選択した機器にIPアドレスを自動で割り当てます。 割り当て範囲の設定 : IP アドレス自動割り当てで使用できる IP アドレスの範囲を設定します。 サブネットマスクの設定 :選択した機器に同じサブネットマスクを設定します。 デフォルトゲートウェイの設定:選択した機器に同じデフォルトゲートウェイを設定します。 すべて選択 :検出された機器すべてを選択します。

#### ● ヘルプ



ヘルプ :ヘルプを表示します。 バージョン:このソフトウェアのバージョン情報を表示します。

## ■ ボタン



 ① 検出ボタン:ローカルネットワーク上の機器の検出を行います。

 ② 設定ボタン:IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、名称を機器に書き込みます。

## ■ 機器を検出する

ローカルネットワークに接続されている交換機、マルチインターフェースユニット、および IP 端末を検出します。

#### ご注意

検出できる範囲は、ブロードキャストが有効な範囲のみです。

**1** システムがネットワークに接続され、システムの電源が入っていることを確認する。 交換機・マルチインターフェースユニットのLNK/ACT表示灯、IP端末のFD表示灯が点灯しています。

2 検出ボタンを押す、またはメニューバーから [検出 → 機器検出]を選択する。 ローカルネットワークに接続された機器のMACアドレス、機種名、IPアドレス、サブネットマスク、 デフォルトゲートウェイ、Webポート、名称が表示されます。

※ 工場出荷時は、次の値が設定されています。
 IPアドレス : 192.168.1.1
 サブネットマスク : 255.255.255.0
 デフォルトゲートウェイ : 0.0.0.0
 Webポート : 80
 名称 : N-8000EX、N-8010EX、N-8000MI、N-8500MS、またはN-8540DS

围根	器検出 - N-8000)	ノフトウェア						×
ファイ	ル(E) 検出(S) ヘルブ	ν( <del>Π</del> )						
検	設定							
選択	MACアドレス	機種名	IPアドレス	サブネットマスク	デフォルトゲートウェイ	Webポート	名称	~
	00-05-F9-FF-80-00	N-8000EX	192.168.1.1	255.255.255.0	0.0.0	80	EX 1	
	00-05-F9-FF-80-01	N-8000EX	192.168.1.2	255.255.255.0	0.0.00	80	EX 2	
	00-05-F9-FF-80-02	N-8000EX	192.168.1.3	255.255.255.0	0.0.00	80	EX 3	
	00-05-F9-FF-80-03	N-8000EX	192.168.1.4	255.255.255.0	0.0.00	80	EX 4	
	00-05-F9-FF-80-04	N-8000EX	192.168.1.5	255.255.255.0	0.0.0.0	80	EX 5	Ξ.
	00-05-F9-FF-80-05	N-8000EX	192.168.1.6	255.255.255.0	0.0.0	80	EX 6	
	00-05-F9-FF-80-06	N-8000EX	192.168.1.7	255.255.255.0	0.0.0	80	EX 7	
	00-05-F9-FF-80-07	N-8000EX	192.168.1.8	255.255.255.0	0.0.0	80	EX 8	
	00-05-F9-FF-80-08	N-8000EX	192.168.1.9	255.255.255.0	0.0.0	80	EX 9	
	00-05-F9-FF-80-09	N-8000EX	192.168.1.10	255.255.255.0	0.0.00	80	EX 10	
	00-05-F9-FF-80-0A	N-8000EX	192.168.1.11	255.255.255.0	0.0.0.0	80	EX 11	
	00-05-F9-FF-80-0B	N-8000EX	192.168.1.12	255.255.255.0	0.0.0.0	80	EX 12	
	00-05-F9-FF-80-0C	N-8000EX	192.168.1.13	255.255.255.0	0.0.0.0	80	EX 13	
	00-05-F9-FF-80-0D	N-8000EX	192.168.1.14	255.255.255.0	0.0.0.0	80	EX 14	
	00-05-F9-FF-80-0E	N-8000EX	192.168.1.15	255.255.255.0	0.0.0.0	80	EX 15	
	00-05-F9-FF-80-0F	N-8000EX	192.168.1.16	255.255.255.0	0.0.0.0	80	EX 16	
	00-05-F9-FF-80-10	N-8000EX	192.168.1.17	255.255.255.0	0.0.00	80	EX 17	
	00-05-F9-FF-80-11	N-8000EX	192.168.1.18	255.255.255.0	0.0.00	80	EX 18	
	00-05-F9-FF-80-12	N-8000EX	192.168.1.19	255.255.255.0	0.0.00	80	EX 19	
	00-05-F9-FF-80-13	N-8000EX	192.168.1.20	255.255.255.0	0.0.00	80	EX 20	
	00-05-F9-FF-80-14	N-8000EX	192.168.1.21	255.255.255.0	0.0.0.0	80	EX 21	
	00-05-50-55-20-15	N-2000EV	102169122	255 255 255 0	0000	90	FX 22	

### ■機器の設定内容を変更する

検出された交換機、マルチインターフェースユニット、または IP 端末の設定内容を個別に変更します。

7 変更したいセルをダブルクリックする。 入力可能な状態に変わります。

※ IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、Web ポート、名称の各項目が変更できます。

- 2 新しい設定内容を入力する。
- **3** [Enter] キーを押す、または他のセルをクリックする。
- **4** すべてを編集したら、設定ボタンを押す。 機器に設定内容が書き込まれます。

#### ご注意

書き込みが終了すると機器を自動的に再起動しますので、通話・ページングは停止/終了します。

## ┃IP アドレスを自動で割り当てる

検出された交換機、マルチインターフェースユニット、およびIP 端末にIP アドレスを設定します。 前項「機器の設定内容を変更する」の方法以外に、IP アドレスの設定範囲を指定して自動的に割り当てるこ とができます。

7 割り当てる機器の選択チェックボックスをチェックして選択する。 すべての機器に割り当てるときは、メニューバーから [検出] → [すべて選択] を選択する。

2 [検出] → [IP アドレス] → [割り当て範囲の設定] を選択し、使用できる IP アドレスの範囲を設定する。

割り当て範囲の言	b定	
割り当て時に使う	IPアドレス	
開始アドレス:	192 168	10 1
個数:	20	
ĺ.	ÖK	キャンセル

範囲を設定すると、[検出]→ [IP アドレス]→ [自動割り当て]が選択可能になります。

**3** [検出] → [IP アドレス] → [自動割り当て]を選択する。 IP アドレスが重複することなく、自動的に割り当てられます。

4 設定ボタンを押す。

機器に設定内容が書き込まれます。

#### ご注意

書き込みが終了すると機器を自動的に再起動しますので、通話・ページングは停止/終了します。

## ■ サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを設定する

サブネットマスクとデフォルトゲートウェイは、選択した交換機、マルチインターフェースユニット、およびIP端末すべてに同じ値を設定することができます。

1

選択チェックボックスをチェックして機器を選択する。 すべての機器を選択するときは、[検出] → [すべて選択] を選択する。

日 根	器検出 - N-8000)	リフトウェア						
7711	ル(E) 検出(S) ヘルプ	(H)						
検ど	出設定							
選択	MACアドレス	機種名	IPアドレス	サブネットマスク	デフォルトゲートウェイ	Webポート	名称	~
	00-05-F9-FF-80-00	N-8000EX	192.168.1.1	255.255.255.0	0.0.0.0	80	EX 1	
	00-05-F9-FF-80-01	N-8000EX	192.168.1.2	255.255.255.0	0.0.0.0	80	EX 2	
	00-05-F9-FF-80-02	N-8000EX	192.168.1.3	255.255.255.0	0.0.0.0	80	EX 3	
	00-05-F9-FF-80-03	N-8000EX	192.168.1.4	255.255.255.0	0.0.0.0	80	EX 4	
	00-05-F9-FF-80-04	N-8000EX	192.168.1.5	255.255.255.0	0.0.0.0	80	EX 5	
	00-05-F9-FF-80-05	N-8000EX	192.168.1.6	255.255.255.0	0.0.0.0	80	EX 6	
	00-05-F9-FF-80-06	N-8000EX	192.168.1.7	255.255.255.0	0.0.0.0	80	EX 7	
	00-05-F9-FF-80-07	N-8000EX	192.168.1.8	255.255.255.0	0.0.0.0	80	EX 8	
	00-05-F9-FF-80-08	N-8000EX	192.168.1.9	255.255.255.0	0.0.0.0	80	EX 9	
	00-05-F9-FF-80-09	N-8000EX	192.168.1.10	255.255.255.0	0.0.0.0	80	EX 10	
	00-05-F9-FF-80-0A	N-8000EX	192.168.1.11	255.255.255.0	0.0.0.0	80	EX 11	
	00-05-F9-FF-80-0B	N-8000EX	192.168.1.12	255.255.255.0	0.0.0.0	80	EX 12	
	00-05-F9-FF-80-0C	N-8000EX	192.168.1.13	255.255.255.0	0.0.0.0	80	EX 13	
	00-05-F9-FF-80-0D	N-8000EX	192.168.1.14	255.255.255.0	0.0.0.0	80	EX 14	
	00-05-F9-FF-80-0E	N-8000EX	192.168.1.15	255.255.255.0	0.0.0.0	80	EX 15	
	00-05-F9-FF-80-0F	N-8000EX	192.168.1.16	255.255.255.0	0.0.0.0	80	EX 16	
	00-05-F9-FF-80-10	N-8000EX	192.168.1.17	255.255.255.0	0.0.0.0	80	EX 17	
	00-05-F9-FF-80-11	N-8000EX	192.168.1.18	255.255.255.0	0.0.0.0	80	EX 18	
	00-05-F9-FF-80-12	N-8000EX	192.168.1.19	255.255.255.0	0.0.0.0	80	EX 19	
	00-05-F9-FF-80-13	N-8000EX	192.168.1.20	255.255.255.0	0.0.0.0	80	EX 20	
	00-05-F9-FF-80-14	N-8000EX	192.168.1.21	255.255.255.0	0.0.0.0	80	EX 21	
	00-05-F9-FF-80-15	N-8000EX	192.168.1.22	255.255.255.0	0.0.0.0	80	EX 22	
	00-05-F9-FF-80-16	N-8000EX	192.168.1.23	255.255.255.0	0.0.0.0	80	EX 23	
	00-05-F9-FF-80-17	N-8000EX	192.168.1.24	255.255.255.0	0.0.0.0	80	EX 24	
	00-05-F9-FF-80-18	N-8000EX	192.168.1.25	255.255.255.0	0.0.0.0	80	EX 25	
	00-05-F9-FF-80-19	N-8000EX	192.168.1.26	255.255.255.0	0.0.0.0	80	EX 26	
	00-05-F9-FF-80-1A	N-8000EX	192.168.1.27	255.255.255.0	0.0.0.0	80	EX 27	
	00 05 F0 FF 00 1D	N 0000EV	100120100		0000		EV 00	

2 サブネットマスクを設定する。

2-1 [検出] → [サブネットマスクの設定]を選択する。

2-2 ダイアログが表示されるので、設定値を入力し、[OK] ボタンをクリックする。

サブネットマスクの設定					×
選択した機器に次のサロ	ブネット	マスク	を設定し	ます	•
サブネットマスク:	255	255	255	0	
	OK		キャン	tıl	
- 3 デフォルトゲートウェイを設定する。
- 3-1 [検出] → [デフォルトゲートウェイの設定] を選択する。
- 3-2 ダイアログが表示されるので、設定値を入力し、[OK] ボタンをクリックする。

デフォルトゲートウェイの設定
選択した機器に次のデフォルトゲートウェイを設定します。
デフォルトゲートウェイ: 192 168 1 254
OK キャンセル

### 4 設定ボタンを押す。

機器に設定内容が書き込まれます。

#### ご注意

書き込みが終了すると機器を自動的に再起動しますので、通話・ページングは停止/終了します。

# システム設定機能

システムに関する各種設定を行います。機器検出(ネットワーク設定)機能またはブラウザーまたは多機能 マスター端末 N-8000MS または IP 多機能マスター端末 N-8500MS を使用して IP アドレスを正しく設定した 後、このシステム設定機能を使用して交換機、マルチインターフェースユニット、または IP 端末の設定情報 を更新してください。

### 画面の説明

初期画面で「システム設定」をクリックします。

🍱 新規	🦉 新規システム - N-8000設定ソフトウェア											
ファイル(	ファイル(E) 設定(C) ヘルプ(H)											
システム												
推界容	 \$\$₹	」 . E生 】 うっし	コ. お酒/モオ		പ്പുളംഘി							
1/2/00/32	294   9## <b>*</b>	「見 ホット」	フークJ通1日の 	リ豆 IAN   イルナイ・ HEID	KYLMB94			1				
ネットワ	ーク接続機器	¥総数: 6			2	-						
				×1 <del>×</del> 1 <del>×</del> 1	P	_						
				IP端末:	2							
				マルチインターフェ	-2: 1	_	4411161日本2					
							検出結果がら インポート					
設定接	統先:※機	器に設定済	₩の値を/	、カしてください。こ	こからは機器の	の設定値の変更はで	ごきません。					
種類	機器番号	機器名称	機種名	IPアドレス	Webポート	WAN側IPアドレス	WAN側Webポート					
	1	EX1	N-8000E	X 192.168.1.1	80							
EX	2	EX2 EV9	N-8000E	X 192.168.1.2	80							
		IPM1	N-9500M	192.100.1.3	80							
IP	5	IPD1	N-8540D	S 19216815	80							
MI	6	MI	N-8000M	II 192.168.1.6	80							

- ※上の画面は6台の機器の設定が完了した状態のものです。
- ① システム全般ボタン

システム全体に関わる設定をします。[機器登録]、 [端末一覧]、[ネットワーク通信の登録]、[マル チキャストの登録]の各タブがあります。

② 交換機ボタン

交換機に関する設定をします。[ネットワーク設 定]、[サンプリング周波数補正]、[機能設定]の 各タブがあります。

③ マルチインターフェースボタン マルチインターフェースユニットに関する設定を します。[ネットワーク設定]、[サンプリング周 波数補正]、[機能設定]、[音声入出力]、[接点] の各タブがあります。

- ④ IP端末ボタン
   IP端末に関する設定をします。[ネットワーク設定]、[機能設定1] [機能設定2] [短縮ダイヤル]
   [スキャンモニター]の各タブがあります。
- ⑤ 端末ボタン 交換機に接続する端末に関する設定をします。 [機能設定]、[短縮ダイヤル]、[スキャンモニ ター]の各タブがあります。
- ページングボタン ページング系統の設定をします。

⑦ グループボタン 限定局呼び出しおよび代理応答グループの機能についての設定をします。[限定局呼出グループ]、 [限定局呼出先]、[代理応答グループ]の各タブがあります。

■メニュー

● ファイル

7711/( <u>F</u> )	設定( <u>C</u> )	ヘルプ(円)
新規作成	λ( <u>Ν</u> )	Ctrl+N
開(( <u>O</u> )		Ctrl+O
保存( <u>S</u> )		Ctrl+S
名前をつ(	けて保存( <u>A</u> )	)
印刷(P)		Ctrl+P
印刷プレ	Ľı –(⊻)	
プリンタの	設定( <u>R</u> )…	
開じる(C)	)	Alt+F4

新規作成 :新しいシステムの設定ファイルを作成します。

開く :保存されている設定ファイルを開きます。

保存 :編集中の設定ファイルを保存します。

名前を付けて保存:編集中の設定ファイルを別のシステムの設定ファイルとして保存します。

印刷:設定内容を印刷します。

印刷プレビュー :印刷プレビュー画面を表示します。

プリンタの設定 :プリンタの設定をします。

閉じる このソフトウェアを終了します。

● 設定

設定©)	ヘルプ(円)					
アップロ	-ド(U)					
ダウンロード( <u>D</u> )						

アップロード:設定内容を機器へ書き込みます。 ダウンロード:機器の設定内容をパソコンにダウンロードします。

● ヘルプ



バージョン情報:このソフトウェアのバージョン情報を表示します。

### ■ システム全般の設定をする

システム全般ボタンをクリックします。

#### ● 機器を登録する

システム内の交換機、マルチインターフェースユニット、および IP 端末の構成を決め、登録します。機器検 出(ネットワーク設定)機能を使って検出した機器の情報をインポートする方法と、手動で入力する方法が あります。

1 機器登録タブをクリックする。

設定画面が表示されます。

🎟 新規システム - N-8000設定ソフトウェア	
ファイル(E) 設定(C) ヘルプ(H)	
システム全般 交換機 マルチインターフェース IP端末 端末 ページング グループ	
機器登録 」端末一覧 ネットワーク通信の登録 マルチキャストの登録	
ネットワーク接続機器総数:     6     内訳 交換機:     3     2       3-1     マルチインターフェース:     1     2       2     1     1     4       2     1     1     5       2     1     1     5       2     1     1     5       2     1     1     5       2     1     1     5       2     1     1     5       3     2     1     1	-2
1 EX1 N-8000EX 192.168.1.1 80	
EX 2 EX2 N-8000EX 192.168.1.2 80	
3 EX3 N-8000EX 192.168.1.3 80	
IP 4 IPM1 N-8500MS 1921681.4 80	
5 IPD1 N-8540US 192.1681.5 80	
$\smile$	

※上の画面は6台の機器の設定が完了した状態のものです。

[画面の説明]

 種類(編集できません。) ネットワークに接続する機器の種類を表示します。

2 機器番号

機器の番号を入力します。初期値として、1から順に番号を割り当てています。

③ 機器名称

機器の名称を入力します。半角(カタカナ、英数記号)8文字以内です。

④ 機種名

機器の機種名を選択します。ここで選んだ機種に応じて、設定内容が変わります。

ご注意

種類が「EX」のときは機種名は「N-8000EX」、「IP」のときは「N-8500MS」、「MI」のときは「N-8000MI」が表示されます。それ以外の機器のときには機種名の選択が必要です。セルをクリックして 機種名を選択してください。

この画面で機種名が正しく選択されていないと、他の交換機を経由した通話やページングなどができなくなることがあります。

#### ⑤ IP アドレス

機器のIPアドレスを入力します。

6 Web ポート

Web サーバーのポート番号を入力します。

⑦ WAN 側 IP アドレス

WAN 側から見たこの機器の IP アドレスを入力します。NAPT を使わない場合は、空欄のままでかまいません。

# ⑧ WAN 側 Web ポート WAN 側から見たこの機器の Web サーバーのポート番号を入力します。NAPT を使わない場合は、空欄のままでかまいません。

### 2 システム構成を設定する。

交換機、マルチインターフェースユニット、および IP 端末の台数を入力してください。 ネットワーク接続機器総数の欄に合計台数が表示され、機器の一覧が表示されます。 3 機器名称、機種名、IPアドレス、Webポートを設定する。
各セルを直接クリックして編集するか、機器検出(ネットワーク設定)機能を使って検出した機器の情報を取り込むこともできます。
機器検出の結果から情報を取り込むときは、次の手順で行ってください。

- 3-1 機器登録画面( 🖙 P. 5-20) で機種名を選択する。
- 3-2 [検出結果からインポート] ボタンを押す。

次のダイアログが表示されます。

検出編	検出結果からのインボート 🛛 🗙										
現在(	現在の登録機器:										
種類	機器	播号	機器名称	機種名		IPアドレス	Webポート				
EX		1	EX1	N-8000	)EX	192.168.1.1	80				
EX		2	EX2	N-8000	)EX	192.168.1.2	80				
EX		3	N-8000EX	N-8000	EX.	192.168.1.1	80				
IP		4	N-8500MS	N-8500	IMS	192.168.1.1	80				
IP		5	N-8540DS	N-8540	IDS	192.168.1.1	80				
MI		6	N-8000MI	N-8000	IMI	192.168.1.1	80				
検出机											
EX1	- 111	N-800	0EX 192.	168.1.1	255	.255.255.0	0.0.0.0	ineest. 1	80		
EX2		N-800	OEX 192.1	168.1.2	255	.255.255.0	0.0.0.0		80		
EX3		N-800	0EX   192.1	168.1.3	255	.255.255.0	0.0.0		80		
IPM1		N-850	OMS 192.1	168.1.4	255	.255.255.0	0.0.0.0		80		
IPD1		N-854	ODS 192.1	168.1.5	255	.255.255.0	0.0.0.0		80		
MI		N-800	OMI 192.1	168.1.6	255	.255.255.0	0.0.0.0		80		
							0	K 4+	ンセル		

3-3 [現在の登録機器] からインポート先を、[検出機器一覧] からインポート元を選択し、[↑] ボタンを 押す。

検出した機器の設定情報が、インポート先に選択した機器の設定にコピーされます。 また、検出した機器の一覧から現在の登録機器へドラッグアンドドロップしても、設定をコピーするこ とができます。

#### ご注意

インポート先とインポート元は、必ず機種名が一致するものを選択してください。

- **3-4** [OK] ボタンをクリックしてダイアログを閉じる。 元の設定画面に戻ります。
- **4** 必要に応じて WAN 側 IP アドレスと WAN 側 Web ポートを変更する。 各セルを直接クリックして編集してください。

**1** 端末一覧タブをクリックする。 設定画面が表示されます。

e <b>l</b>	新規シス	<b>テム</b> - Ν-	8000設定	ソフトウェア			
7	マイル( <u>E</u> ) 🚦	設定( <u>C</u> ) ^	リレプ(円)				
Γ	システム全般	交換機	マルチインタ		P端末 端	末   ページング   グループ	
ľ	趣思容親	端末一覧	Հահապեն	副信の登録し	マルチキャフト		
	106.00 22.04	Junior 1 Constant		1 102200	1/02/11/01	0.2244	1
	端末番号桁	· 微: 3		一括設定			
1	柳铝番号	樔器夕称	 回線番号	種類	端末番号		
		100001010	1	1±×9 N-8000MS	101	stal=1	
			2	N-8000MS	101	sta1-2	
			3	N-8000MS	103	sta1-3	
			4	N-8000MS	104	sta1-4	
			5	N-8000MS	105	sta1-5	
			6	N-8000MS	106	sta1-6	=
		EX1	7	N-8000MS	107	sta1-7	
	1		8	N-8000MS	108	stal-8	
			9	N-8000MS	109	stal-9	
			10	N-8000MS	111	stal-10 stal-11	
			12	N-8000MS	112	eta1-12	
			13	N-8000MS	113	stal-13	
			14	N-8000MS	114	sta1-14	
			15	N-8000MS	115	sta1-15	
			16	N-8000MS	116	sta1-16	
			1	N-8000MS	201	sta2-1	
			2	N-8000MS	202	sta2-2	
			3	N-8000MS	203	sta2-3	
	,	EV0	4	N-8000MS	204	sta2-4	
	2		5	N-8000MS	205	sta2-0	
			7	N-8000MS	200	81d270 ota2-7	
			8	N-8000MS	207	sta2 r sta2-8	
			q	N-8000MS	200	eta2-0	✓
1-							

### 2 端末番号桁数を入力する。

端末番号の桁数を入力します。2~6の数字を入力してください。

- 3 各項目を設定する。
- (1) 機器番号(編集できません。) 端末が接続している交換機の機器番号です。
- ② 機器名称(編集できません。) 端末が接続している交換機の名称です。
- ③ 回線番号(編集できません。) 端末が接続している回線の番号です。
- ④ 種別 端末の種類を選択します。ここで選んだ種類に応じて、設定内容が変わります。

⑤ 端末番号

呼び出し時に使う端末の番号です。端末番号桁数で設定した桁数で設定します。 マルチインターフェースユニットで特番を使用する場合、特番で始まる端末番号(特番が2桁のときは、 2桁とも一致する番号)は使用できません。

例)特番が「10」の場合……使用可:110、1100など。使用不可:10、100、101、1000など。

ご注意

複数の端末に同じ番号を設定した場合は、番号が赤字で表示されます。赤字で表示されたときは、重複し ないように、設定し直してください。

6 名称

端末の名称を設定します。半角(カタカナ、英数記号)で8文字以内です。多機能端末で表示することが できます。

[一括設定のしかた]

[一括設定] ボタンを使用して、すべての端末または選択した端末の端末種別、端末番号、端末名称を一括し て設定することができます。

1 [一括設定] ボタンをクリックする。

一括設定画面が表示されます。

🏧 新規システム - N-8000 読定ソフトウェア		一括設定
ファイル(E) 設定(C) ヘルブ(H)	0	┌設定範囲
システム全般 交換機 マルチインターフェース IP端末 端末	2	● すべての端末 ● 選択した端末
機器登録 端末一覧 ネットワーク通信の登録 マルチキャストの	2	□ 備実種別検索更する(IP備実はのぞく)
端末番号桁数: 3 一括設定 1	$\rightarrow$ $^{\circ}$	端末種別: N-8000MS ▼
機器番号 機器名称 回線番号 種類 端末番号 端	4	□ 端末番号に連番をふる
1 N-8000MS 101 st 2 N-8000MS 101 st	-	開始番号: 100
3 N-8000MS 103 st 4 N-8000MS 104 st	5	□ 端末名称に連番をつけて設定する
4 10 0000 mb 104 st	Ŭ	端末名称: stal-

2「すべての端末」または「選択した端末」を選択する。

「選択した端末」を設定するときは、端末一覧で設定範囲を指定してください。選択したい範囲をマウ スでドラッグするか、パソコンのShiftキーを押しながら複数の端末をクリックすると選択できます。

3 端末種別を変更するときは、チェックを入れて、新しく設定する端末種別をプルダウンメニューから選択する。

#### ご注意

IP端末の種別は一括設定することはできません。

### 4 端末番号に連番をふるときは、チェックを入れて、開始番号を入力する。

例えば、開始番号に「100」と入力した場合、端末に設定される端末番号は「100」「101」「102」…となります。

設定した端末番号の桁数を超えると、それ以降の端末番号は変更されません。

#### 第5章 ソフトウェアによるシステム設定 システム全般:ネットワーク通信の登録

5 端末名称に連番をつけて設定するときは、チェックを入れて、新しく設定する端末名称を入力 する。

設定できる文字数は、連番の部分も含めて、半角(カタカナ、英数記号)で8文字以内です。 例えば、端末名称に「sta1-」と入力した場合、端末に設定される名称は「sta1-1」「sta1-2」「sta1-3」 …となります。

**6** [OK] ボタンを押す。

#### ● ネットワーク通信の登録

ネットワークに接続する機器間でネットワーク(ユニキャスト)通信が可能かどうかを登録します。

### 1 ネットワーク通信の登録タブをクリックする。

設定画面が表示されます。

P.	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■										
7	ファイル(E) 設定(C) ヘルプ(H)										
Γ	システム全般 交換機 マルチインターフェース IP端末 端末 ページング グループ										
ľ	機器登録	端末一覧	ネットワ	一ク通信	の登録	マルチキャス	 トの登録				
Ľ	■ネットワー:	り通信の登録									
	交換機・マル	チインターフェ	-Z·IP	端末間(	D通信の	)可否を登録し	ってください。				
Ι.	週信か可能	な組み合わせ	(CF19)	りしくた	20°						
	ᇓᇛᆓᇢ	機器番号	1	2	3	4 TDM1	5	б мт			
	1版品世方	1成66-61小 FX1	EAI	EA2	Evo	161611	IFUI	IMI			
	2	EX2	~								
	3	EX3	~	✓							
	4	IPM1	<ul> <li>Image: A start of the start of</li></ul>	✓	<ul><li>✓</li></ul>						
	5	IPD1				✓					
	0	IVII			⊻			_	J		

2 ネットワーク通信が可能な機器の組み合わせをチェックする。 通信が可能な組み合わせをクリックするとチェックできます。 範囲を指定して、まとめて設定することもできます。

#### ● マルチキャスト通信の登録

ネットワークに接続する機器間でマルチキャスト通信が可能かどうかを登録します。マルチキャストが可能 な場合にこの登録をしておくとマルチキャストページングを行いますので、通信帯域を節約できます。

# **1** マルチキャストの登録タブをクリックする。

設定画面が表示されます。

🂵 新規	N-8000設定ソフトウェア									
ファイル	ファイル(E) 設定(C) ヘルブ(H)									
システィ	ム全般 交換	奥機 マルチ	インター	フェース	IP端;	末 端末 [	ページング	グループ		
, 根器3	 登録 端末-	 →覧│ネット□	)ーク浦(	言の登翁		チキャストの登	録]]			
										1
マルき	チキャストアド	LA: 225	U U	U						
/	チキャストの登	禄———								
交換	特徴・マルチイ) チキャストi動	ンターフェース開 言が可能な組	間のマル み合わせ	チキャス ガンチャッ	ト通信の カレア(オ	D可否を登録し だんい	ってください。			
	2-11/31/201	EVO - 1 HERONAL	07 11 12 1	受信個	и П					
		機器番号	1	2	3	4	5	6		
	機器番号	機器名称	EX1	EX2	EX3	IPM1	IPD1	MI		
	1	EX1		<ul> <li>Image: A state</li> </ul>			✓	✓		
	2	EX2 EX3					<ul> <li></li> <li></li> </ul>	✓		
送	4	IPM1	▼	✓	~		<ul> <li>Image: A state of the state of</li></ul>	<ul> <li>Image: A state of the state of</li></ul>		
信	5	IPD1	~	✓	✓	✓		✓		
189	6	MI	✓	✓	✓	✓	✓		J	

2 システムで使用するマルチキャストアドレスを入力する。

#### ご注意

第2オクテットが「0」または「128」、かつ第4オクテットが「1」となるマルチキャストアドレスは設定しないでください。

(例) 225.0.0.1、225.128.0.1

IP端末が正常に音声を受信できなくなります。

**3** マルチキャストが可能な組み合わせをチェックする。 範囲を指定して、まとめて設定することもできます。

### ■ 交換機の設定をする

交換機ボタンをクリックします。

設定する交換機を選択します。交換機番号または交換機名称をリストから選択してください。

┌交換機選択				
交換機番号:	1 💌	交換機名称:	EX 1	•

#### ● ネットワークの設定

1 ネットワーク設定タブをクリックする。 設定画面が表示されます。



### 2 各項目を設定する。

- IP アドレス
   交換機の IP アドレスを入力します。
- サブネットマスク サブネットマスクを入力します。
- ③ **デフォルトゲートウェイ** デフォルトゲートウェイを入力します。

第5章 ソフトウェアによるシステム設定 交換機:ネットワーク設定

④ ポート番号

各プロトコルで使用するポート番号を設定します。

[Web サーバー]

Webサーバーのポート番号を入力します。入力可能な範囲は1~65535です。(工場出荷時:80)

[TCP ポート]

Web サーバー以外の TCP ポートの開始番号を入力します。入力可能な範囲は 1 ~ 65532 です。N-8000 シ ステムでは、TCP 開始ポートから連続して 4 個のポートを使います。(工場出荷時: 5000)

ポート	プロトコル	ポート番号	初期值
Webサーバー	TCP	Webサーバー	80
呼び出し制御	TCP	開始ポート番号 十0	5000
PC監視	TCP	開始ポート番号 十 1	5001
PC制御	TCP	開始ポート番号 十 2	5002
予約	TCP	開始ポート番号 十 3	5003

TCPポートは下記のように割り当てられます。

[UDP ポート]

UDPで使用するポートの開始番号を入力します。入力可能な範囲は1~65516です。N-8000システムでは、UDP開始ポートから連続して20個のポートを使います。(工場出荷時:5006)

UDP ポートは下記のように割り当てられます。

ポート	プロトコル	ポート番号	初期值
予約	UDP	開始ポート番号 十0	5006
周波数補正	UDP	開始ポート番号 十 1~3	5007~5009
通話	UDP	開始ポート番号 十 4~19	5010~5025

#### ご注意

UDPのポート番号 15000 は内部で使用しています。14981 ~ 15000 は入力できません。

[ページング用ポート (UDP)]

マルチキャストを使用してページングを行う場合に使われるポート番号(UDP)が表示されます。 (設定のしかた II P. 5-64 「ページング系統を設定する」)

#### ⑤ NAPT 対応

グローバル IP アドレスを使ってこの交換機に接続する場合は、「NAPT 対応する」にチェックを入れてください。ネットワーク ID ⑥~WAN 側ポート番号⑧が入力可能になります。

⑥ ネットワーク ID

グローバルIPアドレスを使って接続する場合、ローカルアドレスを使ってアクセスできる範囲ごとにネットワークを識別する番号を入力します。

例えば、下図のようなネットワーク接続をしている場合、LAN①に接続する機器には1、LAN②に接続する機器には2、のように異なるネットワークIDをつけます。

設定用のパソコンにはネットワークID:1を割り当てています。パソコンからローカルアドレスを使って アクセスできる機器(例えばLAN①に接続する機器)には、ネットワークID:1を設定してください。



#### ⑦ WAN 側 IP アドレス

WAN側から見たこの交換機のIPアドレスを入力します。

⑧ WAN 側ポート番号

WAN側から見た各プロトコルで使用するポート番号を設定します。

[Webサーバー]

Webサーバーのポート番号を入力します。入力可能な範囲は1~65535です。(工場出荷時:80)

[TCP ポート]

Web サーバー以外の TCP ポートの開始番号を入力します。入力可能な範囲は 1 ~ 65532 です。N-8000 シ ステムでは、TCP 開始ポートから連続して 4 個のポートを使います。(工場出荷時: 5000)

TCP ポートは下記のように割り当てられます。

ポート	プロトコル	ポート番号	初期值
Webサーバー	TCP	Webサーバー	80
呼び出し制御	TCP	開始ポート番号 十 0	5000
PC監視	TCP	開始ポート番号 十 1	5001
PC制御	TCP	開始ポート番号 十 2	5002
予約	TCP	開始ポート番号 十 3	5003

[UDP ポート]

UDP で使用するポートの開始番号を入力します。入力可能な範囲は1~65516 です。N-8000 システムでは、UDP 開始ポートから連続して20 個のポートを使います。(工場出荷時: 5006)

ポート	プロトコル	ポート番号	初期值
予約	UDP	開始ポート番号 十0	5006
周波数補正	UDP	開始ポート番号 十 1~3	5007~5009
通話	UDP	開始ポート番号 十 4~19	5010~5025

UDP ポートは下記のように割り当てられます。

#### 9 通信容量

この機器が接続するネットワーク回線の容量(または使用可能な上限値)を設定します。通信容量を設定 すると、通話・ページングにより設定値を超えるトラフィックが発生して、音質が低下したり遅延が長く なったりするのを防ぐことができます。

#### 10 音声スペック

使用できる帯域によって、音声伝送のスペックを選択します。

高音質モード :高音質・低遅延で音声を伝送します。通常はこのモードを使用してください。

- 標準モード :低遅延で音声を伝送します。音質は劣りますが、高音質モードと遅延時間は同じで使用 帯域が少なくなります。ISDN回線(128 kbps)で接続している場合などはこのモード を使用してください。
- 帯域節約モード:非常に少ない帯域で音声を伝送できますが、音質は劣り、遅延時間も長くなります。ア ナログ回線(56 kbps)で接続している場合はこのモードを使用してください。

	サンプリング周波数	遅延	使用帯域
高音質モード	16 kHz	0.08 秒	130 kbps
標準モード	8 kHz	0.08 秒	98 kbps
帯域節約モード	8 kHz	0.32 秒	49.5 kbps

● サンプリング周波数補正の設定

**1** サンプリング周波数補正タブをクリックする。 設定画面が表示されます。

11 N-8000 - N-8000設定ソフトウェア	
ファイル(E) 設定(C) ヘルプ(H)	
システム全般 交換機 マルチインターフェース IP端末 端末 ページング グループ	
_ 交換機選択	
交換機番号: 1 ▼ 交換機名称: EX1 ▼	
ネットワーク設定(サンプリング周波数補正)機能設定	
サンプリング周波数補正	[
ⓒ 自動	
C 送信	
」」 送信先IPアドレス(最大16箇所まで、マルチキャストアドレスも設定可能)	
ビアドレス ボート番号 ビアドレス ボート番号	
3. 11.	
4 12	
7.	
8. 16.	
レージャントパケットで調整する	
マルチキャストアドレス: 0 0 0 0	

# 2 各項目を設定する。

① サンプリング周波数補正

サンプリング周波数補正情報を異なるネットワーク間に転送する設定をします。(ブロードキャストパ ケットが届く範囲は、自動的に補正情報が送受信されます。)

※ サンプリング周波数補正については、P. 8-5 をお読みください。

- 自動:補正情報を他のネットワークへ転送せずに、ローカルネットワーク上のみで補正します。
- 送信:補正情報を他のネットワークへ送信します。送信先入力欄が入力可能になりますので、送信先 IP アドレスとポート番号を入力します。最大 16 カ所まで設定可能です。マルチキャストを使用し てサンプリング周波数を補正する場合、送信先 IP アドレスを入力してください。
- 受信:補正情報を他のネットワークから受信します。受信元アドレスが入力可能になりますので、受信 元IPアドレスを入力します。 マルチキャストを使用して補正情報を転送する場合、「マルチキャストパケットで調整する」に チェックし、使用するマルチキャストアドレスを入力してください。

#### ● 機能の設定

1 機能設定タブをクリックする。

設定画面が表示されます。

- 27 新規システム - N-8000設定ソフトウェア	
ファイル(E) 設定(C) ヘルプ(出)	
システム全般 交換機 マルチインターフェース   IP端末   端末   ページング   グループ 交換機選択 交換機番号: 1 ▼ 交換機名称: EX1 ▼	7]
ネットワーク設定 サンプリング周波数補正(機能設定)	
<ul> <li>転送設定</li> <li>「不在転送</li> <li>「時参り連動転送</li> <li>「開始時参り: 17:00</li> <li>終了時参1: 09:00</li> <li>「「話中転送</li> <li>「不応答転送</li> <li>「呼び出し時間(秒): 10</li> <li>「「べージング時間制限</li> <li>制限時間(秒): 10</li> <li>「ページング時間制限</li> <li>制限時間(秒): 10</li> <li>「ページング時間制限</li> <li>「「ページング時間制限</li> <li>「「ページング時間制限</li> <li>「「、」」」</li> <li>(一、)</li> <li>(一、</li></ul>	<ul> <li>ージング応答モード</li> <li>糸続選択</li> <li>自動応答</li> <li>決設定</li> <li>ページング優先</li> <li>通話優先</li> <li>39呼局表示モード</li> <li>99呼局表示モード</li> <li>99呼局表示モード</li> <li>99時局表示モード</li> <li>99時日本</li> <li>99時局表示モード</li> <li>99時日本</li> <li>99時日本</li> <li>99時日本</li> <li>99時局表示モード</li> <li>99時日本</li> <li>99日</li></ul>

※ 交換機の種類により、入力できる項目は異なります。

# 2 各項目を設定する。

#### ① 転送設定

- この交換機に接続する端末で転送機能を使うかどうか設定します。
  - 不在転送 :着信があった場合、着信端末が不在転送に設定されていれば、呼び出し音を鳴らさずに、 自動的に転送されます。
  - 時刻連動転送:設定された時間内に着信があった場合、呼び出し音を鳴らさずに、自動的に転送されま す。不在転送機能が有効になっている場合に時刻連動転送設定ができます。時刻連動転 送機能が有効になっているときのみ時刻設定ができます。
  - 話中転送 :通話中に着信があった場合、着信端末に話中転送が設定されていると自動的に転送され ます。
  - 不応答転送 :着信があった場合、着信端末に不応答転送設定があり一定時間応答しないと自動的に転送されます。転送するまでの呼び出し時間は、不応答転送が有効になっている場合のみ設定できます。
- ② ワンショットメイク時間(秒) 外部制御出力端子がワンショットメイクする時間を設定します。 設定範囲は0~9秒(1秒単位)です。 使用しない場合は、「0」に設定します。

③ 制限

呼び出し、通話、ページング機能についての時間制限を設定します。

制限時間は10~990秒(10秒単位)で設定します。

呼び出し時間制限 :端末を呼び出し続ける時間に制限を設けるかどうかを設定します。

制限を設ける場合、制限時間を入力してください。制限時間を過ぎると、端末の 呼び出しは自動的に終わります。

制限がない場合は、呼び出しをやめるか、呼び出し先端末が応答するまで呼び出 し続けます。

通話時間制限 :端末の通話時間に上限を設けるかどうかを設定します。 制限を設ける場合、制限時間を入力してください。制限時間を過ぎると、通話は 自動的に終了します。

制限がない場合は、終了操作を行うまで通話は継続します。

ページング時間制限:ページング呼び出し時間に上限を設けるかどうかを設定します。 制限を設ける場合、制限時間を入力してください。制限時間を過ぎると、ページ ング呼び出しは自動的に終わります。 制限がない場合は、終了操作を行うまでページング呼び出しは継続します。

#### ④ BGM 入力

この交換機に接続する端末で聞く BGM を設定します。

各チャンネルに、BGM 音源が接続されているマルチインターフェースユニットの機器番号と音声入力番 号を選択します。

- ⑤ ページング応答モード
  - ページング応答時の動作を「系統選択」モードまたは「自動応答」モードから選択します。

系統選択:ページング系統番号を指定して応答します。指定した系統へ最後に呼び出し放送をした端末 に応答します。

複数系統の呼び出し放送が聞こえる場所があるときは、このモードに設定します。

- 自動応答:ページング応答キーのみで応答します。操作端末が最後に受信したページング系統に呼び出 し放送をした端末に応答します。
- ⑥ 優先設定

ページングと通話が重なった場合に、どちらを優先させるかを設定します。

N-8010EXは、「通話優先」モード固定になります。

ページング優先:ページング受信中に他の端末から着信があっても、話中になりページング受信を継続 します。ページング受信中に、ダイヤル操作はできません。(ページング受信中の端 末からページング応答をすることもできません。)

通話優先 :通話中、ダイヤル途中などのときにページングがあっても、ページングを受信しません。ページング受信中にも、ダイヤル操作はできます。

#### ⑦ 発呼局表示モード

発呼局表示時の動作を「呼び出し・通話 中メイク」モードまたは「通話中メイク」 モードから選択します。 マルチインターフェースユニットの接点 出力がメイクされるタイミングは右の表

のとおりです。

発呼局表示モード 端末の動作	呼び出し・ 通話中メイク	通話中メイク
呼び出し中	メイク	ブレイク
着信中	メイク	ブレイク
話中待ち	メイク	ブレイク
通話	メイク	メイク
ページング受信	ブレイク	ブレイク
スキャンモニター受信	メイク	メイク

#### ⑧ドア端末接点動作モード

この交換機に接続するドア端末の接点出力の動作モードを設定します。

「ドアリモート制御」「呼び出し中メイク」「通話中メイク」「呼び出し・通話中メイク」の中から選択しま す。

ドア端末の接点出力がメイクされるタイミングは次の表のとおりです。

ドア端末接点動作モード ドア端末の動作	ドアリモート制御	呼び出し中メイク	通話中メイク	呼び出し・ 通話中メイク
呼び出し中	ブレイク	メイク	ブレイク	メイク
話中待ち	ブレイク	メイク	ブレイク	メイク
通話	ブレイク	ブレイク	メイク	メイク
ページング受信	ブレイク	ブレイク	ブレイク	ブレイク
スキャンモニター受信	ブレイク	ブレイク	メイク	メイク
ドアリモート	メイク			

### ■マルチインターフェースユニットの設定をする

マルチインターフェースボタンをクリックします。

設定するマルチインターフェースユニットを選択します。機器番号または機器名称をリストから選択してく ださい。

- マルチインターフェース選択					
機器番号:	5	•	機器名称:	MI	•

● ネットワークの設定

1 ネットワーク設定タブをクリックする。 設定画面が表示されます。



### 2 各項目を設定する。

- ① IP アドレス マルチインターフェースユニットのIP アドレスを入力します。
- サブネットマスク サブネットマスクを入力します。
- ③ デフォルトゲートウェイ デフォルトゲートウェイを入力します。

④ ポート番号

各プロトコルで使用するポート番号を設定します。

[Web サーバー]

Webサーバーのポート番号を入力します。入力可能な範囲は1~65535です。(工場出荷時:80)

[TCP ポート]

Web サーバー以外の TCP ポートの開始番号を入力します。入力可能な範囲は 1 ~ 65532 です。N-8000 シ ステムでは、TCP 開始ポートから連続して 4 個のポートを使います。(工場出荷時: 5000)

ポート	プロトコル	ポート番号	初期值
Webサーバー	TCP	Webサーバー	80
呼び出し制御	TCP	開始ポート番号 十 0	5000
PC監視	TCP	開始ポート番号 十 1	5001
PC制御	TCP	開始ポート番号 十 2	5002
予約	TCP	開始ポート番号 十 3	5003

TCP ポートは下記のように割り当てられます。

[UDP ポート]

UDPで使用するポートの開始番号を入力します。入力可能な範囲は1~65516です。N-8000システムでは、UDP開始ポートから連続して20個のポートを使います。(工場出荷時:5006)

UDP ポートは下記のように割り当てられます。

ポート	プロトコル	ポート番号	初期値
予約	UDP	開始ポート番号 十0	5006
周波数補正	UDP	開始ポート番号 十 1~3	5007~5009
通話	UDP	開始ポート番号 十 4~19	5010~5025

#### ご注意

UDPのポート番号15000は内部で使用しています。14981~15000は入力できません。

[ページング用ポート (UDP)]

マルチキャストを使用してページングを行う場合に使われるポート番号(UDP)が表示されます。 (設定のしかた ☞ P. 5-64「ページング系統を設定する」)

#### ⑤ NAPT 対応

グローバルIP アドレスを使ってこの交換機に接続する場合は、「NAPT 対応する」にチェックを入れてください。ネットワークID ⑥~WAN 側ポート番号⑧が入力可能になります。

⑥ ネットワーク ID

グローバルIPアドレスを使って接続する場合、ローカルアドレスを使ってアクセスできる範囲ごとにネットワークを識別する番号を入力します。

例えば、下図のようなネットワーク接続をしている場合、LAN①に接続する機器には1、LAN②に接続する機器には2、のように異なるネットワークIDをつけます。

設定用のパソコンにはネットワークID:1を割り当てています。パソコンからローカルアドレスを使って アクセスできる機器(例えばLAN①に接続する機器)には、ネットワークID:1を設定してください。



#### ⑦ WAN 側 IP アドレス

WAN 側から見たこのマルチインターフェースユニットの IP アドレスを入力します。

⑧ WAN 側ポート番号

WAN側から見た各プロトコルで使用するポート番号を設定します。

[Web サーバー]

Webサーバーのポート番号を入力します。入力可能な範囲は1~65535です。(工場出荷時:80)

[TCP ポート]

Web サーバー以外の TCP ポートの開始番号を入力します。入力可能な範囲は 1 ~ 65532 です。N-8000 シ ステムでは、TCP 開始ポートから連続して 4 個のポートを使います。(工場出荷時: 5000)

TCP ポートは下記のように割り当てられます。

ポート	プロトコル	ポート番号	初期值
Webサーバー	TCP	Webサーバー	80
呼び出し制御	TCP	開始ポート番号 十0	5000
PC監視	TCP	開始ポート番号 十 1	5001
PC制御	TCP	開始ポート番号 十 2	5002
予約	TCP	開始ポート番号 十 3	5003

[UDP ポート]

UDP で使用するポートの開始番号を入力します。入力可能な範囲は1~65516 です。N-8000 システムでは、UDP 開始ポートから連続して20 個のポートを使います。(工場出荷時: 5006)

ポート	プロトコル	ポート番号	初期值
予約	UDP	開始ポート番号 十0	5006
周波数補正	UDP	開始ポート番号 十 1~3	5007~5009
通話	UDP	開始ポート番号 十 4~19	5010~5025

UDP ポートは下記のように割り当てられます。

#### ④ 通信容量

この機器が接続するネットワーク回線の容量(または使用可能な上限値)を設定します。通信容量を設定 すると、通話・ページングにより設定値を超えるトラフィックが発生して、音質が低下したり遅延が長く なったりするのを防ぐことができます。

10 音声スペック

使用できる帯域によって、音声伝送のスペックを選択します。

高音質モード :高音質・低遅延で音声を伝送します。通常はこのモードを使用してください。BGM 音 源を接続する場合は、必ずこのモードにしてください。

- 標準モード :低遅延で音声を伝送します。音質は劣りますが、高音質モードと遅延時間は同じで使用 帯域が少なくなります。ISDN回線(128 kbps)で接続している場合などはこのモード を使用してください。
- 帯域節約モード:非常に少ない帯域で音声を伝送できますが、音質は劣り、遅延時間も長くなります。ア ナログ回線(56 kbps)で接続している場合はこのモードを使用してください。

	サンプリング周波数	遅延	使用帯域
高音質モード	16 kHz	0.08 秒	130 kbps
標準モード	8 kHz	0.08 秒	98 kbps
帯域節約モード	8 kHz	0.32 秒	49.5 kbps

#### **第5章 ソフトウェアによるシステム設定** マルチインターフェース:サンプリング周波数補正

● サンプリング周波数補正の設定

**1** サンプリング周波数補正タブをクリックする。 設定画面が表示されます。

■ 新規システム - N-8000設定ソフトウェア	
ファイル(E) 設定(C) ヘルプ(H)	
システム全般 交換機 マルチインターフェース IP端末 端末 ページング グループ	
機器番号: 6 ▼ 機器名称: MI ▼	
	1
- 送信先127ドレス(最大16箇所まで、マルチキャストアドレスも設定可能)	
IPアドレス ボート番号 IPアドレス ボート番号	
1. 5007 9. 5007	
2. 5007 10. 5007	
3. 5007 11. 5007	
4. 5007 12. 5007	
5, 5007 13, 5007	
6. 5007 14. 5007	
受信元IPアドレス:	
□ マルチキャストパケットを受信する	
マルチキャストアドレス:	

# 2 各項目を設定する。

① サンプリング周波数補正

サンプリング周波数補正情報を異なるネットワーク間に転送する設定をします。(ブロードキャストパ ケットが届く範囲は、自動的に補正情報が送受信されます。)

- ※ サンプリング周波数補正については、P. 8-5 をお読みください。
  - 自動:補正情報を他のネットワークへ転送せずに、ローカルネットワーク上のみで補正します。
  - 送信:補正情報を他のネットワークへ送信します。送信先入力欄が入力可能になりますので、送信先 IP アドレスとポート番号を入力します。最大 16 カ所まで設定可能です。マルチキャストを使用し てサンプリング周波数を補正する場合、送信先 IP アドレスを入力してください。
  - 受信:補正情報を他のネットワークから受信します。受信元アドレスが入力可能になりますので、受信 元IPアドレスを入力します。 マルチキャストを使用して補正情報を転送する場合、「マルチキャスト受信する」にチェックし、

マルナキャストを使用して補止情報を転送する場合、|マルナキャスト受信する」にナェックし、 使用するマルチキャストアドレスを入力してください。



**1** 機能設定タブをクリックする。 設定画面が表示されます。

🍱 新規システム - N-8000設定ソ	ንኑዕェア					
ファイル(E) 設定(C) ヘルプ(H)						
システム全般 交換機 マルチインターフェース   IP端末   端末   ページング   グループ						
マルチインターフェース選択						
機器番号: 6 _	機器名称: MI	<b>_</b>				
ネットワーク設定↓サンプリング周波数補	正 機能設定 音声入出力   接点	入力   接点出力				
	ワンジョットメイク時間(秒): 1	- ページング応答モード				
▶ 不在転送	制限	● 系統選択				
┏ 時刻連動転送	▼ 呼び出し時間制限	○ 自動応答				
開始時刻; 00:00	制限時間(秒): 10	優先設定				
終了時刻; 00:00	☑ 通話時間制限	ページング優先     マンチョングター				
┏ 話中転送	制限時間(秒): 10	○ 週話優先				
▶ 不応答転送	▼ ページング時間制限	- 発呼局表示モード				
呼び出し時間(秒) 10	制限時間(秒):  10	<ul> <li>呼び出し・通話中メイク</li> <li>通話中メイク</li> </ul>				
根器番号/音声λ力番号	機器番号 / 音声入力番号					
ch 1:	ch 5:					
ch 2:	ch 6:					
ch 3:	ch 7:					
ch 4:	ch 8:					
, _, _	, _, _					

# 2 各項目を設定する。

- ワンショットメイク時間(秒)
   外部制御出力端子がワンショットメイクする時間を設定します。
   設定範囲は0~9秒(1秒単位)です。
   使用しない場合は、「0」に設定します。
- ②制限

呼び出し、通話、ページング機能についての時間制限を設定します。 制限時間は10~990秒(10秒単位)で設定します。

呼び出し時間制限 :端末を呼び出し続ける時間に制限を設けるかどうかを設定します。 制限を設ける場合、制限時間を入力してください。制限時間を過ぎると、端末の 呼び出しは自動的に終わります。 制限がない場合は、呼び出しをやめるか、呼び出し先端末が応答するまで呼び出

し続けます。 通話時間制限 :端末の通話時間に上限を設けるかどうかを設定します。 制限を設ける場合、制限時間を入力してください。制限時間を過ぎると、通話は 自動的に終了します。

制限がない場合は、終了操作を行うまで通話は継続します。

ページング時間制限:ページング呼び出し時間に上限を設けるかどうかを設定します。 制限を設ける場合、制限時間を入力してください。制限時間を過ぎると、ページ ング呼び出しは自動的に終わります。 制限がない場合は、終了操作を行うまでページング呼び出しは継続します。

#### 第5章 ソフトウェアによるシステム設定 マルチインターフェース:機能設定

③ ページング応答モード

- ページング応答時の動作を「系統選択」モードまたは「自動応答」モードから選択します。
  - 系統選択:ページング系統番号を指定して応答します。指定した系統へ最後に呼び出し放送をした端末 に応答します。

複数系統の呼び出し放送が聞こえる場所があるときは、このモードに設定します。

- 自動応答:ページング応答キーのみで応答します。操作端末が最後に受信したページング系統に呼び出 し放送をした端末に応答します。
- ④優先設定

ページングと通話が重なった場合に、どちらを優先させるかを設定します。

- ページング優先:ページング受信中に他の端末から着信があっても、話中になりページング受信を継続 します。ページング受信中に、ダイヤル操作はできません。
- 通話優先 :通話中、ダイヤル途中などのときにページングがあっても、ページングを受信しません。ページング受信中にも、ダイヤル操作はできます。

● 音声入出力の設定

**1** 音声入出力タブをクリックする。 設定画面が表示されます。

ファイル(E) 設定(C) ヘルプ(H)	
システム全般 交換機 マルチインターフェース IP端ス	末 端末 ページング グループ
マルチインターフェース選択	
機器番号: 6   ● 機器名称:	MI
- ネットワーク設定 サンプリング周波数補正 機能設定	音声入出力」接点入力 接点出力
音声入出力1	
○ タイライン ○ PBXイノターフェース ○ 外部入力抜送 ○ BGM	
<ul> <li>C 使用しない</li> </ul>	
C タイライン C PBXインターフェース	出カレベル: 3
○ 拡声ページング ⊙ 使用しない	
	·
────────────────────────────────────	同维属性 同维士书
$(-\sqrt{2})$	
<ul> <li>● 外部入力放送</li> <li>● BGM</li> </ul>	特番: C DP10 C セカンドダイヤルトーン方式
○ 使用しない	放送先系統: 1 ○ DP20 ○ タイミングスタート方式
- 出力動作モード:	
C タイライン C PBXインターフェース	
○ 拡声ページング ④ 使用しない	

# 2 音声入出力1と2の各項目を設定する。

マルチインターフェースユニットの音声入出力をどのように使用するかを設定します。 音声入出力1と2にそれぞれ次の設定項目があります。

#### ①入力動作モード

使用する動作モードを設定します。

- 「タイライン」または「PBXインターフェース」を選択すると、出力動作モードも自動的に同じ内容に設 定されます。
  - タイライン :別のインターカム交換機(EXES-2000、EXES-6000、EXES-7000)と接続す る場合に選択します。

PBXインターフェース:PBXのODトランクと接続する場合に選択します。

- 外部入力放送 : 演奏機器やリモートマイクなどと接続して、ページング呼び出しをする場合に 選択します。制御入力から起動がかかると、あらかじめ登録していたページン グ系統に、ページング呼び出しをすることができます。
- BGM :演奏機器などと接続して、待ち受け状態の端末のスピーカーに、この入力からの音源を流すときに選択します。
- 使用しないことの音声入力を使用しません。

#### 第5章 ソフトウェアによるシステム設定

マルチインターフェース:音声入出力の設定

② 出力動作モード

入力動作モードを「外部入力放送」「BGM」または「使用しない」に設定すると、「拡声ページング」を選 択することができます。

タイライン :別のインターカム交換機(EXES-2000、EXES-6000、EXES-7000)と接続す る場合に選択します。

PBXインターフェース:PBXのODトランクと接続する場合に選択します。 拡声ページング :アンプなどと接続して拡声ページングをする場合に選択します。 使用しない :この音声出力を使用しません。

#### ③ 入力感度

入力動作モードを「タイライン」または「PBX インターフェース」に設定すると、入力感度が設定できる ようになります。

1~4の4段階で設定します。1が最小、4が最大です。初期値は1です。(5 dBステップ)

④ 特番

入力動作モードを「タイライン」または「PBX インターフェース」に設定すると、特番が設定できるよう になります。

別のインターカム交換機または PBX に発信するときに操作する特番を0 ~ 99(1 桁または2 桁)で設定し てください。

#### ご注意

特番が1桁の場合、端末番号の上1桁と一致しないように設定してください。 特番が2桁の場合、端末番号の上2桁と一致しないように設定してください。

⑤ 放送先系統

入力動作モードを「外部入力放送」に設定すると、放送先系統が設定できるようになります。 放送先のページング系統番号を入力してください。

⑥ 出力レベル

入力動作モードを「タイライン」または「PBX インターフェース」に設定すると、出力レベルが設定できるようになります。

1~4の4段階で設定します。1が最小、4が最大です。初期値は4です。(5dBステップ)

⑦ 回線属性

入力動作モードを「PBXインターフェース」に設定すると、回線属性を設定できるようになります。 「PB」「DP10」「DP20」から選択します。

⑧ 回線方式

入力動作モードを「PBXインターフェース」に設定すると、回線方式を設定できるようになります。 「ウインクスタート方式」「セカンドダイヤルトーン方式」「タイミングスタート方式」から選択します。



**1** 接点入力タブをクリックする。 設定画面が表示されます。

217 新規システム - N-8000設定ソフトウェア		
ファイル(E) 設定(C) ヘルプ(H)		
システム全般   交換機 マルチインターフェース   IP端末   端末   ページン マルチインターフェース選択 機器番号: 6 ▼ 機器名称: MI	ッヴ   グループ   ・	
「ネットワーク設定   サンプリング周波数補正   機能設定   音声入出力	赛点入力 接点出力	
接点入力番号:       1         動作モード       ヘカ連動レベル C ページングビジー1 C 使用しない         ヘカ連動エッジ C ページングビジー2       小部入力放送 C リモートダイヤル         入力連動接点       機器番号:       0         投点番号:       1       マ         外部入力放送       ・       ・         外部入力放送       ・       ・         外部入力放送       ・       ・         小部市号:       マ       ・         「サートダイヤル       ・       ・         「リモートダイヤル       ・       ・         「リモートダイヤル       ・       ・         「日線番号:       マ       ・         「タイヤルコード:       ・       ・	No.         動作モード         パ           1         入力連動レベル         接           2         入力連動エッジ         接           3         外部入力放送         音           4         ページングビジー1         5           5         ページングビジー2         6           9         10         11           12         13         14           15         16         16	ラメータ 転出力:6-1 転出力:6-2 声入力:2,放送先系統:1 総端末:1-1,ダイヤル:100

### 2 接点入力の各項目を設定する。

#### ① 接点入力番号

この機器の接点入力端子の番号です。編集できません。

② 動作モード

接点入力の動作モードを選択します。ここで選んだ種類に応じて設定内容が変わります。

入力連動レベル:この接点入力を接点出力に伝送するときに選択します。伝送出力信号は下図のように なります。(入力が変化して 50 ms 間安定すると、入力が確定します。)

入力連動エッジ:この接点入力を接点出力に伝送するときに選択します。伝送出力信号は下図のように なります。(入力が変化して 50 ms 間安定すると、入力が確定します。)



#### 第5章 ソフトウェアによるシステム設定 マルチインターフェース:接点入力の設定

- 外部入力放送 : マルチインターフェースユニットの音声入力端子に接続された演奏機器などにこの制御入力から起動をかけるときに選択します。
- ページングビジー1:外部に接続した拡声ページングのビジー状態を音声出力1に出力するときに選択 します。
- ページングビジー2:外部に接続した拡声ページングのビジー状態を音声出力2に出力するときに選択 します。
- リモートダイヤル :マルチインターフェースユニットの接点入力がメイクされると、任意の端末が自動的にダイヤルします。1つの接点入力で最大20のダイヤルコード(ダイヤル番号、キー操作)を設定できます。
- 使用しない :この接点入力を使用しません。

#### ③ 入力連動接点

動作モードの設定で「入力連動レベル」または「入力連動エッジ」を選択した場合に、出力する接点の番 号(マルチインターフェースユニットの機器番号と接点出力端子の番号)を設定します。

#### ④ 外部入力放送

動作モードの設定で「外部入力放送」を選択した場合に、ページングの放送先系統番号とページング放送の音源を入力する端子の番号(音声入力端子の番号)を設定します。

⑤ リモートダイヤル

動作モードの設定で「リモートダイヤル」を選択した場合に、リモートダイヤルをする端末が接続されて いる交換機の機器番号と回線番号を選択し、ダイヤルの内容を下の表に示すダイヤルコード(半角)で入 力します。

- ・ダイヤルコードに登録できるキーおよび操作は、下の表のとおりです。
- ・最大20のダイヤルコードを登録できます。

登録するキーまたは操作	ダイヤルコード	登録するキーまたは操作	ダイヤルコード
1	1	PTT キーを押す(PTT キーがオン)	PN
2	2	PTT キーを離す(PTT キーがオフ)	PF
3	3	ページング呼出	PC
4	4	ページング応答	PR
5	5	保留	HD
6	6	転送	TR
7	7	機能	FN
8	8	リダイヤル	RD
9	9	メニュー	MN
0	0	選択	SL
*/▼	*	左矢印(◀)	LC
#/▲	#	右矢印(▶)	RC
С	С	上矢印(▲)	UC
		下矢印(▼)	DC

● 接点出力の設定

**1** 接点出力タブをクリックする。 設定画面が表示されます。

207 新規システム - N-8000設定ソフトウェア							
ファイル(E) 設定(C) ヘルプ(H)							
システム全般   交換機 マルチインターフェース   IP端 マルチインターフェース選択 	末│端 फ•	誌  ぺー?	フング   グル∽	-7			
ネットワーク設定 サンプリング周波数補正 機能設	定 音	;~~ 清入出力│	接点入力	接点出力			
接点出力番号:  1	操作番	考析数:  2	2				
操作番号:	No.	操作番号	回線状態	ネットワーク状態			
	1		1:1	1			
C 全回線	2						
○ 交換機/IP提去	4	01					
交通搬展号·	5	11					
	7						
◎ 咖本	8						
	10						
	11						
○ 設定なし	13						
	14						
○ 全禅器	16						
◎ 充価準/10提曲/フルチインカニフェニフ	<u> </u>						
	<u> </u>						
○ 設定なし							
ļ							

# 2 接点出力の各項目を設定する。

端末で外部機器制御(ワンショットメイク出力、メイク/ブレイク出力)の操作をする接点出力のみ、 そのを設定します。

① 操作番号桁数

端末で外部機器制御の操作をするときの番号の桁数を2~4の数字で入力します。

2 接点出力番号

この機器の接点出力端子の番号です。編集できません。

③ 操作番号

端末で外部機器制御の操作をするときの番号を「操作番号桁数」で設定した桁数で設定します。

④ 回線状態診断

診断する回線を選択します。 回線状態がCPU異常または端末番号登録済みであるが未接続のときに、異常と判断して、接点出力をメ イクします。

⑤ ネットワーク状態診断

診断する機器を選択します。 通信の応答がないと、異常と判断して、接点出力をメイクします。

### ■ IP 端末の設定をする

IP端末ボタンをクリックします。

設定する IP 端末を選択します。機器番号、端末番号、または端末名称をリストから選択してください。

-端末選択								
機器番号:│	4	•	端末番号:	148	•	端末名称:	IPM1	•

● ネットワークの設定

**1** ネットワーク設定タブをクリックする。 設定画面が表示されます。

🍱 新規システム - N-8000設定ソフトウェア	
ファイル(E) 設定(C) ヘルプ(H)	
シイルとり またじり ペルシ(1)         システム全般 (文規様) マルチインターフェース (P)端末 (端末 (ページング) グループ)         端末違沢         機器番号: (4)       ・ 端末番号: [148)         アングワーグ(2000)         アンドワージ(2000)         アンドワージ(2000)         アンドワージ(2000)         アンドレス:       [192.168.1.4]         サブネットマスク:       255.255.255.05         アンドレス:       [192.168.1.4]         ガード番号       (※ (日本))         ボード番号       (※ (日本))         ベージング用ボート(UDP):       (5003)         (0) アボート:       [5000]         (5012)       (5015)         (※ (日本))       (5015)         (※ (日本))       (5015)         (※ (日本))       (※ (日本))         (※ (日本))       (※ (日本))<	

2 各項目を設定する。

- ① IP アドレス IP 端末の IP アドレスを入力します。
- サブネットマスク サブネットマスクを入力します。
- ③ デフォルトゲートウェイ デフォルトゲートウェイを入力します。

第5章 ソフトウェアによるシステム設定 IP端末:ネットワーク設定

④ ポート番号

各プロトコルで使用するポート番号を設定します。

[Webサーバー]

Webサーバーのポート番号を入力します。入力可能な範囲は1~65535です。(工場出荷時:80)

[TCP ポート]

Web サーバー以外の TCP ポートの開始番号を入力します。入力可能な範囲は 1 ~ 65532 です。N-8000 シ ステムでは、TCP 開始ポートから連続して 4 個のポートを使います。(工場出荷時: 5000)

ポート	プロトコル	ポート番号	初期值
Webサーバー	TCP	Webサーバー	80
呼び出し制御	TCP	開始ポート番号 十 0	5000
PC監視	TCP	開始ポート番号 十 1	5001
PC制御	TCP	開始ポート番号 十 2	5002
予約	TCP	開始ポート番号 十 3	5003

TCPポートは下記のように割り当てられます。

[UDP ポート]

UDPで使用するポートの開始番号を入力します。入力可能な範囲は1~65516です。N-8000システムでは、UDP開始ポートから連続して20個のポートを使います。(工場出荷時:5006)

UDP ポートは下記のように割り当てられます。

ポート	プロトコル	ポート番号	初期值
予約	UDP	開始ポート番号 十 0~3	5006~5009
通話	UDP	開始ポート番号 十 4~19	5010~5025

#### ご注意

UDPのポート番号 15000 は内部で使用しています。14981 ~ 15000 は入力できません。

[ページング用ポート (UDP)]

マルチキャストを使用してページングを行う場合に使われるポート番号(UDP)が表示されます。 (設定のしかた 🖙 P. 5-64 「ページング系統を設定する」)

⑤ NAPT 対応

グローバルIP アドレスを使ってこのIP 端末に接続する場合は、「NAPT 対応する」にチェックを入れてください。ネットワークID ⑥~WAN 側ポート番号⑧が入力可能になります。

⑥ ネットワーク ID

グローバルIPアドレスを使って接続する場合、ローカルアドレスを使ってアクセスできる範囲ごとにネットワークを識別する番号を入力します。

例えば、下図のようなネットワーク接続をしている場合、LAN①に接続する機器には1、LAN②に接続する機器には2、のように異なるネットワークIDをつけます。

設定用のパソコンにはネットワークID:1を割り当てています。パソコンからローカルアドレスを使って アクセスできる機器(例えばLAN①に接続する機器)には、ネットワークID:1を設定してください。



#### ⑦ WAN 側 IP アドレス

WAN側から見たこのIP端末のIPアドレスを入力します。

⑧ WAN 側ポート番号

WAN側から見た各プロトコルで使用するポート番号を設定します。

[Webサーバー]

Webサーバーのポート番号を入力します。入力可能な範囲は1~65535です。(工場出荷時:80)

[TCP ポート]

Web サーバー以外の TCP ポートの開始番号を入力します。入力可能な範囲は 1 ~ 65532 です。N-8000 シ ステムでは、TCP 開始ポートから連続して 4 個のポートを使います。(工場出荷時: 5000)

TCP ポートは下記のように割り当てられます。

ポート	プロトコル	ポート番号	初期值
Webサーバー	TCP	Webサーバー	80
呼び出し制御	TCP	開始ポート番号 十0	5000
PC監視	TCP	開始ポート番号 十 1	5001
PC制御	TCP	開始ポート番号 十 2	5002
予約	TCP	開始ポート番号 十 3	5003

[UDP ポート]

UDP で使用するポートの開始番号を入力します。入力可能な範囲は1~65516 です。N-8000 システムでは、UDP 開始ポートから連続して20 個のポートを使います。(工場出荷時: 5006)

ポート	プロトコル	ポート番号	初期值
予約	UDP	開始ポート番号 十 0~3	5006~5009
通話	UDP	開始ポート番号 十 4~19	5010~5025

UDP ポートは下記のように割り当てられます。

#### 9 通信容量

この機器が接続するネットワーク回線の容量(または使用可能な上限値)を設定します。通信容量を設定 すると、通話・ページングにより設定値を超えるトラフィックが発生して、音質が低下したり遅延が長く なったりするのを防ぐことができます。

#### 10 音声スペック

使用できる帯域によって、音声伝送のスペックを選択します。

高音質モード :高音質・低遅延で音声を伝送します。通常はこのモードを使用してください。

標準モード :低遅延で音声を伝送します。音質は劣りますが、高音質モードと遅延時間は同じで使用 帯域が少なくなります。ISDN回線(128 kbps)で接続している場合などはこのモード を使用してください。

帯域節約モード:非常に少ない帯域で音声を伝送できますが、音質は劣り、遅延時間も長くなります。ア ナログ回線(56 kbps)で接続している場合はこのモードを使用してください。

	サンプリング周波数	遅延	使用帯域
高音質モード	16 kHz	0.08 秒	130 kbps
標準モード	8 kHz	0.08 秒	98 kbps
帯域節約モード	8 kHz	0.32 秒	49.5 kbps

#### ● 機能の設定

1 機能設定1タブをクリックする。

設定画面が表示されます。

- 🍱 新規システム - N-8000設定ソ	ͻͰ·ͻϫ		
ファイル(E) 設定(C) ヘルプ(H)			
システム全般   交換機   マルチインターフ 端末選択 機器番号: 4 ・ ・ ネットワーク設定 (機能設定1)機能設	ェース IP端末   端末   ページング   端末番号:  148   ▼	グループ 抹名称: IPM1 ▼ 「緊急メッセージ」	
<ul> <li>転送設定</li> <li>✓ 不在転送</li> <li>✓ 時刻速動転送</li> <li>開始時刻: 17:00</li> <li>終了時刻: 9:00</li> <li>✓ 話中転送</li> <li>✓ 不応答転送</li> <li>呼び出し時間(秒) 10</li> </ul>	<ul> <li>ワンショットメイク時間(秒): 1</li> <li>制限</li> <li>単び出し時間制限</li> <li>制限時間(秒): 10</li> <li>✓ 通話時間制限</li> <li>制限時間(秒): 10</li> <li>✓ ページング時間制限</li> <li>制限時間(秒): 10</li> </ul>	ページング応答モード	
機器番号/音声入力番号 ch 1: 6 ▼ 1 ▼ ch 2: ▼ ▼ ch 3: ▼ ▼ ch 4: ▼ ▼	様器番号/音声入力番号 ch 5:	<ul> <li>ドアリモート制御</li> <li>・ドアリモート制御</li> <li>・呼び出し中メイク</li> <li>通話中メイク</li> <li>・通話中メイク</li> </ul>	

※ IP 端末の種類により、入力できる項目は異なります。

# 2 各項目を設定する。

転送設定(IPマスター端末のみ)

転送機能を使うかどうか設定します。

- 不在転送 :着信があった場合、着信端末が不在転送に設定されていれば、呼び出し音を鳴らさずに、 自動的に転送されます。
- 時刻連動転送:設定された時間内に着信があった場合、呼び出し音を鳴らさずに、自動的に転送されま す。不在転送機能が有効になっている場合に時刻連動転送設定ができます。時刻連動転 送機能が有効になっているときのみ時刻設定ができます。
- 話中転送 :通話中に着信があった場合、着信端末に話中転送が設定されていると自動的に転送され ます。
- 不応答転送 :着信があった場合、着信端末に不応答転送設定があり一定時間応答しないと自動的に転送されます。転送するまでの呼び出し時間は、不応答転送が有効になっている場合のみ設定できます。
- ② ワンショットメイク時間(秒) 外部制御出力端子がワンショットメイクする時間を設定します。 設定範囲は0~9秒(1秒単位)です。 使用しない場合は、「0」に設定します。

③ 制限

呼び出し、通話、ページング機能についての時間制限を設定します。

- 制限時間は10~990秒(10秒単位)で設定します。
  - 呼び出し時間制限:端末を呼び出し続ける時間に制限を設けるかどうかを設定します。

制限を設ける場合、制限時間を入力してください。制限時間を過ぎると、端末の呼 び出しは自動的に終わります。

制限がない場合は、呼び出しをやめるか、呼び出し先端末が応答するまで呼び出し 続けます。

通話時間制限 :端末の通話時間に上限を設けるかどうかを設定します。
 制限を設ける場合、制限時間を入力してください。制限時間を過ぎると、通話は自動的に終了します。

制限がない場合は、終了操作を行うまで通話は継続します。

ページング時間制限(IPマスター端末のみ)

:ページング呼び出し時間に上限を設けるかどうかを設定します。 制限を設ける場合、制限時間を入力してください。制限時間を過ぎると、ページン グ呼び出しは自動的に終わります。 制限がない場合は、終了操作を行うまでページング呼び出しは継続します。

#### ④ BGM 入力

このIP端末で聞くBGMを設定します。

各チャンネルに、BGM 音源が接続されているマルチインターフェースユニットの機器番号と音声入力番 号を選択します。

- (5) ページング応答モード(IPマスター端末のみ)
  - ページング応答時の動作を「系統選択」モードまたは「自動応答」モードから選択します。
    - 系統選択:ページング系統番号を指定して応答します。指定した系統へ最後に呼び出し放送をした端末 に応答します。

複数系統の呼び出し放送が聞こえる場所があるときは、このモードに設定します。

- 自動応答:ページング応答キーのみで応答します。操作端末が最後に受信したページング系統に呼び出 し放送をした端末に応答します。
- ⑥ 優先設定

ページングと通話が重なった場合に、どちらを優先させるかを設定します。

- ページング優先:ページング受信中に他の端末から着信があっても、話中になりページング受信を継続 します。ページング受信中に、ダイヤル操作はできません。(ページング受信中の端 末からページング応答をすることもできません。)
- 通話優先 :通話中、ダイヤル途中などのときにページングがあっても、ページングを受信しません。ページング受信中にも、ダイヤル操作はできます。

#### ⑦ 発呼局表示モード

のとおりです。

発呼局表示時の動作を「呼び出し・通話 中メイク」モードまたは「通話中メイク」 モードから選択します。 マルチインターフェースユニットの接点 出力がメイクされるタイミングは右の表

発呼局表示モード IP端末の動作	呼び出し・ 通話中メイク	通話中メイク
呼び出し中	メイク	ブレイク
着信中	メイク	ブレイク
話中待ち	メイク	ブレイク
通話	メイク	メイク
ページング受信	ブレイク	ブレイク
スキャンモニター受信	メイク	メイク
#### ⑧ ドア端末接点動作モード(IP ドア端末のみ)

IPドア端末の接点出力の動作モードを設定します。 「ドアリモート制御」「呼び出し中メイク」「通話中メイク」「呼び出し・通話中メイク」の中から選択しま す。

IPドア端末の接点出力がメイクされるタイミングは次の表のとおりです。

	-			
ドア端末接点動作モード IPドア端末の動作	ドアリモート制御	呼び出し中メイク	通話中メイク	呼び出し・ 通話中メイク
呼び出し中	ブレイク	メイク	ブレイク	メイク
話中待ち	ブレイク	メイク	ブレイク	メイク
通話	ブレイク	ブレイク	メイク	メイク
ページング受信	ブレイク	ブレイク	ブレイク	ブレイク
スキャンモニター受信	ブレイク	ブレイク	メイク	メイク
ドアリモート	メイク			

3 機能設定2タブをクリックする。

設定画面が表示されます。

🍱 新規システム - N-8000設定ソフト	7ול									
ファイル(E) 設定(C) ヘルプ(H)										
システム全般 交換機 マルチインターフェース IP端末 端末  ページング グループ										
機器番号:  4										
ネットワーク設定 機能設定 機能設定2	D豆縮ダイヤル   スキャンモニター   緊急メッサ	2-91								
┌着信モード	転送先	ドアリモート								
◎ 自動着信 🔽 呼び出し音あり	不在転送先: 101	MI機器番号: 6 ▼								
○ 連続呼び出し 🔽 呼び出し音あり	時刻連動不在転送先: 102	接点出力番号: 1 ▼								
	不応答転送先: 103									
マイク感度: 2	話中転送先: 104	主-按方册号								
スピーカー出力: 3	BGM	MD機器番号: 6 ▼								
呼び出し音量: 3	▼ BGMを受信する	接点出力番号: 2 ▼								
	BGM入力: 1 💽	呼び出し先端末番号:								
クルーノ呼び出し(最入15合)		149								
	□ 他端末への割り込み操作をする									
	□ 他端末からの割り込みを拒否する									
	▼ ヘーソンク呼び出び来下町 ■ 外部継号制御操作訂									
	1 71 CH1000 001001 #1 F 91									

※ IP 端末の種類により、入力できる項目は異なります。

# 4 各項目を設定する。

① 着信モード

着信モード( ■ P. 2-9) を「自動着信」または「連続呼び出し」から選択します。 「自動着信」の場合も「連続呼び出し」の場合も、呼び出し音の有無を設定することができます。 IP ドア端末は「自動着信」固定です。

- 2 音量
  - マイク感度 :端末のハンズフリーマイクの感度を3段階で設定できます。レベル1が最小、レベル3 が最大です。初期値はレベル2です。

#### ご注意

ハンドセットマイクの感度は固定です。

- スピーカー出力:端末のスピーカー出力のレベルを5段階で設定できます。レベル1が最小、レベル5が 最大です。初期値はレベル3です。
- 呼び出し音量 :端末の呼び出し音量を5段階で設定できます。レベル1が最小、レベル5が最大です。 初期値はレベル3です。
- ③ グループ呼び出し(最大15台)(IPマスター端末のみ)

この端末が呼び出された場合に、同時に呼び出す端末を設定します。最大15台設定できます。 同時呼び出し端末の設定をしておくと、この端末が呼び出されたときに話中の場合でも、同時に呼び出さ れた他の端末で応答することができます。 ④ 転送先(IPマスター端末のみ)
 各転送機能の転送先の端末番号を設定します。
 転送設定が有効になっている場合のみ、転送先の設定ができます。(^{II}³ P. 5-51)



マルチインターフェースユニットを経由した相手先の端末を転送先に設定することはできません。

5 BGM

この端末でBGMを受信するかどうかを設定します。 受信するときはチェックを入れ、BGMのチャンネル番号(1~8)を選択します。

- ⑥ ドアホンモード(IPドア端末のみ)
   この端末(ドア端末)をドアホンモード*で動作させるかどうかを設定します。
   *マスター端末を呼び出したとき、ドア端末では呼び出し音は1回しか聞こえません。また、呼び出し制
   限時間および通話制限時間がそれぞれ30秒に設定されます。
- ⑦ 他端末への割り込み操作をする(IPマスター端末のみ) この端末から割り込み操作ができるかどうかを設定します。
- ⑧ 他端末からの割り込みを拒否する 他の端末から割り込み操作が行われたときに、割り込みを拒否するかどうかを設定します。
- ⑨ ページング呼び出し操作可(IPマスター端末のみ) この端末からページング呼び出し操作を行うかどうかを設定します。
- ① 外部機器制御操作可(IPマスター端末のみ) この端末からワンショットメイク出力やメイク/ブレイク出力の操作を行うかどうかを設定します。
- ドアリモート
   ドアリモートで制御するマルチインターフェースユニットの機器番号と接点出力端子の番号を設定します。
- 12 発呼局表示/CCTV 連動
  - 表示接点番号 :端末を呼び出したときにメイク信号を出力するマルチインターフェースユニットの 機器番号と接点出力端子の番号を設定します。
  - 呼び出し先端末番号:ここで設定する端末を呼び出したときにメイク信号を出力します。最大8台設定で きます。
  - (例) No. 148の IP 端末の発呼局表示/CCTV 連動の設定で、表示接点番号を「MI 機器番号:5、接点出 力番号 6」、呼び出し先端末番号を「149」に設定した場合



端末 No. 148 が No. 149 を呼び出すと、マルチインターフェースユニット(機器番号 5)の接点番号 6 がメイクします。 ● 短縮ダイヤルの設定

1 短縮ダイヤルタブをクリックする。 設定画面が表示されます。

- 202 新規システム - N-8000設定ソフトウェア	
ファイル(E) 設定(C) ヘルプ(H)	
システム全般 交換機 マルチインターフェース [19端末] 端末  ページング グループ	
端末選択 機器番号: 4 ▼ 端末番号: 148 ▼ 端末名称: IPM1 ▼	
ネットワーク設定   機能設定1   機能設定2 短縮ダイヤル スキャンモニター   緊急メッセージ	
ワンタッチダイヤル(標準・多機能)	
ダイヤル7: 102	
ダイヤル8:  103	
タイヤル9: 104	
タイヤル0: 105	
77799: 106	
マスター呼出(ドア端末のみ)	
マスター端末番号:	

※端末の種類により、入力できる項目は異なります。

# 2 各項目を設定する。

- ① **ワンタッチダイヤル**(IPマスター端末のみ)
  - [7] [8] [9] [0] キーからワンタッチで、またはオフフックで発信したい番号を入力します。 メーモ
  - ●ワンタッチダイヤルに登録できるキーは、ダイヤルキー(12種類)、ページング呼び出しキー、ページング応答キー、機能キー、保留キー、転送キーです。
  - ●最大20桁のダイヤル操作を登録できます。
  - 数字以外のキーを登録したいときは、それぞれ半角で次のように入力してください。

#/▲ :#
 */▼ :*
 ページング呼び出しキー : P
 ページング応答キー : R
 機能キー : F
 保留キー : H
 転送キー : T

② マスター呼出(IP ドア端末のみ)

ドア端末の呼び出しボタンを押したときに呼び出すマスター端末の番号を入力します。

● スキャンモニターの設定(IPマスター端末のみ)

**1** スキャンモニタータブをクリックする。 設定画面が表示されます。

🍱 新規システ	■ 新規システム - N-8000設定ソフトウェア										
ファイル(E) 設	ファイル(E) 設定(C) ヘルプ(H)										
システム全般	システム全般 交換機 マルチインターフェース IP端末 端末  ページング グループ										
「端木選択」 機器番号: 4   ■ 端末番号: 148   ■ 端末名称: IPM1   ■											
ネットワーク設定   機能設定2   短縮ダイヤル スキャンモニター ) 疑急メッセージ											
スキャンモニター		ро 1911 — 1 1									
スキャンモニター ニガル・デ1	-グループ(番号	5川魚にモニターし	します。端末番号	を人力してくださ ガループ2 _	5()。):						
1. 102	2. 103	3. 104	4. 105	1. 106	2. 107	3. 108	4.				
5.	6.	7.	8.	5.	6.	7.	8.				
9.	10.	11.	12.	9.	10.	11.	12.				
13.	14.	15.	16.	13.	14.	15.	16.				
- グループ3				」 グループ4 -							
1. 109	2. 110	3. 111	4. 112	1. 114	2. 115	3. 116	4.				
5.	6.	7.	8.	5.	6.	7.	8.				
9.	10.	11.	12.	9.	10.	11.	12.				
13.	14.	15.	16.	13.	14.	15.	16.				

2 スキャンモニター時間を設定する。

モニターを切り換える時間を設定します。1~10秒の間で1秒単位で入力してください。

3 モニターグループを設定する。

モニターしたい端末の端末番号を、モニターする順に入力します。

● 緊急メッセージの設定(IPマスター端末のみ)

**1** 緊急メッセージタブをクリックする。 設定画面が表示されます。

22 新規システム - N-8000設定ソフトウェア	
ファイル(E) 設定(C) ヘルプ(H)	
システム全般       交換機       マルチインターフェース       IP端末       4端末       ページング       グループ         端末選択       端末番号:       148       端末名称:       IPM1          ネットワーク設定       機能設定1       機能設定2       短縮ダイヤル       スキャンモニタ・       緊急メッセージ         マ 気急 メッセージ放送操作をする       超動方法       マ       ダイヤル操作           (株式)       (本)       (本)       (本)           ページング系統番号:       一音       (本)       (本)       (本)          (確)返し       (*       *       *       (*       (*       *         (* 朝)原し       (*       1       回       *       *       *         1       回       *       *       *       *       *	

**2** 「緊急メッセージ放送操作をする」にチェックを入れる。 以下の項目が設定できるようになります。

# 3 起動方法を設定する。

ダイヤル操作: IP マスター端末からのダイヤル操作により緊急メッセージ放送を起動します。 接点入力 : 外部接点入力により緊急メッセージ放送を起動します。

ご注意 N-8500MS は外部接点入力による起動はできません。

# 4 繰り返しを設定する。

制限なし:緊急メッセージ終了操作をするまで、メッセージを繰り返し放送します。 回数制限:指定した回数だけメッセージを繰り返します。1~10回の範囲で指定できます。

# 5 接点連動制御を設定する。

緊急メッセージ放送の起動と連動してメイクする、マルチインターフェースユニットの機器番号と接点 出力番号を設定します。

起動中メイク :緊急メッセージ放送起動時にメイクし、終了時にブレイクします。

ワンショットメイク:緊急メッセージ放送起動時にメイクし、ワンショットメイク時間で設定した時 間が経つとブレイクします。

### ■ 交換機に接続する端末の設定をする

端末ボタンをクリックします。

設定する端末を選択します。交換機番号・回線番号、端末番号または端末の名称をリストから選択してくだ さい。

-端末選択							
交換機番号: 1	•	端末番号: 101	•	端末名称:	sta1-01	-	
回線番号: 1	•						

③ 端末番号

#### ① 交換機番号

端末が接続している交換機の機器番号を選択しま す。

- ②回線番号 端末が接続している回線の番号を選択できます。
- 端末の番号を選択できます。 ④ 端末名称

端末の名称を選択できます。

● 機能の設定

1 機能設定タブをクリックする。 設定画面が表示されます。

🍱 新規システム - N-8000設定ソフト	ሳェア									
ファイル(E) 設定(C) ヘルプ(H)	ファイル(E) 設定(C) ヘルプ(H)									
システム全般 交換機 マルチインターフェ・ 端末選択 交換機番号: 1 ▼ 端 回線番号: 1 ▼	-ス」IP端末   端末   ページング   グル・ 末番号: 101 - ■ 端末名称:	-ブ  sta1-01 ・								
機能設定短縮ダイヤル スキャンモニター	1									
<ul> <li>著信モード</li> <li>● 自動著信</li> <li>● 呼び出し音あり</li> <li>● 連続呼び出し</li> <li>● 呼び出し音あり</li> <li>● 音量</li> <li>マイク感度:</li> <li>2</li> <li>スピーカー出力:</li> <li>3</li> <li>呼び出し音量:</li> <li>3</li> </ul>	転送先 不在転送先: 102 時刻連動不在転送先: 103 不応答転送先: 104 話中転送先: 105 BGM ▼ BGMを受信する BGM ↓: 1	ドアリモート MI機器番号: 5 接点出力番号: 4 発呼局表示/CCTV連動 表示接点番号 MI機器番号: 5 接点出力番号: 3 ▼								
「グループ呼び出し(最大15台)		呼び出し先端末番号: 								
端末番号: 102 103 104 105 106 107 108 109 108 109	<ul> <li>ドアホンモード</li> <li>他端末への書り込み操作をする</li> <li>他端末からの書り込みを拒否する</li> <li>ページング呼び出し操作可</li> <li>外部機器制御操作可</li> </ul>									

※端末の種類および端末が接続している交換機の種類により、入力できる項目は異なります。

# 2 各項目を設定する。

① 着信モード

着信モード( ■ P. 2-9) を「自動着信」または「連続呼び出し」から選択します。 「自動着信」の場合も「連続呼び出し」の場合も、呼び出し音の有無を設定することができます。 ドア端末は「自動着信」固定です。

- 2 音量
  - マイク感度 :端末のハンズフリーマイクの感度を3段階で設定できます。レベル1が最小、レベル3 が最大です。初期値はレベル2です。

#### ご注意

ハンドセットマイクの感度は固定です。

- スピーカー出力:端末のスピーカー出力のレベルを5段階で設定できます。レベル1が最小、レベル5が 最大です。初期値はレベル3です。
- 呼び出し音量 :端末の呼び出し音量を5段階で設定できます。レベル1が最小、レベル5が最大です。 初期値はレベル3です。
- ③ グループ呼び出し(最大15台)(マスター端末のみ)

この端末が呼び出された場合に、同時に呼び出す端末を設定します。最大15台設定できます。 同時呼び出し端末の設定をしておくと、この端末が呼び出されたときに話中の場合でも、同時に呼び出さ れた他の端末で応答することができます。

④ 転送先(マスター端末のみ)

各転送機能の転送先の端末番号を設定します。 交換機の転送設定が有効になっている場合のみ、転送先の設定ができます。( ☞ P. 5-32)

ご注意

マルチインターフェースユニットを経由した相手先の端末を転送先に設定することはできません。

5 BGM

この端末でBGMを受信するかどうかを設定します。 受信するときはチェックを入れ、BGMのチャンネル番号(1~8)を選択します。

**⑥ ドアホンモード**(ドア端末のみ)

この端末(ドア端末)をドアホンモード*で動作させるかどうかを設定します。

*マスター端末を呼び出したとき、ドア端末では呼び出し音は1回しか聞こえません。また、呼び出し制 限時間および通話制限時間がそれぞれ30秒に設定されます。

- ⑦ 他端末への割り込み操作をする(マスター端末のみ) この端末から割り込み操作ができるかどうかを設定します。
- ⑧ 他端末からの割り込みを拒否する
   N-8000EXに接続している端末の場合、他の端末から割り込み操作が行われたときに、割り込みを拒否するかどうかを設定します。
   N-8010EXに接続している端末の場合は、割り込みを拒否する設定に固定されます。
- ⑨ ページング呼び出し操作可(マスター端末のみ) この端末からページング呼び出し操作を行うかどうかを設定します。
- ① 外部機器制御操作可(マスター端末のみ)
   この端末からワンショットメイク出力やメイク/ブレイク出力の操作を行うかどうかを設定します。
- ドアリモート
   ドアリモートで制御するマルチインターフェースユニットの機器番号と接点出力端子の番号を設定します。

12 発呼局表示/CCTV 連動

- 表示接点番号 :端末を呼び出したときにメイク信号を出力するマルチインターフェースユニットの 機器番号と接点出力端子の番号を設定します。
- 呼び出し先端末番号:ここで設定する端末を呼び出したときにメイク信号を出力します。最大8台設定で きます。
- (例) No. 101 の端末の発呼局表示/CCTV 連動の設定で、表示接点番号を「MI 機器番号:5、接点出力番号3」、呼び出し先端末番号を「105」に設定した場合



端末 No. 101 が No. 105 を呼び出すと、マルチインターフェースユニット(機器番号5)の接点番号 3 がメイクします。

● 短縮ダイヤルの設定

1 短縮ダイヤルタブをクリックする。 設定画面が表示されます。

ஊ 新規システム - N-8000設定ソフトウェア	
ファイル(E) 設定(C) ヘルプ(H)	
システム全般 交換機 マルチインターフェース P端末 端末 ページング グループ	
端末選択	
交換機番号: 1	
回線番号: 1	
機能設定短縮ダイヤルスキャンモニター	
「ワンタッチダイヤル(標準・多機能)―――	
ダイヤル7: 102	
ダイヤル8: 103	
ダイヤル9: 104	
ダイヤル0: 105	
オフフック: 106	
マスター呼出(ドア端末のみ)       マスター端末番号:	

※端末の種類により、入力できる項目は異なります。

# 2 各項目を設定する。

- ① ワンタッチダイヤル (マスター端末のみ)
  - [7] [8] [9] [0] キーからワンタッチで、またはオフフックで発信したい番号を入力します。 メーモ
  - ●ワンタッチダイヤルに登録できるキーは、ダイヤルキー(12種類)、ページング呼び出しキー、ページング応答キー、機能キー、保留キー、転送キーです。
  - ●最大20桁のダイヤル操作を登録できます。
  - 数字以外のキーを登録したいときは、それぞれ半角で次のように入力してください。

#/▲
 */▼
 ページング呼び出しキー
 P
 ページング応答キー
 R
 機能キー
 K留キー
 H
 転送キー
 T

(2) マスター呼出(ドア端末のみ)

ドア端末の呼び出しボタンを押したときに呼び出すマスター端末の番号を入力します。

● スキャンモニターの設定

**1** スキャンモニタータブをクリックする。 設定画面が表示されます。

🍱 新規システム - N-8000設定ソフトウェア											
ファイル(E) 設	ファイル(E) 設定(C) ヘルプ(H)										
システム全般   交換機   マルチインターフェース   IP端末   「端末 」 ページング   グループ											
「端末選択											
交換機番号: 1 端末番号: 101 端末名称: sta1-01											
回線番号: 1											
機能設定 知	豆縮ダイヤル	スキャンモニタ	$ \rightarrow $								
スキャンモニタ	-時間(秒):	3									
スキャンモニタ・	ーグループ(番	号順にモニター	します。端末番号	を入力してくだ	さい。):						
グループ1 —				コーグループ2-							
1, 102	2. 103	3. 104	4. 105	1. 106	2. 107	3. 108	4.				
5.	6.	7.	8.	5.	6.	7.	8.				
9.	10.	11.	12.	9.	10.	11.	12.				
13.	14.	15.	16.	13.	14.	15.	16.				
- グループ3				ブループ4							
1. 109	2. 110	3. 111	4. 112	1. 114	2. 115	3. 116	4.				
5. 113	6.	7.	8.	5.	6.	7.	8.				
9.	10.	11.	12.	9.	10.	11.	12.				
13.	14.	15.	16.	13.	14.	15.	16.				

# 2 スキャンモニター時間を設定する。

モニターを切り換える時間を設定します。1~10秒の間で1秒単位で入力してください。

3 モニターグループを設定する。

モニターしたい端末の端末番号を、モニターする順に入力します。

■ ページング系統を設定する

**1** ページングボタンをクリックする。

設定画面が表示されます。

🏴 新規	見システム -	N-8000	設定ソフトウ	J17									$\times$
ファイル	(E) 設定(C	) ヘルプ(田)	)										
3/27/	、全般   交援	「「「」」 「「」」 「」	インターフェー	7 IP端末	「端末」「〇	S-275.17	¥16						
ページ	ページング番号桁数:  1 ページンク用ボート番号:  6000 ~ 6011(UDP)まで												
<b>插</b> 湘	種類 椰器舞号 椰器名称 回線舞号 端末母号 端末名称 系統1 系統2 系統3 系統4 系統5 系統6										系統6	系統	^
112.7.9	100100-00	18866-1011		*m/K H S	*m//\-10117	paging1	paging2	paging3	paging4	paging5	paging6	pagin	
			LINE 1	101	sta1-01								
			LINE 2	102	sta1-02	✓							
			LINE 3	103	sta1-03	✓							
			LINE 4	104	sta1-04	✓						L	
			LINE 5	105	sta1-05	<ul><li>✓</li></ul>							
			LINE 6	106	sta1-06	✓							
			LINE 7	107	sta1-07	✓							
	1 E		LINE 8	108	sta1-08	Image: A start and a start							
			LINE 9	109	sta1-09								
		EXI	LINE 10	110	sta1-10	Image: A state of the state							
			LINE 11	111	sta1-11	<ul> <li>Image: A set of the set of the</li></ul>							
			LINE 12	112	sta1-12	Image: A state of the state							
EX			LINE 13	113	sta1-13								
			LINE 14	114	sta1-14							Ē	
			LINE 15	115	sta1-15							Ē	
			LINE 16	116	sta1-16								
			PA 1	-	-								
			PA 2	-	-								
			LINE 1	201	sta2-01								
			LINE 2	202	sta2-02							Ē	
			LINE 3	203	sta2-03								
	2	EX2	LINE 4	204	sta2-04								
			LINE 5	205	sta2-05								
			LINE 6	206	sta2-06								
			LINE 7	200	sta2-07								~
<				201								>	

# 2 ページング番号桁数を入力する。

ページング番号の桁数を1~3の数字で入力してください。 設定した桁数に応じて、系統が自動的に表示されます。(ただし、最大系統数は160です。)

# 3 ページングに使用するポート番号を入力する。

システムで使用するページング用ポート番号の開始番号を入力します。 入力できる範囲は1~65535です。 N-8000システムでは開始ポートから連続して(交換機台数)×4個、(マルチインターフェースユニッ ト台数)×4個、および(IP端末台数)×4個のポートを使います。

#### ご注意

P. 5-27、5-35、5-47 で設定した [UDP ポート] および内部で使用している 15000 と重ならないように してください。

# 4 系統名を入力する。

系統番号の下のセル(paging 1~)をダブルクリックすると、系統名を編集できます。

#### ご注意

系統名は半角(カタカナ、英数記号)8文字以内で入力してください。

# 5 各系統に含まれる端末・拡声ページング出力を選択する。

選択したいセルをクリックするとチェックできます。 範囲を指定して、まとめて設定することもできます。

### ■ グループの設定をする

グループボタンをクリックします。

限定局呼び出しグループと代理応答グループの設定ができます。

● 限定局呼び出しグループの設定をする

端末をいくつかのグループに分け、グループごとに呼び出し可能なグループとページング系統を設定するこ とができます。 限定局呼び出しグループを設定することにより、1つのシステムをいくつかに区分して使用することができま す。 設定できるグループ数は最大31 グループです。

[グループの設定のしかた]

**1** 限定局呼出グループタブをクリックする。 設定画面が表示されます。

🎟 新規システム - N-8000設定ソフトウェア												
	ファイル(E) 🚦	設定( <u>C</u> ) へ	ルプ(日)									
Г	システ <u>ム全般 交</u> 換機 マルチインターフェース IP端末 端末 ページング グループ											
	四次在/可计正		定向呼出先	15理心合	<i>クルーフ</i>							
	機器番号	機器名称	回線番号	端末番号	端末名称	グループ1	グループ2	グループ3	グループ4	グループ5	グループ6	グル・🔼
			5	105	stal-U5							
			6	105	stal-Ub							
			/	107	stal-07							
			8 Q	108	stal-08 stal-09							
			10	110	sta1-10							
	1	EX 1	11	111	sta1-11						П	
			12	112	sta1-12	<ul> <li>Image: A start of the start of</li></ul>						
			13	113	sta1-13	<ul> <li>Image: A set of the set of the</li></ul>						
			14	114	sta1-14	✓						
			15	115	sta1-15	<ul><li>✓</li></ul>						
			16	116	sta1-16	✓						
			1	201	sta2-01	<ul><li>✓</li></ul>						
			2	202	sta2-02							
			3	203	sta2-03							
			4	204	sta2-04							
			5	205	sta2-05							
			6	206	sta2-06							
	2	FX 2	7	207	sta2-07							
	-	2772	8	208	sta2-08							
			9	209	sta2-09							L
			10	210	sta2-10							
			11	211	sta2-11							
			12	212	sta2-12							
			13	213	sta2-13							
	1		14	214	sta2-14							
1.1												

2 各グループに所属する端末を選択する。

選択したいセルをクリックするとチェックできます。 範囲を指定して、まとめて設定することもできます。 [呼び出し先の設定のしかた]

1 限定局呼出先タブをクリックする。 設定画面が表示されます。

🍱 新規システム - N-8000設定ソフトウェア												
ファイル(E) 設定(C) ヘルプ(H)												
システム全般 ダ	を換機 マルチインターフ	גריני	IP端末	端末 ペ	ージング	グループ						
限定局呼出ガル												
		1 4-200	<u>ли – 11</u>	⊥  ガルー⇒2	ກມ⊶ສາ	//″n.⊶⊐?4	//m_=⊐5	//″ii=⊅6	ガループ7	1711		
		18				010 74						
		19										
		20	Image: A state of the state									
		21										
		22	~									
		23	✓									
	限会局感出ガルニュ	24	✓									
		25	✓									
		26	✓									
		27	✓									
		28										
		29										
限定局呼出先		30										
		고초	✓									
		_ <u>_</u>	•									
		2	<ul> <li>Image: A state of the state of</li></ul>									
		3					П					
		4	~									
	A2-215 JB	5	✓									
	N-999	6	✓									
		7	✓									
		8										
		9	✓									
		10										
		11	~									

※上の画面は、グループ1から呼び出し可能な限定局呼出グループとページング系統を選択した例です。

2 各グループが呼び出し可能なグループ、ページング系統をクリックして選択する。 範囲を指定して、まとめて設定することもできます。

#### ご注意

呼び出し可能なページング系統は、一斉および個別の系統番号から選択します。 一斉ページングをできるようにしたいときは「一斉」にチェックを入れてください。すべての系統番号 にチェックを入れても、「一斉」にチェックを入れていないと一斉ページングはできません。

#### ● 代理応答グループの設定をする

代理応答グループを設定すると、グループ内の端末への呼び出しに代理で応答、通話することができます。 代理応答グループに登録できる端末数は最大16台です。

#### ご注意

N-8010EXに接続されている端末を代理応答グループに登録することはできません。

[代理応答グループを新規に作成する]

# 1 代理応答グループタブをクリックする。

設定画面が表示されます。

e <mark>/</mark>	#F 新規システム - N-8000設定ソフトウェア									
7	ファイル(E) 設定(C) ヘルプ(H)									
3	システム全般   交換機   マルチインターフェース   IP端末   端末   ページング   グループ									
機器番号   機器名称   回線番号   端末番号   端末名称   グループ1   グループ2   グループ3   ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲										
	版码曲方	版码沿机	凹線番方	「hh木番ち 100	·• 标本:石朴	シルーフレ	5 <i>m</i> -72	970-73	<u></u>	新規
			0	100	sta1-00	▼				]
			10	109	stat-09 stat-10	~				削除
			11	111	sta1-11	· ·				
	1	EX1	12	112	sta1-12	Image: A state of the state				
			13	113	sta1-13	✓				
			14	114	sta1-14	✓				
			15	115	sta1-15	✓				
			16	116	sta1-16	<ul><li>✓</li></ul>				
			1	201	sta2-01		✓			
			2	202	sta2-02		<ul><li>✓</li></ul>		=	
			3	203	sta2-03				-	
			4	204	sta2-04					
			5	205	sta2-05					
			0	205	sta2-00					
				207	Staz=07		▼			
	2	EX2	0	200	staz=00		▼			
			10	203	sta2-10				_	
			11	210	sta2-11					
			12	212	sta2-12					
			13	213	sta2-13		<ul> <li>Image: A start of the start of</li></ul>			
			14	214	sta2-14		✓			
			15	215	sta2-15		✓			
			16	216	sta2-16					
	3	EX3	1	201	sta3-01			✓		
	3	2700	2	202	sta3-02			<ul><li>✓</li></ul>	×	



2 [新規] ボタンを押し、代理応答グループを作成する。 1列追加され、編集可能な状態になります。

3 グループに所属する端末をリストから選択する。 選択したいセルをクリックするとチェックできます。 範囲を指定して、まとめて設定することもできます。

#### ご注意

1つのグループには16端末まで所属できます。 1つの端末が複数のグループに所属することはできません。

#### 第5章 ソフトウェアによるシステム設定 グループ:代理応答グループの設定

[代理応答グループを編集する]

- **1** 代理応答グループタブをクリックする。 設定画面が表示されます。
- 2 変更するセルを選択し直す。

[代理応答グループを削除する]

- **1** 代理応答グループタブをクリックする。 設定画面が表示されます。
- **2** 削除するグループタイトルのセル(グループ1、グループ2、…)を選択する。 選択した列が反転します。
- **3** [削除] ボタンを押す。 選択したグループの列が削除されます。



### ■ 設定内容をファイルに保存する

設定内容を規定の場所*に保存します。

メニューバーから [ファイル→保存] を選択する。

* N-8000 ソフトウェアのインストールフォルダー内(デフォルトでは C:¥Program Files¥TOA¥N-8000)の システム名称の名前がついたフォルダー内に保存されます。(例:システム名「N-8000」の場合、 C:¥Program Files¥TOA¥N-8000¥N-8000¥)

### ■ 設定内容をアップロードする

現在編集中の設定内容を機器へアップロードします。 アップロードする前に、必ず前項の方法で、設定ファイルを保存してください。

メニューバーから [設定→アップロード] を選択する。

### ■ 設定内容をダウンロードする

現在接続されている機器の設定内容を、N-8000 ソフトウエアに読み込みます。

メニューバーから [設定→ダウンロード] を選択する。 システムに登録されている機器の設定情報がシステム設定画面に表示されます。

### ■ 設定内容を印刷する

現在編集中の設定内容を印刷できます。

メニューバーから [ファイル→印刷] を選択する。 システムに登録されている機器の設定情報が印刷されます。

#### ● 印刷例

し全般	<b>k</b> ]										
業現業	<b>4</b> 3										
通額	₩ # 里 乗 号	爆到	经政	编书	1名	וקמו	いっ	Webポート		WAN側Webポート	
EX	1	EX1	1.1.1.1.1.	N-800	DOEX	192.168.	1.1	80		The period of th	
EX	2	EX2		N-800	00EX	192.168.	1,2	80			
EX	3	EX3		N-800	00EX	1 <b>92.168.</b>	1.3	80			
IP	4	IPM1		N-850	DOMS	1 <b>92.168.</b>	1.4	80			
IP	5	IPD1		N-854	10DS	1 <b>92.168</b> .	1.5	80			
MI	6	MI		N-800	IMO	192.168.	1.6	80			
ساعد غله											
南木一。 尚士来。	更 二字(約1-2)										
「小田 (後周3)		山方谷	同始者		<b>16 45</b>	-	***	備士夕教			
1 1	FX1	የሳጋ የፓ	1	N R	19里列和 1—8000M	S 10	木曾写   )	端本伯你 sta1-1	_		
1	EX1		2	N	-8000M	S 10	)1 )1	sta1-2	—		
1	EX1		3	N	I-8000M	IS 10	02	sta1-3	-		
1	EX1		4	N	I-8000M	S 10	03	sta1-4			
1	EX1		5	N	-8000M	S 10	04	sta1-5			
1	EX1		6	N	-8000M	S 10	)5	sta1=6	_		
1	EX1		7	N	-8000M	S 10	06	sta1-7	_		
1	EX1		8	N	I-8000M	s   10	)7 )0	sta1-8	_		
1	EX1		9	N	M0008-1	B 10	א מ	stal-9	-		
1	EX1		11	N		IS 11	,a 10	sta1-10	-		
1	EX1		12	N	-8000M	S 11	1	sta1-12	-		
1	EX1		13	N	I-8000M	S 11	2	sta1-13	1		
1	EX1		14	N	-8000M	S 11	3	sta1-14			
1	EX1		15	N	-8000M	IS 11	4	sta1-15			
1	EX1		16	N	-8000M	S 11	5	sta1-16	_		
2	EX2		1	N	-8000M	S 11	6	sta2-1	_		
2	EX2		2	N	I-8000M	S 11	1	sta2-2	_		
2	EX2		3	N	M0008-1	11 	1ð 10	sta2-3	-		
2	EX2		5	N		S 12	20	sta2-4	_		
2	EX2		6	N	-8000M	S 12	21	sta2-6	—		
2	EX2		7	N	I-8000M	S 12	22	sta2=7	_		
2	EX2		8	N	I-8000M	IS 12	23	sta2-8			
2	EX2		9	N	I-8000M	IS 12	24	sta2-9			
2	EX2		10	N	I-8000M	IS 12	25	sta2-10	_		
2	EX2		11	N	I-8000M	S 12	26	sta2-11	_		
2	EX2		12	N	-8000M	S 12	2/	sta2-12	_		
2	EA2		14	N	- 8000M	IS 12	29	sta2-13	-		
2	EX2		15	N	-8000M	S 13	30	sta2-15	-		
2	EX2		16	N	-8000M	S 13	31	sta2-16	1		
3	EX3		1	N	-8000M	S 13	32	sta3=1			
3	EX3		2	N	I-8000M	S 13	33	sta3-2	_		
3	EX3		3	N	I-8000M	S 13	34	sta3-3	_		
3	EX3	_	4	N	1-8000M	IS   13 IS   40	50	sta3-4	-		
3	EX3		6	N		S 13	 37	sta3-6	-		
3	EX3		7	N	-8000M	S 13	38	sta3-7	-		
3	EX3		8	N	-8000M	IS 13	39	sta3-8	1		
3	EX3		9	N	I-8000M	S 14	10	sta3-9			
3	EX3		10	N	I-8000M	IS 14	¥1	sta3-10			
3	EX3		11	N	I-8000M	S 14	12	sta3-11	_		
3	EX3		12	N	I-8000M	S 14	13	sta3-12	_		
3	EX3	_	13	N	-8000M	14 10 14	14 15	sta3-13			
3	EX3	_	15	N	- 30000M	IS 14	+J 16	sta3-14	-		
3	EX3	_	16	N	-8000M	S 14		sta3-16	-		
4	IPM1		1	N	-8500M	S 14	18	IPM1	1		
5	IPD1		1	N	-05/00	c 1/	10	1001	-		

# 緊急メッセージの設定をする

IPマスター端末の緊急メッセージ放送に使用するメッセージの作成・設定を行います。

### 設定画面を表示させる

初期画面で「緊急メッセージ設定」をクリックすると、緊急メッセージ設定画面が表示されます。

[初期画面]



[緊急メッセージ設定画面]

🌌 緊急メッセ	ージ - N-8000ソ	フトウェア					
ファイル(E) 編	潗(E) ヘルプ(H)						
オリジナルメッセ	ージー覧 メッセージ(	〕登録┿━━━━(	2)				
- ムム教室			-			「WAVEファイルー	
						 == 7, 23, 7,	
						記の込み	
►	<b>II</b>	•		Vol:	<u>_</u>	 書き出し	
名称	録音日時	メッセージ長					
〇〇教室	2007/06/01 09:55	4.2秒					
	2007/06/01 09:57	3.9秒					
××µ-4	2007/06/01 10:02	3.8秒					
L							
L							

### ■メニュー

● ファイル

771	ル(E) 編集(E)	ヘルプ(円)
新	規作成( <u>N</u> )	Ctrl+N
保	:仔( <u>5</u> ) :前をつけて(4左(5)	Ctrl+S
一門	除( <u>D</u> )  称変更(R)	Del
	AV/Fファイルの詰み	
Ŵ	AVEファイルへ書き	EU I
	ッセージの転送	
		Chult D
ED ED	/呵ヽ <u>゠</u> /… /刷プレビュー(V)	Gtri+P
7	レタの設定(R)	
開	してる(C)	Alt+F4
	~	
新規作	乍成	:新し
保存		:メッ
名前な	をつけて保存	: メッ
削除	* =	: × ッ
<b>治</b> 称爹	む史 F フ ー イ ル の 話	<b>:メッ</b> ミフ: スフ: ・ \A/A \
VVAVI	ヒノアイ ルの詞	5の込み.VVA サー
WAVI	Eファイルへ書	き出し:緊急
		ミロじ 泉心ます
メット	セージの転送	:パソ
印刷		:オリ
印刷フ	プレビュー	:印刷
プリン	~ タの設定	:プリ

● 編集

編集(E)	ヘルプ(出)
再生( <u>S</u> 一時停	) 1E(A)
停止( <u>P</u>	)
錄音( <u>B</u>	ý.

再生:録音されたメッセージを再生します。
 一時停止:メッセージの録音、再生などの動作を一時停止します。
 停止:メッセージの録音、再生などの動作を停止します。
 録音:メッセージの録音を開始します。

● ヘルプ



バージョン情報:このソフトウェアのバージョン情報を表示します。

### ■ オリジナルメッセージを作成・試聴する

緊急メッセージ設定画面で「オリジナルメッセージー覧」タブをクリックします。 作成済みのオリジナルメッセージの一覧が表示されます。



#### ● 画面の説明

- **1** 音量表示 録音または再生中の音量をバーグラフで表示します。
- ② 再生ボタン
   選択したメッセージ、または録音したメッセージ
   (未保存)を再生します。
- ③ 一時停止ボタン
   メッセージの録音や、選択したメッセージまたは
   録音したメッセージの再生を一時停止します。
- ④ 停止ボタン メッセージの録音・再生を停止します。
- ⑥ 保存ボタン 録音したメッセージを保存します。

#### ⑦ 音量つまみ

メッセージの音量を調節します。 つまみが中央の位置にあるのが標準レベルです。 左に動かすと小さくなり、右に動かすと大きくな ります。 標準レベルからどちらかへ動かして保存ボタンを 押すと、動かした値を標準レベルに変更してメッ セージを保存します。

#### ご注意

音量を最小にして保存すると、その後読み込んで 再度大きくして保存しても、元には戻りません。

⑧ 読み込みボタン
 WAVE 形式のファイルを緊急メッセージ用の形式に変換し、オリジナルメッセージを作成します。

# 9 書き込みボタン 選択したメッセージをWAVE形式に変換し、 ファイルに保存します。

10 作成済みメッセージー覧
 保存したメッセージの名称、録音日時、メッセージ長を表示します。
 N-8000 ソフトウェアをインストールしたフォル

ダー内の「(システム名) ¥Message」フォル ダーに保存されているファイルがここに表示され ます。

#### ● 新しいメッセージを作成する

録音したい入力ソース(マイク、外部再生機器など)をパソコンに接続しておきます。 録音時の音量はパソコンの入力音量設定に従います。適切な音量に設定しておいてください。

1 メニューバーから [ファイル→新規作成] を選択する。 新しいメッセージを作成できる状態になります。
※ ソフトウェア起動時は、すでにこの状態になっています。

2 録音ボタンを押す、またはメニューバーから [編集→録音]を選択し、メッセージの録音を開始する。 マイクに向かって話す、または入力機器を再生します。 最大20秒のメッセージを録音することができます。 20秒経つと、自動的に録音が停止します。 途中で録音を中止する場合は、停止ボタンを押す、またはメニューバーから [編集→停止] を選択します。

3 再生ボタンを押す、またはメニューバーから [編集→再生] を選択し、録音内容を確認する。

**4** 保存ボタンを押す、またはメニューバーから [ファイル→保存] を選択する。 メッセージ名を入力するダイアログが表示されます。

メッセージの保存		
メッセージの名称を半角128文字、全角64]	文字以内で入力してく	(ださい。
	ОК	キャンセル

5 メッセージ名を入力し、OKボタンを押す。

メッセージ名は半角128文字または全角64文字以内で入力してください。 保存が完了すると、N-8000ソフトウェアをインストールしたフォルダー内の「(システム名) ¥Message | フォルダーに、そのメッセージのファイルが作成されます。

● 作成済みメッセージを削除する

1 作成済みメッセージー覧でメッセージを選択する。

2 メニューバーから [ファイル→削除] を選択する、またはパソコンの Delete キーを押す。 選択したメッセージが削除されます。 ● 作成済みメッセージの名称を変更する

1 作成済みメッセージー覧でメッセージを選択する。

2 メニューバーから〔ファイル→名称変更〕を選択する、または選択したメッセージをもう一度 クリックする。 名称が変更できる状態になります。

# 3 新しい名称を入力する。

メッセージ名は半角128文字または全角64文字以内で入力してください。

#### ● WAVE 形式のファイルからメッセージを作成する

WAVE形式のファイルを緊急メッセージ用の形式のファイルに変換し、オリジナルメッセージとして保存す ることができます。

#### ご注意

対応している WAVE 形式のファイルフォーマットは次のとおりです。

・16 bit、16 kHz サンプリング

・モノラル

1 読み込みボタンを押す、またはメニューバーから [ファイル→WAVEファイルの読み込み]を 選択する。

WAVEファイルを選択するダイアログが表示されます。

ファイルを開く	? 🛛
ファイルの場所(1):	🔁 דר אַגאַזא די 💽 🕑 📴 🔛 אַגאָנאָד 🚽
□ マイ ピクチャ □ マイ ドデオ	
🛃 マイ ミュージック	
 ファイル名( <u>N</u> ):	
ファイルの種類(工):	*.wav
	□読み取り専用ファイルとして開く( <u>R</u> )



# 2 ファイルを選択し、開くボタンを押す。

緊急メッセージ用の形式に変換し、作成済みのオリジナルメッセージとして保存されます。 変換が完了すると、N-8000ソフトウェアをインストールしたフォルダー内の「(システム名称) ¥Message」フォルダーに、そのメッセージのファイルが作成されます。

● オリジナルメッセージから WAVE 形式のファイルを作成する

オリジナルメッセージとして登録されたファイルから、WAVE形式のファイルを作成することができます。

1 作成済みメッセージー覧でメッセージを選択し、書き出しボタンを押す、またはメニューバー から「編集→WAVEファイルへの書き出し」を選択する。

ファイルを保存するダイアログが表示されます。

名前を付けて保存		? >	k
保存する場所(1):	ຝ হন দহ্মহাস্য	🚽 G 🤌 📂 🎹	
□ マイ ピクチャ			
₩ ¥1 EF4 ごつ ¥1 EF4 ごつ ¥1 EF4			
 ファイル名( <u>N</u> ):			
ファイルの種類(工):	*.wav	<ul> <li>キャンセル</li> </ul>	

2 保存するファイル名を入力し、保存先を選択して、保存ボタンを押す。 WAVE形式のファイルが作成され、保存されます。 WAVE形式のファイルフォーマットは次のとおりです。 ・16 bit、16 kHz サンプリング

・モノラル



1 作成済みメッセージの一覧から、試聴したい メッセージを選択する。

2 再生ボタンを押す、またはメニューバーから 「編集→再生」を選択する。 最後まで再生すると自動的に停止します。 途中で停止する場合は、停止ボタンを押す、または メニューバーから「編集→停止」を選択します。



#### ● 音量を調節する

	🌌 緊急メッセ	ージ - N-8000ソ	フͰウェア	
	ファイル(E) 編	潗(E) ヘルプ(H)		
	オリジナルメッセ	ージー覧 メッセージ(	D登録	
	┌ △△教室 ─			
		2		
	<u> </u>	5	4	
		1		<b>^</b>
	( ►  `	) 11   🔳		2
	名称	録音日時	メッセージ長	
4	00数室	2007/06/01 00/55	4.9%	
	▲△△教室	2007/06/01 09:57	3.9秒	
-		2007/06/01 10:00	- 0.74シ 9.0季小	
	~~ <i>\</i> \-\	2007/06/01 10:02	0.01/	

- 1 作成済みメッセージの一覧から、音量を調節したいメッセージを選択する。
- 2 音量調節つまみを動かして、音量を調節する。
- 3 再生ボタンを押す、またはメニューバーから [編集→再生] を選択し、音量を確認する。
- 4 保存ボタンを押す、またはメニューバーから [ファイル→保存]を選択する。

#### ご注意

- ●音量を変更した後、保存しないと、音量情報は更新されません。
- 音量を最小にして保存すると、その後読み込んで再度大きくして保存しても、元には戻りません。

メモ

音量を変更して保存すると、次の再生時からは、保存した音量が音量調節領域の中央の値(標準レベル) になります。

### ■ IP マスター端末にメッセージを登録する

緊急メッセージ設定画面で「メッセージの登録」タブをクリックします。



画面の説明

- サイレン音選択 N-8000 ソフトウェア起動時は、現在設定されているサイレン音が表示されます。 試聴または変更したいときは、プルダウンメニューからサイレン音を選択します。
- 試聴ボタン 選択したサイレン音を試聴します。
- 変更ボタン 変更したサイレン音がすべての IP マスター端末 に転送されます。
- ④ メッセージの試聴ボタン
   選択したメッセージを試聴します。
- すべて選択ボタン すべての端末を選択します。

- すべてクリアボタン 端末の選択をすべて解除します。
- ⑦ 転送ボタン
   選択したメッセージを IP マスター端末に転送します。
- ⑧ メッセージー覧 パソコンのN-8000 ソフトウェアがインストール されているフォルダー内に保存されているメッ セージ(標準メッセージおよびオリジナルメッ セージ)が表示されます。
- ⑨端末一覧
   システム内のIPマスター端末およびその端末に
   転送する緊急メッセージを表示します。
   チェックボックスをクリックして端末を選択します。

#### ● サイレン音を試聴する



# 1 プルダウンメニューから、試聴したいサイレン音を選択する。

#### 2 試聴ボタンを押す。

選択したサイレン音が再生されます。最後まで再生すると自動的に停止します。

※ パソコンで試聴するサイレン音は「これはサンプル音源です。」というアナウンスが重なって再生されます。

● IP マスター端末にサイレン音を転送する

22 緊急メッセージ - N-8000ソフトウェア	
ファイル(E) 編集(E) ヘルプ(H)	
オリジナルメッセージー覧メッセージの登録	2
「サイレン音	
システムで使用するサイレン音を選択してください。 サイレン1	

1 プルダウンメニューから、変更したいサイレン音を選択する。

# **2** 変更ボタンを押す。

選択したサイレン音がシステム内のすべての IP マスター端末に転送されます。

- メッセージを試聴する
- 1 メッセージー覧から、試聴したいメッセージを選択する。
- 2 [メッセージの試聴] ボタンを押す。 選択したメッセージが再生されます。最後まで再生すると自動 的に停止します。



● パソコンから IP マスター端末にメッセージを登録する

1 IPマスター端末に転送するメッセージを指定する。

メッセージー覧から端末一覧へドラッグアンドドロップすることで、転送するメッセージを指定することができます。

登録したいメッセージを選択してドラッグし、メッセージを転送したい IP マスター端末の上でドロップ します。

メッセージを転送したいIPマスター端末すべてについて、この作業を繰り返します。



# 2 転送したいIPマスター端末にチェックを入れる。

チェックを外したいときは、もう一度チェックボックスをクリックします。

メモ

- [すべて選択] ボタンを押すと、一覧に表示されているすべての IP マスター端末にチェックを入れる ことができます。
- [すべてクリア] ボタンを押すと、一覧に表示されているすべての IP マスター端末のチェックを外す ことができます。
- 3 転送ボタンを押す、またはメニューバーから [ファイル→メッセージの転送]を選択する。 パソコンから、チェックを入れたIPマスター端末へメッセージのデータが転送され、IPマスター端末に メッセージが登録されます。

# パスワードを変更する

パスワードには、N-8000 ソフトウェアおよびブラウザーで使用する「システムパスワード|と、多機能マス ター端末 N-8000MS、IP 多機能マスター端末 N-8500MS で使用する「端末保守パスワード」があります。

# システムパスワードを変更する

1 初期画面で「パスワードの変更」をクリックする。

<mark>98</mark> N-8000ソフトウェア	
Packet Inter	rcom 💥
N-8000 ソフトウェア	,
	機器検出 (ネットワーク設定)
	システム設定
	緊急メッセージ設定
	パスワードの変更
	時刻設定
終了	Copyright(C)2004 TOA Corporation. All rights reserved.

パスワード変更のダイアログが表示されます。

パスワード変更	×
システムバスワード 端末保守バスワード	
システム名・バスワード	
新しいシステム名をパスワードを入力してください。	
システム名:	
パスワード:	
パスワード(再入力):	
	_

# 2 「システム名」に変更後のシステム名を入力する。

半角英数記号15文字以内で入力してください。 大文字、小文字は区別します。「:」は使用できません。 ※ 変更しない場合でも、元のシステム名を入力してください。 ※工場出荷時は「N-8000」です。

3 「パスワード」に変更後のパスワードを入力する。 半角英数記号15文字以内で入力してください。 大文字、小文字は区別します。 ※ 変更しない場合でも、元のパスワードを入力してください。 ※ 工場出荷時は [quest] です。

4 確認のため「パスワード(再入力)」に手順3で入力した変更後のパスワードを入力する。

**5** [OK] ボタンを押す。

#### ご注意

更新中は交換機・マルチインターフェースユニット前面の STATUS 表示灯、または IP 端末の状態表示 灯が点灯します。絶対に再起動したり電源を切ったりしないでください。

### 端末保守パスワードを変更する

1 初期画面で「パスワードの変更」をクリックする。 パスワード変更のダイアログが表示されます。



2端末保守パスワードタブをクリックする。 端末保守パスワードの画面が表示されます。

パスワード変更			
システムパスワード端末保守パスワード			
端末保守用バスワード 多機能型端末から保守機能を使うときのバスワード を変更します。数字4桁で入力してください。 古いパスワード:			
新しいパスワード: 新しいパスワード(再入力):			
 OK _+ゃンセル			

3 「古いパスワード」に変更前のパスワードを入力する。 ※工場出荷時は「0000」です。

**4** 「新しいパスワード」に変更後のパスワードを入力する。 4桁の数字を入力してください。

5 確認のため「新しいパスワード(再入力)」に手順4で入力した変更後のパスワードを入力する。

**6** [OK] ボタンを押す。

#### ご注意

更新中は交換機前面のSTATUS表示灯または IP 端末の状態表示灯が点灯します。絶対に再起動したり 電源を切ったりしないでください。

# システム時刻を設定する

N-8000 ソフトウェアからシステムに接続するすべての交換機、マルチインターフェースユニット、および IP 端末の時刻設定ができます。

システムに接続する機器間で時差がある場合など、個別に時刻設定を行う場合にはブラウザーから(P.6-29)、 または多機能マスター端末 N-8000MS、IP 多機能マスター端末 N-8500MS から(P.7-8)時刻設定を行ってく ださい。

#### ご注意

以下の操作でシステム時刻をパソコンの時刻に合わせます。あらかじめパソコンの時刻が合っていることを 確認してください。

1	初期画面で「時刻設定」をクリックする。				
	20 N-8000ソフトウェア				
	Packet Intercom				
	N-8000 ソフトウェア				
		機器検出 (ネットワーク設定)			
		システム設定			
		緊急メッセージ設定			
		パスワードの変更			
	終了	時刻設定 Copyright(C)2004 TOA Corporation. All rights reserved.			

時刻設定のダイアログが表示され、パソコンの現在時刻が表示されます。

システム時刻の設定 🔀			
システム時刻の設定を行います。 OKボタンを押すと、ネットワークに接続する機器に 時刻情報を送信します。			
現在時刻: 2004年10月18日 11:54:23			
OK キャンセル			

**2** 時刻を設定する場合は [OK] ボタンを押す。

システム時刻がパソコンの時刻に合わせられ、ネットワークに接続された機器にシステム時刻情報が送 信されます。

# 第6章

# ブラウザーによる システム設定

この章では、ブラウザーで行う、ネットワークの設定のしかた、保 守機能の操作のしかたについて説明します。

# / ブラウザーでの設定について

システムを管理するパソコンからブロードキャストが伝送できない範囲にある交換機、マルチインターフェースユニット、またはIP端末の場合は、別のパソコンを使ってその機器と通信できる状態にすることにより、ブラウザー*からその機器に接続し、ネットワーク設定を書き換えたり、保守機能の操作をしたりできます。

* 動作確認済みのブラウザー: Internet Explorer 6

#### ご注意

- ●ブラウザーですべての設定を行うことはできません。ネットワーク設定を書き換えた後は、システムを管理するパソコンで、N-8000 ソフトウェアを使って手動でその機器を追加し、必要な設定を行ってください。
   ( P. 4-14、P. 5-20)
- ●工場出荷時はIPアドレスが重複していたり、パソコンと交換機、マルチインターフェースユニット、またはIP端末が同一ネットワークではない設定になっていることがあります。ブラウザーでネットワーク設定をする場合は、同一ネットワーク内に交換機、マルチインターフェースユニット、またはIP端末を1台だけ接続するか、設定するパソコンと設定する機器をネットワークから切り離し、クロスケーブルで直接接続して設定をしてください。
- 設定変更中に電源が切れると、故障の原因となります。
- ●設定の変更は、設定した機器の再起動後に反映されます。設定を変更したら必ず再起動してください。再 起動時は、通話および呼び出し放送が停止されます。

×	ニュー項目	
×=	- ネットワーク設定( II☞ P. 6-5)	] パソコンに接続している交換機、マルチインター ] フェースユニット、またはIP端末のIPアドレス、 サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを変 更します。
-	使用状態( ☞ P. 6-7)	] 通話路(リンク)の使用状態を表示します。
-	回線状態( ☞ P. 6-14)	]交換機のみの設定です。 ]回線の状態を表示します。
-	ネットワーク状態( 🖙 P. 6-16)	] システム内のすべての交換機、マルチインター ] フェースユニット、またはIP端末との接続状態を 表示します。
-	動作ログ( II ☞ P. 6-18)	]交換機、マルチインターフェースユニット、また 」はIP端末の動作履歴を表示します。
-	ストリームログ ( II☎ P. 6-20)	】IPネットワークによる音声通信の履歴を表示しま 」す。
		】パスワードの変更、設定ファイルのアップロー 」ド、ダウンロードなどを行います。
		※ 付属のN-8000ソフトウェアですべてのシステ

付属のN-8000 シフトウェアですべてのシステム設定および各種機能設定が完了している交換機、マルチインターフェースユニット、またはIP端末の保守用に使用します。

# メニュー画面を表示させる

#### ご注意

パソコンと交換機、マルチインターフェースユニット、および IP 端末が通信できるように、パソコンのネッ トワーク設定をあらかじめ行ってください。

パソコンのネットワーク設定を適切に行わないと、ユーザー認証画面が表示できません。

# 1 ブラウザーを起動してURLを入力する。

※ 交換機、マルチインターフェースユニット、および IP 端末の工場出荷時の IP アドレスは 「192.168.1.1」、Web サーバーポート番号は「80」です。Web サーバーポート番号が「80」のときは、 「:| 以下のポート番号の記述を省略できます。

URL	例
│ http:// ⟨IP アドレス⟩ : ⟨Web サーバーポート番号⟩ /index-j.htm	http://192.168.1.1/index-j.htm

ユーザー認証画面が表示されます。

※下の画面はN-8000EXの例です。

※使用するブラウザーによって、表示される画面は異なります。

192.168.1.1 に接続	2 🛛
	I GET
N-8000EX WEB	
ユーザー名(山):	21
パスワード( <u>P</u> ):	
	OK キャンセル

**2** ユーザー名とパスワードを入力し、[OK] ボタンを押す。

※ ユーザー名には、N-8000EX、N-8010EX、N-8000MI、N-8500MS、または N-8540DS に設定されて いるシステム名を入力します。

※ ユーザー名、パスワードは大文字、小文字を区別します。

工場出荷時は、システム名: N-8000、パスワード: guest になっています。システム名とパス ワードの変更は P. 6-25 をお読みください。

ユーザー名とパスワードが正しく入力されると、設定メニュー画面が表示されます。

※下の画面はN-8000EXの例です。



#### ご注意

ブラウザーの各設定画面を表示するときに、ブラウザーの「戻る」「進む」ボタンを使用すると、正し く表示されません。画面左側のメニューを使用してください。


画面左側のメニューから「ネットワーク設定」をクリックします。

#### ※下の画面はN-8000EXの例です。



①IPアドレス

この機器(パソコンに接続している交換機、マルチインターフェースユニット、または IP 端末)の IP ア ドレスを入力します。(工場出荷時: 192.168.1.1)

 サブネットマスク サブネットマスクを設定してください。(工場出荷時: 255.255.255.0) ③ デフォルトゲートウェイ 所属するサブネット外の機器を使用する場合は設定してください。(工場出荷時: 0.0.0.0)

- ④ Web サーバーポート
   Web サーバーのポート番号を入力します。入力可能な範囲は1~65535 です。(工場出荷時:80)

この機器の名称を入力します。半角(カタカナ、英数記号)8文字以内で入力してください。

⑥ 決定ボタン
 この機器の中の設定ファイルに書き込みます。

#### ご注意

- ●書き込み中は、交換機・マルチインターフェースユニット前面のSTATUS表示灯、または IP 端末の状態表示灯が点灯します。絶対に再起動したり電源を切ったりしないでください。
- ●ネットワークの設定は、変更してもすぐに更新されません。交換機、マルチインターフェースユニット、 またはIP端末を再起動すると、新しい設定内容になります。 設定変更後は、画面右上に再起動ボタンが表示されますので、そのボタンを押して再起動してください。

### 使用状態の表示

画面左側のメニューから「使用状態」をクリックします。

#### ● N-8000EX/8010EXの場合

#### ※下の画面はN-8000EXの例です。

🗯 N-8000E)	X – Microsoft I	ínteri	net Explo	orer			
ファイル(E)	編集(E) :	表示	સ <u>⊘</u>	気(こ入り( <u>A</u> )	ツール①	ヘルプ(円)	
◆戻る▼		រី	ଘା ଭ	検索 園お	気に入り 🕅		3   B- 4
PFDAUD	@_  http://192	2168.	8.1.1/inde	x-j.htm			
Packet In	itercom 👯	21	■使	用状態			
N-8000	EX						
設直囲[	Ð		Sep/'	6/2004 1	3:44:10 我	記	
			■≢	n o des	₽₩₽(	、同約来。	<u> </u>
	-	۰.	A				
<u>ーレー</u> ネットワ	ーク設定		リンク	状態			: الحدار ال
使用状態			番号	完 乎 同	<i>被</i> 呼局	怀留向	初期
回線状態	<u>態</u> 二力状態		1	1000	1001	-	.通詰中 
<u>ホントン</u> 動作ログ	<u>17,388</u> グ		2	1002	1003	1004	通詁中
ストリー			3	1005	-	1006	保留中
<u>システム</u>	<u>、管理</u>		4	1007	P1	-	ページング
			5	-	-	-	-
			6	-	-	-	-
			7	-	-	-	-
			8	-	-	-	-
	IUA						
ទា							
<u>s</u>							

[操作ボタン]

- 更新
   通話路、回線、接点の状態を最新の情報に更新します。
- ② 端末番号/回線番号ボタン 局番表示を端末番号または回線番号に切り換えます。

[リンク状態]

交換機の現在の通話路状態を表示します。更新ボタンを押すと情報が更新されます。

- 番号
   通話路番号です。
- 2 発呼局
   呼び出した端末の局番が表示されます。
- 3 被呼局 受信した端末の局番が表示されます。
- ④ 保留局
   保留された端末の局番が表示されます。
- 5 **状態** 通話路の動作を表示します。

#### ● N-8000MIの場合

🏄 N-8000MI - Microsoft Inter	net Explorer	r										<u>_     ×</u>
│ ファイル(E) 編集(E) 表示	₹──)お気(	に入り( <u>A</u> ) ツ	y−µŒ	ヘルプ	( <u>H</u> )							<b>1</b>
← 戻る ▾ ⇒ ▾ 🖄 🖸 🛛	睂│Q検	索園お気	に入り	⑦メディ	7 🧯	<u>ا الا</u>	<b>4</b> 🗹	•				
アドレス(D) (値) http://192.168	3.1.1/index-j	j.htm									-	<i>∂</i> 移動
Packet Intercom	■佶田	刊书能										
N-8000MI	<b>I</b> C.Л.	11/185										
設置設定				-								
	Apr/28/	/2005-13:4	48:50 ±	児在								
メニュー	更新	◎端末	番号	〇回線	番号	<del>,</del>						
TOP	リンクオ	忧能										
ネットワーク設定	番号	発呼局 福	波呼居	- 保留	。	状態						
使用状態	1	1000	an	-		通話中						
<ul> <li><u>新作口グ 2408</u></li> </ul>	0	044										
ストリームログ	Z	CHI	-	-		BGIN						
<u>システム管理</u>	3	-	-	-		-						
	4	-	-	-		-						
	接点		_	_		_						
	接点番	枵 1	2	3	4	5	6	7	8			
	入力	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF			
	出力	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF			
	接点番	枵 9	10	11	12	13	14	15	16			
	入力	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF			
	出力	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF			
		011	UT1	UT1	UI1		UT1	UT1	UT1			
e											דל בטצב -	> //.

[操作ボタン]

①更新

通話路、回線、接点の状態を最新の情報に更新します。

#### ② 端末番号/回線番号ボタン

局番表示を端末番号または回線番号に切り換えます。

[リンク状態]

マルチインターフェースユニットの現在の通話路状態を表示します。 更新ボタンを押すと情報が更新されます。

① 番号

通話路番号です。

2 発呼局

呼び出した端末の局番が表示されます。

- 3 被呼局 受信した端末の局番が表示されます。
- (4) 保留局
   (4) 保留された端末の局番が表示されます。
- 5 状態
   通話路の動作を表示します。

[接点]

マルチインターフェースユニットの現在の接点の状態を表示します。 更新ボタンを押すと情報が更新されます。

- ① 接点番号 マルチインターフェースユニットの接点入出力端子の番号です。
- 入力 接点入力端子の現在の状態が表示されます。
- ③ 出力

接点出力端子の現在の状態が表示されます。

#### ● N-8500MS/8510MS/8515MS の場合

※下の画面はN-8500MSの例です。

🚈 N-8500MS - Microsoft Inter	rnet Explorer					
│ ファイル(E) 編集(E) 表示	₩23)戻る 120	り( <u>A</u> ) ツール( <u>T</u>	) ヘルプ(田)			
」アドレス(D) 🕘 http://192.168	).1.1∕index−j.htm	1				▼ 於移動
Packet Intercom	■使用状	態				
設置設定	Feb/10/20	05 16:00:18	現在			
メニュー	更新	◉端末番号	○回線番号	1		
TOP       ネットワーク設定       使用状態       ネットワーク状態	発呼局 1000	波呼局 保留 1001	留局 状態 - 通話			
<u>動作ログ</u> <u>ストリームログ</u> システム管理	着信 不	自動転送 在 不応答	話中 MIC	レベル SP 音源		
	自動 -	-	- 2	3 3		
e						🖳 דר בטעב אד 🖉

[操作ボタン]

① 更新

通話路、回線の状態を最新の情報に更新します。

② 端末番号/回線番号ボタン

局番表示を端末番号または回線番号に切り換えます。

[使用状態の項目]

IPマスター端末の現在の通話路、回線の状態を表示します。更新ボタンを押すと情報が更新されます。

① 発呼局

呼び出した端末の局番が表示されます。

- 保留局 保留された端末の局番が表示されます。
- ④ 状態通話路の動作を表示します。

- 着信
   IPマスター端末の着信音動作です。
- **自動転送** IP マスター端末の自動転送先の番号です。
- ⑦ レベル

IPマスター端末の各種音量です。 各表示は次のとおりです。 MIC:マイク感度、SP:スピーカー出力、音源:呼び出し音量

● N-8540DS の場合



[操作ボタン]

①更新

通話路、回線の状態を最新の情報に更新します。

② 端末番号/回線番号ボタン 局番表示を端末番号または回線番号に切り換えます。

[使用状態の項目]

- IPドア端末の現在の通話路、回線の状態を表示します。更新ボタンを押すと情報が更新されます。
- 発呼局
   呼び出した端末の局番が表示されます。
- 2 被呼局 受信した端末の局番が表示されます。
- 保留局 保留された端末の局番が表示されます。
- ④ 状態通話路の動作を表示します。
- ⑤ レベル

IPドア端末の各種音量です。 各表示は次のとおりです。 MIC:マイク感度、SP:スピーカー出力、音源:呼び出し音量

### | 回線状態の表示(交換機のみ)

画面左側のメニューから「回線状態」をクリックします。 回線の状態および接続されている端末の情報が表示されます。

#### ※下の画面はN-8000EXの例です。

アイルE0       結果(2)       表示(2)       も表示(2)       も表示(2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2)       (2) </th <th>🚈 N-8000EX - Microsoft Inter</th> <th>net Explor</th> <th>er</th> <th></th> <th><u>_   ×</u></th>	🚈 N-8000EX - Microsoft Inter	net Explor	er												<u>_   ×</u>
アP161/49210811/Indec-jAtta       く ● (1)         Pocket difference         Pocket difference      <	ファイル(E) 編集(E) 表示( <u>)</u>	/) お気()	こ入り( <u>A</u> ) ツール	ν Φ	ルプ(円)										
Pocket Andeexer     Page     Pag	アドレス(型) 🕘 http://192.168.1	1.1/index-	j.htm											<u> </u>	⊘移動
Bep/I=//2004 13.44/33 JBGE         Sep/I=//2004 13.44/33 JBGE         Image: Im	Packet Intercom		象状態												
Sep:/16/2004 13:433 3Bdž         Demolspan="6">Image: Demolspan="6"         Demolspan="6"         Sep:/16/2004 13:43/3 3Bdž         Demolspan="6"         Demolspan="6"         Demolspan="6"         Demolspan="6"         Sep:/16/2004 13:43/3 3Bdž         Demolspan="6"         Demolspan="6" <th>N-8000EX</th> <th></th>	N-8000EX														
Part Part Part Part Part Part Part Part	設直囲囲	Sep/16	6/2004 13:44	33 現	在										
DP       Part (P)       DP	J—	更新	1												
ネットワーク設定 使用1次整 回線状態 水水ワーク状態 かたワーク状態 かたワーク状態 かたりームログ こステム管理         小番ののめ、正常         注穂         100         「一         「二         「日本         「日本 </th <th>ТОР</th> <th></th>	ТОР														
使用1次度 可除以加速 入口)-ムログ         一番子 和         状態 地         指 作         「日本         「水応         「日本         「小         「日本         「小         「日本         「日本         「小         「日本         「小         「日本         「小         「日本         「日本        「日本         「日本	<u>ネットワーク設定</u>	凹稌初	(思)				сі € <b>1</b> #2`¥	:			A" II				
Normal Matrix         Normatrix         Normal Matrix         Normal Mat	使用状態	番号	品番	状態	着信	<i>_</i> _≁	日期和达	≞ĩ⇔	1.50		インル	, ∠ <del>,,</del> "	Ver.		
動作ログ ストリームログ         1         N=8000MS         正常         連続         1000         -         -         2         2         2         300         1.00           2         N-8000MS         正常         連続         1000         -         -         2         2         2         128         1.00           2         N-8010MS         正常         自動         4000         -         -         2         2         3         128         1.00           4         N-8010MS         正常         自動         4000         -         -         2         2         3         128         1.00           5         N-8010MS         正常         自動         4000         -         -         2         2         3         128         1.00           6         N-8010MS         正常         自動         4000         -         -         2         2         3         128         1.00           7         N-8010MS         正常         自動         4000         -         -         2         2         3         128         1.00           9         N-8010MS         正常         自動         4000         -         - <t< th=""><th>ネットワーク状態</th><td></td><td>NI 00000 40</td><td>工業</td><td>`<b>=</b>/=</td><td>-1~1±</td><td>小心合</td><td>品中</td><td>MIC</td><td>SP</td><td>首源</td><td>21.2</td><td>4.00</td><td></td><td></td></t<>	ネットワーク状態		NI 00000 40	工業	` <b>=</b> /=	-1~1±	小心合	品中	MIC	SP	首源	21.2	4.00		
大いコームログ システム管理         2         N=8000MS         正常         連続         1000         2000         3000         2         2         2         128         1.00           3         N=8010MS         正常         自動         4000         -         -         2         2         3         128         1.00           4         N=8010MS         正常         自動         4000         -         -         2         2         3         128         1.00           5         N=8010MS         正常         自動         4000         -         -         2         2         3         128         1.00           6         N=8010MS         正常         自動         4000         -         -         2         2         3         128         1.00           7         N=8010MS         正常         自動         4000         -         -         2         2         3         128         1.00           8         N=8010MS         正常         自動         4000         -         -         2         2         3         128         1.00           9         N=8010MS         距常         自動         4000         -         -	動作ログ	1	N-8000MS	正帝	)里航 `古/古	1000	-	-	2	2	2	300	1.00		
N-8010MS         正常         自動         4000         -         -         2         2         3         128         1.00           4         N-8010MS         正常         自動         4000         -         -         2         2         3         128         1.00           5         N-8010MS         正常         自動         4000         -         -         2         2         3         128         1.00           6         N-8010MS         正常         自動         4000         -         -         2         2         3         128         1.00           7         N-8010MS         正常         自動         4000         -         -         2         2         3         128         1.00           8         N-8010MS         正常         自動         4000         -         -         2         2         3         128         1.00           9         N-8010MS         正常         自動         4000         -         -         2         2         3         128         1.00           10         N-8010MS         異常         自動         4000         -         -         2         2         3	<u>ストリームログ</u>	2	N-8000MS	正帝	建稅	1000	2000	3000	2	2	2	128	1.00		
4       N-8010MS       正常       自動       4000       -       -       2       2       3       128       1.00         5       N-8010MS       正常       自動       4000       -       -       2       2       3       128       1.00         6       N-8010MS       正常       自動       4000       -       -       2       2       3       128       1.00         7       N-8010MS       正常       自動       4000       -       -       2       2       3       128       1.00         8       N-8010MS       正常       自動       4000       -       -       2       2       3       128       1.00         9       N-8010MS       正常       自動       4000       -       -       2       2       3       128       1.00         9       N-8010MS       正常       自動       4000       -       -       2       2       3       128       1.00         10       N-8010MS       異常       自動       4000       -       -       2       2       3       128       1.00         11       -       -       -       -       -		3	N-8010MS	正市	日期	4000	-	-	2	2	3	128	1.00		
5       N=8010MS       止常       自動       4000       -       -       2       2       3       128       1.00         6       N=8010MS       正常       自動       4000       -       -       2       2       3       128       1.00         7       N=8010MS       正常       自動       4000       -       -       2       2       3       128       1.00         8       N=8010MS       正常       自動       4000       -       -       2       2       3       128       1.00         9       N=8010MS       正常       自動       4000       -       -       2       2       3       128       1.00         9       N=8010MS       正常       自動       4000       -       -       2       2       3       128       1.00         10       N=8010MS       異常       自動       4000       -       -       2       2       3       128       1.00         11       -       -       -       -       -       -       2       2       3       128       1.00         111       -       -       -       -       -		4	N-8010MS	止'吊'	目動	4000	-	-	2	2	3	128	1.00		
6       N-8010MS       正常       自動       4000       -       -       2       2       3       128       1.00         7       N-8010MS       正常       自動       4000       -       -       2       2       3       128       1.00         8       N-8010MS       正常       自動       4000       -       -       2       2       3       128       1.00         9       N-8010MS       正常       自動       4000       -       -       2       2       3       128       1.00         9       N-8010MS       正常       自動       4000       -       -       2       2       3       128       1.00         10       N-8010MS       異常       自動       4000       -       -       2       2       3       128       1.00         11       -       -       -       -       -       -       2       2       3       128       1.00         11       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       - </th <th></th> <td>5</td> <td>N-8010MS</td> <td>止常</td> <td>目動</td> <td>4000</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>128</td> <td>1.00</td> <td></td> <td></td>		5	N-8010MS	止常	目動	4000	-	-	2	2	3	128	1.00		
7       N=8010MS       正常       自動       4000       -       -       2       2       3       128       1.00         8       N=8010MS       正常       自動       4000       -       -       2       2       3       128       1.00         9       N=8010MS       正常       自動       4000       -       -       2       2       3       128       1.00         9       N=8010MS       正常       自動       4000       -       -       2       2       3       128       1.00         10       N=8010MS       正常       自動       4000       -       -       2       2       3       128       1.00         11       -       -       -       -       -       2       2       3       128       1.00         11       -       -       -       -       -       -       2       2       3       128       1.00         11       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       <		6	N-8010MS	正常	自動	4000	-	-	2	2	3	128	1.00		
8       N=8010MS       正常       自動       4000       -       -       2       2       3       128       1.00         9       N=8010MS       正常       自動       4000       -       -       2       2       3       128       1.00         10       N=8010MS       異常       自動       4000       -       -       2       2       3       128       1.00         10       N=8010MS       異常       自動       4000       -       -       2       2       3       128       1.00         10       N=8010MS       異常       自動       4000       -       -       2       2       3       128       1.00         11       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -		7	N-8010MS	正常	自動	4000	-	-	2	2	3	128	1.00		
9       N-8010MS       正常       自動       4000       -       -       2       2       3       128       1.00         10       N-8010MS       異常       自動       4000       -       -       2       2       3       128       1.00         11       -       -       -       -       2       2       3       128       1.00         11       -       -       -       -       -       2       2       3       128       1.00         11       -       -       -       -       -       -       2       2       3       128       1.00         11       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -		8	N-8010MS	正常	自動	4000	-	-	2	2	3	128	1.00		
10       N-8010MS       異常       自動       4000       -       -       2       2       3       128       1.00         11       -       -       -       -       2       2       3       128       1.00         11       -       -       -       -       -       2       2       3       128       1.00         11       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       - <th></th> <td>9</td> <td>N-8010MS</td> <td>正常</td> <td>自動</td> <td>4000</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>128</td> <td>1.00</td> <td></td> <td></td>		9	N-8010MS	正常	自動	4000	-	-	2	2	3	128	1.00		
$ \begin{array}{ cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$		10	N-8010MS	異常	自動	4000	-	-	2	2	3	128	1.00		
$ \begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$		11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
13       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -		12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
14       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -       -		13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
16		15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	10/4														
אריע איז איז (גער איז גער	<u>.</u> ක												<b>[</b> ] 74	<u>ריין אין אין אין דיין א</u>	,

[操作ボタン]

① **更新** 回線状態及び端末の情報を最新の情報に更新します。

[回線状態]

- 番号
   回線番号です。
- 品番 接続されている端末の品番です。
- 3 状態
   回線状態です。
- 着信
   接続されている端末の着信音動作です。
- **自動転送** 接続されている端末の自動転送先の番号です。
- (6) レベル 接続されている端末の各種音量です。ノイズは周囲騒音の測定値です。
   各表示は次のとおりです。
   MIC:マイク感度、SP:スピーカー出力、音源:呼び出し音量
- 7) Ver.

接続されている端末のファームウェアバージョンです。

### ネットワーク状態の表示

画面左側のメニューから「ネットワーク状態」をクリックします。

システム内すべての交換機、マルチインターフェースユニット、または IP 端末とのネットワーク接続状態を 確認できます。2秒おきに接続状態が更新され、10秒経ってもネットワーク接続ができない場合、その機器 とのネットワーク接続ができないと判定します。

#### ※下の画面はN-8000EXの例です。

🚈 N-8000EX - Microsoft Inter	met Exp	olorer										<u>- 🗆 ×</u>
ファイル(E) 編集(E) 表示()	<u>ທ</u> ີ່ ສ	気に入り( <u>A</u> ) ツー,	μŒ ·	ヘルプ(	B	200000	_					<b>1</b>
	3   Q	検索 園お気に2	()	「メディ)	7 39 18 9							A1941
Prove http://192.168.	1.17inde	ex-j.htm										《移動
	<b>1</b>	ベットワーク	犬態									
N-8000EX 設置面面												
	Sep,	/16/2004 13:4	4:57現	在								
*	開	始中止										
TOP												
ネットワーク設定	番		状	番		状	番		状	番		壮
1 <u>使用状態</u> 回線状能	号	IPYEUX	態	号	IPYEUX	態	号	IPYFUX	態	号	IPYEUX	態
ネットワーク状態	1	192.168.1.1	ок	21	192.168.1.21	ок	41	192.168.1.41	-	61	192.168.1.61	-
<u>動作ロク</u>	2	192.168.1.2	ок	22	192.168.1.22	ок	42	192.168.1.42	-	62	192.168.1.62	-
<u>ストリームログ</u>	3	192.168.1.3	οк	23	192.168.1.23	ок	43	192.168.1.43	-	63	192.168.1.63	-
	4	192.168.1.4	ок	24	192.168.1.24	ок	44	192.168.1.44	-	64	192.168.1.64	-
	5	192.168.1.5	ок	25	192.168.1.25	ок	45	192.168.1.45	-	65	192.168.1.65	-
	6	192.168.1.6	οк	26	192.168.1.26	ок	46	192.168.1.45	-	66	192.168.1.66	-
	7	192.168.1.7	ок	27	192.168.1.27	ок	47	192.168.1.47	-	67	192.168.1.67	-
	8	192.168.1.8	ок	28	192.168.1.28	ок	48	192.168.1.48	-	68	192.168.1.68	-
	9	192.168.1.9	ок	29	192.168.1.29	ок	49	192.168.1.49	-	69	192.168.1.69	-
	10	192.168.1.10	ок	30	192.168.1.30	ок	50	192.168.1.50	-	70	192.168.1.70	-
	11	192.168.1.11	ок	31	192.168.1.31	ок	51	192.168.1.51	-	71	192.168.1.71	-
	12	192.168.1.12	ок	32	192.168.1.32	ок	52	192.168.1.52	-	72	192.168.1.72	-
	13	192.168.1.13	ок	33	192.168.1.33	-	53	192.168.1.53	-	73	192.168.1.73	-
	14	192.168.1.14	ок	34	192.168.1.34	-	54	192.168.1.54	-	74	192.168.1.74	-
	15	192.168.1.15	ок	35	192.168.1.35	-	55	192.168.1.55	-	75	192.168.1.75	-
	16	192.168.1.16	ок	36	192.168.1.36	-	56	192.168.1.56	-	76	192.168.1.76	-
	17	192.168.1.17	ок	37	192.168.1.37	_	57	192.168.1.57	-	77	192.168.1.77	-
	18	192.168.1.18	ок	38	192.168.1.38	-	58	192.168.1.58	-	78	192.168.1.78	-
	19	192.168.1.19	ок	39	192.168.1.39	-	59	192.168.1.59	-	79	192.168.1.79	-
	20	192.168.1.20	ок	40	192.168.1.40	_	60	192.168.1.60	_	80	192.168.1.80	-
। हो											🖳 マイ コンピュータ	! //

[操作ボタン]

#### ① 開始

ネットワーク接続確認が開始されます。

② 中止 ネットワーク接続確認を途中で中止します。 [ネットワーク状態の項目]

① 番号

交換機、マルチインターフェースユニット、または IP 端末の機器番号です。

②IPアドレス

交換機、マルチインターフェースユニット、または IP 端末の IP アドレスです。

③ 状態

接続ができていれば「OK」と表示されます。

### 動作ログ

画面左側のメニューから「動作ログ」をクリックします。 動作ログは機器の動作履歴を表示します。最大 1000 件の履歴を保存できます。

#### ※下の画面はN-8000EXの例です。



[操作ボタン]

① ログ保存ボタン

動作ログをパソコンに保存します。

- 最新ボタン 動作ログを最新の情報に更新します。
- ③ 前ページボタン 前のページに移動します。
- ④ 次ページボタン 次のページに移動します。
- ⑤ 番号表示ボタン 回線欄の端末表示を端末番号表示と回線番号表示とに切り換えます。押すたびに表示が切り換わります。
- ⑥ 詳細表示ボタン
   動作ログの表示にエラーログ表示の有無を切り換えます。押すたびに表示が切り換わります。

[ログの項目]

①時刻

イベントが発生した時刻を表示されます。

2 種類

ログの種類を表示します。 交換処理:回線制御情報 システム:システム情報 リモート:パソコンからの制御

③ 内容

イベントの内容を示します。エラーは赤で表示されます。

④ 回線1、回線2、回線3 イベントが発生した回線を表示します。端末、IPアドレスが表示されます。

#### ご注意

「ファームウェアに問題が発生しました。当社営業所に連絡してください。」と表示されたら、システムに問 題が発生しており、故障のおそれがあります。当社営業所にご連絡ください。



画面左側のメニューから「ストリームログ」をクリックします。 ストリームログは、IPネットワークによる音声通信(通話、ページング)の履歴です。現在の履歴と過去の 履歴を切り換えて表示することができます。過去の履歴は最大1000件まで保存できます。

#### [現在のストリーム画面]

※下の画面はN-8000EXの例です。

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(											
年戻る・→・図 図 斎 図検索 図お気に入り	- <b>ভা</b> সন্থান 🖓	) Br 🖨 🔟									
Becket (											
■ストリームログ											
N-8000EX 設置画面 Feb/19/2004 09:38:16	現在										
メニュー び保存 00 TOP	3 過去										
ネットワーク設定       使用状態       現在のストリーム											
正式(1)25         更新           ネットワーク状態         更新           動作ログ         BB1(ct t)		1.44 /1-44 1.1	115 4	<u>_</u>		\ <b>B3</b>	ىيىدى _ ە .		Arrs ====		
ストリームログ 開始時刻	経過時間	接続先	リンク	万向	fs	遅延	バケット数	欠洛	無音		
<u>ジステム管理</u> Feb/19/2004 10:30:5	1 0:00:56	192.168.1.31	1	送信	16kHz	80ms	560	0	0		
Feb/19/2004 10:30:5	1 0:00:56	192.168.1.31	1	受信	16kHz	80ms	560	0	0		
Feb/19/2004 10:31:2	1 0:00:36	192.168.1.32	2	送信	16kHz	80ms	360	0	0		
Feb/19/2004 10:31:2	1 0:00:36	192.168.1.32	2	受信	16kHz	80ms	360	10	10		
Feb/19/2004 10:31:2	1 0:02:00	192.168.1.32	3	送信	16kHz	80ms	1000	0	0		
Feb/19/2004 10:31:2	1 0:02:00	192.168.1.32	3	送信	16kHz	80ms	1000	0	0		
Feb/19/2004 10:31:2	1 0:02:00	192.168.1.32	3	送信	16kHz	80ms	1000	0	0		
Feb/19/2004 10:31:2	1 0:02:00	192.168.1.32	3	送信	16kHz	80ms	1000	0	0		
Feb/19/2004 10:31:2	1 0:02:00	192.168.1.32	3	送信	16kHz	80ms	1000	0	0		
<u> </u>								יל בטצב	ι-タ		

[操作ボタン]

① ログ保存ボタン

ストリームログをパソコンに保存します。

- ② 現在/過去ボタン 現在ボタンを押すと現在のストリームログが、過去ボタンを押すと終了したストリームログが表示されます。
- [現在のストリーム操作ボタン]
- 更新ボタン 最新の情報に更新されます。
- [過去のストリーム画面]
- ※下の画面はN-8000EXの例です。

アイルド 編集()       表示()       お気に入り()       ソール()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       ()       <	🚰 N-8000EX - Microsoft Inter	met Explorer									J	_0
PR3 ・ ・ ・ ② ③ ④ 微線    Bお知に入り    ゆみチネア    ③    ふう    図    マ・	_ ファイル(E) 編集(E) 表示	<ul><li>(⊻) お気に入り(<u>A</u>) ツール(<u>T</u>)</li></ul>	ヘルプ( <u>H</u> )									1
Picka intercent       ストリームログ         Picka intercent       ストリームログ         Picka intercent       ブロクログ         Picka intercent       ブロクログ         N=8000EX 2000EX 2000EX 2000EX       ブロクログ       ブロクログ       ブロクログ       ブロクログ       ブロクログ         N=8000EX 2000EX       ブロクログ       ごび保存       ご扱っ       ブロクログ       ブロのログ       ブロログ       ブロのログ       ブロのログ       ブロログ       ブロのログ       ブロログ       ブロのログ       ブロのログ       ブロのログ       ブロログ       ブロのログ       ブロのログ       ブロのログ       ブロのログ <th< td=""><td>  ⇔戻る ▾ ⇒ ▾ 🙆 🖄</td><td>☆│②検索 函お気に入り 🤅</td><td>⑦メディア</td><td>3 B- 3 [</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></th<>	⇔戻る ▾ ⇒ ▾ 🙆 🖄	☆│②検索 函お気に入り 🤅	⑦メディア	3 B- 3 [								
Packet Intercom       Image: Ima	] アドレス(D)   🥘 http://192.168	3.1.1/index-j.htm										@移動
Page       Belain         Piele       0       0         Piele       0	Packet Intercom	■ストリームログ										
設置回回       Feb/19/2004 09:38:16 現在       通知         DP 保存       0 現在       通去         Aットワーク設定       原用       0 現在       通去         B線状態       Aットワーク設定       G       原ベージ       メントワーク         Makit態       Aットワーク       方面       K       Zev       N クット         Makit態       Maxit	N-8000EX											
プロペレンシンクシークが設定       通知のクレンシンクシークが認識       前水・グ       大水・クシークが       方の       「な       運び       パケットシック・クが       一次       一次       一次       一次       一次       一次       一次       一次       「な       運び       パケット       欠落       無音         「かいうつ」のたい       「前ハージ」」       「水・グ」       「方の       「ち       運び       パケット 数       欠落       無音         「たり/19/2004 10:3051       00:00       192.168.133       1       送信       16kHz       80ms       147       0       0       0       0       16b/19/2004 10:3051       00:00       192.168.133       1       送信       16kHz       80ms       1414       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0	設置囲面	Feb/19/2004 09:38:16現	症									
文····································		「戊保存」の現在	◎ .温±									
Ayer       Dy-Cy       Cy	א⊂ב∽ TOP											
使用状態       通表のストリーム         シットワーク状態       所ペジ       水ペジ         ●「前ページ       水ペジ         ●「日かり2004 10.305       0.00.09       192.168.1.31       1       送信       16.142       80ms       1.04       0       0         Feb/19/2004 10.3051       0.00.09       192.168.1.31       1       受信       16.142       80ms       1.04       2.0         Feb/19/2004 00.307.30       0.01.09       192.168.1.31       1       受信       16.142       80ms       1.04       0       0       0         Feb/19/2004 00.307.30       0.15.13       192.168.1.31       1       受信       16.142       80ms       1.0438       0       0       0         Feb/19/2004 00.307.30       0.15.13       192.168.1.33       1       送信       16.142       80ms       1.0438       0       0       0         Feb/19/2004 07.37.33       0.15.13       192.168.1.33       1       送信       16.142       80ms       1.0438       0       0       0         Feb/19/2004 07.37.33       0.15.13       192.168.1.33       1       送信       16.142       80ms       1.0438       0       0       0       0         Feb/19/2004 05.373       0.15.13												
●読べの         ●ボベージ         ●ボベージ           ●ボベージ         ●ボベージ         ●ボベージ         ●ボベージ         ●ボベージ         ●ボベージ         ●ボベージ         ●ボベージ         ●ボベージ         ●ボベージ         ●ボベージ         ●ボベージ         ●ボベージ         ●ボベージ         ●ボベージ         ●ボベージ         ●ボベージ         ●ボベージ         ●ボベージ         ●ボベージ         ●ボベージ         ●ボベージ         ●ボベージ         ●ボベージ         ●ボベージ         ●ボベージ         ●ボベージ         ●ボベージ         ●ボベージ         ●ボベージ         ●ボベージ         ●ボベージ         ●ボベージ         ●ボベージ         ●ボベージ         ●ボベージ         ●ボベージ         ●ボベージ         ●ボベージ         ●ボベージ         ●ボベージ         ●ボベージ         ●ボベージ         ●ボベージ         ●ボベージ         ●ボベージ         ●ボベッシ         ●ボ         ●ボ         ●ボ         ●ボ         ●ボ         ●ボベージ         ●ボベッシ         ●ボ	使用状態	過去のストリーム										
	<u>回緑初感</u> ネットワーク状態	最新前ページ	次ページ	1								
所用始時刻         時間         接続先         リンク         方向         所         遅延         バケット数         欠落         無音           Feb/19/2004 10:3051         0:00:09         192.168.131         1         送信         16kHz         80ms         1417         0         0           Feb/19/2004 10:3051         0:00:09         192.168.131         1         送信         16kHz         80ms         1417         20         20           Feb/19/2004 09:37:33         0:15:13         192.168.133         1         送信         16kHz         80ms         14385         0         0           Feb/19/2004 09:37:33         0:15:13         192.168.133         1         送信         16kHz         80ms         14385         0         0           Feb/19/2004 09:37:33         0:15:13         192.168.133         1         送信         16kHz         80ms         14385         0         0           Feb/19/2004 07:37:33         0:15:13         192.168.133         1         送信         16kHz         80ms         14385         0         0           Feb/19/2004 05:37:33         0:15:13         192.168.133         1         送信         16kHz         80ms         14385         0         0           Feb/1	<u>動作ログ</u>											
Problem         Feb/19/2004 10:30:51         0:00:09         192.168.1.31         1         送信         16kHz         80ms         147         0         0           Feb/19/2004 10:30:51         0:00:09         192.168.1.31         1         受信         16kHz         80ms         147         0         0           Feb/19/2004 09:37:33         0:00:09         192.168.1.31         1         受信         16kHz         80ms         14385         0         0           Feb/19/2004 09:37:33         0:15:13         192.168.1.32         1         送信         16kHz         80ms         144385         0         0           Feb/19/2004 07:37:33         0:15:13         192.168.1.32         1         送信         16kHz         80ms         1418         0         0           Feb/19/2004 07:37:33         0:15:13         192.168.1.32         1         送信         16kHz         80ms         14385         0         0           Feb/19/2004 06:0020         0:00:10         192.168.1.32         1         送信         16kHz         80ms         14385         0         0           Feb/19/2004 05:37:33         0:15:13         192.168.1.33         1         送信         16kHz         80ms         14385         0 </td <td>ストリームログ</td> <td>開始時刻</td> <td>時間</td> <td>接続先</td> <td>リンク</td> <td>方向</td> <td>fs</td> <td>遅延</td> <td>バケット数</td> <td>欠落</td> <td>無音</td> <td></td>	ストリームログ	開始時刻	時間	接続先	リンク	方向	fs	遅延	バケット数	欠落	無音	
Feb/19/2004 10:30510:00:09192.168.1.311受信16kHz80ms14472020Feb/19/2004 09:37:330:15:13192.168.1.331送信16kHz80ms1438500Feb/19/2004 08:00:00:00:10192.168.1.321送信16kHz80ms141100Feb/19/2004 07:37:330:15:13192.168.1.321送信16kHz80ms1438500Feb/19/2004 06:00:00:00:10192.168.1.321送信16kHz80ms14138500Feb/19/2004 05:37:330:15:13192.168.1.331送信16kHz80ms14138500Feb/18/2004 14:00:00:00:10192.168.1.321送信16kHz80ms14138500Feb/18/2004 13:37:30:15:13192.168.1.331送信16kHz80ms14138500Feb/18/2004 13:37:30:15:13192.168.1.331送信16kHz80ms14138500Feb/18/2004 13:37:30:15:13192.168.1.331送信16kHz80ms1438500Feb/18/2004 13:37:30:15:13192.168.1.331送信16kHz80ms1438500Feb/18/2004 13:37:30:15:13192.168.1.331送信16kHz80ms1438500Feb/18/2004 13:37:30:15:13192.168.1.331送信16kHz80ms1438500<	<u>システム管理</u>	Feb/19/2004 10:30:51	0:00:09	192.168.1.31	1	送信	16kHz	80ms	147	0	0	
Feb/19/2004 09:37:330:15:13192.168.1.331送信16kHz80ms1438500Feb/19/2004 08:00200:00:10192.168.1.321送信16kHz80ms14100Feb/19/2004 07:37:330:15:13192.168.1.331送信16kHz80ms14385000Feb/19/2004 06:00200:00:10192.168.1.321送信16kHz80ms14185000Feb/19/2004 05:37:330:15:13192.168.1.331送信16kHz80ms1438500Feb/18/2004 14:00200:00:10192.168.1.321送信16kHz80ms1438500Feb/18/2004 14:03230:15:13192.168.1.331送信16kHz80ms1438500Feb/18/2004 13:37:330:15:13192.168.1.331送信16kHz80ms1438500Feb/18/2004 13:37:330:15:13192.168.1.331送信16kHz80ms1438500		Feb/19/2004 10:30:51	0:00:09	192.168.1.31	1	受信	16kHz	80ms	147	20	20	
Feb/19/2004 08:00:00:00:10192.168.1.321送信16kHz80ms14100Feb/19/2004 07:37:330:15:13192.168.1.331送信16kHz80ms1438500Feb/19/2004 06:00:00:00:10192.168.1.321送信16kHz80ms141100Feb/19/2004 05:37:330:15:13192.168.1.331送信16kHz80ms1438500Feb/18/2004 14:00:00:00:10192.168.1.321送信16kHz80ms14138500Feb/18/2004 13:37:330:15:13192.168.1.331送信16kHz80ms1438500Feb/18/2004 13:37:330:15:13192.168.1.331送信16kHz80ms1438500		Feb/19/2004 09:37:33	0:15:13	192.168.1.33	1	送信	16kHz	80ms	14385	0	0	
Feb/19/2004 07:37:330:15:13192.168.1.331送信16kHz80ms1438500Feb/19/2004 06:00200:00:10192.168.1.321送信16kHz80ms14100Feb/19/2004 05:37:330:15:13192.168.1.331送信16kHz80ms1438500Feb/18/2004 14:00:200:00:10192.168.1.321送信16kHz80ms1438500Feb/18/2004 13:37:330:15:13192.168.1.331送信16kHz80ms1438500		Feb/19/2004 08:00:20	0:00:10	192.168.1.32	1	送信	16kHz	80ms	141	0	0	
Feb/19/2004 06:00:00:00:10192.168.1.321送信16kHz80ms14100Feb/19/2004 05:37:330:15:13192.168.1.331送信16kHz80ms1438500Feb/18/2004 14:00:00:00:10192.168.1.321送信16kHz80ms14100Feb/18/2004 13:37:330:15:13192.168.1.331送信16kHz80ms1438500		Feb/19/2004 07:37:33	0:15:13	192.168.1.33	1	送信	16kHz	80ms	14385	0	0	
Feb/19/2004 05:37:330:15:13192.168.1.331送信16kHz80ms1438500Feb/18/2004 14:00:200:00:10192.168.1.321送信16kHz80ms14100Feb/18/2004 13:37:330:15:13192.168.1.331送信16kHz80ms1438500		Feb/19/2004 06:00:20	0:00:10	192.168.1.32	1	送信	16kHz	80ms	141	0	0	
Feb/18/2004 14:00:200:00:10192.168.1.321送信16kHz80ms14100Feb/18/2004 13:37:330:15:13192.168.1.331送信16kHz80ms1438500		Feb/19/2004 05:37:33	0:15:13	192.168.1.33	1	送信	16kHz	80ms	14385	0	0	
Feb/18/2004 13:37:33 0:15:13 192.168.1.33 1 送信 16kHz 80ms 14385 0 0		Feb/18/2004 14:00:20	0:00:10	192.168.1.32	1	送信	16kHz	80ms	141	0	0	
		Feb/18/2004 13:37:33	0:15:13	192.168.1.33	1	送信	16kHz	80ms	14385	0	0	
Feb/18/2004 12:00:20 0:00:10 192:168:1.32 1 送信 16kHz 80ms 141 0 0		Feb/18/2004 12:00:20	0:00:10	192.168.1.32	1	送信	16kHz	80ms	141	0	0	
Feb/18/2004 11:00:20 0:00:10 192.168.1.32 1 送信 16kHz 80ms 141 0 0		Feb/18/2004 11:00:20	0:00:10	192.168.1.32	1	送信	16kHz	80ms	141	0	0	
Feb/18/2004 10:37:33 0:15:13 192.168.1.33 1 送信 16kHz 80ms 14385 0 0		Feb/18/2004 10:37:33	0:15:13	192.168.1.33	1	送信	16kHz	80ms	14385	0	0	
Feb/18/2004 09:00:20 0:00:10 192.168.1.32 1 送信 16kHz 80ms 141 0 0		Feb/18/2004 09:00:20	0:00:10	192.168.1.32	1	送信	16kHz	80ms	141	0	0	
▶ Feb/18/2004 08:37:33 0:15:13 192.168.1.33 1 送信 16kHz 80ms 14385 0 0		Feb/18/2004 08:37:33	0:15:13	192.168.1.33	1	送信	16kHz	80ms	14385	0	0	
Feb/18/2004 07:00:20 0:00:10 192.168.1.32 1 送信 16kHz 80ms 141 0 0		Feb/18/2004 07:00:20	0:00:10	192.168.1.32	1	送信	16kHz	80ms	141	0	0	
🥶 ページが表示されました	ど、ページが表示されました									) 77 I)	ノピュータ	

[過去のストリーム操作ボタン]

- 最新 終了したストリームの最新16件を表示します。
- 前ページ 前のページに移動します。
- 次ページ 次のページに移動します。

[ログの項目](現在と過去のストリームログ共通)

- 開始時刻 ストリームの開始時刻です。
- 2 経過時間/時間 ストリームの通信時間です。
- 3 接続先 通信先の IP アドレスです。
- ④ リンク通話路番号です。
- 方向 送信または受信になります。
- ⑥ fs
   サンプリング周波数です。16 kHz または8 kHz です。
- ⑦ 遅延

音声が入力されて出力されるまでの時間です。

- ⑧ パケット数
   送信時は送信したパケット数、受信時は正常に受信した数。
- 9 欠落

ネットワーク障害により欠落したパケット数です。受信時にしかカウントされません。

10 無音

パケット欠落またはネットワークのゆらぎによりパケットの到着が遅くなったため、音声出力で無音再生 したときにカウントされます。受信時にしかカウントされません。

### / システム管理

画面左側のメニューから「システム管理」をクリックします。

#### ※下の画面はN-8000EXの例です。

🚈 N-8000EX - Microsoft Inter	net Explorer		
ファイル(E) 編集(E) 表示(	<u>V)</u> お気に入り( <u>A</u> ) ツール( <u>T</u>	) ヘルプ(王)	
⇔戻る • → • 🙆 🙆 🙆	③検索 函お気に入り	🎯 xティア 🧭 💁 🗃 🖬 🗉 🗐	
アドレス(D) 🕘 http://192.168.	1.1/index-j.htm		▼ 🖓移動
Packet Intercom	■システム管理		
N-8000EX			
設置画面	つ、井、桂切		
	エーリー同報		
メニュー	シスクム名 (15文字の半角英数:	字) N-8000	
<u>TOP</u> <u>ネットワーク設定</u>	新しいパスワード (15文字の半角英数)	新しいバスワード	
使用状態	コーザー特報 恋面		
<u>回線状態</u>			
<u>ホットシーン1八感</u> 動作ログ			
ストリームログ	システム管理ユーテ	ィリティー	
システム管理		[設定ファイルアップロート]	
		参照 アップロード	
		[設定ファイルダウンロード]	
	設定ファイル		
		「 A =n \\\// 上 ]	
		全設定消去	
		全設定を消去し、出荷時の設定に戻します。	
		現在のバージョン:1.00 日付:Nov/30/2004	
	ファームウェア更新	参照 ファームウェア更新	
	時刻設定	Nov/30/2004 08:43 時刻取得 設定	
	of Multical		
	機器再起動	再起動	
TOA			
🦉 ページが表示されました			🖳 דר בטעב אד 🏿

[ユーザー情報]

システム名とパスワードを変更することができます。( 📭 P. 6-25)

① システム名

ブラウザー起動時のユーザー認証画面で入力されたユーザー名が表示されます。( 📭 P.6-3)

- 新しいパスワード 前のパスワードを変更したいときに入力します。
- ③ 新しいパスワード(確認) 確認のため、もう一度同じパスワードを入力します。
- ④ ユーザー情報変更ボタン 押すと、変更されたユーザー情報が更新されます。
- [システム管理ユーティリティー]
- アップロードボタン バックアップしている設定ファイルをこの機器(パソコンに接続している交換機、マルチインターフェー スユニット、またはIP端末)に書き込みます。(■ P. 6-26)
- 参照ボタン ファイルを選択するダイアログが開きます。
- ③ ダウンロードボタン この機器に登録されている設定情報(ファイル)をパソコンに保存します。( II № P.6-27)
- ④ 全設定消去ボタン

全設定を消去し、工場出荷状態の設定に戻します。工場出荷時は以下の設定になっています。 IPアドレス: 192.168.1.1 システム名: N-8000 パスワード: guest その他の設定については、N-8000 ソフトウェアで接続して確認ください。

⑤ ファームウェア更新ボタン

ファームウェアの更新を行います。( 📭 P. 6-28)

最新のものを下記サイトからダウンロードしてお使いください。

メモ

- ●ファームウェアの最新版をTOA商品データダウンロードサイト(http://www.toa-products.com/)で公開 しています。
- 現在のバージョンはファームウェア更新ボタンの上に表示されています。
- ⑥ 時刻取得ボタン

このボタンを押すと、年月日と時刻が、パソコンの時刻に合わせて表示されます。( 🖙 P. 6-29)

- ⑦ 設定ボタン この機器に対して時刻を設定します。( № P. 6-29)
- ⑧ 再起動ボタン 押すと、この機器を再起動します。

#### ご注意

設定ファイルやファームウェア更新中には絶対に再起動しないでください。

### ■ システム名とパスワードを変更する

交換機、マルチインターフェースユニット、または IP 端末を追加したり、初期化したときなどに、システム 設定用のパソコンがない場所でも、ブラウザーからシステム名とパスワードを変更できます。

#### ご注意

システム名とパスワードはシステム共通で使用します。同じシステムの中で異なるパスワードを設定すると、 N-8000 ソフトウェアで集中管理できなくなりますので、N-8000 ソフトウェアで設定したシステム名および システムパスワードと同じものに設定してください。

- 1 「システム名」に変更後のシステム名を入力する。 半角英数記号15文字以内で入力してください。 大文字、小文字は区別します。「:」は使用できません。
- 2 「新しいパスワード」に変更後のパスワードを入力する。 半角英数記号15文字以内で入力してください。 大文字、小文字は区別します。

3 確認のため「新しいパスワード(確認)」に手順2で入力した変更後のパスワードを入力する。

4 ユーザー情報変更ボタンを押す。

#### ご注意

更新中は交換機・マルチインターフェースユニット前面のSTATUS表示灯、またはIP端末の状態表示 灯が点灯します。絶対に再起動したり電源を切ったりしないでください。 ■ 設定ファイルをアップロードする

### 1 参照ボタンを押す。

[ファイルの選択] ダイアログが表示されます。

ファイルの選択					? 🛛
ファイルの場所型:	🞯 デスクトップ		•	+ 🗎 💣 🎟+	
は して して して して して して して して して して	<ul> <li>マイドキュメント</li> <li>マイコンピュータ</li> <li>マイネットワーク</li> <li>新しいフォルダ</li> <li>192-168-1-1.cfg</li> </ul>				
የባ ጥያኮፓቸን	- (1.5.60				
	ファイル名(N): ファイルの種類(T):	192-168-1-1.cfg すべてのファイル (*.*)		•	

**2** バックアップファイル(拡張子 cfg)を選択し、[開く] ボタンを押す。

3 アップロードボタンを押す。

#### ご注意

更新中は交換機・マルチインターフェースユニット前面のSTATUS表示灯、またはIP端末の状態表示 灯が点灯します。絶対に再起動したり電源を切ったりしないでください。



### 1 ダウンロードボタンを押す。

[ファイルの選択] ダイアログが表示されます。

77110	ダウンロード
?	ファイルによっては、コンピュータに問題を起こす可能性があります。 以下のファイル情報に関して疑わしい点がある場合や、発信元が完全に信用で きない場合は、このファイルを開いたり保存したりしないでください。
	ファイル名: 192-168-1-1.cfg ファイルの種類:
	発信元: 192.168.1.1
	ファイルを開くか、ファイルをコンピュータに保存するか選択してください。 「閉く(O)」「保存(S)」「キャンセル」「詳細情報(M)」
	□ この種類のファイルであれば常に警告する     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □     □

### 2 保存ボタンを押す。

ダイアログが表示されます。

名前を付けて保存					? 🛛
保存する場所型:	🞯 デスクトップ		~	G 🕸 📂 🛙	<del>.</del>
ようしています。 最近使ったファイル で デスクトップ マイドキュメント	<ul> <li>マイドキュメント</li> <li>マイコンピュータ</li> <li>マイネットワーク</li> <li>マイネットワーク</li> <li>新しいフォルダ</li> </ul>				
ער באר דיד בארב איק ער					
マイ ネットワーク	ファイル名( <u>N</u> ):	192-168-1-1.cfg		*	保存⑤
	ファイルの種類(工):	.cfg ドキュメント		*	キャンセル

3 保存場所を選択し、ファイル名を入力する。

メモ 最初、ファイル名は [IP アドレス].cfg になっています。

4 ファイルの種類は「すべてのファイル」を選択して、保存ボタンを押す。

#### ■ ファームウェアを更新する

#### ご注意

ファームウェアを更新すると、バージョンアップの内容によっては、すでに設定されているデータを消去す る(工場出荷状態に戻す)場合があります。

必ず現在の設定ファイルをパソコンに保存しておいてから、更新してください。

更新後、ネットワーク設定、システム名とパスワードの変更を行い、保存しておいた設定ファイルをN-8000 ソフトウェアでアップロードして、設定し直してください。

#### 1 参照ボタンを押す。

[ファイルの選択]ダイアログが表示されます。

ファイルの選択					? 🛛
ファイルの場所型:	🞯 デスクトップ		•	+ 💼 📸 🎟 +	
は し し し し し し し し し し し し し	<ul> <li>□ マイドキュメント</li> <li>□ マイコンピュータ</li> <li>□ マイネットワーク</li> <li>□ 新しいフォルダ</li> <li>□ 192-168-1-1.bin</li> </ul>				
	ファイル名(N): ファイルの種類(II):	192-168-1-1.bin すべてのファイル (*.*)		•	開く(Q) キャンセル

**2** ファームウェア(拡張子 bin)を選択し、[開く] ボタンを押す。

最新のものを下記サイトからダウンロードしてお使いください。

メモ

- ●ファームウェアの最新版をTOA商品データダウンロードサイト(http://www.toa-products.com/)で公 開しています。
- ●ファームウェアのバージョンは、ブラウザーのシステム管理画面で確認できます。

3 ファームウェア更新ボタンを押す。

ファームウェアの更新を開始します。

#### ご注意

更新中は交換機・マルチインターフェースユニット前面の STATUS 表示灯、または IP 端末の状態表示 灯が点灯します。絶対に再起動したり電源を切ったりしないでください。

### ■ 時刻を設定する

システムに接続する交換機、マルチインターフェースユニット、または IP 端末間で時差がある場合など、個別に時刻設定が行えます。

また、時刻設定の欄に赤字で「時刻が設定されておりません」と表示されたときは、過去一度も設定されていないか、長時間電源が切れていた可能性がありますので、設定を行ってください。

#### ● 時刻取得ボタンを使用する方法

パソコンの年月日および時刻に合わせることができます。

1 時刻取得ボタンを押す。

2 設定ボタンを押す。

#### ● パソコンのキーで入力する方法

時刻を入力することができます。この方法では、年月日は変更できません。

### **1** 時、分を入力する。

入力するセルにカーソルを移動して、24時制で入力してください。

### 2 設定ボタンを押す。

# 第7章

## 多機能端末の メニュー画面操作 (N-8000MS/8500MSのみ)

この章では、多機能マスター端末および IP 多機能マスター端末のメニュー画面を使用した設定や表示などの操作について説明します。

### / メニュー画面の操作に使用するキー

多機能マスター端末 N-8000MS、IP 多機能マスター端末 N-8500MSのメニュー画面での操作には、次のキーを使用します。



メニュー項目		
×=ュー	⁻ P. 2-10)	オートダイヤルキーに登録します。
→ 2. 回線モニター( 🖙 P. 7-3	3)	交換機の回線の接続状態をモニターします。
3. ログファイル更新( 🖙 P	<b>P</b> . <b>7-4</b> )	交換機またはN-8500MSの動作履歴のファイル   を更新します。
4. 音量( II ☎ P. 7-4)		N-8500MSの設定音量を確認します。 (N-8500MSのみ)
0. 保守( ☞ P. 7-5)	1. ネット	·ワーク設定( 🖙 P. 7-6)
	交換機ま デフォル	またはN-8500MSのIPアドレス、サブネットマスク、 ルトゲートウェイを変更します。
-	2. 回線属	【性設定( 🖙 P. 7-7)
	すべての	D端末およびIP端末の端末番号を設定します。
-	3. 時刻認	定(II☞ P. 7-8)
	システ <i>レ</i>	への時刻を設定します。 
	4. 交換機	巻リセット(II☞ P. 7-9)
	交換機ま ※ ネッ N-850	₹たはN-8500MSを再起動します。 トワークの設定を変更したときは、交換機または 00MSを再起動する必要があります。

### 回線状態をモニターする

N-8000MSに接続されている交換機の全16回線の接続状態をその端末の液晶画面に表示します。 N-8500MSではモニターできません。

**1** メニューキーを押す。 設定モードになります。

×=ュー →1:オートタ゛イヤルトウロク 2:カイセンモニター

選択

- 2 下矢印キーまたは [2] キーを押して、カーソルを 「2:カイセンモニター」に移動させる。
- 3 選択キーを押す。 操作している端末が接続されている交換機の全16回線の 接続状態が表示されます。 左から、回線1、回線2、…、回線16の順番です。





表示文字	内容	詳細	
0	接続あり(正常)	回線に端末が接続され、端末との間で正常に通信されています。	
Х	接続なし	回線に端末が接続されていないか、断線しています。	
F	接続あり(異常)	回線に端末が接続されていますが、正しく通信ができません。	

N-8500MSの場合は、「ジョウホウナシ」と表示されます。

**4** メニューキーを押す。

通常モードに戻り、待ち受け表示になります。



### / ログファイルを更新する

交換機または N-8500MS *の動作履歴を蓄積するファイルを更新します。トラブル発生時などにパソコンから 動作履歴が参照(ブラウザーによる動作ログ表示 IN P. 6-18)できない場合に、この操作を行います。以下 の手順で、端末でログファイルを更新してから交換機または N-8500MS を再起動してください。

メニュー

* N-8000MSの場合は接続されている交換機、N-8500MSの場合はその端末

**1** メニューキーを押す。 設定モードになります。

- 2 下矢印キーまたは [3] キーを押して、カーソルを 「3:ログファイルコウシン」に移動させる。
- 3 選択キーを押す。 交換機またはN-8500MSのログファイルが更新されま す。

#### ご注意

更新中は交換機前面のSTATUS表示灯またはN-8500MSの状態表示灯が点灯します。絶対に再起動したり電源を切ったりしないでください。

**4** メニューキーを押す。 通常モードに戻り、待ち受け表示になります。







### / 音量の設定を確認する (N-8500MSのみ)

N-8500MSのマイク感度とスピーカー出力の設定を確認できます。

- **1** メニューキーを押す。 設定モードになります。
- **2** 下矢印キーまたは [4] キーを押して、カーソルを 「4:オンリョウ」に移動させる。
- 3 選択キーを押す。

設定されているマイク感度(MIC)とスピーカー出力 (SP)が表示されます。 マイク感度は1~3の3段階で表示されます。1が最小、 3が最大です。 スピーカー出力のレベルは1~5の5段階で表示されま す。1が最小、5が最大です。

**4** メニューキーを押す。 通常モードに戻り、待ち受け表示になります。





### システムを設定する

システム設定の一部の項目についてのみ、多機能端末から設定できます。



■ ネットワークを設定する

交換機または N-8500MS*の IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを変更することができます。

* N-8000MSの場合は接続されている交換機、N-8500MSの場合はその端末



#### ご注意

ネットワークの設定は、変更してもすぐに更新されません。交換機または N-8500MS を再起動すると、新しい設定内容になります。

設定変更後は、交換機または N-8500MS を再起動してください。交換機の場合は、交換機前面の RESET キーを押すか、または交換機リセット画面( ☞ P. 7-9)から交換機を再起動してください。N-8500MS の 場合は、交換機リセット画面( ☞ P. 7-9)から N-8500MS を再起動してください。

#### ┃端末番号を設定する

すべての端末および IP 端末の端末番号を設定できます。



ダイヤルキー	表示	機器種別	該当型番
0	トウロクナシ		なし
1	タキノウ	多機能マスター端末、IP多機能マスター端末	N-8000MS/8500MS
2	マスター	標準マスター端末、IP標準マスター端末	N-8010MS/8510MS/8515MS
3	ハンズフリー	ハンズフリー専用標準マスター端末	N-8011MS
4	コウジョウ	工場用マスター端末	N-8020MS
5	ウメコミ	ハンズフリー専用埋込型マスター端末	N-8031MS
6	ドア	ドア端末、IPドア端末	N-8050DS/8540DS

「トウロクナシ」を選択したときのみ、ここで登録が完了 して、手順2へ戻り、次の回線種別を設定したい機器番 号を入力することができます。

カイセンソ゛クセイ →コウカンキNo.:



### ■ システム時刻を設定する

交換機または N-8500MS*の時刻を設定できます。 システムに接続する機器間で時差がある場合などにシステム時刻を設定します。

* N-8000MSの場合は接続されている交換機、N-8500MSの場合はその端末



3:シ コクセッテイ

→4:コウカンキリセット

コウカンキリセットOK?

コウカンキリセットOK?

3:シ コクセッテイ

→4:コウカンキリセット

2000

8:22 AM

Yes→No

→Yes No

#### ■ 機器を再起動する

ネットワーク設定を変更したときなどに、交換機またはN-8500MS*を再起動します。 交換機前面のRESETキーを押さなくても、N-8000MSからの操作で交換機を再起動できます。

* N-8000MSの場合は接続されている交換機、N-8500MSの場合はその端末

#### ご注意

交換機を再起動するときは、その交換機でページング、通話、ファームウェアの更新などの操作が行われて いないことを確認してから行ってください。

選択

選択

1 保守画面で上下矢印キーまたは[4]キーを押して、 カーソルを「4:コウカンキリセット|に移動させ る。

- 2 選択キーを押す。 確認画面が表示されます。
- 3 左右矢印キーを押して、カーソルを「Yes」に移動 させる。
- **4** _{選択キーを押す}。 手順1の画面に戻り、交換機または N-8500MS が再起動 されます。 再起動中は、キー操作は受け付けられません。

再起動が完了すると、待ち受け表示になります。

# 第8章

## 付 録



#### ■ IP ネットワークとアドレス

交換機、マルチインターフェースユニット、および IP 端末で使用可能な IP ネットワークには、社内や構内な ど小規模地域で使用する LAN(ローカルネットワーク)や、広域遠隔地で使用するインターネットなどがあ ります。



ローカルネットワークとインターネットでは使用する IP アドレスが異なります。

#### ローカルアドレス(プライベートIPアドレス):

ローカルネットワークで使用します。ローカルネットワーク内では自由に設定できるアドレスです。

グローバル IP アドレス:

インターネットを利用するために使用する1つしかないアドレスです。

交換機、マルチインターフェースユニット、および IP 端末をインターネット経由で使用するときは、 固定のグローバル IP アドレスを取得し、各機器に割り当てる必要があります。ルーターを使用すると きは、ルーターにグローバル IP アドレスを設定します。

機器Bから機器Aに接続するときはローカルアドレスを使用することができますが、機器Cから機器Aに接続するときはグローバルIPアドレスを使用する必要があります。

インターネット経由で接続する場合、接続先の機器に、固定のグローバルIPアドレスを割り当てる必要があります。

固定のグローバルIPアドレスの取得については、ネットワーク管理者またはインターネットプロバイダーにお問い合わせください。

#### ご注意

インターネットの場合、伝送品質が保証されているわけではありません。ネットワークが混雑している状態 では、パケットの欠落が起こり、通話音声が途切れたり、ノイズが出たりする場合があります。
### ■ ネットワークアドレスポート変換(NAPT、IPマスカレード) とN-8000 ソフトウェア

ローカルネットワークで使用されているローカルアドレスではインターネットに接続できないため、ネット ワークアドレスポート変換(NAPT: Network Address Port Translation、IPマスカレード)により、ローカ ルアドレスをグローバルIPアドレスに変換する必要があります。



機器Cから機器Aへ接続するときはグローバルIPアドレスで接続します。接続に使用されたグローバルIP アドレスはルーター1により機器Aのローカルアドレスへ変換されます。

N-8000 ソフトウェアは NAPT(IP マスカレード)に対応しています。 NAPT(IP マスカレード)を使用して接続された機器の設定をする場合は、交換機、マルチインターフェー スユニット、IP 端末の「ネットワーク設定」タブで表示される画面内の「NAPT 対応」にチェックを入れ、 ルーターの IP アドレス、ポート番号を入力してください。( III P. 5-27、5-35、5-47)

#### ■ ユニキャストとマルチキャストの違い

ネットワーク接続された複数の交換機、マルチインターフェースユニット、またはIP端末を介してページン グをする場合、ユニキャストとマルチキャストという2つの通信方法を選択することができます。

ユニキャストは宛先となる個々のIPアドレスに対して、それぞれ別のパケットを作成して送出する方法で、 マルチキャストは特殊なマルチキャストアドレスを宛先にした1つのパケットを送出する方法です。

マルチキャストを利用すると、通信帯域を少なくできるというメリットがあります。しかしマルチキャスト を使用するネットワーク上のルーターなどのネットワーク機器(ノンインテリジェントなハブやスイッチは 除く)は、特殊なマルチキャストアドレス宛てのパケットを通信できるようにする IGMP(Internet Group Management Protocol)などのサポートが必要です。このシステムで有効なマルチキャストアドレス範囲は 225.0.0.0 から 238.255.255.255 です。

※マルチキャストアドレスを設定する場合は、その通信が可能かどうかも含め、ネットワーク管理者にご相談ください。

ユニキャストを利用すると、送信先となる交換機、マルチインターフェースユニット、または IP 端末の台 数分の通信帯域が送信元の交換機または IP 端末側に必要になります。

[ユニキャスト]

[マルチキャスト]



### ■ ネットワーク経由でのページング先の制限

上記ユニキャストとマルチキャスト、それぞれの通信方法によってネットワーク経由でのページングをする 場合、ページングの送信先の数に下記のとおり制限があります。

- ●マルチキャストのみのページング先 : 79 カ所まで
- ユニキャストのみのページング先 : 16 カ所まで
- マルチキャスト+ユニキャストの場合:マルチキャストとユニキャストを合わせて79カ所まで ただし、ユニキャスト15カ所まで

### ■ 機器検出とブロードキャストドメイン

ローカルネットワーク上に接続された機器(交換機、マルチインターフェースユニット、およびIP端末)の 検出には、ブロードキャストという通信方法を利用します。したがって、機器の検出は、ネットワーク上の ブロードキャストが伝送できる範囲でのみ可能です。この範囲をブロードキャストドメインといいます。検 出に使用するブロードキャストアドレスは255.255.255.255 です。ローカルネットワーク内でもルーターを 超える場合は、通常ブロードキャストパケットは届きません。



上図のNET1はネットワークを表しています。NET2はブロードキャストが有効な範囲です。例えば図のパソ コンから機器の検出をした場合、機器Cは同一ローカルネットワーク内でも検出できません。

※ ブロードキャストが有効な範囲は、ネットワーク管理者にご確認ください。

### ■ サンプリング周波数補正機能 (N-8000EX/8010EX/8000MIのみ)

システム上の全交換機およびマルチインターフェースユニットの動作クロックを同じ値に補正します。動作 クロックが補正されていないと、2分以上の放送をする場合に音声が途切れることがあります。 工場出荷時の設定では、上記ブロードキャストドメインの中の機器同士は、すべて自動で補正が可能です。 ルーターなどで分けられたネットワークA、Bに接続された機器間のサンプリング周波数補正を実現するには、 ネットワークAに接続されている交換機またはマルチインターフェースユニットの任意の1台にサンプリン グ周波数補正送信の設定を行います。補正情報の送信先をネットワークBに接続されている交換機またはマ ルチインターフェースユニットの任意の1台のIPアドレスに設定します。そのBの任意の1台には補正情報 受信の設定をします。ルーターBがアドレス変換(NAT)をしている場合は、補正情報の送信先にルーターB のグローバルIPアドレスを設定します。

補正情報の転送先の数の制限は、ユニキャストおよびマルチキャスト合計で16カ所までです。



# **故障かな?と思ったら**

症状	調べるところ	処置
交換機、マルチイン ターフェースユニット	電源、ケーブルなどが正しく接続され ていますか?	正しく接続してください。
	機器前面の表示灯がすべて消灯してい ませんか?	電源を入れてください。
	機器前面の STATUS 表示灯がずっと点 灯している、または、STATUS 表示灯 が3回点滅して1秒消灯という状態を 繰り返していませんか?	「表示灯の状態と異常時の対処のしか た」( ∎ P.8-8)を確認してください。
IP 端末が動作しない。	電源、ケーブルなどが正しく接続され ていますか?	正しく接続してください。
	待ち受け時の状態表示灯が3回点滅し て1秒消灯という状態を繰り返してい ませんか?	「表示灯の状態と異常時の対処のしか た」( II☞ P.8-8)を確認してください。
N-8000 ソフトウェアが 交換機、マルチイン ターフェースユニット、	N-8000 ソフトウェアを使用するパソコ ンが、ネットワークに正しく接続、設 定されていますか?	パソコンのIP アドレス、サブネットマ スク、デフォルトゲートウェイを適切 に設定し、正しく接続してください。
IP 端末を認識できな い。 (ネットワーク設定が 可能な場合も含む。)	機器のIP アドレス、サブネットマスク、 デフォルトゲートウェイ、ポート番号 が適切に設定されていますか?	機器のIP アドレス、サブネットマスク、 デフォルトゲートウェイ、ポート番号 を適切に設定してください。 ( ☞ P. 5-12、6-5)
	ルーターを介して別のネットワークと 接続している場合、そのルーターが正 しく設定されていますか?	ネットワーク管理者にそのルーターが 正しく設定されているかを確認してく ださい。
ブラウザーによる設定 画面が正しく表示され ない。 (ネットワーク設定が 可能な場合も含む。)	ブラウザーによる設定をするパソコン が正しくネットワークに接続されてい ますか?また、ブラウザーが正しく設 定されていますか?	正しく接続・設定してください。 ( I☞ P. 6-2)
	設定画面は Java Script を使用していま す。ご使用のブラウザーが Java Script 対応で、同機能が ON になっています か ?	Internet Explorer の場合、メニューの [ツール] → [インターネットオプショ ン] → [セキュリティ] → [レベルの カスタマイズ] から、[スクリプト] → [アクティブスクリプト] を「有効にす る」、または「ダイアログを表示する」 に設定してください。
	ブラウザーがプロキシを経由する設定 になっていませんか?	ブラウザーがプロキシを経由する設定 になっていると正しく表示できない場 合があります。ネットワーク管理者に ご相談ください。

#### 第8章 付 録

症状	調べるところ	処置
交換機、マルチイン ターフェースユニット、 IP端末が正しく動作し ない。 (他の交換機を経由し た通話やページングな どができない。)	機器登録は正しく行われていますか?	機器登録画面で機種名を正しく選択し てください。( II ☞ P.5-20)
音声が出ない、または 音が歪む。	交換機またはマルチインターフェース ユニットとアンプ、スピーカーなどが 正しく接続されていますか?	正しく接続してください。
	アンプ側の音声入力ボリュームが適切 に調節されていますか?	音声入力ボリュームを適切に調節して ください。
	アンプ側の音声入力レベル切換スイッ チが適切に設定されていますか?	音声入力レベル切換スイッチを適切に 設定してください。
	音声に関する設定が適切ですか?	「音声スペック」を適切に設定してくだ さい。( ∎중 P. 5-27、5-35、5-47)
音声に「プチッ」とい うノイズが入る、また は途切れる。	ネットワークが混雑している可能性が あります。ログ内容をお確かめくださ い。( ■☞ P. 6-20)	ネットワークの混雑が確認されたとき は、ネットワーク管理者にご相談くだ さい。
端末の内部/外部スピー カーから音が出ない。 (N-8000MS/8020MS /8500MSのみ)	スピーカー切換スイッチは正しく切り 換えられていますか?	端末底面のスピーカー切換スイッチを 使用したいスピーカー側に切り換えて ください。
交換機が発熱する。	交換機前面の STATUS 表示灯の点滅が 続いていませんか ?	故障のおそれがあります。当社営業所 にご連絡ください。
システムが一時的に止 まり、数秒後に再開す る。	動作ログに「ファームウェアに問題が 発生しました。当社営業所に連絡して ください。」と表示されていませんか?	システムに問題が発生しましたが、自 動復旧しています。故障のおそれがあ りますので、当社営業所にご連絡くだ さい。
交換機、マルチイン ターフェースユニット の LNK/ACT 表示灯、 IP 端末の FD 表示灯 (ネットワーク接続端	LAN ケーブルが正しく接続されていま すか?スイッチングハブなどとの接続 が正しい種類のケーブル、適切なポー トに接続されていますか?	LAN ケーブルを確認し、正しく接続し てください。
子側)が点灯しない。	スイッチングハブに電源が入っていま すか?	スイッチングハブの電源を入れてくだ さい。
端末が動作しない。	ケーブルが正しく接続されています か?	ケーブルを正しく接続してください。
パスワードを忘れた。		当社営業所にご連絡ください。

## 表示灯の状態と異常時の対処のしかた

#### [交換機、マルチインターフェースユニットの場合]

STATUS表示灯によって、機器の状態が確認できます。 機器の状態に応じて、以下のとおり対処してください。 N-8000EX/8010EX/8000MI前面



STATUS表示灯

STATUS 表示灯の状態	機器の状態	対処のしかた
消灯	正常動作または電源OFF	
高速点滅* (200 ms 周期)	冷却ファンの故障 (交換機の動作は正常)	当社営業所にご連絡ください。
3回点滅 (200 ms 周期) の 後、1 秒消灯	故障	当社営業所にご連絡ください。
数秒間点灯して消灯する状 態を繰り返す。	フラッシュメモリーアク セス中(正常動作)	完全に消灯するまで、絶対に電源を切ったり、 RESET キーを押したりしないでください。
点灯(長時間)	故障	当社営業所にご連絡ください。
低速点滅(4 s 周期)	通常では使用しないモー ドで動作中	RESET キーを押すと、通常動作に戻ります。

* 交換機のみ

[IP端末の場合]

待ち受け時の状態表示灯によって、機器の状態が確認 できます。 機器の状態に応じて、以下のとおり対処してください。



N-8500MS

N-8510MS/8515MS

状態表示灯の状態	機器の状態	対処のしかた
消灯	正常動作または電源OFF	
3回点滅(200 ms 周期)の 後、1 秒消灯	故障	当社営業所にご連絡ください。
数秒間点灯して消灯する状 態を繰り返す。	フラッシュメモリーアク セス中(正常動作)	完全に消灯するまで、絶対に電源を切ったり、 再起動したりしないでください。
低速点滅(4 s 周期)	通常では使用しないモー ドで動作中	再起動すると、通常動作に戻ります。

# 仕 様

### ■ IP インターカム交換機 N-8000EX

電			源	AC100 V、50/60 Hz
消	費	電	カ	50 W(定格時)、75 W(ピーク時)
通	話 路	構	成	空間分割/時分割スイッチ併用
通	話り	ン	ク	内部4リンク/外部8リンク(交互通話/同時通話兼用)
拡	声通言	舌 方	式	エコーキャンセラーによる同時通話/音声スイッチによる交互通話
接	続 可 能	端末	数	最大16台
配	線	方	式	1対より線、無極性
伝	送	方	式	2線160 kbpsエコーキャンセラー伝送方式
信	号レ	ベ	ル	0 dB * 以下
伝	送	距	離	最大 1500 m(φ 0.65 mm、ループ抵抗 170 Ω以下)
端	末への電	》源 供	給	DC48 V、最大 70 mA
へ	ー ジ ン	グ 出	カ	音声:2系統、最大0dB*、600 Ω、平衡、着脱式ターミナルブロック
				制御:2系統、無電圧メイク接点出力(DC24 V/0.5 A)、
				着脱式ターミナルブロック
接	続	端	子	専用コネクター
そ	の		他	ファームウェア更新機能、システム登録データ投入保持機能、
				時刻保持機能、強制空冷、RESET キー(前面パネル)
	ネットワ	ークI	/ F	10BASE-T/100BASE-TX、自動切り換え
ネ	ネットワーク	<b>プロト</b> :	コル	TCP/IP、UDP、ARP、ICMP、HTTP、RTP、IGMP
ッ	音声パケッ	ト伝送フ	与式	ユニキャスト(ページング最大同時 16 カ所)
۲ ۱				マルチキャスト(ページング最大同時 79 カ所)
	接続コネ	、クタ	_	RJ-45 コネクター
	音声サンプリ	リング周辺	皮数	16 kHz、8 kHz(ソフトウェア切換式)
	量 子 化 ヒ	ビット	数	16ビット
ク	音声符号	子 化 方	式	Sub-band ADPCM、暗号化機能
部	音声パケッ	ト欠落褚	甫正	無音挿入
	音声遅	延 時	間	80 ms、320 ms(ソフトウェア切換式)
表			示	LNK/ACT 表示灯、STATUS 表示灯、電源表示灯
設	置	方	法	ラック、壁掛け、据え置き兼用
使	用温图	£ 範	囲	0~40 °C
使	用湿厚	复 範	囲	90%RH以下(ただし結露のないこと)
仕	Ŀ		げ	プレコート鋼板、黒(マンセルN1.0近似色)、3分艶
<u></u>			法	420 (幅) × 44.3 (高さ) × 349 (奥行) mm
質			量	4.2 kg

* 0 dB = 1 V

※本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

#### ● 付属品

電源コード(2 m) ······1	ラックマウント金具
CD(N-8000 ソフトウェアほか) 1	タッピンねじ3X8
着脱式ターミナルプラグ(4P)2	ラック取付ねじ5×12(平座金付き) 4
圧接コネクター(2P)	壁取付金具2
プラスチック足4	木ねじ3.5×204
小ねじ M4×20	

### ■ IP インターカム交換機 N-8010EX

電			源	AC100 V、50/60 Hz
消	費電		カ	50 W(定格時)、75 W(ピーク時)
通	話 路	構	成	空間分割/時分割スイッチ併用
通	話り	ン	ク	内部1リンク/外部2リンク(交互通話/同時通話兼用)
拡	声通話	方	式	エコーキャンセラーによる同時通話/音声スイッチによる交互通話
接	続可能站	耑 末	数	最大16台
配	線力	Ī	式	1 対より線、無極性
伝	送た	<u>,</u>	式	2 線 160 kbps エコーキャンセラー伝送方式
信	号レ	ベ	ル	0 dB * 以下
伝	送	2	離	最大 1500 m(φ 0.65 mm、ループ抵抗 170 Ω以下)
端	末への電	源 供	給	DC48 V、最大 70 mA
ペ	ージング	ブ 出	カ	ステーションページングのみ
接	続端		子	専用コネクター
そ	の		他	ファームウェア更新機能、システム登録データ投入保持機能、
				時刻保持機能、強制空冷、RESET キー(前面パネル)
	ネットワー	・クI	/ F	10BASE-T/100BASE-TX、自動切り換え
ネ	ネットワークス	プロトコ	コル	TCP/IP、UDP、ARP、ICMP、HTTP、RTP、IGMP
ッ	音声パケット	伝送フ	与式	ユニキャスト(ページング最大同時 16 カ所)
۲				マルチキャスト(ページング最大同時 79 カ所)
	接続 コネ	クタ		RJ-45 コネクター
	音声サンプリン	- グ周注	皮数	16 kHz、8 kHz(ソフトウェア切換式)
	量子化ビ	ット	数	16ビット
ク	音声符号	化方	式	Sub-band ADPCM、暗号化機能
部	音声パケット	欠落褚	甫正	無音挿入
	音声遅到	匠 時	間	80 ms、320 ms(ソフトウェア切換式)
表			示	LNK/ACT 表示灯、STATUS 表示灯、電源表示灯
設	置力	7	法	ラック、壁掛け、据え置き兼用
使	用温度	範	囲	0~40 °C
使	用湿度	範	囲	90%RH以下(ただし結露のないこと)
仕	上		げ	プレコート鋼板、黒(マンセル N1.0 近似色)、3 分艶
寸			法	420 (幅) × 44.3 (高さ) × 349 (奥行) mm
質			量	4.2 kg

* 0 dB = 1 V

※本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

#### ● 付属品

電源コード(2 m) ······ 1	ラックマウント金具
CD(N-8000 ソフトウェアほか) 1	タッピンねじ3×8
圧接コネクター(2P)	ラック取付ねじ5 X 12(平座金付き) 4
プラスチック足4	壁取付金具
小ねじ M4 × 20	木ねじ3.5×204

### ■ マルチインターフェースユニット N-8000MI

電			源	AC100 V、50/60 Hz
消	費	電	カ	16 W(定格時)、21 W(ピーク時)
音	声	入	力 * ³	入力:2系統(2P/系統)、最大0 dB * 1、600 Ω以下、平衡、
				調節用半固定ボリューム付き(0 ~–25 dB)
				制御:2系統(2P/系統)、無電圧メイク接点入力、
				開放電圧: DC12 V、短絡電流: 10 mA
				着脱式ターミナルブロック(8P)
音	声	出	力 * ³	出力:2系統(2P/系統)、最大0 dB * 1、600 Ω以下、平衡
				制御:2系統(2P/系統)、リレー接点出力、
				接点容量:DC24 V/0.5 A
				着脱式ターミナルブロック(8P)
接	点	入	カ	16系統、無電圧メイク接点入力、開放電圧: DC12 V、
				短絡電流:10 mA 以下、着脱式ターミナルブロック(9P)
接	点	出	カ	16 系統、リレー接点出力、接点容量: DC24 V/0.5 A、
L				着脱式ターミナルブロック(9P)
PB	Xインタ	ーフェー	ース * ³	PBX 入出力:2系統、最大:0 dB * 2以下、平均:–15 dB * 2以下、
				600 Ω、平衡、圧接コネクター(2P)、
				端末設備等規則準拠
				信号方式 : SS-SR 方式(TTC 標準 JJ21.10 準拠)
				セカンドダイヤルトーン方式、ウインクスタート方式、
				タイミングスタート方式対応
タイ	ラインイン	ターフェ	ース * ³	タイライン入出力:2 系統、最大 0 dB * 2以下、平均:–15 dB * 2以下、
				600 Ω、平衡、圧接コネクター(2P)、
				アナログ専用通信回線端末の電気的条件等準拠
				(人出力ともに調整機能付き)
				信号方式 :EXES-2000/EXES-6000/EXES-7000 タイライン方式
		_	61	
そ		()	他	ファームワェア更新機能、システム登録データ投人保持機能、時刻保
	<u> </u>		<i>-</i>	
<i>&gt;</i>	ネット	ワーク	7 I/F	10BASE-1/100BASE-1X、目動切り換え
	<u>ネットワ</u>			
^ツ	首声パク	「ット伝	送万式	ユニキャスト(ページンク最大同時 16 カ所)
ト	1+ + -	. <u>→</u> ⊢	~	マルナキャスト (ページンク最大同時 79 カ所)
ヮ	接続 二			HJ-45 コネクター
1	首戸サン    = っ 〃	ノリンク	尚冹銰	16 KHZ、8 KHZ(ソノトワェア切換式)
5				
		す 专 化	方式	SUD-DANG ADPCM、咁亏110機形
部	首戸ハク   <del>立</del> 士	<u>ット欠</u>  尿 フェ	洛佣止 吐 晿	悪百押人   20 ma ()/フトウ-マ切換犬)
	百戸	)连 迎	· 「「「」	80 MIS、320 MS(ソフトリエア切換式)
衣		+	<u></u>	LINN/AUI 衣示/J、SIAIUS 衣示/J、電源衣示/J ニック 時期は 根を実を兼用
	 田 汨	 	法 田	ノッフ、 ¹ 坐街り、店ん直さボ用 0 40 ℃
1史	田辺	臣		000/0日111万(ただし結束のたいこと)
1史	用证		匙 四	30% ロロ 以 ト ( に に し 結路 り な い こ こ ) プレコート 綱 振 -
	-	<u>r</u>	い い	ノレコート判似、赤(マノセルNI.U近似巴)、3分配 400 (岠) > 44 9 (声さ) > 999 5 (南行) ~~
「」			法	420 (悃) 入 44.3 (高さ) 入 233.5 (奥仃) MM
筫			重	2.8 кд

*10dB=1V *20dB=0.775V *3各入出力の可能な組み合わせ( 🖙 P.1-6)

※本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

#### ● 付属品

電源コード(2 m) 1
CD(N-8000 ソフトウェアほか) 1
着脱式ターミナルプラグ(9P) 4
着脱式ターミナルプラグ(8P)
圧接コネクター(2P) 10
プラスチック足

小ねじ M4×20	4
ラックマウント金具	2
タッピンねじ3×8	
ラック取付ねじ5×12(平座金付き)	4
壁取付金具	2
木ねじ3.5×20	4

### ■ IP 多機能マスター端末 N-8500MS

電			源	IEEE802.3af 準拠の電源供給装置または DC12 V(AC アダプター AD-
				1210Pより供給)
消	費	電	カ	4.2 W(定格時)、6 W(ピーク時)
通	話	方	式	ハンドセット/ハンズフリー通話兼用
通	話	帯	域	300 ~ 7,000 Hz
$\mathcal{N}$	ンズ	フリ	—	スピーカー:5.7 cm コーン型、0.6 W、8 Ω
				マイク :無指向性エレクトレットコンデンサーマイクロホン
$\mathcal{N}$	ンド	セッ	۲	受話器:コーン型
				送話器:エレクトレットコンデンサーマイクロホン
^	ッドセ	ット芽	影子 (1)	スピーカー:3 mW、32 Ω、マイク:-49 dB*、 φ 3.5 ミニジャック
外	部スピー	- カ ー ウ	耑 子	0.6 W、8 Ω、スクリューレスコネクター(2P)
	ネット	ワーク	l / F	10BASE-T/100BASE-TX、自動切り換え
ネ	ネットワ-	- クプロト	コル	TCP/IP、UDP、ARP、ICMP、HTTP、RTP、IGMP
ッ	音声パケ	ット伝送	方式	ユニキャスト(通話1リンク、ページング最大同時 16 カ所)
ī				マルチキャスト(ページング最大同時 79 カ所)
Γ	接 続 コ	ネクダ	z —	LAN : RJ-45 コネクター(PoE 対応)
ワ				PC : RJ-45 コネクター(PoE 非対応)
I	音声サンス	プリング周	波数	16 kHz、8 kHz(ソフトウェア切換式)
	量子化	ビット	丶 数	16ビット
ク	音 声 符	号化フ	,式	Sub-band ADPCM、暗号化機能
部	音声パケ	ット欠落	補正	無音挿入
	音声业	<b>蟚 延 時</b>	間	80 ms、320 ms(ソフトウェア切換式)
表			示	LCD:カナ、英数字(16文字×2行)
設	置	方	法	卓上、壁掛け兼用(壁掛け時は YC-280 を使用)
使	用 温	度 範	囲	0 ~ 40 °C
使	用 湿	度 範	囲	90%RH以下(ただし結露のないこと)
仕		1	げ	本体、ハンドセット:ABS 樹脂、グレー(マンセル 6.1 Y8.2/0.5 近似色)
4			法	148 (幅) × 208 (高さ) × 70.5 (奥行) mm(コード部を除く)
質			量	810 g

* 0 dB = 1 V

※本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

● 付属品

CD(N-8000 ソフトウェアほか) ……… 1

#### ● 別売品

壁掛卓上金具 : YC-280 AC アダプター : AD-1210P

### ■ IP 標準マスター端末 N-8510MS

電			源	IEEE802.3af 準拠の電源供給装置または DC12 V(AC アダプター AD-			
				1210Pより供給)			
消	費電力						
通	話	方	式	ハンドセット/ハンズフリー通話兼用			
通	話	帯	域	300 ~ 7,000 Hz			
ハ	ンズフ	IJ	—	スピーカー:5.7 cm コーン型、0.6 W、8 Ω			
				マイク :無指向性エレクトレットコンデンサーマイクロホン			
ハ	ンドセ	ッ	۲	受話器:コーン型			
				送話器:エレクトレットコンデンサーマイクロホン			
接	点	入	カ	無電圧メイク接点入力、開放電圧5V、短絡電流:5 mA 以下、			
				スクリューレスコネクター(2P)			
	ネットワ	ークI	/ F	10BASE-T/100BASE-TX、自動切り換え			
ネ	ネットワークプロトコル			TCP/IP、UDP、ARP、ICMP、HTTP、RTP、IGMP			
ッ	音声パケット伝送方式			ユニキャスト(通話1リンク、ページング最大同時16カ所)			
				マルチキャスト(ページング最大同時 79 カ所)			
	接 続 コ ネ	クタ	! —	LAN : RJ-45 コネクター(PoE 対応)			
ワ				PC : RJ-45 コネクター(PoE 非対応)			
1	音声サンプリ	ング周	波数	16 kHz、8 kHz(ソフトウェア切換式)			
	量子化ビ	ット	、数	16ビット			
ク	音声符号	化方	ī 式	Sub-band ADPCM、暗号化機能			
部	音声パケッ	ト欠落	補正	無音挿入			
	音声遅	延 時	間	80 ms、320 ms(ソフトウェア切換式)			
設	置	方	法	卓上、壁掛け兼用(壁掛け時は YC-280 を使用)			
使	用温度	範	囲	0~40 °C			
使	用湿度	範	囲	90%RH以下(ただし結露のないこと)			
仕	上		げ	本体、ハンドセット:ABS 樹脂、グレー(マンセル 6.1Y8.2/0.5 近似色)			
寸			法	148 (幅) × 208 (高さ) × 70.5 (奥行) mm(コード部を除く)			
質			量	737 g			

※本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

#### ● 付属品

CD (N-8000 ソフトウェアほか) ………… 1

#### ● 別売品

壁掛卓上金具 : YC-280 AC アダプター : AD-1210P

### ■ IP 標準マスター端末 N-8515MS

電			源	DC12 V(AC アダプター AD-1210P より供給)
消	費	電	カ	4.2 W(定格時)、6 W(ピーク時)
通	話	方	式	ハンドセット/ハンズフリー通話兼用
通	話	帯	域	300~7,000 Hz
ハ	ンズ	フリ	—	スピーカー:5.7 cm コーン型、0.6 W、8 Ω
				マイク :無指向性エレクトレットコンデンサーマイクロホン
ハ	ンド	セッ	۲	受話器:コーン型
				送話器:エレクトレットコンデンサーマイクロホン
接	点	入	カ	無電圧メイク接点入力、開放電圧5V、短絡電流:5mA 以下、
				スクリューレスコネクター(2P)
	ネット	ワーク	l / F	10BASE-T/100BASE-TX、自動切り換え
ネ	ネットワ	ークプロト	コル	TCP/IP、UDP、ARP、ICMP、HTTP、RTP、IGMP
ッ	音声パケ	ット伝送	方式	ユニキャスト(通話1リンク、ページング最大同時 16 カ所)
L				マルチキャスト(ページング最大同時 79 カ所)
	接 続 コ	ネクダ	z —	LAN : RJ-45 コネクター(PoE 非対応)
ヮ				PC : RJ-45 コネクター(PoE 非対応)
	音声サン	プリング周	波数	16 kHz、8 kHz(ソフトウェア切換式)
	量子化	ビット	、数	16ビット
2	音 声 符	号化プ	,式	Sub-band ADPCM、暗号化機能
部	音声パケ	ット欠落	補正	無音挿入
	音声;	厪 延 時	間	80 ms、320 ms(ソフトウェア切換式)
設	置	方	法	卓上、壁掛け兼用
使	用温	度 範	囲	0~40 °C
使	用湿	度 範	囲	90%RH以下(ただし結露のないこと)
仕	_	E	げ	本体、ハンドセット:ABS樹脂、グレー(マンセル6.1Y8.2/0.5近似色)
寸			法	148 (幅) × 208 (高さ) × 70.5 (奥行) mm(コード部を除く)
質			量	725 g

※本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

#### ● 付属品

CD(N-8000 ソフトウェアほか) 1	木ねじ3.5×20
壁掛卓上金具 YC-280	ゴム足
AC アダプター AC-1210P 1	

■IPドア端末 N-8540DS

電			源	IEEE802.3af 準拠の電源供給装置または DC12 V(AC アダプター AD-			
				1210Pより供給)			
消	 費 電 力			4.2 W(定格時)、6 W(ピーク時)			
通	話	方	式	ハンズフリー通話専用			
通	話	帯	域	300~7,000 Hz			
ハ	ンズ	フリ	_	スピーカー:3.5 cm コーン型、1 W、8 Ω			
				マイク :無指向性エレクトレットコンデンサーマイクロホン			
接	点	出	カ	オープンコレクター出力、耐電圧: DC30 V、制御電流: 50 mA、			
				ワンショット:1~9s設定可、ねじ締め端子(極性あり)			
	ネット	ワーク	l / F	10BASE-T/100BASE-TX、自動切り換え			
ネ	ネットワー	- クプロト	コル	TCP/IP、UDP、ARP、ICMP、HTTP、RTP、IGMP			
ツ	音声パケ	ット伝送	方式	ユニキャスト、マルチキャスト			
۲	接続コ	ネクタ	<i>.</i> —	RJ-45 コネクター(PoE 対応)			
ワ	音声サンフ	プリング周	波数	16 kHz、8 kHz(ソフトウェア切換式)			
[	量子化	ビット	、数	16ビット			
ク	音 声 符	号化力	,式	Sub-band ADPCM、暗号化機能			
部	18 音声パケット欠落補正			無音挿入			
	音声遁	<b>翟 延 時</b>	間	80 ms、320 ms(ソフトウェア切換式)			
設	置	方	法	壁埋め込み/壁掛け兼用			
使	用 温	度 範	囲	−10 ~ +50 °C			
使	用 湿	度 範	囲	90%RH以下(ただし結露のないこと)			
堅	牢	性	能	BS EN62262: 2002 規格 IK02 相当			
防	塵・防	〕水 性	能	IP54(ただし設置時にパネル外周をシーリング処理すること)			
仕	Ŧ	-	げ	プレート:ステンレス(SUS304)、ヘアライン			
4			法	115 (幅) × 162 (高さ) × 55.1 (奥行) mm			
質			量	700 g			
適 [·]	合ボック	ス(別	売)	埋め込み:JIS C 8340 3個用スイッチボックス(カバー付き)			
				│露出 :YS-13A			

※本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

#### ● 付属品

#### ● 別売品

露出ボックス : YS-13A AC アダプター : AD-1210P

### ■ 多機能マスター端末 N-8000MS

電源	DC48 V(IPインターカム交換機 N-8000EX/8010EX より供給)
消費電力	1.8 W(定格時)、2.4 W(ピーク時)
配線方式	1 対より線、無極性
伝 送 方 式	2 線 160 kbps エコーキャンセラー伝送式
信号レベル	0 dB *以下
通話方式	ハンドセット/ハンズフリー通話兼用
通話帯域	300 ~ 7,000 Hz
伝 送 距 離	最大 1500 m(φ 0.65 mm、ループ抵抗 170 Ω以下)
ハンズフリー	スピーカー:5.7 cm コーン型、0.6 W、8 Ω
	マイク :無指向性エレクトレットコンデンサーマイクロホン
ハンドセット	受話器:コーン型
	送話器:エレクトレットコンデンサーマイクロホン
表 示	カナ、英数字(16文字×2行、LCD)
回線接続端子	RJ-11 モジュラージャック
ヘッドセット端子	スピーカー:3 mW、32 Ω、マイク:-49 dB*、 φ 3.5 ミニジャック
外部スピーカー端子	0.6 W、8 Ω、スクリューレスコネクター(2P)
設置方法	卓上/壁掛け兼用(壁掛け時は YC-280 を使用)
使用温度範囲	0∼40 °C
使用湿度範囲	90%RH以下(ただし結露のないこと)
仕上げ	本体、ハンドセット:ABS 樹脂、グレー(マンセル 6.1Y8.2/0.5 近似色)
寸 法	148 (幅) × 208 (高さ) × 70.5 (奥行) mm(コード部を除く)
質 量	800 g

* 0 dB = 1 V

※本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

#### ● 付属品

接続コード(3 m) ………1

● 別売品

### ■標準マスター端末 N-8010MS

電			源	DC48 V(IPインターカム交換機 N-8000EX/8010EX より供給)
消	費	電	カ	1.8 W(定格時)、2.4 W(ピーク時)
配	線	方	式	1 対より線、無極性
伝	送	方	式	2 線 160 kbps エコーキャンセラー伝送式
信	号し	ノベ	ル	0 dB * 以下
通	話	方	式	ハンドセット/ハンズフリー通話兼用
通	話	帯	域	300 ~ 7,000 Hz
伝	送	距	離	最大 1500 m(φ 0.65 mm、ループ抵抗 170 Ω以下)
ハ	ンズ	フリ	_	スピーカー: 5.7 cm コーン型、0.6 W、8 Ω
				マイク :無指向性エレクトレットコンデンサーマイクロホン
ハ	ンド	セッ	٢	受話器:コーン型
				送話器:エレクトレットコンデンサーマイクロホン
口	線 接	続 端	子	RJ-11 モジュラージャック
設	置	方	法	卓上/壁掛け兼用(壁掛け時は YC-280 を使用)
使	用 温	度範	囲	0∼40 °C
使	用 湿	度範	囲	90%RH以下(ただし結露のないこと)
仕	_	E	げ	本体、ハンドセット:ABS樹脂、グレー(マンセル6.1Y8.2/0.5近似色)
寸			法	148 (幅) × 208 (高さ) × 70.5 (奥行) mm(コード部を除く)
質			量	700 g

* 0 dB = 1 V

※本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

#### ● 付属品

接続コード(3 m) …………1

#### ● 別売品

#### 第8章 付 録

### ■ ハンズフリー専用標準マスター端末 N-8011MS

電				源	DC48 V(IPインターカム交換機 N-8000EX/8010EX より供給)
消	費	電		カ	1.8 W(定格時)、2.4 W(ピーク時)
配	線	方		式	1 対より線、無極性
伝	送	方		式	2 線 160 kbps エコーキャンセラー伝送式
信	号	レイ	べ	ル	0 dB*以下
通	話	方		式	ハンズフリー通話専用
通	話	帯		域	300 ~ 7,000 Hz
伝	送	距		離	最大 1500 m(φ 0.65 mm、ループ抵抗 170 Ω以下)
ハ	ンス	、フ	IJ	—	スピーカー: 5.7 cm コーン型、0.6 W、8 Ω
					マイク :無指向性エレクトレットコンデンサーマイクロホン
回	線接	そ 続	端	子	RJ-11 モジュラージャック
設	置	方		法	卓上/壁掛け兼用(壁掛け時は YC-290 を使用)
使	用温	且度	範	囲	0 ~ 40 ℃
使	用湿	しての	範	囲	90%RH以下(ただし結露のないこと)
仕		F		げ	本体: ABS 樹脂、グレー(マンセル 6.1Y8.2/0.5 近似色)
寸				法	92(幅)×195(高さ)×56.1(奥行)mm
質				量	400 g

* 0 dB = 1 V

※本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

● 付属品

接続コード(3m) ………1

● 別売品

### ■ 工場用マスター端末 N-8020MS

電源	DC48 V(IPインターカム交換機 N-8000EX/8010EX より供給)
消費電力	1.8 W(定格時)、2.4 W(ピーク時)
配線方式	1 対より線、無極性
伝 送 方 式	2線160 kbpsエコーキャンセラー伝送式
信号レベル	0 dB*以下
通話方式	ハンドセット/ハンズフリー通話兼用
通話帯域	300 ~ 7,000 Hz
伝 送 距 離	最大 1500 m(φ 0.65 mm、ループ抵抗 170 Ω以下)
ハンズフリー	スピーカー:5.7 cm コーン型、0.6 W、8 Ω
	マイク :無指向性エレクトレットコンデンサーマイクロホン
ハンドセット	受話器:コーン型
	送話器:エレクトレットコンデンサーマイクロホン
着 信 接 点 出 力	オープンコレクター出力(極性あり)、耐電圧:最大 DC30 V、
	制御電流:最大 50 mA、スクリューレスコネクター(2P)
回線接続端子	RJ-11 モジュラージャック
外部スピーカー端子	0.6 W、8 Ω、スクリューレスコネクター(2P)
設置方法	卓上/壁掛け兼用(壁掛け時は YC-280 を使用)
使用温度範囲	-10 ~ +50 ℃
使用湿度範囲	90%RH以下(ただし結露のないこと)
防 塵 ・ 防 水 性 能	IP54
仕 上 げ	本体、ハンドセット:ABS 樹脂、グレー(マンセル 5.1Y7.3/0.4 近似色)
寸 法	170 (幅) × 220 (高さ) × 97.8 (奥行) mm(コード部、突起部を除く)
質量	1 kg

* 0 dB = 1 V

※本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

#### ● 付属品

#### ● 別売品

### ■ ハンズフリー専用埋込型マスター端末 N-8031MS

電源	DC48 V(IPインターカム交換機 N-8000EX/8010EX より供給)
消費電力	1.8 W(定格時)、2.4 W(ピーク時)
配線方式	1 対より線、無極性
伝 送 方 式	2 線 160 kbps エコーキャンセラー伝送式
信号レベル	0 dB * 以下
通話方式	ハンズフリー通話専用(オプションハンドセット RS-191 を接続するとハンド
	セット通話が可能)
通話帯域	300 ~ 7,000 Hz
伝 送 距 離	最大 1500 m(φ 0.65 mm、ループ抵抗 170 Ω以下)
ハンズフリー	スピーカー: 5.7 cm コーン型、0.6 W、8 Ω
	マイク :無指向性エレクトレットコンデンサーマイクロホン
回線接続端子	ピンヘッダー
外部ダイヤル入力	無電圧メイク接点入力、スクリューレスコネクター(5P)
設置方法	壁埋め込み/露出兼用
使用温度範囲	0∼+40 °C
使用湿度範囲	90%RH以下(ただし結露のないこと)
仕上げ	パネル:ステンレス(SUS304)、ヘアライン
寸 法	115 (幅) × 254 (高さ) × 54.6 (奥行) mm
質 量	850 g
適合ボックス(別売)	埋め込み:JIS C 8340 5個用スイッチボックス(カバー付き)
	露出 :5個用スイッチボックス(松下電工製)

* 0 dB = 1 V

※本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

#### ● 付属品

小ねじ M4 × 25	
着脱式ターミナルプラグ(2P、本	体取り付け済み) 1
ハンドセットジャンパー(8P、本·	体取り付け済み) 1
フェライトクランプ	
吸音材	

#### ● 別売品

オプションハンドセット:RS-191

電源	DC48 V(IPインターカム交換機 N-8000EX/8010EX より供給)
消費電力	1.8 W(定格時)、2.4 W(ピーク時)
配線方式	1 対より線、無極性
伝 送 方 式	2 線 160 kbps エコーキャンセラー伝送式
信号レベル	0 dB *以下
通話方式	ハンズフリー通話専用
通話帯域	300~7,000 Hz
伝 送 距 離	最大 1500 m(φ 0.65 mm、ループ抵抗 170 Ω以下)
ハンズフリー	スピーカー: 3.5 cm コーン型、1 W、8 Ω
	マイク :無指向性エレクトレットコンデンサーマイクロホン
接点出力	オープンコレクター出力、耐電圧:最大 DC30 V、制御電流:最大 50 mA、
	ワンショット:1~9s設定可、ねじ締め端子(極性あり)
回線接続端子	2線、ねじ締め端子(極性なし)
設置方法	壁埋め込み/露出兼用
使用温度範囲	−10 ~ +50 °C
使用湿度範囲	90%RH以下(ただし結露のないこと)
堅牢性能	BS EN62262:2002 規格 IK02 相当
防塵・防水性能	IP54(ただし設置時にパネル外周をシーリング処理すること)
仕上げ	プレート:ステンレス(SUS304)、ヘアライン
寸 法	115 (幅) × 162 (高さ) × 52 (奥行) mm
質量	680 g
適合ボックス(別売)	埋め込み:JIS C 8340 3個用スイッチボックス(カバー付き)

■ドア端末 N-8050DS

* 0 dB = 1 V

※本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

#### ● 付属品

小ねじM4×25	 吸音材	
UNC No.6-32 × 18		

#### ● 別売品

露出ボックス: YS-13A

### ■壁掛卓上金具 YC-280

仕	上	げ	表面処理鋼板、ホワイト(マンセル N9.0 近似色)、塗装
<u>.</u>		法	100 (幅) × 140 (高さ) × 31.8 (奥行) mm
質		围	120 g

※本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

#### ● 付属品

#### ● 適合機種

N-8000MS/8010MS/8020MS/8500MS/8510MS/8515MS

### ■ 壁掛卓上金具 YC-290

仕	上	げ	表面処理鋼板、ホワイト(マンセル N9.0 近似色)、塗装
寸		法	64 (幅) × 131.5 (高さ) × 31.8 (奥行) mm
質		量	100 g

※本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

#### ● 付属品

#### ● 適合機種

N-8011MS

### ■ 露出ボックス YS-13A

仕	上	げ	表面処理鋼板、オフホワイト(マンセル 5Y9/1 近似色)
寸		法	116.5 (幅) × 163.5 (高さ) × 55 (奥行) mm
質		量	550 g

※本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

#### ● 付属品

小ねじ M3 × 12	 ゴム足4
木ねじ 3.8×16	 ブッシング



N-8050DS/8540DS

### ■端子盤 E-7000TB

回線接続端子数	80(40回線)
回線接続端子	クリップターミナル
仕上げ	パネル:表面処理鋼板、黒(マンセル N1.0 近似色)、3 分艶
寸 法	482 (幅) × 132.6 (高さ) × 108.8 (奥行) mm
質量	2.5 kg

※本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

#### ● 付属品

ラック取付ねじ5×124	記名板4
ファイバーワッシャー(M5用) 4	コードクランプ

### ■ オプションハンドセット RS-191

受	話	器	ダイナミック型
送	話	器	エレクトレットコンデンサー型
使用	温 度	範囲	0~+40℃(ただし、スピーカー・スイッチが凍結しないこと)
仕	上	げ	ABS樹脂、ペールホワイト(マンセル2.5Y9/1近似色)
寸		法	116 (幅) × 220 (高さ) × 70 (奥行) mm
質		量	330 g
適 合	ボッ	クス	JIS C 8340(中形四角アウトレットボックスおよび中形四角2個用スイッチカ
			バー)

※本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

#### ● 付属品



N-8031MS

### ■ AC アダプター AD-1210P

電		源	AC100~240 V、50/60 Hz
出		カ	DC12 V、1 A
消	費電	流	AC270 mA、入力100 V
消	費電	カ	27 VA
	- K	長	1.5 m
プ	ラ	グ	センター ⊕
使	用温度範	囲	0∼40 °C
仕	上	げ	ケース:ポリカーボネート、黒
寸		法	50(幅)×72(高さ)×58(奥行)mm(コード部を除く)
質		量	110 g

※本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。



N-8500MS/8510MS/8515MS/8540DS



商品の価格・在庫・修理などのお問い合わせ、およびカタログのご請求については、取り扱い店または最寄りの営業所へお申し付けください。

TOA ホームページ http://www.toa.co.jp/